SONY

4-160-142-02(1)

徹底活用ガイド

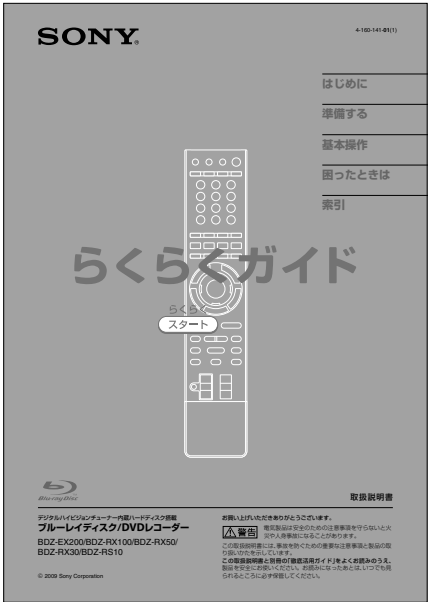
基本的な操作については、
別冊の「らくらくガイド」をご覧ください。

デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載
ブルーレイディスク/DVDレコーダー

BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/
BDZ-RX30/BDZ-RS10

取扱説明書／ガイドのご案内

取扱説明書［らくらくガイド］

録画や再生など、基本機能を利用するために必要な準備や操作をわかりやすく説明しています。

［徹底活用ガイド］

本機のさまざまな機能や操作方法を説明しています。

目次

テレビを見る

録画する

録画予約する

ネットワークで録画予約する

番組を検索する

映像や音楽を再生する

映像を編集する

映像や写真を取り込む

写真を楽しむ

映像や写真をディスクに残す

アクトビラを楽しむ

他機器に映像を持ち出す

映像や写真を消去する

ディスクの情報を変更する

ブラビアリンクを使う

設定を変更する

接続する

困ったときは

「Q&A」ホームページ
http://www.sony.co.jp/faq/BD/

その他

索引

機能別目次

テレビ

	参照ページ	説明
デジタル放送	32	デジタル放送の高画質な映像や臨場感のある音声で、多彩な番組が楽しめます。
ラジオ放送	34	クリアな音声で衛星放送のラジオ番組が楽しめます。
データ放送	34	番組に関連した情報や地域の情報などをご覧になれます。
字幕放送	33	映画やニュースなど、デジタル放送の番組を字幕付きで楽しめます。

ビデオ

	参照ページ	説明
番組表	50	1週間先のテレビ番組の情報を確認し、録画予約できます。
お気に入り番組表	53	気になるキーワードやジャンルを使ってあなたの好みにあった番組表を表示します。
x-みどころマガジン	58	話題のテーマやキーワードをもとに、"旬"な番組を日替わりで表示します。
2番組同時録画	51	同じ時間に録画したい番組が2つあっても、この機能を使えば両方録画できます。
更新録画	62	連続ドラマなどを録画するときに、前回の番組を消去して新しい回を録画します。
次回予約	60	録画した番組の次の回の番組を探し、録画予約できます。
x-おまかせ・まる録	55	見たい番組のキーワードやジャンルを指定し、関連する番組を自動で録画します。
気になる検索	76	番組に関連する人名やキーワードで番組を素早く探せます。
ジャンル検索	76	キーワードがわからなくても、ジャンルを指定するだけで見たい番組が探せます。
キーワード検索	77	キーワードを使って番組を探せます。
詳細条件検索	77	ジャンルやキーワード、放送の種類など様々な条件で番組を探せます。
リモート録画予約	72	携帯電話などで録画予約できます。
ネットワーク録画予約	72、74	ネットワークを使って＜ブラビア＞の番組表や「スカパー！ HD」対応のチューナーから録画予約できます。
予約リスト	64	録画予約した番組の一覧が確認できます。
スポーツ延長対応	67	スポーツ番組の放送延長により録画予約した番組の放送終了時刻が変更になっても、逃さず録画できます。
番組追跡録画	66	録画予約した番組の放送時刻が変更になっても、番組名を追跡して逃さず録画できます。

再生

	参照ページ	説明
つづき再生	86	一度止めた映像（タイトル）の再生を再開する場合、止めた位置から続けて再生できます。
追いかけ再生	87	録画中の映像を、録画の終了を待たずに再生できます。
同時録画再生	89	他の映像や音楽を再生中に、録画が始まっても、再生を続けることができます。
シーンサーチ	92	映像（タイトル）を再生中、見たい場面にすばやくジャンプできます。
音声付き早見	87	音声付きで早送り再生ができます。
ダイジェスト再生	88	映像（タイトル）の中で見どころと思われる場面を中心に自動再生できます。
オートグルーピング	95	録画した映像（タイトル）を指定したグループで自動分類できます。
ブラビア プレミアムフォト	136	「ブラビア プレミアムフォト」対応のソニー製テレビをお使いの場合、よりよい画質で写真を見ることができます。
ホームサーバー機能	94	本機に保存した映像や写真を別の部屋のテレビやパソコンで再生できます。

消去

	参照ページ	説明
タイトル消去	186	選んだ映像（タイトル）を消去します。
プロテクト	188	誤って消さないように本機やBDの映像（タイトル）を保護します。

編集

	参照ページ	説明
プレイリスト作成	104	録画や編集した映像(タイトル)からお好みの場面を選んで、新たなタイトルを作成できます。
チャプター消去	110	録画した映像(タイトル)の中の不要なチャプターを消去します。
チャプター編集	112	チャプターを結合・分割・複数消去できます。
A－B消去	109	録画した映像(タイトル)の中の一部分(場面)を選んで消去します。
タイトル分割	111	録画や編集した映像(タイトル)を2つのタイトルに分割してディスクに保存できます。
タイトル結合	108	複数の映像を1つにできます。
プロテクト	111	誤って変更しないように本機やBDの映像(タイトル)を保護します。
BDクローズ	195	BD-Rに追加記録や編集ができないようにします。

ダビング

	参照ページ	説明
タイトルダビング	149	本機に録画やダウンロードした映像(タイトル)をBDやDVDにダビングできます。
連ドラ一括ダビング	151	タイトルをグループごとにまとめてダビングできます。
高速ダビング	153	通常より短い時間でタイトルをダビングできます。
録画モード変換ダビング	153	録画モードを変えてダビングできます。
まるごとDVDコピー	155	映像が記録されたDVDから他のDVDへ、高速で簡単にコピーできます。
ワンタッチディスクダビング	156	ボタン1つでデジタルハイビジョンビデオカメラの映像をBDにダビングできます。
思い出ディスクダビング	157	個人で撮影した映像や写真をまとめてBDやDVDにダビングできます。

取り込み

	参照ページ	説明
AVCHDダビング	117	AVCHD方式のデジタルハイビジョンビデオカメラの映像を本機に取り込めます。
HDV/DVダビング	118	HDV/DV方式のデジタルビデオカメラの映像を本機に取り込めます。
ワンタッチ取込み	124	ボタンひとつで映像や写真を簡単に取り込めます。
VHSダビング	129	VHSテープの映像をかんたんに本機へ取り込めます。
フォト切り出し	129	本機に取り込んだ映像の中のお気に入りの場面を選んで写真にできます。
x-ScrapBook	140	本機に取り込んだ写真を使って、自動でオリジナルのスクラップブックを作成します。
x-Pict Story HD	136	本機に取り込んだ写真を使って、自動でオリジナルのフォト作品を作成します。

おでかけ転送

	参照ページ	説明
おでかけ転送	171	本機に録画やダウンロードした映像(タイトル)を外部機器に転送して持ち出せます。
グループ一括転送	178	タイトルをグループごとにまとめて外部機器に転送できます。
おかえり転送	177	外部機器に転送して持ち出した映像(タイトル)を本機に戻します。
ワンタッチ転送	179	ボタンひとつで簡単におでかけ転送できます。
更新転送	181	ワンタッチ転送リスト上のタイトルのうち転送先機器にないタイトルを自動でおでかけ転送します。
ワンタッチ転送リスト	181	ワンタッチ転送するタイトルの確認や取り消しができます。

その他

	参照ページ	説明
アクトビラ	163	アクトビラのネットワークサービスを利用できます。
らくらくスタートメニュー	26	リモコンの《らくらくスタート》ボタンを押して表示されるメニューの指示に従って、本機の基本機能をかんたんに利用できます。
自己診断機能	283	本機の異常を未然に防ぎます。

レコーダー使いかたガイド

ビデオの使いかた

録画したい放送

デジタル放送

地上デジタル放送

BS/110度CS
デジタル放送

地上アナログ放送

スカパー！
チューナーの映像

スカパー！

ケーブルテレビ
チューナーの映像

CATV（ケーブルテレビ）

録画する

デジタル放送：

- 放送中の番組の中から選んで録画する 41ページ
- 番組表から選んで録画する（8日以内の録画予約） 50ページ
- 日時を指定して録画する（9日以降の録画予約） 60ページ
- お気に入り番組表から選んで録画する 53ページ
- 旬の番組の中から選んで録画する 58ページ
- 見ている番組と関係のあるキーワードから選んで録画する 76ページ
- 見たい番組のジャンルから選んで録画する 76ページ
- 登録した単語から選んで録画する 77ページ
- キーワードを使って自動録画する 55ページ
- ブラビアの番組表で録画予約する 72ページ
- 外出先から携帯電話やパソコンを使って録画予約する 72ページ

地上アナログ放送：

- 放送中の番組の中から選んで録画する 41ページ
- 日時を指定して録画する 60ページ

スカパー！チューナーの映像：

- 本機の外部入力につないで録画する 42、61ページ
- ネットワーク経由で録画する 74ページ

ケーブルテレビチューナーの映像：

- 本機の外部入力につないで録画する 42、61ページ

録画で便利な機能を使う

- タイマー録画を使う 43ページ
- よく見る番組を毎回録画する 62ページ
- 古い番組を更新しながら録画する 62ページ
- 録画時間をスポーツ番組の延長に合わせる 67ページ
- ワンタッチで転送できるように準備する（BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ） 62ページ

録画した番組を再生する

再生する
82ページ

早見再生する
87ページ

録画中の番組を再生する
87ページ

見どころ場面を中心に再生する
88ページ

別の部屋のテレビやパソコンで再生する
94ページ

ディスクにダビングする

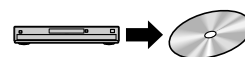
BDやDVDにダビングする
149ページ

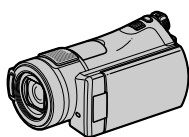
写真や映像の楽しみかた

映像／写真の種類

ビデオカメラの映像 AVCHD方式

ビデオカメラの映像 HDV/DV方式

デジタルスチルカメラ

本機と接続する

ビデオカメラの映像 AVCHD方式

- USBケーブルで本機とビデオカメラを接続する　254ページ
- ビデオカメラのメモリーカードを差し込む（BDZ-RX100のみ）　116ページ
- 録画した8cm DVDを本機に直接入れる　127ページ

ビデオカメラの映像 HDV/DV方式

- i.LINKケーブルで本機とビデオカメラを接続する（BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ）　253ページ
- S映像または映像ケーブルで本機とビデオカメラを接続する　255ページ

デジタルスチルカメラ

- USBケーブルで本機とデジタルスチルカメラを接続する　254ページ
- デジタルスチルカメラのメモリーカードを差し込む（BDZ-RX100のみ）　116ページ

本機に取り込む

- ワンタッチで取り込む（BDZ-EX200を除く）　125ページ
- メニュー画面を使って取り込む　117ページ
- ワンタッチで取り込む（BDZ-RX100のみ）　126ページ
- メニュー画面を使って取り込む　121ページ
- BD/DVD→HDDダビング　128ページ
- ワンタッチで取り込む（BDZ-RX100のみ）　125ページ
- メニュー画面を使って取り込む　118ページ
- 外部入力録画で取り込む　120ページ
- ワンタッチで取り込む（BDZ-EX200を除く）　126ページ
- メニュー画面を使って取り込む　122ページ
- ワンタッチで取り込む（BDZ-RX100のみ）　126ページ
- メニュー画面を使って取り込む　122ページ

取り込んだ映像や写真を楽しむ

再生する
82ページ

x-ScrapBook
140ページ

再生する
82ページ

x-ScrapBook
140ページ

再生する
135ページ

x-ScrapBook
140ページ

x-Pict Story HD
136ページ

BDやDVDに残す

ワンタッチディスクダビング
156ページ

HDD→BD/DVDダビング
149ページ

思い出ディスクダビング
157ページ

まるごとDVDコピー
155ページ

思い出ディスクダビング
157ページ

思い出ディスクダビング
157ページ

ホームメニュー“XMB”（クロスメディアバー）一覧

「ホームメニュー」から操作をはじめましょう

リモコンの《ホーム》ボタンを押すと、画面に“XMB”（クロスメディアバー）と呼ばれるホームメニューが表示されます。この画面から各種操作・設定画面に移動できます。

- お問い合わせ（212ページ）
- お知らせ（212ページ）
- 放送受信設定（213ページ）
- ビデオ設定（217ページ）
- 映像設定（220ページ）
- 音声設定（222ページ）
- フォト設定（224ページ）
- 本体設定（224ページ）
- BD/DVD視聴設定（226ページ）
- 年齢制限設定（227ページ）
- 通信設定（229ページ）
- かんたん設定（233ページ）
- 設定初期化（233ページ）

- フォト切り出し（129ページ）
- 思い出ディスクダビング（157ページ）
- x-Pict Story HD 作成（136ページ）
- BD-RE/BD-R ／データDVD ／データCD（134ページ）
- メモリースティック*1（134ページ）
- SDメモリーカード*1（134ページ）
- CFカード*1（134ページ）
- デジタルカメラ（134ページ）
- PSP（134ページ）
- USB機器（134ページ）
  または
  USB機器（前面/背面）*1（134ページ）
- x-Pict Story HD（138ページ）
- x-ScrapBook（140ページ）
- サンプルアルバム（135ページ）
- アルバム（135ページ）

- 音楽CD（83ページ）

- BDデータ（84ページ）
- おでかけ・おかえり転送*6（171ページ）
- ビデオカメラダビング*2（117ページ）
  または
  AVCHDダビング*3（117ページ）
- VHSダビング（129ページ）
- ディスクダビング（149ページ）
- x-おまかせ・まる録（55ページ）
- 録画予約（50、61ページ）
- 予約確認（57、64ページ）
- BD/DVD（82ページ）
- 録画した映像（タイトル）（82ページ）
  または
- （グループ）（95ページ）
  ジャンル（55ページ）
- 予約（50ページ）
- おまかせ・まる録（55ページ）
- マーク（106ページ）
- プレイリスト（104ページ）
- ダウンロード（167ページ）
- レンタル（167ページ）
- x-Pict Story（136ページ）
- ビデオカメラ映像（117ページ）

地上アナログ
（32ページ）

- 地上アナログch（32ページ）

お使いの機種によって表示されない項目があります。
*1 BDZ-RX100のみ
*2 BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ
*3 BDZ-RX50/BDZ-RX30/BDZ-RS10のみ
*4 BDZ-EX200のみ
*5 BDZ-EX200を除く
*6 BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ

地上デジタル（32ページ）
- 番組検索（75ページ）
- 番組表／x-みどころマガジン（50、58ページ）
- 地上デジタルテレビch（32ページ）
- 地上デジタルデータch（34ページ）

BS（32ページ）
- 番組検索（75ページ）
- 番組表／x-みどころマガジン（50、58ページ）
- BSテレビch（32ページ）
- BSラジオch（34ページ）
- BSデータch（34ページ）

CS（32ページ）
- 番組検索（75ページ）
- 番組表／x-みどころマガジン（50、58ページ）
- CSテレビch（32ページ）
- CSラジオch（34ページ）
- CSデータch（34ページ）

外部入力（42、61ページ）
- 入力1*4（映像またはS映像）（42、61ページ）
  または
  入力*5（映像またはS映像）（42、61ページ）
- 入力2*4（自動）（42、61ページ）
- 入力3*4（映像またはS映像）（42、61ページ）
- HDV*2（42、118ページ）
- DV*2（42、118ページ）

ネットワーク（163ページ）
- ダウンロード管理（168ページ）
- アクトビラ（164ページ）

BD

BDレコーダー（本機）のXMBを表示しているときは「BD」、テレビのXMBを表示しているときは、「TV」が表示されます。

本書の読みかた

BDやDVDの映像を取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 本機にディスクを挿入する。

2 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

3 [ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 [BD/DVD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。

5 タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

すべてのタイトルを選ぶときは、[全選択]を選びます。

6 [実行]を選び、《決定》ボタンを押す。

取り込みを始めます。

手順5/6 タイトルダビング画面

1 取り込む全タイトル容量
2 取り込みの方向
3 取り込む順番
4 タイトルの種類、マークなど
マークの種類について詳しくは、319ページをご覧ください。
5 ボタン
実行：取り込みを実行します。
中止：タイトルダビング画面を中止します。
全選択：取り込み可能なタイトルを、リストの上から順に30個まで選びます。
全選択解除：取り込み対象に選んだタイトルをすべて取り消します。
自動調整：ハードディスクの残量に応じてダビングモードを調整します。
6 ハードディスクの残量(目安)

ちょっと一言

- DVD(AVCHD方式)からハードディスクへ取り込んだ場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- BD-RE、BD-R、DVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとして取り込まれます。
- BDやDVDからハードディスクへ取り込む場合は、BDやDVDの映像サイズはそのまま取り込まれます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみ取り込まれることがあります。

ご注意

- DVD(AVCHD方式)からハードディスクへの取り込みでは、録画モードを変更できません。
- DVD(AVCHD方式以外)からハードディスクに取り込む場合は、高速ダビングできません。

以下のことはできません

- 市販のBD-ROMやDVDビデオから取り込むこと。
- コピー制御信号を含む映像を取り込むこと。
- 他機器で作成したディスクで、本機に挿入したときに「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。

映像や写真を取り込む

127

上記ページはイメージです。

1 機種対応表

本書で説明している機能に対応する機種を示します。

2 ちょっと一言

本機をさらに便利に使いこなすための情報や操作のヒントなどが書かれています。

3 ご注意

本機を操作するときに気をつけることが書かれています。

4 以下のことはできません

本機で設定できないことが書かれています。

5 説明文

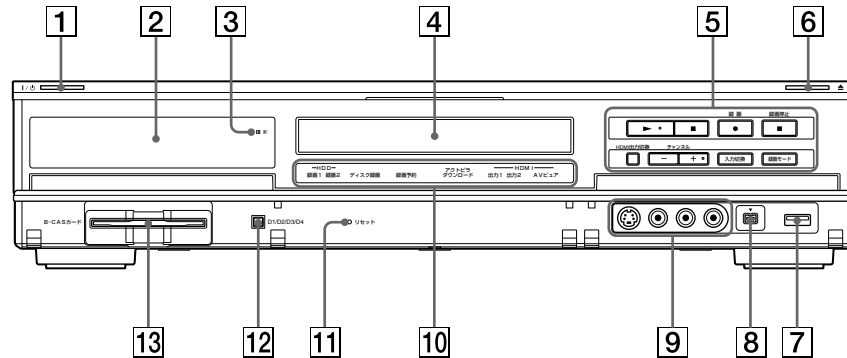
[名前変更]のように[　]で説明されている項目は画面上に表示されるメニュー項目を示します。

- 本書では、BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30/BDZ-RS10の5機種について説明しています。
- 本書ではブルーレイディスクを「BD」、本機内蔵のハードディスクを「HDD」と記載しています。
- 全機種共通の機能を説明する場合、本書では、BDZ-RX30のイラストを使用しています。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。
- 下線の項目はお買い上げ時の設定です。
- 本書中の[　]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 「用語集」(322ページ)や「アイコン別索引」(328ページ)もご覧ください。
- 放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。

各部の名前

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
*のボタンには凸(突起)がついています(チャンネル+／−ボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。
各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

本体

BDZ-EX200 前面

1. I/⏻(電源)ボタン
2. 表示窓(24)
3. リモコン受光部
4. ディスクトレイ(83)
5. ►(再生) *ボタン(83)
   ■(停止)ボタン(82)
   ●(赤)録画ボタン(41)
   ■(赤)録画停止ボタン(43)
   録画モードボタン(41)
   入力切換ボタン(42、63、120、207)
   チャンネル−／+*ボタン(32)
   HDMI出力切換ボタン(85、86、246、251)
6. ⏏(開／閉)ボタン(83、90)
7. USB端子(117、134、156)
8. HDV1080i/DV入力端子(118)
9. 入力2端子(248、249、255)
10. HDD録画1ランプ(39)
    HDD録画2ランプ(39)
    ディスク録画ランプ(39)
    録画予約ランプ(50、60)
    アクトビラダウンロードランプ(167)
    HDMI出力1ランプ(25、246)
    HDMI出力2ランプ(25、246)
    HDMI AVピュアランプ(247)
11. リセットボタン(266、283)
    明らかに本機が操作を受け付けないときに押してください。本機が再起動します。
12. D1/D2/D3/D4切換ボタン(243、244)
13. B-CASカード挿入口

BDZ-EX200 後面

1. BS/110度CS-IF入力／出力端子(236、237)
2. VHF/UHF入力／出力端子(236、237、238)
3. 入力1音声／映像／ S映像端子(248)
   入力3音声／映像／ S映像端子(248)
   出力1音声／映像／ S1映像端子(245)
4. 音声出力 右／左端子(252)
   D1/D2/D3/D4映像出力端子(243)
5. コンポーネント映像出力
   Y、P_B/C_B、P_R/C_R端子(244)
6. 電源入力端子
7. 電話回線端子(260)
8. デジタル音声出力 光端子(251)
   デジタル音声出力 同軸端子(252)
9. HDMI出力 1端子(242、246、251)
   HDMI出力 2端子(242、246)
10. LAN(10/100)端子(262)

BDZ-RX100 前面

1 I/⏻(電源)ボタン
2 表示窓(24)
3 ディスクトレイ(83)
4 ⏏(開/閉)ボタン(83、90)
5 リモコン受光部
6 HDD録画1ランプ(39)
HDD録画2ランプ(39)
録画予約ランプ(50、60)
ディスク録画ランプ(39)
アクトビラダウンロードランプ(167)
7 番組おでかけボタン/ランプ(179)
8 カメラ取込みボタン/ランプ(124)
9 ►(再生)*ボタン(83)
■(停止)ボタン(82)
●(赤)録画ボタン(41)
■(赤)録画停止ボタン(43)
チャンネル－/＋*ボタン(32)
10 USB端子(117、134、156)
11 HDV1080i/DV入力端子(118)
12 SDカードスロット(116)
13 "メモリースティック"スロット(116)
14 メモリーカードランプ(116)
15 CFスロットイジェクトボタン(116)
16 CFスロット(116)
17 リセットボタン(266、283)
明らかに本機が操作を受け付けないときに押してください。本機が再起動します。
18 D1/D2/D3/D4切換ボタン(243、244)
19 B-CASカード挿入口

BDZ-RX100 後面

1 BS/110度CS-IF入力/出力端子(236、237)
2 VHF/UHF入力/出力端子(236、237、238)
3 入力 音声/映像/ S映像端子(248)
出力 音声/映像/ S1映像端子(245)
4 D1/D2/D3/D4映像出力端子(243)
5 電源入力端子
6 電話回線端子(260)
7 USB端子(117、134、156)
8 デジタル音声出力 光端子(251)
9 HDMI出力端子(242、251)
10 LAN(10/100)端子(262)

BDZ-RX50 前面

1 I/⏻(電源)ボタン
2 表示窓(24)
3 ディスクトレイ(83)
4 ⏏(開/閉)ボタン(83、90)
5 リモコン受光部
6 HDD録画1ランプ(39)
HDD録画2ランプ(39)
録画予約ランプ(50、60)
ディスク録画ランプ(39)
アクトビラダウンロードランプ(167)
7 番組おでかけボタン/ランプ(179)
8 カメラ取込みボタン/ランプ(124)
9 ►(再生) *ボタン(83)
■(停止)ボタン(82)
●(赤)録画ボタン(41)
■(赤)録画停止ボタン(43)
チャンネル−/+*ボタン(32)
10 USB端子(117、134、156)
11 リセットボタン(266、283)
明らかに本機が操作を受け付けないときに押してください。本機が再起動します。
12 D1/D2/D3/D4切換ボタン(243、244)
13 B-CASカード挿入口

BDZ-RX50 後面

1 BS/110度CS-IF入力/出力端子(236、237)
2 VHF/UHF入力/出力端子(236、237、238)
3 入力 音声/映像/ S映像端子(248)
出力 音声/映像/ S1映像端子(245)
4 D1/D2/D3/D4映像出力端子(243)
5 電源入力端子
6 電話回線端子(260)
7 デジタル音声出力 光端子(251)
8 HDMI出力端子(242、251)
9 LAN(10/100)端子(262)

BDZ-RX30 前面

1 I/⏻（電源）ボタン
2 表示窓（24）
3 ディスクトレイ（83）
4 ⏏（開／閉）ボタン（83、90）
5 リモコン受光部
6 HDD録画1ランプ（39）
HDD録画2ランプ（39）
録画予約ランプ（50、60）
ディスク録画ランプ（39）
アクトビラダウンロードランプ（167）
7 カメラ取込みボタン／ランプ（124）
8 ►（再生）*ボタン（83）
■（停止）ボタン（82）
●（赤）録画ボタン（41）
■（赤）録画停止ボタン（43）
チャンネル－／＋*ボタン（32）
9 USB端子（117、134、156）
10 リセットボタン（266、283）
明らかに本機が操作を受け付けないときに押してください。本機が再起動します。
11 D1/D2/D3/D4切換ボタン（243、244）
12 B-CASカード挿入口

BDZ-RX30 後面

1 BS/110度CS-IF入力／出力端子（236、237）
2 VHF/UHF入力／出力端子（236、237、238）
3 入力 音声／映像／ S映像端子（248）
出力 音声／映像／ S1映像端子（245）
4 電源入力端子
5 電話回線端子（260）
6 D1/D2/D3/D4映像出力端子（243）
7 デジタル音声出力 光端子（251）
8 HDMI出力端子（242、251）
9 LAN(10/100)端子（262）

BDZ-RS10 前面

1. I/⏻(電源)ボタン
2. 表示窓(24)
3. ディスクトレイ(83)
4. ⏏(開／閉)ボタン(83、90)
5. リモコン受光部
6. HDD録画ランプ(39)
   録画予約ランプ(50、60)
   ディスク録画ランプ(39)
   アクトビラダウンロードランプ(167)
7. カメラ取込みボタン／ランプ(124)
8. ►(再生) *ボタン(83)
   ■(停止)ボタン(82)
   ●(赤)録画ボタン(41)
   ■(赤)録画停止ボタン(43)
   チャンネル－／＋*ボタン(32)
9. USB端子(117、134、156)
10. リセットボタン(266、283)
    明らかに本機が操作を受け付けないときに押してください。本機が再起動します。
11. D1/D2/D3/D4切換ボタン(243、244)
12. B-CASカード挿入口

BDZ-RS10 後面

1. BS/110度CS-IF入力／出力端子(236、237)
2. VHF/UHF入力／出力端子(236、237、238)
3. 入力 音声／映像／ S映像端子(248)
   出力 音声／映像／ S1映像端子(245)
4. 電源入力端子
5. 電話回線端子(260)
6. D1/D2/D3/D4映像出力端子(243)
7. デジタル音声出力 光端子(251)
8. HDMI出力端子(242、251)
9. LAN(10/100)端子(262)

表示窓

1 BD/DVD/CD表示(種類、記録フォーマット)(294)
BDとDVD(またはCD)のハイブリッドディスクの場合は、BDを表示します。

2 通信表示(260、262)
LANや電話回線で通信中であることを表示します。

3 HDD/BD/DVD再生記録表示(41、50、82)
それぞれのディスクの再生/記録動作を表示します。

4 USB表示(125、126、134、175、180)
USB機器接続時/おでかけ転送ファイル作成時(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)に点灯、ダビング時/おでかけ・おかえり転送時(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)に点滅します。

5 ダビング表示(149)
ダビング中に点灯します。

6 ANGLE(アングル)表示(91)

7 お知らせ(メール)表示(211)
未読メールがあるときに点灯します。

8 番組表受信表示

9 D映像出力表示(243)

10 主に次の情報を表示します。
タイトル/チャプター/トラック番号表示(83、90、92)
再生経過時間/残量時間表示(82、91)
録画経過時間表示(41)
録画モード(41)
ダビング/おでかけ・おかえり転送進捗状況表示(149、175)
現在日時*1(224)
BS/CS /チャンネル/外部入力表示
BD/DVD/CD表示
各種メッセージ表示
リモコンモード(210)

*1 電源「切」時にリモコンの↑↓←→や《決定》ボタンを押すと、現在日時が5秒間表示されます。

11 HDMI表示(246、251)
HDMIケーブルで本機に接続された機器が、本機によって認識されている時に点灯します。

ちょっと一言

- 表示窓の明るさを設定することができます。[設定]の[本体設定]-[本体表示の明るさ]で設定してください(224ページ)。
- 電源が「切」のとき、表示窓は消灯します。

表示窓の表示文字

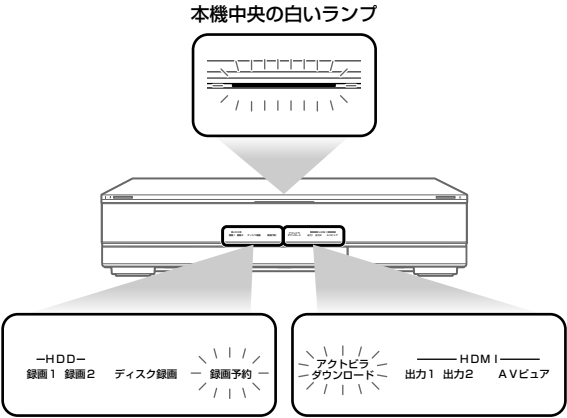
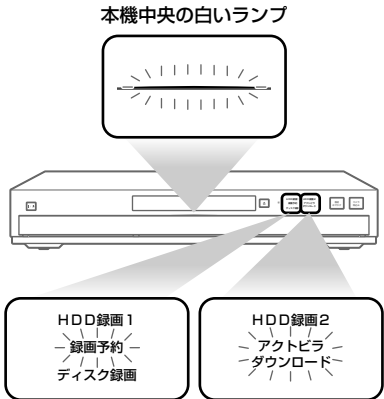
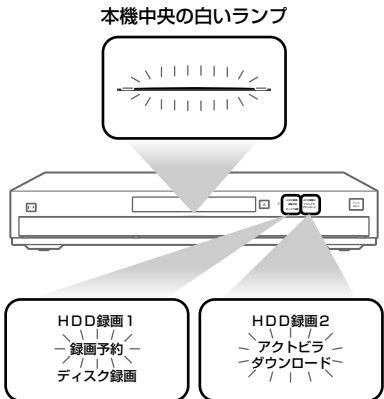
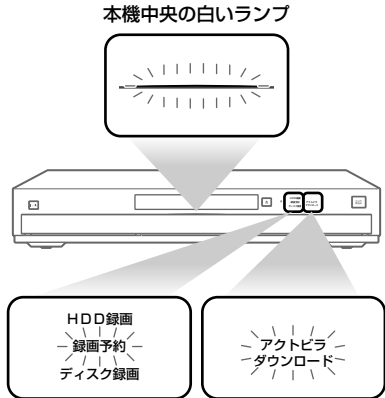
使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。

状況	表示
起動などの処理中のとき	PLEASE WAIT
ディスク読み込み中のとき	LOAD
ディスクが入っていないとき	NO DISC
ビデオカテゴリーを選んだとき	HOME VIDEO
ディスクフォーマット中のとき	FORMAT
ディスクのデータが一杯のとき	DISC FULL
ソフトウェアアップデート実行中のとき*2	UPDATE XX%
ファイナライズ中のとき	FINALIZE
ディスクがエラーで読み込めないとき	CAN'T USE
クイックタイマー動作中のとき*2	HDD XXX
録画終了処理中のとき	INFO WRITE
B-CASカードが入っていないとき	NO CARD

*2 XXには数字が表示されます。

本機前面のランプ

本機前面のランプで、本機のメッセージを確認できます。

BDZ-EX200

BDZ-RX100/BDZ-RX50

BDZ-RX30

BDZ-RS10

本機中央の白いランプが点滅しているとき

→ 本機のソフトウェアをアップデートしているときに点滅します。表示窓に進行状況が表示されます。

録画予約ランプが点滅しているとき

→ 録画予約が登録されているとき、以下の理由で録画できません。
- 直近の予約に対してハードディスクやBDの容量が不足している場合
- 直近の予約がBDへの録画予約であるときに、録画できないディスクが入っている、または、ディスクが入っていない場合

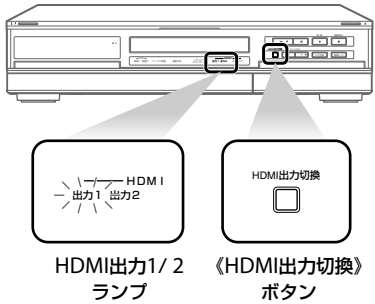
アクトビラダウンロードランプが点滅しているとき

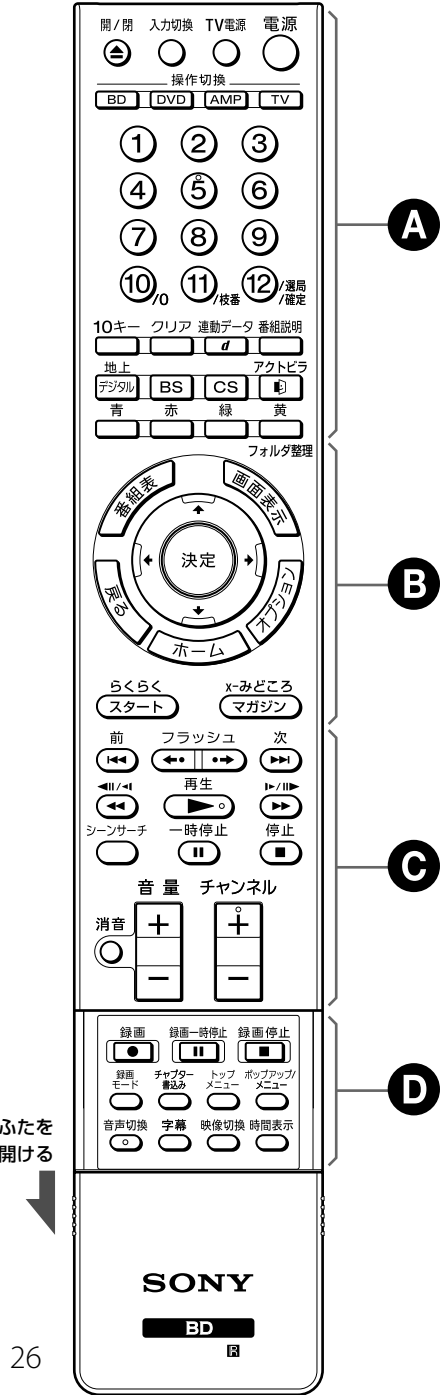
→ アクトビラからのダウンロードがエラーになったときに点滅します。原因を確認してください（167ページ）。

HDMI出力の切り換え

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	×	×	×	×

本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、出力するHDMI出力端子を切り換えてください。
出力中の端子に対応して、本機前面のHDMI出力1/2ランプが点灯します。

HDMI出力1/ 2ランプ　《HDMI出力切換》ボタン

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。
＊のボタンには凸(突起)がついています。(数字ボタンは「５」のみ、チャンネル＋／－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。
再生中に操作できるリモコンのボタンの詳細については、「再生で使える便利な機能」(90ページ)をご覧ください。

A 表示切り換え・テレビ操作部

ボタン	機能
開/閉	トレイ開／閉 (90)
入力切換	入力切換 (42、63、120、207)
TV電源	TV電源 (206、211)
電源	電源 (207)
BD DVD AMP TV	操作機器切換用ボタン (206)
1～12	数字ボタン* (32、33、140、195、207、210、286)
10キー	10キー (32)
クリア	クリア (92、186、187、286)
連動データ	連動データ (34)
番組説明	番組説明 (50)
地上デジタル BS CS	放送切換 (地上デジタル／ BSデジタル／ 110度CSデジタル) (32)
アクトビラ	アクトビラ (165)
青 赤 緑 黄 フォルダ整理	カラーボタン (50、87、286)

B 画面操作部

ボタン	機能
番組表	番組表 (34、76、77)
画面表示	画面表示 (88、140、208)
戻る	戻る (78、166)
↑↓←→/決定	↑↓←→ ／決定
オプション	オプション
ホーム	ホーム
らくらくスタート	らくらくスタート (「らくらくガイド」参照)
x-みどころマガジン	x-みどころマガジン (58)

C 再生操作部

ボタン	機能
フラッシュ	フラッシュ ←/→ (90)
前 次	前／次 (90)
◀II/◀I I▶/II▶	早戻し／早送り、コマ戻し／コマ送り、スロー (90)
再生	再生* (83)
シーンサーチ	シーンサーチ (92)
一時停止	一時停止 (129、135)
停止	停止 (82)
消音	消音
音量 ＋ / －	音量＋／－(207、209)
チャンネル ＋ / －	チャンネル＋* ／－ (207、213)

D 録画・BD・テレビ操作部

ボタン	機能
録画	録画 (41)
録画一時停止	録画一時停止 (42)
録画停止	録画停止 (43)
録画モード	録画モード (41)
チャプター書込み	チャプター書込み (92)
トップメニュー	トップメニュー (90)
ポップアップ/メニュー	ポップアップ／メニュー (90)
音声切換	音声切換* (33)
字幕	字幕 (33)
映像切換	映像切換 (33)
時間表示	時間表示 (91、211)

ちょっと一言

- 本機の電源が「切」のときに以下のボタンを押すと、本機の電源が入ります。
《らくらくスタート》ボタン／《開/閉》ボタン／《ホーム》ボタン／《番組表》ボタン／《x-みどころマガジン》ボタン／ ►《再生》ボタン

使用上のご注意

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれる「ソフトウェア等に関する重要なお知らせ」（306ページ）をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しない。結露（露つき）の原因となります（29ページ）。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと（表示窓が消灯し、さらに録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと）を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機を使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。
通常、本体の電源ボタンで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が、また本機の電源が切れるときには、本体表示窓に「POWER OFF」が点滅表示されます。
電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

動作を受け付けないときは

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面のリセットボタンを押してください。本機が再起動します。

電源を「切」にしているときのご注意

本機は番組表データなどを取得したり、テレビとの高速連動（HDMI機器制御機能）をするために、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクや冷却ファンが動作することがありますが、故障ではありません。

- 次のようなときは、電源が「切」の状態でもファンが回り続けることがあります。
  - 番組表などのデータ取得中
  - ［HDMI機器制御 高速連動］が「入」に設定されているとき
  - ［スタンバイモード］が［高速起動］に設定されているとき
  - 本機のホームサーバー機能（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）や「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワーク録画（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）、リモート録画予約、HDMI機器制御機能を利用しているとき
  - 本機に挿入したB-CASカードが契約切れになっているとき
  - ソフトウェアアップデートを行っているとき
  - 録画中のとき
  - ダビング中のとき
- ［本体設定］の［スタンバイモード］（225ページ）を［標準］にすると、リモート録画予約やHDMI機器制御機能、ブラビアリンクが利用できません。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

個人情報などのお取り扱いについて

- 本製品内のハードディスク、メモリーには、各種機能の設定時に、IPアドレスなど、また、ご使用にあたってお知らせ（メール）、番組購入履歴等が記録されます。
- 本製品内のハードディスク、メモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されている個人情報などのデータを消去することを強くおすすめします。
  消去をしないまま廃棄、譲渡等を行うと、記録されている個人情報が第三者に知られてしまう可能性があります。
  消去の方法については「個人情報の初期化」（233ページ）をご覧ください。
- 本機に記録されている個人情報などのデータは次の内容です。
  - 各種機能の設定時のIPアドレスなど
  - ご使用中に受信したお知らせ（メール）、番組購入履歴など
  - 放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなど
  - アクトビラのサービスに機器を登録した際に発行される機器登録（識別）情報
- アクトビラのホームページで登録した情報は、サービス提供元のサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、アクトビラの規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- MACアドレスは、リモート録画予約の初回登録時にサービス事業者のサーバーに送信されます。
- 本製品内のメモリーには、リモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」および「機器名」が記録されます。
- 本製品内に記録された録画予約およびタイトルなどに関わる情報は、リモート録画予約の利用時にサービス事業者のサーバーへ送信されます。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、314ページに記載のソニーの相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、314ページに記載のソニーの相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS1

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。但し、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 別売りのチューナーをつないで番組を視聴する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- 本機は、無許諾のBD/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、つなぐテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- 著作物を録画する場合は、パッケージに「録画用」、「ビデオ用」または「For Video」と記載されているBDやDVDを使用してください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

著作権の対象になっている画像やデータの記録された"メモリースティック"は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意下さい。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナを使用しているときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。）

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。
配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

音量を調節するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

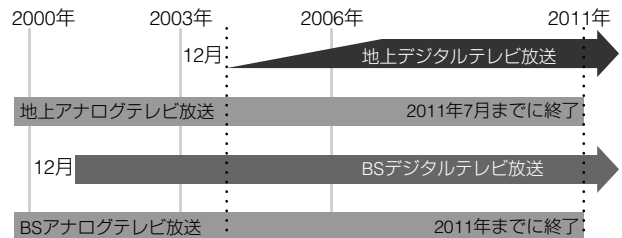
- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - −円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  - −紙やシールの貼られたディスク
  - −セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

テレビを見る

テレビ番組を見る

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **ホームメニューから見たい放送の種類を選ぶ。**

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

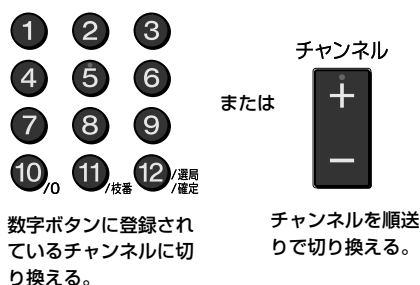
2 **見たいチャンネルを選び、《決定》ボタンを押す。**

リモコンの数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを使って選局する

1 **番組を視聴中に《地上デジタル》ボタン、《BS》ボタンまたは《CS》ボタンで放送の種類を選ぶ。**

ちょっと一言

- 地上アナログ放送はホームメニューから選んでください。

2 **数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。**

放送局のチャンネル番号を指定して選局する

1 **番組を視聴中に《地上デジタル》ボタン、《BS》ボタンまたは《CS》ボタンで放送の種類を選ぶ。**

ちょっと一言

- 地上アナログ放送はホームメニューから選んでください。

2 **《10キー》ボタンを押し、数字ボタンでチャンネル番号を入力する。**

3 **《12》ボタンを押して選局する。**

例：011CH（デジタル放送）の場合

10キー → 10/0 → 1 → 1 → 12/選局/確定

例：37CH（アナログ放送）の場合

10キー → 3 → 7 → 12/選局/確定

枝番がついているチャンネルを選局するには

お住まいの地域で枝番の放送があるときは、本機のホームメニューの（地上デジタル）の列に表示されます。

例：011$_2$CHの場合

10キー → 10/0 → 1 → 1 → 11/枝番 → 2 → 12/選局/確定

テレビ番組を視聴中に、《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「テレビを見る」で利用できるオプション」（35ページ）をご覧ください。

ご注意

- 録画中（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30は「録画1」で録画中）のときは、録画中のチャンネルのみ見ることができます。

番組の映像・音声・字幕を切り換える

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

番組視聴中にリモコンのふたの中の《映像切換》ボタンや《音声切換》ボタン、《字幕》ボタンで切り換える。

切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。
番組によっては押すたびに映像信号や音声信号、字幕放送の字幕言語が切り換わります。
地上アナログ放送は「音声切換」にのみ対応しています。
チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

ちょっと一言

- デジタル放送では、地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報（文字スーパー）を見ることができます。
  文字スーパーを見たいときは、[設定]の[放送受信設定]から[文字スーパー表示]を設定してください（215ページ）。

視聴年齢制限された番組を見る

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

[設定]の[年齢制限設定]から[暗証番号設定]で視聴年齢制限付き番組を見るための暗証番号を設定した場合（227ページ）、その設定に該当する番組を見たり、録画したりするには、暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1 有料番組を選局する。

2 視聴年齢制限番組画面が表示されたら、[暗証番号入力]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 暗証番号入力画面が表示されたら、《1》ボタン～《10》ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する。

《1》ボタン～《10》ボタンを使って入力すると、画面上に＊が表示され、カーソルが右に移動します。
暗証番号を忘れたときは、設定初期化でお買い上げ時の状態に戻してから設定し直してください（233ページ）。

ちょっと一言

- 番号を間違えたときは、←で入力した数字を消去できます。

4 [確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

暗証番号を確認するメッセージが表示されます。

ラジオやデータ放送の番組を楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質で楽しめます(BSデジタル放送／110度CSデジタル放送のみ)。
データ放送では、様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめます。
なお、ラジオ放送／データ放送は録画できません。

1 ホームメニューから見たい放送の種類を選ぶ。

地上デジタル　BS　CS

2 視聴したいラジオまたは独立データのチャンネルを選び、《決定》ボタンを押す。

データ放送で、電話回線やネットワークを使用するサービスを利用するときは、あらかじめ電話回線やネットワークの接続と設定を済ませてください。
また、ラジオ放送やデータ放送の番組表をはじめて利用するときは番組表に何も表示されません。ラジオ放送やデータ放送を一度選局すると、番組表に番組が表示されます。

連動データ放送を見る

デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる放送サービスです。なお、連動データは録画できません。

番組視聴中に《連動データ》ボタンを押し、連動データ放送を表示する。

視聴中の番組に連動データ放送がない場合は何も表示されません。

ご注意

- データ放送で電話回線を使用しているとき(通信表示が点灯しているとき)は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器が使えません。また、通信中は電話料金がかかることがあります。

ラジオやデータ放送の番組を番組表から選ぶ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 《番組表》ボタンを押し、番組表画面を表示する。

2 《地上デジタル》ボタン、《BS》ボタンまたは《CS》ボタンを押し、視聴したい放送の種類に切換え、《オプション》ボタンを押す。

3 [サービス切換]を選び《決定》ボタンを押す。

4 [ラジオ]または[データ]を選び《決定》ボタンを押す。

5 視聴したいラジオまたは独立データのチャンネルを選び、《オプション》ボタンを押す。

《緑》ボタンを押しても選局できます。

6 [選局]を選び、《決定》ボタンを押す。

CATVやスカパー！チューナーの映像を見る

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

CATVやスカパー！など、本機につないだ外部チューナーの映像を見ることができます。

①本機と外部チューナーをつなぐ

本機の音声／映像入力端子と外部チューナーの音声／映像出力端子を、映像／音声ケーブルやS映像ケーブルでつなぐ。

接続方法について詳しくは、「接続する」の「CATVやスカパー！のチューナーをつなぐ」(248ページ)をご覧ください。

②外部チューナーの映像を表示する

1. **ホームメニューから[外部入力]を選ぶ。**
2. **[入力](BDZ-EX200は[入力1]または[入力2]、[入力3])を選び、《決定》ボタンを押す。**
   S映像ケーブルを使う場合は、[設定]の[映像設定]で[映像入力](BDZ-EX200は[映像入力1]または[映像入力3])を選び、[S映像]にしてください。

外部チューナーの映像を視聴中に、《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「テレビを見る」で利用できるオプション」(35ページ)をご覧ください。

「テレビを見る」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
あ行	追いかけ再生	録画中の番組を再生します(87ページ)。
	お気に入り番組表	お気に入り番組表を表示します。
	おでかけ進行状況*2	おでかけ転送実行中におでかけ転送進捗画面を表示します(179ページ)。
か行	画音設定	
	録画設定	録画の画質・映像サイズを調整します(45ページ)。
	画質設定	再生の画質を調整します(98ページ)。
	音声設定	録画の音声を調整します(44ページ)。
	気になる人名	デジタル放送のみ。 見ている番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
	気になるワード	デジタル放送のみ。 見ている番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
	降雨対応切換	降雨対応放送時に降雨対応放送に切り換えます。
さ行	再生停止	再生を停止します。
	情報表示	詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、↑↓で画面をスクロールしてください。
	選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
た行	ダビング進行状況	タイトルダビング実行中にダビング進捗画面を表示します(150ページ)。
	チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(92ページ)。
は行	始めから再生	録画した番組(タイトル)を始めから再生します。
	番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します(50ページ)。(地上アナログ放送を除く)
	番組表	デジタル放送の番組表を表示します。
	番組録画	見ている番組をハードディスクまたはBDへ録画します。
ま行	みどころマガジン	みどころマガジンを表示します。

	オプション機能	できること
ら行	録画延長*[1]	録画中の番組の録画時間を延長します。録画予約延長画面で操作します（52ページ）。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
	録画停止*[1]	録画を停止します。
アルファベット	BD情報	BDの情報を表示します（193ページ）。
	BD録画（記録可能なBDを挿入しているときのみ）	視聴中の入力映像をBDに録画します。
	DVD情報	DVDの情報を表示します（193ページ）。
	HDD情報	ハードディスクの情報を表示します（193ページ）。
	HDD録画	視聴中の入力映像をハードディスクに録画します。

*[1] 「録画1」と「録画2」で同じ番組を予約している場合は、「録画1」に対する操作になります（BDZ-RS10を除く）。

*[2] BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ

録画する

録画ガイド

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

「録画1」と「録画2」の役割の違いについて

BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30には、2つの録画機能（「録画1」と「録画2」）が搭載されています。「録画1」と「録画2」では次のような違いがありますので、目的に応じて利用する録画機能を選んでください。
BDZ-RS10は録画機能がひとつしかないため、「録画2」はありません。「録画1」でできることをご覧ください。

「録画1」、「録画2」でできること

録画1

「録画1」を使うと、録画モードが選べたり、再生するときに便利な機能が使えます。

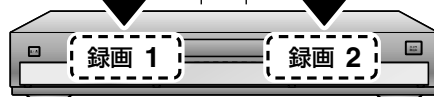
「録画1」で利用できる機能

- おまかせ・まる録
- すべてのデジタル放送、アナログ放送の録画
- 外部入力からの映像の録画
- すべての録画モードでの録画（HDV入力の映像はDRモード、地上アナログ放送やHDVを除く外部入力の映像はDR以外の録画モードが利用可能）

録画2

「録画2」を使うと、録画しながら他のテレビ番組を見たり、BDの再生やダビングなどが利用できます。

「録画2」で利用できる機能

- おまかせ・まる録
- すべてのデジタル放送の録画
- 録画モード「DR」での録画
- 録画中にテレビ番組の視聴
- 録画中にBD再生

「録画1」で録画中に条件付きでできること

できること	条件
「録画2」での録画*1	「録画1」の録画先を[HDD]にしているとき：「録画2」では録画先を[HDD] [BD]にできる 「録画1」の録画先を[BD]にしているとき：「録画2」では録画先を[HDD]にできる
HDD⇔BDダビング（高速のみ）	「録画1」の録画先を[HDD]にしているときのみ*3
ハードディスクやBDに記録したタイトルの再生*5	
フォト再生／取込み／コピー	
テレビ番組の視聴	録画しているチャンネルのみ **ちょっと一言** • 他のチャンネルを視聴したいときは、録画を停止するか「録画2」で録画しなおしてください。

「録画1」で録画したタイトルのみでできること

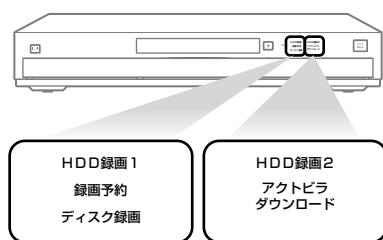
できること
– ダイジェスト再生 – おでかけ転送用ファイルの自動作成*6 – ワンタッチおでかけ転送*7

「録画2」で録画中に条件付きでできること

できること	条件
「録画1」での録画*1	「録画2」の録画先を[HDD]にしているとき：「録画1」では録画先を[HDD] [BD]にできる 「録画2」の録画先を[BD]にしているとき：「録画1」では録画先を[HDD]にできる
ハードディスクやBDに記録したタイトルの再生	「録画2」の録画先を[HDD]にしているときのみ*3
BD-ROMの再生*2	
AVCHDで記録したディスクの再生*2	
フォト再生	
HDV/DVダビング*4	
おでかけ転送（高速転送のみ）、おかえり転送*6	

*1 BDZ-RS10を除く。
*2 BDZ-RS10はDRモードで録画しているときのみ。
*3 BDZ-RS10は録画先を[HDD]にしているときのみ。
*4 BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ。
*5 BDMVの再生を除く。
*6 BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ。
*7 BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ。

録画中の本体表示について

録画の状態により点灯するランプが変わります。

「録画1」で本機のハードディスクに録画しているとき(BDZ-RS10を除く)

「HDD録画1」が点灯します。

「録画2」で本機のハードディスクに録画しているとき(BDZ-RS10を除く)

「HDD録画2」が点灯します。

本機のハードディスクに録画しているとき(BDZ-RS10のみ)

「HDD録画」が点灯します。

BDに録画しているとき

「ディスク録画」が点灯します。

BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30で、2番組同時に録画中のときは、「HDD録画1」「HDD録画2」「ディスク録画」のうち2つのランプが同時に点灯します。

例)「録画1」で本機のハードディスクに録画し、「録画2」でBDに録画しているときの状態

ちょっと一言

- 連続して番組を予約する場合、「録画1」と「録画2」を交互に使って録画することで、番組の最後が途切れることなく録画できます。
- 同じ時間帯に録画予約が重複してしまったときの対処方法について詳しくは、「同じ時間に予約が重なったときは」(52ページ)をご覧ください。

録画モードについて

録画時に設定する画質を録画モードと呼びます。複数の録画モードの中から、好みに合った録画時間や画質のモードを選べます。高画質な録画モードに設定すると、録画に必要なデータ量が多くなるため録画できる時間が短くなります。ER や LR などのモードを選ぶと、使用するデータ量を抑えることができるため、長時間の録画ができますが、データ量が少ないため画質は粗くなります。
詳しくは「録画モード一覧」(299ページ)をご覧ください。

録画制限について

「録画禁止」のコピー制御信号が入っていると録画されません。詳しくは「デジタル放送のコピー制限について」(148ページ)をご覧ください。

録画を始める前に

本機では、録画時の録画モードにより、記録できる映像や音声が異なります。

DRモード(デジタル放送のみ)

映像：必ず映像1の映像を記録します。
音声：すべての音声を記録します。

DRモード以外(デジタル放送のみ)

映像：[詳細設定]で選んだ映像を記録します。
音声：[詳細設定]で選んだ音声を記録します。

変更するには録画予約画面で[詳細設定]を選んでください。記録できる映像や音声について詳しくは、300ページをご覧ください。

字幕放送の録画について

字幕放送の番組を録画するときは、録画モードにより字幕の記録方法が次のように異なります。

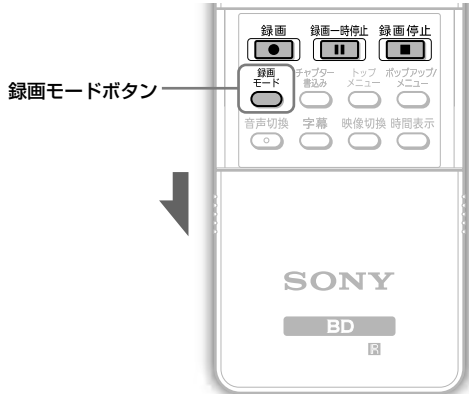
録画モード	記録される字幕
DRモード	字幕放送の字幕データを録画できます。再生時に字幕の入／切が可能です。
DRモード以外	[設定]の[ビデオ設定]から[字幕焼きこみ]を[入]に設定すると字幕を焼きこんで録画します。再生時に字幕を消すことはできません。

放送中の番組を今すぐ録画する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機で受信している放送を視聴中に録画できます。

1 本機でテレビ番組を視聴中に、リモコンのふたの中の《録画モード》ボタンをくり返し押して、録画モードを選び、《決定》ボタンを押す。

録画モードが、画面上と本体表示窓に表示されます。
録画モードについて詳しくは、299ページをご覧ください。

2 ●《録画》ボタンを押して録画を開始する。

録画が開始されると、画面上と本体表示窓に●（赤）が表示され、本体前面のHDD録画ランプが点灯します。
録画中は本体の表示窓に録画経過時間が表示されます。
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30で は「録画1」に録画します。

番組終了まで録画するには

1 「放送中の番組を今すぐ録画する」（41ページ）の手順2で《オプション》ボタンを押す。

2 ［番組録画］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ［録画先］を選び、［HDD］または［BD］に設定する。

4 ［予約確定］を選び、《決定》ボタンを押す。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

ご注意

- BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30で録画ボタンを押して録画するときは、「録画1」を使って録画します。録画中のチャンネル以外には切り換えられません。

二か国語放送を録画する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

二か国語放送（二重音声放送）などの番組を録画するときは、録画モードにより音声の記録が次のように異なります。

録画モード	記録される音声
DRモード（デジタル放送のみ）	「主音声＋副音声」
DRモード以外	［設定］の［ビデオ設定］から［二重音声記録］（218ページ）で設定した音声が記録されます。

デジタル放送では、音声信号が複数ある番組があり、これらの音声信号を第1音声、第2音声と呼びます。複数の音声信号がある番組を録画するときは、録画モードにより音声信号の記録が次のように異なります。

録画モード	記録される音声信号
DRモード（デジタル放送のみ）	すべての音声信号
DRモード以外（デジタル放送のみ）	録画予約設定画面の［詳細設定］（63ページ）で設定した音声信号

外部入力の音声設定については、「二重音声の映像を記録するには」（42ページ）をご覧ください。

外部入力映像を録画する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ビデオカメラに記録されている映像やCATV、スカパー！チューナーなどの映像を本機に録画できます。

①本機に接続する

本機にビデオカメラやCATV、スカパー！チューナーなどをつなぎます。
ビデオカメラの接続方法について詳しくは「ビデオカメラやデジタルスチルカメラをつなぐ」（253ページ）、CATVやスカパー！チューナーなどの接続方法について詳しくは「CATVやスカパー！のチューナーをつなぐ」（248ページ）をご覧ください。
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で「スカパー！HD」対応チューナーの映像を録画したいときは、ネットワーク接続による録画をおすすめします。（74、262ページ）

②録画する

i.LINKケーブルやUSBケーブルを使ってビデオカメラをつないだ場合は、ビデオカメラの映像を本機に取り込めます。詳しくは「映像を取り込む」（117ページ）をご覧ください

1 ホームメニューから［外部入力］を選ぶ。

2 録画したい外部機器をつないだ入力を選び、《決定》ボタンを押す。

外部機器をつないだ端子に応じて、「入力」（BDZ-EX200は「入力1」または「入力2」、「入力3」）、「HDV」＊（ビデオカメラをつないだ場合のみ）、「DV」＊（ビデオカメラをつないだ場合のみ）を選んでください。映像を見ている状態で《入力切換》ボタンをくり返し押して選ぶこともできます。
画面が外部入力の映像に切り換わります。
＊ BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ

3 リモコンのふたの中の《録画モード》ボタンをくり返し押して、録画モードを選ぶ。

録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」（40ページ）をご覧ください。

4 リモコンのふたの中の❚❚《録画一時停止》ボタンを押して、本機の録画を一時停止する。

5 本機の入力端子につないだ外部機器の再生を一時停止する。

6 リモコンのふたの中の❚❚《録画一時停止》ボタンと、外部機器の一時停止または再生ボタンを同時に押して録画を開始する。

録画を止めるには、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタンを押します。

BDに直接録画するには

1 本機にディスクを入れる。

2 「②録画する」（42ページ）の手順3のあと、《オプション》ボタンを押す。

3 ［BD録画］を選び、《決定》ボタンを押す。

4 外部機器の再生ボタンを押して、録画を開始する。

二重音声の映像を記録するには

二重音声付きの映像を録画する場合は、本機で以下の設定が必要です。

1 「②録画する」（42ページ）の手順4を行ったあと、《オプション》ボタンを押し、［画音設定］－［音声設定］で［外部入力音声］を選び、［二重音声］に設定する（44ページ）。

2 ［ビデオ設定］の［二重音声記録］を［主音声］または［副音声］に設定する（218ページ）。

クイックタイマーを使って録画する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

クイックタイマーを使って録画時間を設定できます。

録画中にリモコンのふたの中の●《録画》ボタンをくり返し押して設定する。

録画を終了させたい時刻を30分単位で最長6時間まで設定できます。

→ 30分→1時間→…→5時間30分→6時間→（切）

クイックタイマーを設定すると、本体前面の表示窓に録画の残り時間が表示（例：「1:30」など）されます。

HDD　1:30

ちょっと一言

- クイックタイマーで録画中は、電源を切っても、終了時間まで録画できます。

録画を停止する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 ホームメニューから録画中の放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

2 録画中の番組を選び、《オプション》ボタンを押す。

3 [録画停止]を選び《決定》ボタンを押し、録画停止確認画面で[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。
同じチャンネルを同時に録画しているときは、「録画1」が停止されます。
録画中の番組を視聴しているときに、■《録画停止》ボタンを押しても録画を停止できます。

録画中の番組を視聴中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画する」で利用できるオプション」（46ページ）をご覧ください。

録画の音声を設定する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画するときの音声を設定できます。
録画前に行ってください。

1 本機で外部入力(HDV入力を除く)を視聴中に《オプション》ボタンを押す。

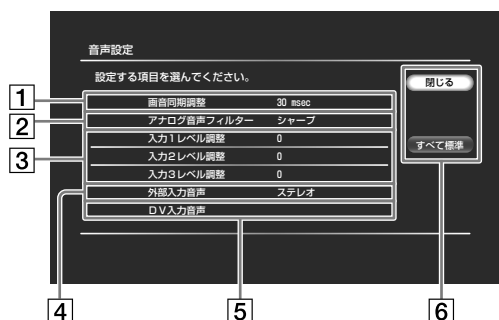
2 [画音設定]から[音声設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

音声設定画面が表示されます。

3 各設定項目を選び、《決定》ボタンを押す。

4 設定を選び、または調整し、《決定》ボタンを押す。

5 設定を調整したら、[閉じる]を選び、《決定》ボタンを押す。

手順3/5 音声設定画面

お買い上げ時の設定は、下線の設定や数値です。

1 画音同期調整
映像と音声のずれを調整するための設定をします。映像に対して音声を遅らせます。(短)<u>0</u>～120msec(長)から設定します。

2 アナログ音声フィルター
<u>シャープ</u>:フラットな音質で明瞭な音像定位が得られます。通常はこの設定にします。
スロー:雰囲気のあるあたたかい音が得られます。

3 入力レベル調整
入力1レベル調整*1(または、外部入力レベル調整*2)(DV/HDV入力を除く):入力1端子*1(または、音声/映像/S映像入力端子*2)からの映像を録画するときの音量を設定します。
(小)−2～<u>0</u>～2(大)
入力2レベル調整*1(DV/HDV入力を除く):入力2端子からの映像を録画するときの音量を設定します。
(小)−2～<u>0</u>～2(大)
入力3レベル調整*1(DV/HDV入力を除く):入力3端子からの映像を録画するときの音量を設定します。
(小)−2～<u>0</u>～2(大)

4 外部入力音声(DV/HDV入力を除く)
外部機器から入力する音声の種類を設定します。
<u>ステレオ</u>:ステレオ音声を記録します。
二重音声:二か国語放送などの二重音声(主音声または副音声)を記録します。

5 DV入力音声*3(DV入力のみ)
デジタルビデオカメラの映像をダビングするときの音声の種類を設定します。
<u>ステレオ1</u>:デジタルビデオカメラで録画したときの音声を記録します。
ミックス:ステレオ1とステレオ2の音声を同時に記録します。
ステレオ2:デジタルビデオカメラでアフレコしたときの音声を記録します。

6 ボタン
閉じる:録画設定画面を終了します。
すべて標準:すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

*1 BDZ-EX200のみ
*2 BDZ-EX200を除く
*3 BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ

録画の画質・映像サイズを変更する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画するときの画質や映像サイズを設定できます。録画前に行ってください。

1 本機で放送または外部入力(HDV入力を除く)を視聴中に《オプション》ボタンを押す。

2 [画音設定]から[録画設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 各設定項目を選び、《決定》ボタンを押す。

[標準設定]－[はい]を選ぶと、[録画設定]のすべての設定を標準値に戻します。

4 設定を選び、または調整し、《決定》ボタンを押す。

5 [録画モード]や、[外部入力録画横縦比]、[DV入力録画横縦比]、[録画画質調整]を調整するときは、手順3 ～ 4をくり返し調整する。

6 [閉じる]を選び、《決定》ボタンを押す。

手順3/6 録画設定画面

お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

1 録画モード
録画先や録画する時間、画質に合わせて録画モードを設定します。「録画モード一覧」(299ページ)をご覧ください。

2 外部入力録画横縦比(DV/HDV入力を除く)
録画する映像に合ったサイズに設定します。
16:9:映像サイズを16:9(ワイド画面)に設定します。
4:3:映像サイズを4:3に設定します。

3 DV入力録画横縦比*(DV入力のみ)
録画する映像に合ったサイズに設定します。
16:9:映像サイズを16:9(ワイド画面)に設定します。
4:3:映像サイズを4:3に設定します。

4 録画画質調整*(DV入力のみ)
項目ごとに画質を調整します。
調整する項目を選び、《決定》ボタンを押します。
コントラスト:コントラストを調整します。
(弱)－3 ～ 0 ～ 3(強)
ブライトネス:全体の明るさを調整します。
(暗)－3 ～ 0 ～ 3(明)
色の濃さ:色をより濃く、またはより薄く調整します。
(薄)－3 ～ 0 ～ 3(濃)
色あい:画面の赤と緑のバランスを調整します。
(赤)－3 ～ 0 ～ 3(緑)

5 ボタン
閉じる:録画設定画面を終了します。
すべて標準:すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

* BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ

「録画する」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
あ行	追いかけ再生	録画中の番組を再生します(87ページ)。
	お気に入り設定	お気に入り番組表の条件を設定します(53ページ)。
	お気に入りへ登録	お気に入り設定画面に切り換えます。
	おすすめ設定*[2]	本機がおすすめする番組を録画するための設定ができます。
	おまかせ設定	x-おまかせ・まる録の録画設定画面に切り換えます。
	おまかせへ登録	お気に入り設定を、x-おまかせ・まる録に登録すると、自動で録画します(54ページ)。
か行	画音設定	画質·音質を調整します(44、45、98ページ)。
	気になる人名	デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
	気になるワード	デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
	語句登録	表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録できます。
さ行	サービス切換	
	テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
	ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
	データ	データ放送のチャンネルを表示します。
	再生	再生を停止したところから再生します。
	次回予約	録画した番組(タイトル)の次回に放映される番組を録画予約します。
	ジャンル色設定	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てます。
	消去	録画した番組(タイトル)を消去します。
	情報表示	録画した番組(タイトル)または予約に関する情報を表示します。
	設定取消	設定した条件を取り消します。
	選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
	全チャンネル表示／設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

	オプション機能	できること
た行	チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(92ページ)。
	重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します(51ページ)。
	特集テーマ選択	x-みどころマガジンで対象とする特集テーマを設定します。
な行	並び替え	タイトルを、日付順(新しい順)、日付順(古い順)、未視聴順、タイトル名順に並び換えます。《緑》ボタンを押しても並び換えできます(97ページ)。
は行	始めから再生	録画した番組(タイトル)を始めから再生します。
	番組検索	
	ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
	キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
	詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
	番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します(50ページ)。(地上アナログ放送を除く)
	番組追跡情報	次の場合に、番組追跡情報を表示します。 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組
	番組表切換	
	みどころマガジン	x-みどころマガジンを表示します。
	お気に入り番組表	お気に入り番組表を表示します。
	地上デジタル	地上デジタル番組表を表示します。
	BSデジタル	BSデジタル番組表を表示します。
	CSデジタル	CSデジタル番組表を表示します。
	番組表を表示	選んだお気に入り番組表を表示します。
	番組名検索情報	毎回録画で[番組名]を選んだときに、番組名の確認や変更ができます。
	日付指定	日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
	日付順表示	予約を日付順に表示します。
や行	優先順表示	優先設定されている番組を先に表示します。
	優先変更	優先順を変更します。
	予約修正*[1]	録画予約情報を修正します(64ページ)。
	予約消去*[1]	録画予約を取り消します(64ページ)。
	1件消去	1件の予約を取り消します。
	選択消去	複数の予約をまとめて取り消します。
	予約名変更	予約名を変更します。

	オプション機能	できること
ら行	録画延長*[1]	録画中の番組の録画時間を延長します。録画予約延長画面で操作します（52ページ）。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
	録画停止*[1]	録画を停止します。
	録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします（50ページ）。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
アルファベット	BD情報	BDの情報を表示します（193ページ）。
	DVD情報	DVDの情報を表示します（193ページ）。
	HDD情報	ハードディスクの情報を表示します（193ページ）。

*[1] 「録画1」と「録画2」で同じ番組を予約している場合は、「録画1」の操作になります（BDZ-RS10を除く）。

*[2] ［おすすめ設定］は★（緑）のときに表示されます。

録画予約する

番組表で録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

番組表から録画したい番組を選ぶだけで、録画予約を設定できます。

アナログ放送の番組は番組表で録画予約できません。「日時指定予約」を使って録画予約してください(60ページ)。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **[録画予約]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **録画したい放送の番組表を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **録画したい番組を選び、《決定》ボタンを押す。**

デジタル放送は各放送のサービスごとに番組表が用意されています。番組表では、8日分のテレビ番組(ラジオ放送は3日分、データ放送は2日分)を確認できます。

5 **←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。**

ハードディスクに録画したいときは[録画先]を[HDD]に、BDに録画したいときは[録画先]を[BD]に設定してください。DVDには直接録画できませんのでご注意ください。

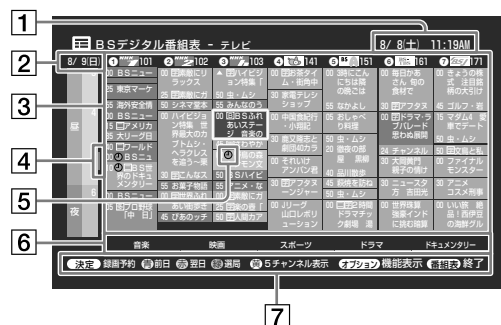
テレビ番組を見ているときに、録画予約で設定した録画が開始されると、録画されるチャンネルに切り換わります(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30は「録画1」を選んだ場合のみ)。

各設定項目の説明については詳しくは、「録画予約の便利な機能」(62ページ)をご覧ください。

6 **[予約確定]を選び《決定》ボタンを押す。**

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。予約が完了すると、本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります。

本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

手順4 デジタル放送番組表画面

1 現在日時
現在の日時を表示します。

2 放送日
現在見ている番組表の日付を表示します。

3 放送局名、放送開始時刻、番組名
放送予定の番組を表示します。↑↓←→で選択箇所を移動できます。

4 マーク
▮(赤):これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。

5 マーク
●(赤):録画中の番組
⏻(赤):録画予約されている番組
⏻(灰):予約の一部が録画できない番組

マークの意味

¥ :有料番組

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。

二 :二か国語放送(41ページ)
S :ステレオ放送
字 :字幕放送(33ページ)
B :圧縮Bモードステレオ放送
N :ニュース番組

6 ジャンル
番組のジャンル情報を色分けで表示します。《オプション》ボタンを押し、[ジャンル色設定]を選ぶと設定できます。

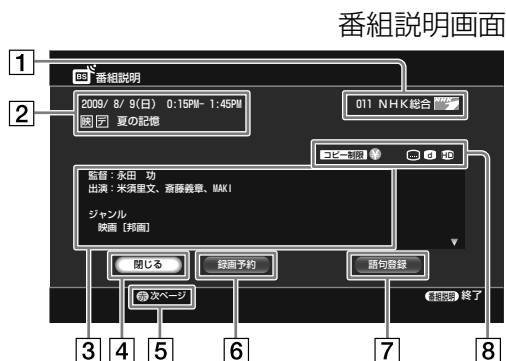
7 操作ガイド
画面の操作に利用できるカラーボタンを表示します。
《青》ボタン:現在表示している番組表の前日の番組表を表示します。
《赤》ボタン:現在表示している番組表の翌日の番組表を表示します。
《緑》ボタン:番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
《黄》ボタン:番組表の表示を5チャンネル表示、3チャンネル表示、7チャンネル表示に切り換えます。

番組説明を見るには

番組表やホームメニュー上のデジタル放送の番組を選択中に《番組説明》ボタンを押して表示する。

ちょっと一言

- 番組を視聴中に《番組説明》ボタンを押しても表示できます。

番組説明画面

1 放送局名
チャンネル番号や放送局名、放送局ロゴマーク

2 放送日・放送時間・番組名

3 番組の情報
出演者や、映像情報（33ページ）、音声情報（33ページ）、ジャンル（76ページ）、データ情報など番組の詳しい内容が表示されます。

4 閉じる
詳細画面を終了し、元の番組表に戻ります。

5 操作ガイド
画面で行う操作に使うボタンを表示します。
《赤》ボタン：次のページを表示します。
《青》ボタン：前のページを表示します。

6 録画予約／予約修正／録画延長
録画予約設定画面を表示します。すでに予約しているときは、予約の修正ができます。録画予約した録画の実行中は録画の延長ができます。

7 語句登録
表示されている詳細の内容から、キーワードを選んで登録できます。

8 マーク
放送サービスの種類（テレビ、ラジオ、データ）などがマークで表示されます。各マークの説明については、328ページをご覧ください。

録画予約の録画を停止するには

録画予約した番組を録画しているときに録画を停止するには、「録画を停止する」（43ページ）をご覧ください。

同じ時間帯に2つ目の番組を録画予約する（2番組同時録画）

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	×

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 ［録画予約］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 録画したい放送の番組表を選び、《決定》ボタンを押す。

4 録画したい番組を選び、《決定》ボタンを押す。

5 ←→で［録画1・2］を選び、↑↓で1つ目の番組を録画予約したときに選んだ設定と異なる設定にする。

1つ目の番組を「録画1」に設定したときは、2つ目の番組は「録画2」に設定してください。

6 ［予約確定］を選び、《決定》ボタンを押す。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

予約の重複を確認するには

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 ［予約確認］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ［予約リスト］を選び、《決定》ボタンを押す。

予約した番組の一覧（予約リスト）が表示されます。予約が重複している番組には、予約重複マーク 🗗 がつきます。予約重複マーク 🗗 は予約の優先順位が低い予約に表示されます。

4 予約が重複している番組を選び、《オプション》ボタンを押す。

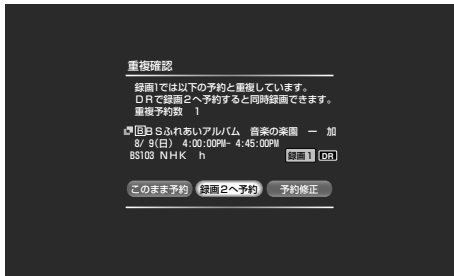
5 ［重複確認］を選び、《決定》ボタンを押す。

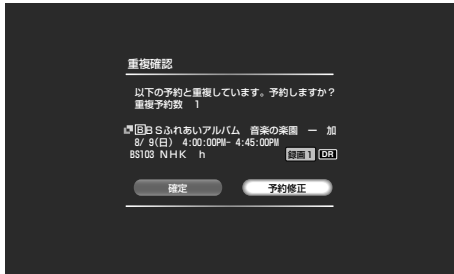
確実に録画したい場合は、オプションメニューの［優先変更］で設定し直してください（66ページ）。

同じ時間に予約が重なったときは

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	×

予約が重複している番組の一部またはすべてを録画できないことがあります。

「録画1」、「録画2」のいずれかで予約が重複している場合

上記画面で「録画1」→「録画2」へ、または「録画2」→「録画1」に切り換えると、録画できるようになります。「録画2」ではDRモードで録画されます。

「録画1」、「録画2」ともに予約が重複している場合

予約を修正し、同時に録画したい番組を選び直してください。
[このまま予約]または[確定]を選ぶと、予約をそのまま設定します。予約の優先順位にしたがって録画します(66ページ)。
[予約修正]を選ぶと、録画予約設定画面に戻り、予約の修正ができます。予約を取り消したい場合は、録画予約設定画面で[中止]を選び《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 録画中(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30は「録画1」で録画中)、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見る場合は、テレビ本体側で見たいチャンネルに切り換えてください。
- 字幕付きのデジタル放送をDRモード(299ページ)で録画すると、字幕データも記録されます。また、[字幕焼きこみ]を[入]にすると、DRモード以外による録画でも、字幕を表示した状態で録画できます。(219ページ)。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。
- 録画する前に、録画の画質や映像サイズを調整できます。「録画の画質・映像サイズを変更する」(45ページ)をご覧ください。

ご注意

- 「録画1」から「録画2」に変更すると、「ワンタッチ転送」は「切」になり、ワンタッチ転送できなくなります(BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)。

以下のことはできません

- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合に、BD-RE2.1規格に対応したプレーヤー以外で再生すること。
- 1回の録画で、8時間を越えた録画をすること。
- ハードディスクやBD-RE/BD-Rに録画している1タイトルに、チャプターマークを99個以上入れること。
- ハードディスクに501個以上(BDZ-EX200のみ1,000個以上)、BDに201個以上の番組を録画すること。録画できる番組の最大数は本機の使いかたによって異なります。
- 2番組同時録画(BDZ-RS10を除く)の録画先を両方ともBDにすること。
- アナログ放送の番組を2つ同時に録画すること。

録画中に録画時間を延長する

1 録画中の番組を視聴中に《オプション》ボタンを押す。

2 [録画延長]を選ぶ。

3 ←→で[延長]を選び、↑↓で延長時間を設定する。

10分ごとに最長60分まで録画時間を延ばすことができます。

4 [予約確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

ちょっと一言

- [放送受信設定]の内、該当するチャンネル登録で[+／−選局]を[選局しない](213、214ページ)にすると、見ない放送局を番組表で表示しないようにしたり、《チャンネル+ ／−》ボタンで選局しないようにできます。番組を共有しているチャンネルは、[選局する]に設定していても、番組表に表示されないことがあります。また、チャンネル番号の下一桁が「1」のチャンネルは[選局しない]を選ぶことができません。
- デジタル放送の番組表データが、番組開始直前に変更になった場合は検索が間に合わないことがあります。

ご注意

- BDに多くの番組や映像が記録されている場合、録画が始まるまで数分かかることがあります。
- 「録画1」から「録画2」に変更すると、「ワンタッチ転送」は「切」になり、ワンタッチ転送できなくなります(BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)。
- 電源が入っているときに停電が発生したり、本機を再起動(リセット)させたりすると、デジタル放送の番組表データは全て失われます。

以下のことはできません

- DVDに直接録画すること。
- 本機で41件以上の録画予約をすること。
- ＜ブラビア＞のリモコンで設定した予約を延長すること。
- 休止中のチャンネルを番組表に表示すること。
- データ放送や、BS/110度CSデジタル放送のラジオ放送を録画すること。
- 次の番組を番組表に表示すること。
  - ［選局しない］設定（213、214ページ）をした放送局の番組
  - CATV独自の番組*

* CATVのVHF/UHF放送の番組が表示できることがあります。ご利用のCATV局にお問い合わせください。

- 「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワーク録画予約を延長すること（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）。

お気に入り番組表で録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

デジタル放送の番組の中から、あらかじめ設定しておいたジャンルや、キーワードの条件にあった番組を一覧表示します。「気になる検索」（76ページ）で選んだ人名や、キーワード、または番組検索で使った条件を登録すれば、いつでも好きなときに、お気に入りの番組を探し予約できます。
また、「お気に入り番組表」の［おすすめ番組］（54ページ）では、本機がお客様の好みを学習し、おすすめする番組を表示します。

番組表を使うための準備をする

1 ホームメニューから録画したい放送の種類を選ぶ。

地上デジタル　BS　CS

2 ［番組表/x-みどころマガジン］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ［お気に入り番組表］を選び、《決定》ボタンを押す。

4 お気に入り条件が設定されていない行を選び、《決定》ボタンを押す。

5 ［お気に入り設定］を選び、《決定》ボタンを押す。
お気に入り設定画面が表示されます。

6 ［お気に入り条件］を選び、《決定》ボタンを押す。
お好みの番組を表示するためのジャンルやキーワードを設定します。自分で設定するには［詳細設定］を選びます。

7 ［詳細設定］を選び、《決定》ボタンを押す。

8 ［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］の設定欄や［時間帯］、［キーワード検索方法］を選び、それぞれ設定する。

9 ［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。

10 **［放送］、［対象チャンネル］、［有料番組］をそれぞれ設定する。**

［対象チャンネル］で［チャンネル選択］を選ぶと、お好みのチャンネルに限定できます。

11 **［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

設定した条件にあったお気に入り番組表を表示します。

番組表の設定をx-おまかせ・まる録に登録するには

お気に入りの条件をx-おまかせ･まる録に登録すると、自動で録画できます。

1 **お気に入り番組表を表示中に《オプション》ボタンを押す。**

2 **［おまかせへ登録］を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **おまかせ条件の登録先を選び、《決定》ボタンを押す。**

録画予約する

1 **ホームメニューから録画したい放送の種類を選ぶ。**

地上デジタル　BS　CS

2 **［番組表/x-みどころマガジン］を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **［お気に入り番組表］を選び、《決定》ボタンを押す。**

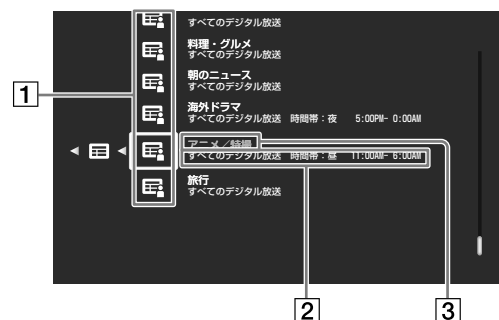
設定されているお気に入り番組表が一覧で表示されます。

4 **見たいお気に入り番組表を選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだお気に入り番組表が表示されます。

5 **録画したい番組を選び《決定》ボタンを押す。**

6 **［予約確定］を選び《決定》ボタンを押す。**

手順3　お気に入り番組表選択画面

1 おすすめ／お気に入りアイコン

：本機がお客様の好みを学習し、おすすめする番組を登録したもの。

（灰）：お気に入りの条件が設定されていないもの。

（白）：自分で設定した条件で登録されたもの。

（青）：あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って登録されたもの。

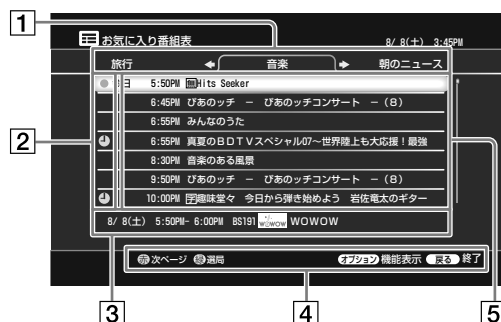
2 放送の種類／時間帯

［お気に入り設定］で設定した放送の種類や時間帯を表示します。

3 お気に入り条件／キーワード

［お気に入り設定］で設定した条件やキーワードを表示します。

お気に入り番組表の一覧を表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画予約する」で利用できるオプション」（68ページ）をご覧ください。

手順5　お気に入り番組表画面

1 ジャンル／キーワード／おすすめ

で設定条件ごとの番組表や本機がおすすめする番組表に切り換えます。

2 マーク

❙：これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。

●（赤）：録画中の番組

⏻（赤）：録画予約されている番組

⏻（灰）：予約の一部が録画できない番組

3 番組説明

4 操作ガイド

画面で行う操作に使うボタンを表示します。

5 放送日、放送時間、番組名

お気に入り番組表を表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画予約する」で利用できるオプション」（68ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- ［お気に入り条件］の［詳細設定］で［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］は合わせて7つまで設定できます。各項目の組み合わせは変更できます。変更方法について詳しくは「ジャンルやキーワード、除外ワードの組み合わせを変更するには」（57ページ）をご覧ください。
- 番組検索結果画面から、オプションの［お気に入りへ登録］を選ぶと、検索条件をお気に入り番組表に登録できます。
- 番組検索結果画面から、オプションの［おまかせへ登録］を選ぶと、検索条件をx-おまかせ・まる録に登録できます。
- 番組表では、⬅●/●➡《フラッシュ ⬅/➡》ボタンでページ戻し・送りができます。

ご注意

- 本機の電源を入れてから数分間は、お気に入り番組表の表示に時間がかかることがあります。

ジャンルやキーワードを指定して自動録画する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、本機が自動でその条件にあった番組を探し、録画します（x-おまかせ・まる録）。（地上アナログ放送を除く）

1 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

2 **［x-おまかせ・まる録］を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **ジャンル、キーワードが設定されていないアイコン（灰）を選び、《決定》ボタンを押す。**

x-おまかせ・まる録設定画面が表示されます。

4 **［おまかせ条件］を選び、《決定》ボタンを押す。**

好みの番組を自動録画するためのジャンルや、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを設定します。自分で設定するには［詳細設定］を選びます。また、あらかじめ設定されているものから選んだり、キーワードのみを設定することもできます（手順7へ進む）。

5 **［詳細設定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

6 **［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］の設定欄や［時間帯］を選び、それぞれ設定する。**

7 **［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

8 **［放送］、［対象チャンネル］、［録画モード］をそれぞれ設定する。**

9 **［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

おまかせ条件が設定され、x-おまかせ・まる録一覧画面に戻ります。

x-おまかせ・まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

手順3 x-おまかせ・まる録設定一覧画面

1 おまかせ条件／キーワード

2 おまかせアイコン

★（緑）

おすすめ：本機がおすすめするデジタル放送の番組を自動録画するための設定です。

★

スカパー！ｅ２おすすめ：本機がおすすめするスカパー！ｅ２の番組を自動録画するための設定です。

☆（白）

自分で設定した録画条件：自分で録画条件やキーワードを登録すると、このアイコンが付きます。

★（青）

プリセットキーワードの録画条件：あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って録画条件を登録すると、このアイコンが付きます。

★（灰）

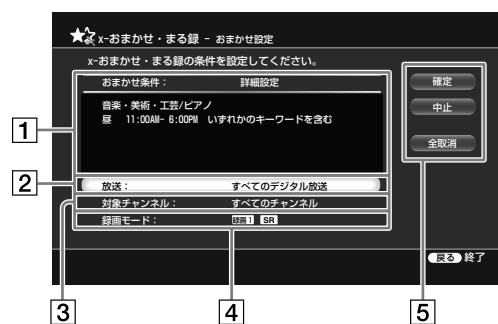
条件が設定されていないものです。

3 放送の種類

4 時間帯（詳細設定のときのみ）

5 自動録画・録画モード・録画1 ／録画2（BDZ-RS10を除く）

x-おまかせ・まる録設定一覧画面を表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画予約する」で利用できるオプション」（68ページ）をご覧ください。

手順8/9 おまかせ設定画面

1 おまかせ条件

現在設定しているおまかせ条件です。

2 放送

自動録画の対象とする放送の種類を選びます。

3 対象チャンネル

自動録画の対象とするチャンネルを選びます。［チャンネル選択］を選ぶと、好みのチャンネルに限定できます。

すべてのチャンネル：すべてのチャンネルが対象になります。

チャンネル選択：［放送］で［すべてのデジタル放送］を選んだ場合、［放送変更］で放送の種類を変更できます。

4 録画モード

自動録画する場合の録画モードを選びます。

BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30の場合

録画1
DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER
録画2
DR

BDZ-RS10の場合

DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER

5 ボタン

確定：設定を確定します。

中止：おまかせ設定を中止し、x-おまかせ・まる録設定一覧画面に戻ります。

全取消：設定内容を取り消します。

おまかせ条件を変更・取り消すには

1 「ジャンルやキーワードを指定して自動録画する」(55ページ)の手順3で変更・取り消したい録画条件を選ぶ。

2 手順4以降を行い修正したい項目を選び再度設定する。取り消したいときは[全取消]を選んで《決定》ボタンを押し、さらに[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

ジャンルやキーワード、除外ワードの組み合わせを変更するには

おまかせ設定のジャンルとキーワード、除外ワードは合わせて7つまで設定できます。お買い上げ時は、ジャンル設定欄が1つ、キーワード設定欄が4つ、除外ワード設定欄が2つの組み合わせですが、設定したい内容にあわせて、キーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。ただし、除外ワードのみの設定の条件は作れません。

1 「ジャンルやキーワードを指定して自動録画する」(55ページ)の手順6で、[ジャンル]や[キーワード]、[除外ワード]を選び、《決定》ボタンを押す。

2 [ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]の中から組み合わせたい項目を選び《決定》ボタンを押す。

本機がおすすめする番組を自動録画する

デジタル放送の番組で、お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動録画する設定を行います。

1 「ジャンルやキーワードを指定して自動録画する」(55ページ)の手順3で、[おすすめ]または[スカパー！ｅ２おすすめ]を選び、《決定》ボタンを押す。

2 [自動録画]、[放送]、[対象チャンネル]、[録画モード]を選び、それぞれ設定する。

3 [確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

おすすめ自動録画の設定を解除するには

1 「本機がおすすめする番組を自動録画する」(57ページ)の手順2で[自動録画]を選び、《決定》ボタンを押す。

2 [切]を選び《決定》ボタンを押し、さらに[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

自動で録画される番組を確認する

おまかせ予約リストを使うと、自動録画される予定のすべての番組を一覧で確認できます。
自動録画の録画条件で抽出された番組だけでなく、本機が探し出したおすすめ度の高い番組も一覧に表示します。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 [予約確認]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 [おまかせ予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押す。

おまかせ予約リストが表示されます。
自動録画される予定の番組が一覧で確認できます。

おまかせ予約リストを表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画予約する」で利用できるオプション」(68ページ)をご覧ください。

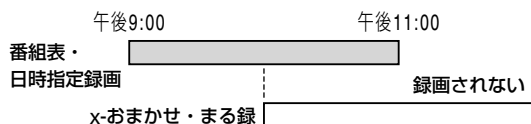
おまかせ予約リストの番組を確実に録画するには

おまかせ予約リストに表示されていても録画されない番組もあります。
おまかせ予約リストの番組を確実に録画したいときは、《オプション》ボタンを押して、[録画予約]を選んでください。

旬の番組を録画予約する

x-おまかせ・まる録と他の録画予約が重なったら

x-おまかせ・まる録以外の録画予約が優先されるため、x-おまかせ・まる録による録画予約は行われません。

午後9:00　午後11:00
番組表・日時指定録画
録画されない
x-おまかせ・まる録

x-おまかせ・まる録同士が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のものが優先されます。

ちょっと一言

- ハードディスクの残量が少なくなった場合、x-おまかせ・まる録で録画したタイトルが自動消去されることがあります。消去したくないときはタイトルを消去できないようにしてください(188ページ)。
- 本機が学習した情報は、[設定]の[お買い上げ時の状態に設定]で初期化できます(233ページ)。

ご注意

- x-おまかせ・まる録は録画する番組を番組表データの中から探します。番組表データが受信できない場合、x-おまかせ・まる録は正しく動作しません。
- x-おまかせ・まる録では、契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。
- x-おまかせ・まる録設定の内容を変更／削除しても、変更直後は、変更前の設定で録画されることがあります。変更直後に確実に録画したい番組があるときは、番組表を使って録画予約してください。

以下のことはできません

- 41件以上のおまかせ予約を表示すること。
  おまかせ予約リストの内容は、おまかせ設定を追加／変更／削除した時や番組情報が更新された時に応じ、随時更新されます。

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

今"旬"と思われるテーマやキーワードを抽出し、日替わりでみどころ番組を表示します(x-みどころマガジン)。

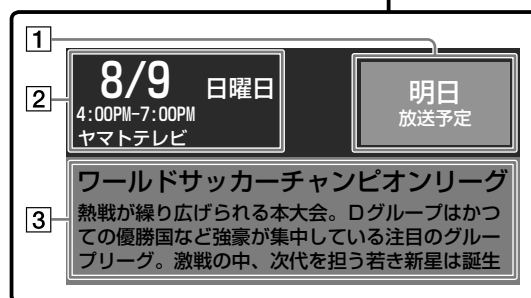
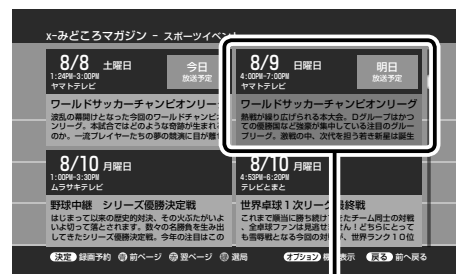
1 《x-みどころマガジン》ボタンを押して表示する。

ホームメニューから、[ビデオ]－[録画予約]－[x-みどころマガジン]を選んでも、x-みどころマガジンを表示できます。
x-みどころマガジンをはじめて利用するときは、テーマ設定の確認画面が表示されます。すべてのテーマをそのまま利用したい場合は、[確定]を選んでください。利用するテーマを絞りたい場合は、[特集テーマ選択]を選んで利用しないテーマを解除し、[確定]を選んでください。選択しているテーマには✔が付きます。

2 見たい特集などを選び、《決定》ボタンを押す。

3 見たい番組を選び、《決定》ボタンを押す。

x-みどころマガジンには8日分の番組情報が表示されます。
番組の状態によって、できることが異なります。

手順3 x-みどころマガジン番組選択画面

1 番組の状態
番組の状態については、次ページをご覧ください。
2 放送日時と放送局名
3 番組名・番組の詳細

番組の状態

現在放送中の番組

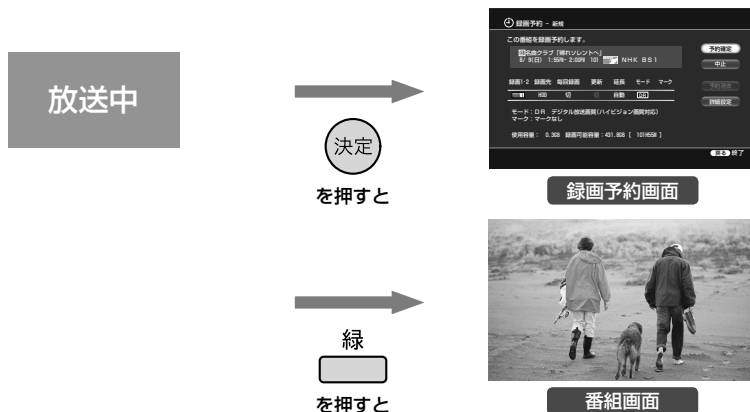
放送中

決定
を押すと

録画予約画面

選んだ番組を録画します。詳しくは、「番組表で録画予約する」(50ページ)の手順5以降をご覧ください。

緑
を押すと

番組画面

選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。テレビ番組視聴中の操作について詳しくは、「テレビ番組を見る」(32ページ)をご覧ください。

これから放送される番組

まもなく 放送開始

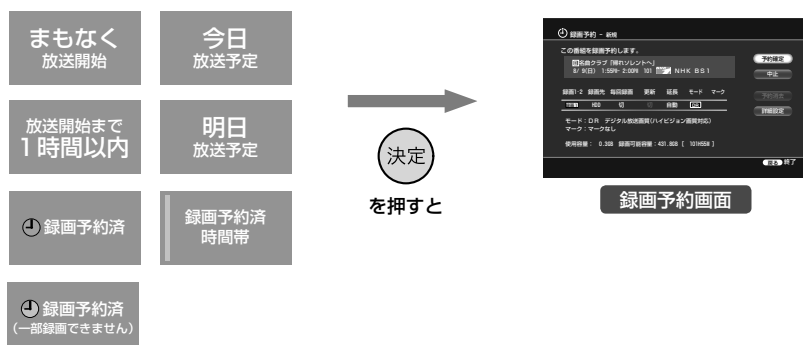
今日 放送予定

放送開始まで 1時間以内

明日 放送予定

録画予約済

録画予約済 時間帯

録画予約済 (一部録画できません)

明後日以降の番組には番組の状態が表示されませんが、録画予約できます。
番組状態アイコンの左側に表示される縦線は、録画予約済みの他の番組と時間帯が重複していることを意味します。

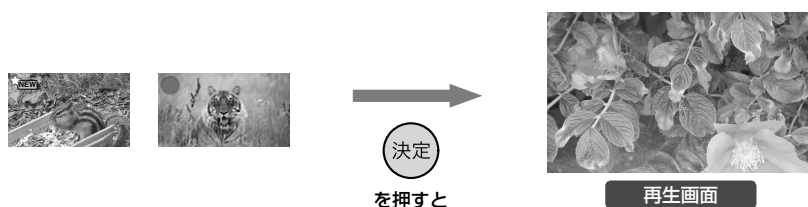
決定
を押すと

録画予約画面

選んだ番組を録画します。詳しくは、「番組表で録画予約する」(50ページ)の手順5以降をご覧ください。

録画された番組

決定
を押すと

再生画面

タイトルを再生します。再生中の操作について詳しくは「再生で使える便利な機能」(90ページ)をご覧ください。

x-みどころマガジンを表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画予約する」で利用できるオプション」(68ページ)をご覧ください。

ご注意

- x-みどころマガジンは、お買い上げ直後はすぐに表示されません。表示されるまで1日程度お待ちください。
- 利用するテーマ数や番組表の受信状況によっては、x-みどころマガジンに表示される番組が少なくなります。

次回の番組を録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した番組（タイトル）の次回に放映される番組を検索し、録画予約を簡単に行うことができます（次回予約）。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 次回予約したいタイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 [次回予約]を選び、《決定》ボタンを押す。

番組が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示されます（62ページ）。

次回予約の番組の検索はタイトルの開始時刻1時間前から終了時刻1時間後の間で行います。

タイトルが放送中または録画中のときは、現在放送中の番組が検索されます。

次回予約の番組の検索は現在から1週間後までの範囲で行います。

番組が見つからなかった場合に、[番組名で自動予約]を選ぶと、番組名による録画予約設定画面が表示されます（62ページ）。[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押すと、今後対象番組が現れたときに録画されます。

4 [予約確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

ご注意

- タイトル名を変更したタイトルを使って番組を検索すると、番組が見つからなかったり番組名が似ている他の番組が検索されることがあります。

日時を指定して録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1ヵ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と合わせて、40番組まで予約できます。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 [録画予約]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 [日時指定予約]を選び、《決定》ボタンを押す。

録画予約設定画面が表示されます。

録画予約設定画面について詳しくは「録画予約の便利な機能」（62ページ）をご覧ください。

4 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。

ハードディスクに録画したいときは[録画先]を[HDD]に、BDに録画したいときは[録画先]を[BD]に設定してください。

予約名を変更したいときは、[予約名変更]を選び、名前を入力してください（286ページ）。

5 [予約確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

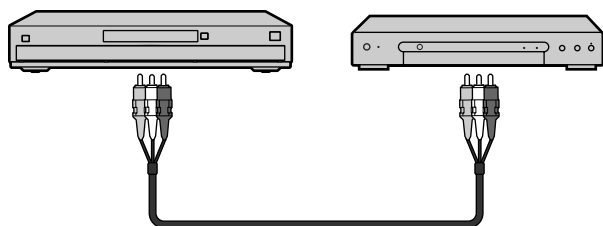
本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機状態になります。

本機の電源を切っていても、録画を行います。

BS/110度CSデジタル放送のときは、[詳細設定]で指定時間内の視聴年齢制限番組を録画するかどうかを設定できます。

外部入力からの番組を録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

デジタルCS放送や、CATV局のBS/110度CSデジタル放送、有料チャンネルなどを外部チューナーを使って録画する場合、本機と外部チューナーを接続して、日時指定予約を使って録画予約します。
ネットワークを使って録画する場合は、「「スカパー！ HD」対応チューナーで録画予約する」（74ページ）をご覧ください。

①本機と外部チューナーをつなぐ

本機の音声／映像入力端子と外部チューナーの音声／映像出力端子を、映像／音声ケーブルやS映像ケーブルでつなぐ。

接続方法について詳しくは、「CATVやスカパー！のチューナーをつなぐ」（248ページ）をご覧ください。

②外部チューナーの映像を表示する

1 ホームメニューから［外部入力］を選ぶ。

2 ［入力］（BDZ-EX200は［入力1］または［入力2］、［入力3］）を選び、《決定》ボタンを押す。

S映像ケーブルを使う場合は、［設定］の［映像設定］で［映像入力］（BDZ-EX200は［映像入力1］または［映像入力3］）を選び、［S映像］にしてください。

③外部チューナーの録画予約を設定する

外部チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画したい日時、チャンネルで録画予約の設定を行ってください。

④本機で日時指定予約を設定する

「③外部チューナーの録画予約を設定する」で設定した予約と同じ日時で、本機の日時指定予約を設定します。

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 ［録画予約］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ［日時指定予約］を選び、《決定》ボタンを押す。

4 ←→で［CH］を選び、↑↓で［入力］（BDZ-EX200は［入力1］または［入力2］、［入力3］）に設定し、《決定》ボタンを押す。

他の項目を設定する場合は、←→で各設定項目を選び、↑↓で設定してください。

ちょっと一言

- ハードディスクに録画したいときは［録画先］を［HDD］に、BD録画したいときは［録画先］を［BD］に設定してください。
- 予約名を変更したいときは、［予約名変更］を選び、名前を入力してください（286ページ）。

5 ［予約確定］を選び、《決定》ボタンを押す。

ご注意

- AVマウス付きテレビ／チューナーと本機の録画予約を同時に設定すると、正しく録画されないことがあります。

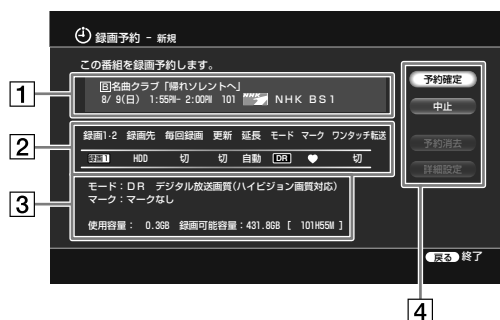
以下のことはできません

- DVDに直接録画すること。

録画予約の便利な機能

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画予約時に表示される録画予約設定画面には、録画に便利な機能がたくさんあります。

録画予約設定画面

1 番組名・放送日時・放送局名

2 設定項目

録画1・2（BDZ-RS10を除く）：「録画1」または「録画2」を選びます。アナログ放送は「録画1」のみ選べます。「録画1」と「録画2」の違いについては「録画ガイド」をご覧ください（38ページ）。同じ時間帯のアナログ放送を録画する予定があるときや、同じ時間帯に他のチャンネルを視聴したいときは、デジタル放送の録画予約は「録画2」を選んでください。

[録画2]を選ぶと[ワンタッチ転送]は[切]になります（BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）。

録画先：[HDD]または[BD]を選びます。

[HDD]：本機のハードディスクに録画します。

[BD]：BDに直接録画します。[BD]を選ぶと[ワンタッチ転送]は[切]になります（BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）。

毎回録画：連続ドラマなどの番組を定期的に録画する条件を設定します。

[毎日]：毎日放送される特定の番組を毎回録画します。

[毎(日)]：日曜日に放送される特定の番組を毎回録画します。

[毎(月)]：月曜日に放送される特定の番組を毎回録画します。

[毎(火)]：火曜日に放送される特定の番組を毎回録画します。

[毎(水)]：水曜日に放送される特定の番組を毎回録画します。

[毎(木)]：木曜日に放送される特定の番組を毎回録画します。

[毎(金)]：金曜日に放送される特定の番組を毎回録画します。

[毎(土)]：土曜日に放送される特定の番組を毎回録画します。

[月-金]：月曜日から金曜日にかけて放送される特定の番組を毎回録画します。

[月-土]：月曜日から土曜日にかけて放送される特定の番組を毎回録画します。

[番組名]：番組名を検索して自動で録画予約します。

毎回録画は設定した日の番組から実行されます。

更新（HDDのみ）：[毎回録画]で、連続ドラマなどの番組を定期的に録画する設定にしたとき、前回録画した番組（タイトル）を消去した上で新しい回を更新して録画するか選びます。[入]を選ぶと更新して録画します。

延長：録画予約の終了時間を遅らせます。10分ごとに最長60分まで延長できます。スポーツ延長対応（67ページ）の延長時間と合わせると最長180分になります。デジタル放送の予約の場合は、放送の延長に合わせて本機が自動的に録画の終了時間を延長するため、[自動]に設定することをおすすめします。

モード：録画モードを変更します。録画モードについて詳しくは「録画モード一覧」をご覧ください（299ページ）。

「録画2」を選ぶと録画モードは[DR]に設定されます（BDZ-RS10を除く）。

リモコンのふたの中の《録画モード》ボタンでも変更できます。

マーク（HDDのみ）：お好みのマークを付けることができます（96ページ）。

ワンタッチ転送（HDDのみ）（BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）：“ウォークマン”や“PSP”、携帯電話などに《番組おでかけ》ボタンで映

像を転送(179ページ)するか選びます。ここで[入]を選ぶと、ワンタッチ転送できます。

3 録画予約の情報

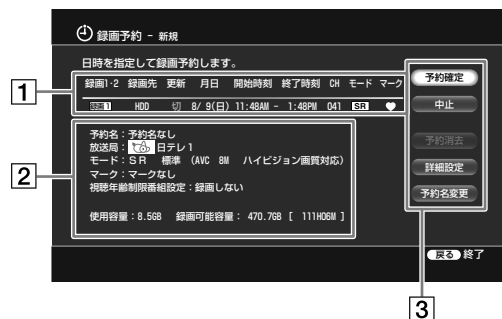
4 ボタン

予約確定：予約設定を確定します。

中止：予約設定の変更を中止します。

予約消去：予約を取り消します。

詳細設定：記録する信号を選びます(録画モードがDR以外でデジタル放送のみ)。

日時指定録画予約画面

1 設定項目

録画1・2(BDZ-RS10を除く)：「録画1」または「録画2」を選びます。アナログ放送は「録画1」のみ選べます。「録画1」と「録画2」の違いについては「録画ガイド」をご覧ください(38ページ)。同じ時間帯のアナログ放送を録画する予定があるときや、同じ時間帯に他のチャンネルを視聴したいときは、デジタル放送の録画予約は「録画2」を選んでください。

録画先：[HDD]または[BD]を選びます。

[HDD]：本機のハードディスクに録画します。

[BD]：BDに直接録画します。

更新(HDDのみ)：[月日]で、連続ドラマなどの番組を定期的に録画する設定にしたとき、前回録画した番組(タイトル)を消去した上で新しい回を更新して録画するか選びます。[入]を選ぶと更新して録画します。

月日：録画の日付を選びます。

次の順で選べます。

今日 ➜ 明日 ➜……… (1ヵ月後) ➜ 毎(日) ➜……… ➜ 毎(土) ➜ 月-金 ➜ 月-土 ➜ 毎日 ➜ 今日

開始時刻：開始時刻を設定します。

終了時刻：終了時刻を設定します。

CH：チャンネルを選びます。

次の順で選べます。

BDZ-EX200の場合：地上アナログ*1 ➜ 地上デジタル ➜ BSデジタル ➜ CSデジタル ➜ 入力1*1 ➜ 入力2*1 ➜ 入力3*1

*1 「録画1」のみ

BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30/BDZ-RS10の場合：地上アナログ*2 ➜ 地上デジタル ➜ BSデジタル ➜ CSデジタル ➜ 入力*2

*2 BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30は「録画1」のみ

《地上デジタル》ボタン、《BS》ボタン、《CS》ボタンで放送の種類を、《入力切換》ボタンで外部入力の種類を選ぶこともできます。

モード：録画モードを選びます。

リモコンのふたの中の《録画モード》ボタンでも録画モードを変更できます。「録画1・2」で「録画2」を選ぶと録画モードは「DR」に設定されます(BDZ-RS10を除く)。

マーク(HDDのみ)：録画したいタイトルに付けるマークを選びます。

2 録画予約の情報

3 ボタン

予約確定：予約設定を確定します。

中止：予約設定の変更を中止します。

予約消去：予約を取り消します。

詳細設定：記録する信号を選びます(録画モードがDR以外でデジタル放送のみ)。

予約名変更：予約名を変更します。

選んだ番組名でうまく予約できないときは

[毎回録画]の[番組名]で選んだ番組名でうまく予約できないときは、検索されやすいように番組名を変更してください。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 [予約確認]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ［予約リスト］を選び、《決定》ボタンを押す。

4 予約リストで番組を選び、《オプション》ボタンを押す。

5 ［番組名検索情報］を選び、《決定》ボタンを押す。

指定した番組の録画中は表示されません。

6 ［番組名変更］を選び、《決定》ボタンを押す。

番組名を変更します。

ちょっと一言

- 選んだ番組名でうまく予約されないときは、検索する名前が検索されやすいように変更してください。
  例：ドラマ「ABC」→ABC
- ［更新］を［入］にすると（62ページ）、見ていないタイトルでも、次回、予約した番組の録画が開始する前に消去されます。ただし、以下の場合は消去されません。
  - タイトルがプロテクト設定されたとき
  - タイトルが編集されたとき
  - プレイリストに加えられたとき
  - タイトルを再生中だったとき
  - 録画開始時刻から8時間経っていないタイトル
- 検索結果が見つからなかった場合は、予約リスト上で灰色で表示されます。

予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

前の番組の最後の約30 ～ 40秒が録画されません。前後の録画を「録画1」と「録画2」に分けて予約すると、途切れずに録画されます（BDZ-RS10を除く）。

録画予約を確認する・変更する・取り消す

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

予約リストを使って、予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更ができます。

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 ［予約確認］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ［予約リスト］を選び、《決定》ボタンを押す。

予約した番組の一覧（予約リスト）が表示されるので、予約内容を確認してください。

4 ［予約リスト］から、予約内容を確認・変更・取り消したい番組を選び、《決定》ボタンを押す。

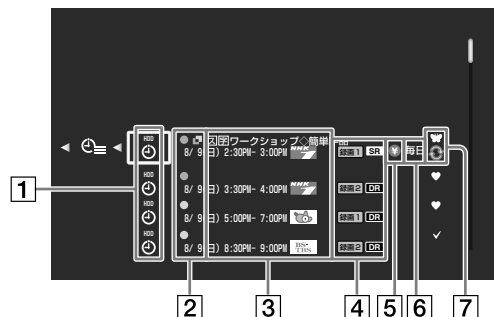
《緑》ボタンを押すと、予約リストの並び替えができます。

5 予約内容の確認･変更･取り消しを行う。

録画予約設定画面について詳しくは「録画予約の便利な機能」（62ページ）をご覧ください。

番組表で録画予約した場合、予約消去と詳細設定のみ変更できます。

「スカパー！ HD」対応チューナーで視聴年齢制限をかけている場合、番組の予約名や詳細情報が「＊＊＊＊」で表示されます。

手順4 予約リスト画面

1 録画先

「HDD」か「BD」を表示します。

2 予約状態マーク

：複数の予約が重なっている場合、優先順位が低い予約に表示されます。予約の重複の状態を知りたいときは、オプションメニューから［重複確認］を選ぶと確認できます。

●（赤）：録画予約した番組を録画しているときに表示されます。

●（青）：録画可

同じ時刻に他の予約と重なっている部分以

録画予約する

外はすべて録画できることを示します。

●（灰）：録画不可

録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。録画可能にするには、タイトルを削除するなどして容量を空けてください。

録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。また、番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合にも表示されます。

⚠：対象番組なし

予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示されます。

3 予約している番組の一覧

4 録画１・２／録画モードマーク

録画1 録画2 ：「録画1」、「録画2」どちらで録画するのかが表示されます（BDZ-RS10を除く）。

DR など：録画時の録画モードが表示されます。

5 番組情報マーク

¥：有料番組に表示されます。

6 毎回録画表示

毎日、毎週、月–金、番組名など、毎回録画で予約した場合に表示されます。

7 マーク

予約設定時に設定した分類マークを表示します。

（更新）：［更新］が［入］（62ページ）に設定されている場合に表示されます。

予約リストを表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「録画予約する」で利用できるオプション」（68ページ）をご覧ください。

以下のことはできません

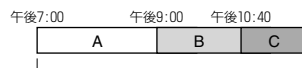
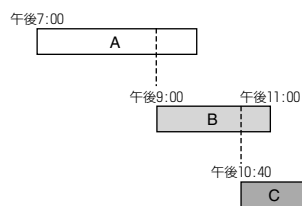
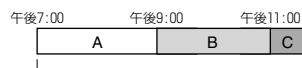
- 予約リストを使って「スカパー！ HD」対応チューナーの録画予約を修正すること。

予約が重なったときは

「日時を指定して録画予約する」（60ページ）の手順5の後に重複確認の画面が表示されます。新たに登録された予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、予約重複マーク が付きます。また、予約リスト上でも予約の重複を確認できます。予約重複マーク は予約の優先順位が低い予約に表示されます。

オプションメニューで［重複確認］を選んで、確認してください。

重複予約を確定した場合、後から設定した予約が優先されます。

例：番組［A］、［B］、［C］の順に予約した場合（番組［C］の優先順位が一番高い）

番組［B］の優先順位を番組［C］よりも高くすると、番組［B］は設定した録画終了時間まで録画されます。

ちょっと一言

- 予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは、前の番組の最後の約30～40秒が録画されません。前後の録画を「録画1」と「録画2」に分けて予約すると、途切れずに録画されます（BDZ-RS10を除く）。

予約の優先順位を変更するには

本機では、録画の[優先順位]にしたがって録画します。
[優先順位]は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。
予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。
重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

1. **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**
2. **[予約確認]を選び、《決定》ボタンを押す。**
3. **[予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押す。**
4. **予約リストで重複している番組を選び、《オプション》ボタンを押す。**
   重複している番組にはがついています。
5. **[優先変更]を選び、《決定》ボタンを押す。**
   優先変更画面が表示されます。
6. **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**
   選んだ予約が最優先で録画されます。

ちょっと一言

- デジタル放送の番組を録画予約した場合、番組の放送時間が延長されると、録画時間も自動的に延長されます。また、放送時間内に番組が終わらない場合、他のチャンネルで放送が継続されることがありますが、本機がチャンネルの変更を検知して録画を継続します。ただし、毎回録画に設定して番組追跡しなかった場合や、録画予約の設定の中で、[延長]の設定を[自動]以外に設定した場合は、自動で延長されません。

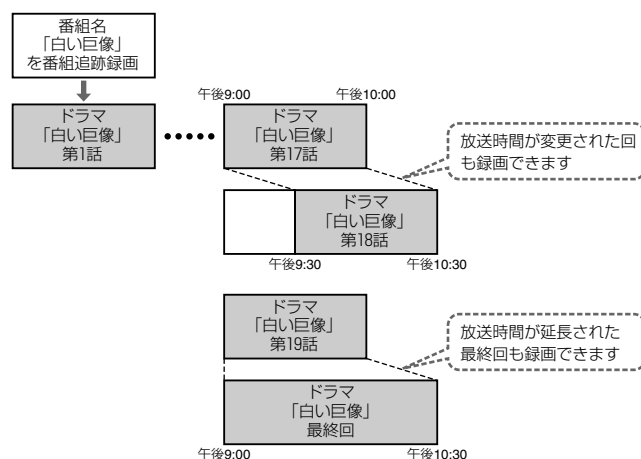
ご注意

- 録画中の予約を変更することはできませんが、録画時間を延ばすことはできます(52ページ)。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合に時間変更に対応して録画しますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されない場合があります。
- 先の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります(番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合)。
- 予約が重なっている場合は、優先度の低いほうの予約の先頭または最後部が録画されない場合があります。
- 他の予約と重なる場合、「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワークを利用した録画予約は、優先順位を最優先にしないとまったく録画されない場合があります。

放送時刻の変更に合わせて録画時刻を調整する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃さず録画できます(番組追跡録画)。1回だけの予約の場合でも、録画の前に番組表データの更新があった場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。追跡可能な範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後まででです。

番組名「白い巨像」を番組追跡録画
ドラマ「白い巨像」第1話
午後9:00 午後10:00
ドラマ「白い巨像」第17話
放送時間が変更された回も録画できます
ドラマ「白い巨像」第18話
午後9:30 午後10:30
ドラマ「白い巨像」第19話
放送時間が延長された最終回も録画できます
ドラマ「白い巨像」最終回
午後9:00 午後10:30

この機能はお買い上げ時は、[入]に設定されています。
この機能を使わないようにするには、[設定]の[ビデオ設定]で[番組追跡録画]を選び、[切]に設定します。

本機能が利用できる番組について

- 毎回録画に設定したデジタル放送の番組
- 録画予約の[延長]の設定を[自動]以外に設定したデジタル放送の番組

デジタル放送の予約の場合、録画予約の設定で[延長]の設定を[自動]にした場合は、放送時間内に終わらなかったときや延長部分が他のチャンネルで放送を継続する番組(イベントリレー)でも、本機が自動的に対応して録画しますので本機能を利用する必要はありません。

番組名を変更して追跡するには

予約リストで番組を選んで、《オプション》ボタンを押し、[番組追跡情報]を選びます。追跡情報画面で[番組名変更]を選んで、追跡のための番組名を変更します。指定した番組の録画中は表示されません。

ご注意

- 次の場合は、番組の追跡ができなかったり、他の番組を追跡してしまったりするため、録画されないことがあります。
  - 放送される番組の番組名が変更された場合
  - 番組名が短い場合
  - 放送時間が大幅に短くなった場合
- 録画した番組のタイトル名は録画予約時の番組名になります。

以下のことはできません

- 日時を指定して予約した番組を追跡して録画すること。

放送延長にあわせて録画時間を延長する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

スポーツ中継の放送延長により、予約したデジタル放送の番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、番組表データから検出された延長時間分(10分単位で最長120分)、検出できない場合は[スポーツ延長対応](217ページ)で設定した時間分延長して録画します。次の条件をすべて満たしている場合、録画終了時刻が延長されます。

- デジタル放送は放送局から、番組の延長情報などが送られてくるため、スポーツ延長の設定をしなくても、自動的に録画を延長します。デジタル放送で自動的に録画を延長させたいときは、延長の設定を[自動]にしてください。
- 予約番組の放送開始時刻より前に、ジャンルが「スポーツ」の番組の放送予定が同じチャンネルにある。
- スポーツ中継番組の番組説明に「延長」、「試合終了まで」、または「完全中継」という語句がある。
- スポーツ中継番組が、午後7:00から午後9:00の間に放送される。
- スポーツ中継番組の放送延長により変更となった、予約番組の開始時刻が翌日午前5:00より前である。

例:午後9:00から午後10:00まで放送予定のドラマAを予約しています。ドラマAの前には野球が放送され、最大30分間の放送延長の可能性があります。
延長の情報があると、ドラマAの録画開始時刻はそのままで、終了時刻を30分延長します。

上記の例でドラマAを他の予約より優先させたいときは、予約リストでドラマAの予約を選び、オプションボタンを押して、[優先変更]を設定してください。
自動延長された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合、録画は予約の優先順位に従います(66ページ)。

録画予約する

この機能はお買い上げ時は、[30分]に設定されています。
この設定を取り消すには、[設定]の[ビデオ設定]で[スポーツ延長対応]を選び、[切]に設定します。

以下のことはできません

- 日時を指定して予約した番組の録画時間を延長すること。

「録画予約する」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
あ行	追いかけ再生	録画中の番組を再生します(87ページ)。
	お気に入り設定	お気に入り番組表の条件を設定します(53ページ)。
	お気に入りへ登録	お気に入り設定画面に切り換えます。
	おすすめ設定*2	本機がおすすめする番組を録画するための設定ができます。
	おまかせ設定	x-おまかせ・まる録の録画設定画面に切り換えます。
	おまかせへ登録	お気に入り設定を、x-おまかせ・まる録に登録すると、自動で録画します(54ページ)。
か行	画音設定	画質·音質を調整します(44、45、98ページ)。
	気になる人名	デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
	気になるワード	デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
	語句登録	表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録できます。
さ行	サービス切換	
	テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
	ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
	データ	データ放送のチャンネルを表示します。
	再生	再生を停止したところから再生します。
	次回予約	録画した番組(タイトル)の次回に放映される番組を録画予約します。
	ジャンル色設定	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てます。
	消去	録画した番組(タイトル)を消去します。
	情報表示	録画した番組(タイトル)または予約に関する情報を表示します。
	設定取消	設定した条件を取り消します。
	選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
	全チャンネル表示／設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

	オプション機能		できること
た行	重複確認		時間が重なっている録画予約を確認します(51、65ページ)。
	特集テーマ選択		x-みどころマガジンで対象とする特集テーマを設定します。
は行	始めから再生		録画した番組(タイトル)を始めから再生します。
	番組検索		
		ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
		キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
		詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
	番組説明		見ている番組の詳しい情報を表示します(50ページ)。(地上アナログ放送を除く)
	番組追跡情報		次の場合に、番組追跡情報を表示します。 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組
	番組表切換		
		みどころマガジン	x-みどころマガジンを表示します。
		お気に入り番組表	お気に入り番組表を表示します。
		地上デジタル	地上デジタル番組表を表示します。
		BSデジタル	BSデジタル番組表を表示します。
		CSデジタル	CSデジタル番組表を表示します。
	番組表を表示		選んだお気に入り番組表を表示します。
	番組名検索情報		毎回録画で[番組名]を選んだときに、番組名の確認や変更ができます。
	日付指定		日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
	日付順表示		予約を日付順に表示します。
や行	優先順表示		優先設定されている番組を先に表示します。
	優先変更		優先順を変更します。
	予約修正*[1]		録画予約情報を修正します(64ページ)。
	予約消去*[1]		録画予約を取り消します(64ページ)。
		1件消去	1件の予約を取り消します。
		選択消去	複数の予約をまとめて取り消します。
	予約名変更		予約名を変更します。

	オプション機能	できること
ら行	録画延長*[1]	録画中の番組の録画時間を延長します。録画予約延長画面で操作します(52ページ)。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
	録画停止*[1]	録画を停止します。
	録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします(50ページ)。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
アルファベット	BD情報	BDの情報を表示します(193ページ)。
	DVD情報	DVDの情報を表示します(193ページ)。
	HDD情報	ハードディスクの情報を表示します(193ページ)。

*[1] 「録画1」と「録画2」で同じ番組を予約している場合は、「録画1」の操作になります(BDZ-RS10を除く)。

*[2] [おすすめ設定]は★(緑)のときに表示されます。

ネットワークで録画予約する

ブラビアの番組表を使って録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

ソニールームリンク対応の＜ブラビア＞（X1000シリーズを除く）をお使いの場合、ホームサーバー機能を利用して＜ブラビア＞の番組表から本機に録画予約できます（ネットワーク録画予約）。

1 本機と＜ブラビア＞をネットワークでつなぐ。

詳しくは「①ネットワークにつなぐ」（262ページ）をご覧ください。

2 ホームサーバー機能を利用できるように本機を設定する。

設定方法について詳しくは、［設定］－［通信設定］の［ホームサーバー設定］（232ページ）をご覧ください。

3 ＜ブラビア＞のネットワークの設定をする。

本機がネットワーク録画予約の録画先となるように、＜ブラビア＞の取扱説明書をご覧になり設定してください。

4 ＜ブラビア＞の番組表から録画予約を設定する。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。

ソニールームリンクに対応する＜ブラビア＞について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

ご注意

- ＜ブラビア＞からの録画予約は、本機では日時指定予約となります。

外出先から録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

外出先などからインターネットや携帯電話などを使って録画予約できます（リモート録画予約）。

リモート録画予約を利用するための準備

リモート録画予約をするには、次の準備が必要です。

- 本機をFTTH（光）などの常時接続のブロードバンドインターネット接続回線につなぐ（「①ネットワークにつなぐ」（262ページ））。
- ネットワーク設定の［ネットワーク接続診断］を行う（230ページ）。
- 携帯電話やパソコンから録画予約を行う場合、リモート録画予約の設定を行う（231ページ）。
- 本機の［スタンバイモード］が［高速起動］の設定になっていることを確認する（225ページ）。

リモート録画予約について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/faq/BD/
携帯電話からの予約については、次の2次元コードからアクセスしても確認できます。

携帯電話で録画予約する

地上アナログ放送、地上デジタル放送、およびBSデジタル放送の録画予約が可能です。
リモート録画予約をご利用いただくには、別途リモート録画予約サービス事業者との契約が必要です。

携帯電話からリモート録画予約をするには、リモート録画予約に対応した携帯電話を用意してください。対応する機種や機能については以下をご確認ください。

登録方法、携帯電話機種および機能に関する問合せ先（2009年8月現在）

ホームページ

パソコン: http://ipg.jp/ra/

携帯電話: http://ipg.jp/k/

メールでのお問い合わせ

◆ NTTドコモの携帯電話をお使いのかた
Gガイド番組表リモコン事務局
E-mail：help@ggmobile.jp

◆ auの携帯電話をお使いのかた
Gガイド番組表事務局
E-mail：help-au@ggmobile.jp

◆ ソフトバンクの携帯電話をお使いのかた
Gガイドモバイル事務局
E-mail：help_ggm_sbm@ggmobile.jp

ご利用にあたっては、お客様の責任によりサービス登録をお願いいたします。

ちょっと一言

- 一部の携帯電話からは、本機の予約リストの取得や録画モードの変更、録画した番組（タイトル）の削除やプロテクト操作も可能です。

パソコンを使って録画予約する

So-netが提供するインターネットサービス「Gガイド.テレビ王国」を使って、お使いのパソコンから録画予約できます。

地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の録画予約が可能です。

ご利用いただくには、「Gガイド.テレビ王国」のメンバーサービスへの登録が必要です。

登録方法、機能に関する問合せ先
（2009年8月現在）

ホームページ

パソコン: http://www.so-net.ne.jp/tv/dvr/

Gガイド.テレビ王国サポートのホームページ

パソコン: http://www.so-net.ne.jp/tv/support/

Gガイド.テレビ王国は商標です。

ご利用にあたっては、お客様の責任によりサービス登録をお願いいたします。

リモート録画予約に関する免責事項

- リモート録画予約サービス事業者によるサービス内容は、予告なく変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず発生したリモート録画予約サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず、以下を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能に対して、一切の責任を負わないものとします。
  – リモート録画予約サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等
  – ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情
- 本機の修理・交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- リモート録画予約を行っても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかる場合があります。
- 携帯電話やパソコンから録画予約を行う場合、次の費用が発生します。
  – インターネット接続プロバイダーへの、接続料金など
  – 携帯電話からリモート予約サービス側へのサーバーにアクセスするときの通信料

以下のことはできません

- 携帯電話やパソコンを使って[毎回録画]を[番組名]に設定して予約した場合に、録画時間を延長すること。
- リモート機器を6台以上本機に登録すること。
- 次の場合にリモート録画予約すること。
  – ディスクの容量が不足している場合
  – 重複する予約を後から、本機や他の機器から行った場合
  – 録画予約に影響する操作を本機で行った場合
  – B-CASカードが挿入されてない場合（BS/110度CSデジタル放送、地上デジタル放送の場合）
- リモート録画予約を「録画2」で行うこと。

「スカパー！ HD」対応チューナーで録画予約する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

ホームサーバー機能を利用して、「スカパー！ HD」対応チューナーの番組表から本機に録画予約できます（「スカパー！ HD録画」）。

1 本機と「スカパー！ HD」対応チューナーをネットワークでつなぐ。

詳しくは「①ネットワークにつなぐ」（262ページ）をご覧ください。

2 ホームサーバー機能を利用できるように本機を設定する。

設定方法について詳しくは、[設定]ー[通信設定]の[ホームサーバー設定]（232ページ）をご覧ください。
スタンバイモード切換画面が表示されたら、[スタンバイモード]を[高速起動]に設定してください。

3 「スカパー！ HD」対応チューナーのネットワークの設定をする。

本機が「スカパー！ HD」対応チューナーの録画先となるように、「スカパー！ HD」対応チューナーの取扱説明書をご覧になり設定してください。

4 「スカパー！ HD」対応チューナーで録画予約を設定する。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。
「スカパー！ HD」対応チューナーで視聴年齢制限をかけている場合、番組の予約名や詳細情報が本機の予約リストに「＊＊＊＊」で表示されます。
録画が開始されると本機のタイトルリストに録画中の番組が表示されます。
18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限が設定してある場合、タイトルリストに表示されません（228ページ）。

ネットワーク録画（「スカパー！ HD録画」）に対応する「スカパー！ HD」対応チューナーについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ご注意

- 他の予約と重なる場合、「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワークを利用した録画予約の録画優先順位を、最優先に設定してください（66ページ）。優先順位が低いと録画されない場合があります。
- スカパー！の番組をネットワークで録画する場合は「録画2」での録画になります。
- 設定した予約を修正する場合は、チューナー側で予約修正してください。
- 録画中のスカパー！の番組を見る場合は、本機で追いかけ再生をしてください（87ページ）。

以下のことはできません

- 「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワークを利用した録画中に、BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクなどを再生すること。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワークを利用した録画で、8時間を越える録画をすること。長時間の番組を録画予約する場合は、時間指定で8時間ごとに分けて予約してください。
- BDに直接録画すること。

「スカパー！ HD」対応チューナーが受信する番組と本機の録画可能時間

録画可能時間は目安です。録画時間を保証するものではありません。
「スカパー！ HD」対応チューナーと本機では、録画時間の残量表示が異なる場合があります。
録画可能時間について詳しくは、下記のホームページをご覧いただくか、下記のご相談窓口までお問い合わせください。
ホームページ：http://sptvhd.jp/rokuga
スカパー！チューナーご相談窓口：0570-080-060

	本機の録画可能時間		
「スカパー！ HD」対応チューナーが受信する番組	BDZ-EX200	BDZ-RX100	BDZ-RX50
スカパー！ハイビジョンチャンネル	約480時間（約260 ～ 600時間）＊	約240時間（約130 ～ 300時間）＊	約120時間（約65 ～ 150時間）＊
スカパー！標準画質チャンネル	約820時間（約520 ～ 1580時間）＊	約410時間（約260 ～ 790時間）＊	約205時間（約130 ～ 395時間）＊

＊ 録画可能時間は録画する番組により異なります。（ ）の時間は変動する録画可能時間の目安です。

番組を検索する

気になる言葉で検索する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画番組の再生中や、デジタル放送の視聴中に、気になる出演者や話題を見つけたら、該当する人名やキーワードを選ぶだけで、気になる番組を素早く検索して簡単に録画予約できます（気になる検索）。
《番組表》ボタンを押して、番組表が正しく表示されるのを確認してから検索してください。

1 **デジタル放送の番組を視聴しているときや、タイトルを再生しているときに《オプション》ボタンを押す。**

2 **[気になる人名]または[気になるワード]を選び《決定》ボタンを押す。**

3 **検索したい人名またはキーワードを選び《決定》ボタンを押す。**
選んだ人名またはキーワードで検索した番組が表示されます。

4 **番組を選び《決定》ボタンを押す。**

5 **予約の内容を確認し、[予約確定]を選び《決定》ボタンを押す。**
本機の電源を切っていても、録画を行います。

ご注意

- 本機の電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

以下のことはできません

- 検索結果を201番組以上表示すること。

ジャンルで検索する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ジャンルの内容に沿ってあらかじめ設定されている様々な条件を使い番組を検索して録画予約します（ジャンル検索）。（地上アナログ放送を除く）
《番組表》ボタンを押して、番組表が正しく表示されるのを確認してから検索してください。

1 **ホームメニューから見たい放送の種類を選ぶ。**
地上デジタル　BS　CS

2 **[番組検索]を選び《決定》ボタンを押す。**
3つの検索方法が表示されます。

3 **[ジャンル検索]を選び《決定》ボタンを押す。**

4 **[ジャンル]を選び《決定》ボタンを押す。**
ジャンル一覧画面が表示されます。
ジャンルを選んで、➡を押すと、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを選べます。

5 **検索したいジャンルを選び《決定》ボタンを押す。**

6 **[放送]、[対象チャンネル]、[有料番組]を選び、それぞれ設定する。**

7 **[検索開始]を選び《決定》ボタンを押す。**
検索結果画面が表示されます。

8 **番組を選び《決定》ボタンを押す。**

9 **予約の内容を確認し、[予約確定]を選び《決定》ボタンを押す。**
本機の電源を切っていても、録画を行います。

ご注意

- 本機の電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

以下のことはできません

- 検索結果を201番組以上表示すること。

キーワードで検索する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

キーワードで番組を検索して録画予約します(キーワード検索)。(地上アナログ放送を除く)
《番組表》ボタンを押して、番組表が正しく表示されるのを確認してから検索してください。

1 **ホームメニューから見たい放送の種類を選ぶ。**

地上デジタル　BS　CS

2 **[番組検索]を選び《決定》ボタンを押す。**

3つの検索方法が表示されます。

3 **[キーワード検索]を選び《決定》ボタンを押す。**

4 **[キーワード]を選び《決定》ボタンを押す。**

5 **[文字入力]を選び《決定》ボタンを押す。**

文字入力画面で語句を入力します(286ページ)。あらかじめ語句を登録してある場合は、[登録語句]から語句を選べます。
キーワードには、カナと漢字の違いがあります。例えば、「野球」という名称の番組を検索するとき、「やきゅう」(ひらがな)では検索されません。また、長音「ー」とダッシュ「—」は異なる文字として認識されます。例えば、「サッカー」(長音)と「サッカ—」(ダッシュ)では検索結果が異なりますのでご注意ください。

6 **[放送]、[有料番組]を選び、それぞれ設定する。**

7 **[検索開始]を選び《決定》ボタンを押す。**

検索結果画面が表示されます。

8 **番組を選び《決定》ボタンを押す。**

9 **予約の内容を確認し、[予約確定]を選び《決定》ボタンを押す。**

本機の電源を切っていても、録画を行います。

ご注意

- 本機の電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

以下のことはできません

- 検索結果を201番組以上表示すること。

詳細条件を指定して検索する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

番組のジャンルやキーワードなどを組み合わせて番組を検索して録画予約します(詳細条件検索)。(地上アナログ放送を除く)
《番組表》ボタンを押して、番組表が正しく表示されるのを確認してから検索してください。

1 **ホームメニューから見たい放送の種類を選ぶ。**

地上デジタル　BS　CS

2 **[番組検索]を選び《決定》ボタンを押す。**

3つの検索方法が表示されます。

3 **[詳細条件検索]を選び《決定》ボタンを押す。**

検索条件設定画面が表示されます。

4 **[放送]、[時間帯]、[対象チャンネル]、[有料番組]を選び、それぞれ設定する。**

5 **[ジャンル]の設定欄を選び《決定》ボタンを押す。**

6 **設定したいジャンルを選び《決定》ボタンを押す。**

ジャンルを選んで➡を押すと、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを選べます。
詳細条件検索で設定するジャンルとジャンル検索で設定するジャンルでは内容が異なります。詳細条件で設定するジャンルには、番組のジャンル情報のみ含みます。ジャンル検索のジャンルには、番組のジャンル以外にも様々な条件を含んでいます。

7 **[キーワード]の設定欄を選び《決定》ボタンを押す。**

キーワードの一覧が表示されます。

8 **[文字入力]を選び《決定》ボタンを押す。**

文字入力画面で語句を入力します(286ページ)。あらかじめ語句を登録してある場合は、[登録語句]から語句を選べます。

9 **文字を入力したら[入力終了]を選び《決定》ボタンを押す。**

10 **[キーワード検索方法]を選び《決定》ボタンを押す。**

11 **設定項目を選び《決定》ボタンを押す。**

12 **[検索開始]を選び《決定》ボタンを押す。**

検索結果画面が表示されます。

13 **番組を選び《決定》ボタンを押す。**

14 **予約の内容を確認し、[予約確定]を選び《決定》ボタンを押す。**

本機の電源を切っていても、録画を行います。

キーワードとジャンルの組み合わせを変更するには

番組検索のジャンルとキーワードは合わせて4つまで設定できます。検索したい番組の内容にあわせて、次の手順でキーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。除外ワードを組み合わせることもできます。

検索条件を変更するには

1 **検索結果画面表示中に《戻る》ボタンを押す。**

2 **[ジャンル検索](76ページ)、[キーワード検索](77ページ)、[詳細条件検索](77ページ)のいずれかを選び、手順に従って変更する。**

すべての項目を変更して検索したいときは、[全取消]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 本機の電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

以下のことはできません

- 検索結果を201番組以上表示すること。

「番組を検索する」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
あ行	追いかけ再生	録画中の番組を再生します(87ページ)。
	お気に入り設定	お気に入り番組表の条件を設定します(53ページ)。
	お気に入りへ登録	お気に入り設定画面に切り換えます。
	おすすめ設定*2	本機がおすすめする番組を録画するための設定ができます。
	おまかせ設定	x-おまかせ・まる録の録画設定画面に切り換えます。
	おまかせへ登録	お気に入り設定を、x-おまかせ・まる録に登録すると、自動で録画します(54ページ)。
か行	画音設定	画質･音質を調整します(44、45、98ページ)。
	気になる人名	デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
	気になるワード	デジタル放送のみ。 視聴中の番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
	語句登録	表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録できます。
さ行	サービス切換	
	テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
	ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
	データ	データ放送のチャンネルを表示します。
	再生	再生を停止したところから再生します。
	次回予約	録画した番組(タイトル)の次回に放映される番組を録画予約します。
	ジャンル色設定	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てます。
	消去	録画した番組(タイトル)を消去します。
	情報表示	録画した番組(タイトル)または予約に関する情報を表示します。
	設定取消	設定した条件を取り消します。
	選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
	全チャンネル表示／設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

	オプション機能	できること
た行	重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します（51ページ）。
	特集テーマ選択	x-みどころマガジンで対象とする特集テーマを設定します。
は行	始めから再生	録画した番組（タイトル）を始めから再生します。
	番組検索	
	ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
	キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
	詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
	番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します（50ページ）。（地上アナログ放送を除く）
	番組追跡情報	次の場合に、番組追跡情報を表示します。 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組 ● 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組
	番組表切換	
	みどころマガジン	x-みどころマガジンを表示します。
	お気に入り番組表	お気に入り番組表を表示します。
	地上デジタル	地上デジタル番組表を表示します。
	BSデジタル	BSデジタル番組表を表示します。
	CSデジタル	CSデジタル番組表を表示します。
	番組表を表示	選んだお気に入り番組表を表示します。
	番組名検索情報	毎回録画で［番組名］を選んだときに、番組名の確認や変更ができます。
	日付指定	日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
	日付順表示	予約を日付順に表示します。
や行	優先順表示	優先設定されている番組を先に表示します。
	優先変更	優先順を変更します。
	予約修正*[1]	録画予約情報を修正します（64ページ）。
	予約消去*[1]	録画予約を取り消します（64ページ）。
	1件消去	1件の予約を取り消します。
	選択消去	複数の予約をまとめて取り消します。
	予約名変更	予約名を変更します。
ら行	録画延長*[1]	録画中の番組の録画時間を延長します。録画予約延長画面で操作します（52ページ）。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
	録画停止*[1]	録画を停止します。
	録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします（50ページ）。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
アルファベット	BD情報	BDの情報を表示します（193ページ）。
	DVD情報	DVDの情報を表示します（193ページ）。
	HDD情報	ハードディスクの情報を表示します（193ページ）。

*[1] 「録画1」と「録画2」で同じ番組を予約している場合は、「録画1」の操作になります（BDZ-RS10を除く）。

*[2] ［おすすめ設定］は★（緑）のときに表示されます。

映像や音楽を再生する

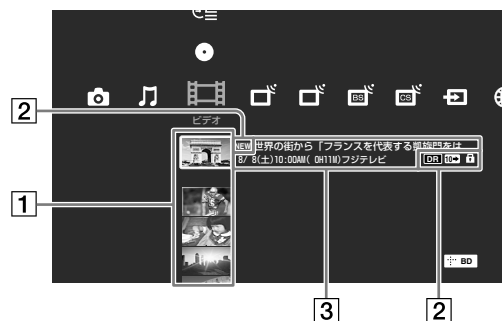
ハードディスクの映像を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **映像(タイトル)を選び、《決定》ボタンを押す。**

再生が始まります。
再生中は、本体表示窓に再生経過時間が表示されます。
再生をやめるには、■《停止》ボタンを押します。
タイトルの一覧(タイトルリスト)に表示されるアイコンの説明については、329ページをご覧ください。

手順2 タイトル一覧(タイトルリスト)画面

1 タイトルのサムネイル
2 マーク、アイコン
3 タイトル名、録画日時、録画時間など

ご注意

- アクトビラからダウンロードしたタイトルを再生するときは、本機をインターネットにつないでください(262ページ)。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルには、有効期限が指定されているものがあります。有効期限を確認するには、「映像の情報を確認する」(98ページ)でタイトル情報画面を表示してください。また、再生中に有効期限が切れた場合は、再生を停止します。

BDやDVDの映像を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **本機にディスクを挿入する。**

2 **《ホーム》ボタンを押して、ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

3 **ディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **映像(タイトル)を選び、《決定》ボタンを押す。**

再生が始まります。複数のタイトルがある場合は、録画・ダビングした順に再生します。
市販のBD-ROMやDVDビデオの場合、手順3でディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押すと、再生が始まります。
ディスクを入れると、自動的に再生が始まる場合もあります。
再生中は、本体表示窓に再生経過時間が表示されます。
再生をやめるには、■《停止》ボタンを押します。
タイトルの一覧(タイトルリスト)に表示されるアイコンの説明については、329ページをご覧ください。

ちょっと一言

- ロック設定されたBD-REやBD-Rを入れると、暗証番号を入力する画面が表示されます。4桁の暗証番号を入力し、[確定]を選ぶと、ロックが解除され再生できるようになります。ディスクを取り出すと、再びロックされます。ロックの設定、解除については「暗証番号でディスクをロックする」(195ページ)をご覧ください。

BD-ROMやDVDビデオでメニューを使うには

BD-ROMの場合

BD-ROMによっては、本機の再生を止めることなく、メニューを表示できるポップアップメニューが収録されています。再生中にリモコンのふたの中の《ポップアップ/メニュー》ボタンを押して、⇧⇩⇦⇨や《決定》ボタンを使って操作します。
また、ポップアップメニューのほかに、トップメニューも利用できます。BD-ROM再生中にリモコンのふたの中の《トップメニュー》ボタンを押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。⇧⇩⇦⇨で項目を選びます。

DVDビデオの場合

DVDビデオやファイナライズされた、DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）を再生中に、リモコンのふたの中の《トップメニュー》ボタン、《ポップアップ/メニュー》ボタンを押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。↑↓←→で項目を選びます。

ご注意

- 再生するBDによっては、アナログ出力（コンポーネント映像出力端子（BDZ-EX200のみ）、D映像出力端子）での解像度が制限される場合や、出力ができない場合があります。

CDを再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機にCD（CD-R/CD-RWを含む）を挿入すると、自動的にMusic Player画面が表示されます。

►《再生》ボタンを押す。

CDの始めの曲から再生が始まります。

CDを再生中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「映像や音楽を再生する」で利用できるオプション」（101ページ）をご覧ください。

CD再生画面

1 再生状態、トラック番号、経過時間 など
2 音声（ステレオ／モノラル）

再生中の操作について

項目	できること
開/閉（開/閉）	ディスクトレイの開／閉
◄◄ ►►（早戻し／早送り）	早戻し／早送り再生します。通常の再生に戻すには、►《再生》ボタンを押します。 長押しすると、押している間だけ早戻し／早送り再生します。ボタンをはなすと通常の再生に戻ります。←→を長押ししても、早戻し／早送り再生します。
停止（停止）	再生の停止
一時停止（一時停止）	再生の一時停止／一時停止の解除
音声切換（音声切換）	音声チャンネルの切り換え（押すごとに、「ステレオ」→「L（左）チャンネルのみ」→「R（右）チャンネルのみ」→「ステレオ」の順に切り換わります。）

項目	できること
（前／次）	⏮《前》ボタンを押すと、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。（1つ前のトラックの先頭に戻るには、⏮《前》ボタンを2回続けて押してください。） ⏭《次》ボタンを押すと、次のトラックの先頭に進みます。 ⇔を押してもトラックを戻したり送ったりできます。

曲を選んで再生する

1 ホームメニューから[ミュージック]を選ぶ。

2 [音楽CD]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 曲（トラック）を選び、《決定》ボタンを押す。

再生が始まります。

ちょっと一言

- DTS Digital Surround ™の音声を楽しむには、本機のデジタル出力に5.1 チャンネルのDTS Digital Surround ™デコーダーを接続してください。

ご注意

- マルチセッションで作成されたCD-Rは最初のセッションのみ再生できます。

BDの特典映像を楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

BD-LIVEロゴ BD LIVE が記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ（BONUSVIEW）や、ネットワークから外部メモリー（ローカルストレージ“local storage”）にダウンロードして楽しむコンテンツ（BD-LIVE）などが用意されているものがあります。

1 本機にディスクが入っている場合は、ディスクを取り出す。

2 本機の電源を切る。

3 本機をインターネットにつなぐ（262ページ）。

4 本機の電源を入れる。

5 [BDインターネット接続]を[許可する]に設定する（226ページ）。

6 BONUSVIEW（ボーナスビュー）やBD-LIVE（BDライブ）対応のBD-ROMを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ダウンロードしたBD-LIVEなどのデータを削除する

BD-ROMに付随するデータや、ネットワークからダウンロードしたBD-LIVEのデータなどは、本機のハードディスクの記憶領域（ローカルストレージ）に保存されます。
BD-ROM再生時に本機のローカルストレージが不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、下記の手順に従ってBDデータの削除を実行してください。

1 本機にディスクが入っている場合は、ディスクを取り出す。

2 《ホーム》ボタンを押す。

3 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

4 [BDデータ]を選び、《決定》ボタンを押す。

[共通キャッシュデータ]とディスク単位のデータ(ディスク名など)が表示されます。

5 消去したいデータを選び、《オプション》ボタンを押す。

6 [消去]または[全消去]を選び、《決定》ボタンを押す。

[全消去]を選ぶと、ディスク単位のデータがすべて削除されます。

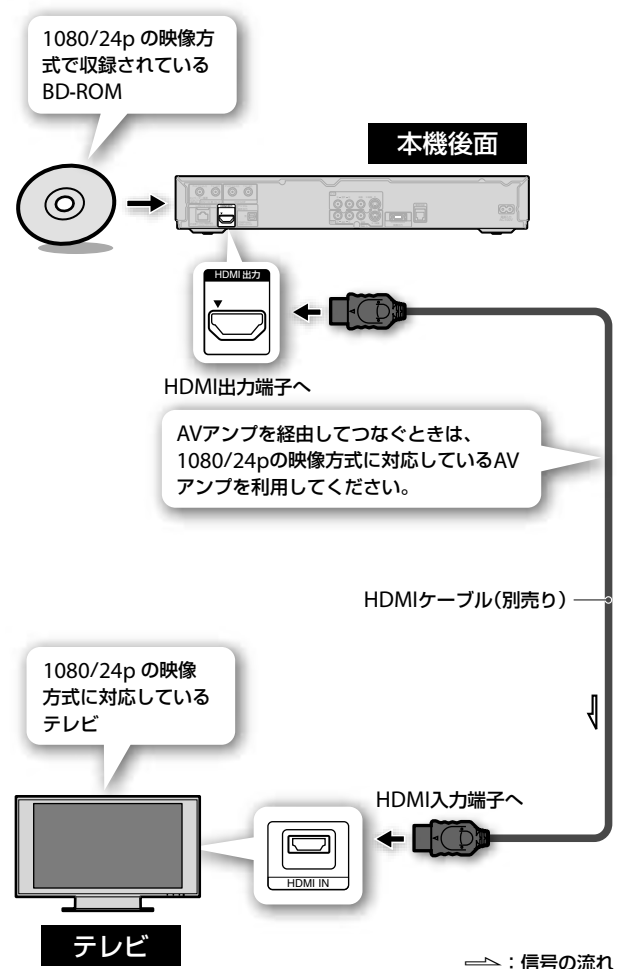
7 [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。

データが消去されます。
すべてのデータを消去するには、以下を行ってください。

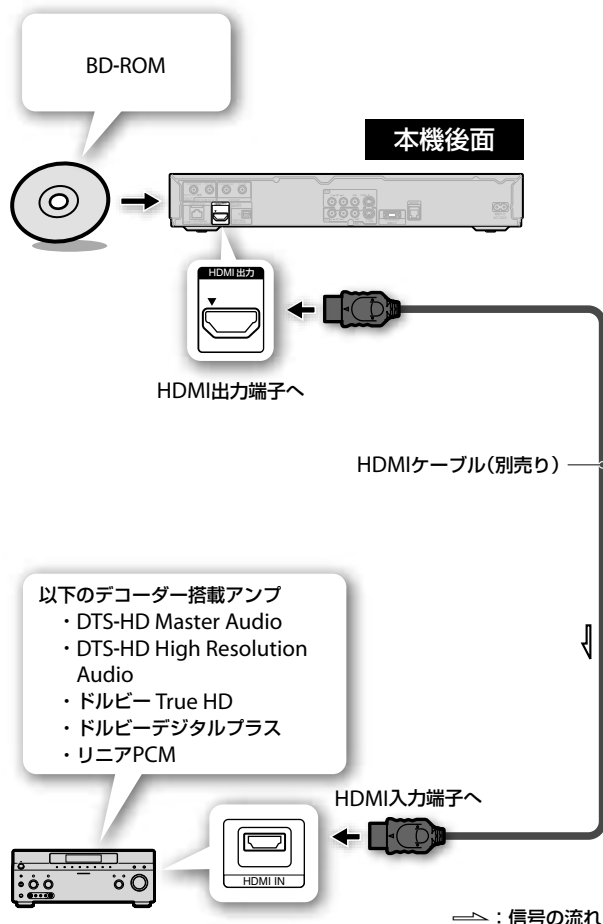
- 手順5で[共通キャッシュデータ]を選び、《オプション》ボタンを押したあと、[消去]を選び、《決定》ボタンを押す。
- 手順5で[共通キャッシュデータ]以外のデータを選び、《オプション》ボタンを押したあと、[すべて消去]を選び、《決定》ボタンを押す。

24p True CinemaでBDを楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

市販のBD-ROMには、オリジナルのフィルムと同じ毎秒24コマのプログレッシブ映像として収録されているものがあります。1080/24pの映像方式に対応したテレビとHDMIケーブル(別売り)で接続すれば、映画フィルムの質感そのままに楽しむことができます。
BDZ-EX200には2つのHDMI出力端子があります。2つの端子を切り換えるには、本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押してください。詳しくは、「HDMI出力を切り換える」(246ページ)をご覧ください。

BD-ROMで高音質サラウンドを楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

BD-ROMの中には、映画館のような迫力のある音場を生み出す非圧縮方式の「リニアPCM 8ch」サラウンドや、「ドルビー True HD」や「DTS-HD」といった、ロスレス（可逆型）音声が収録されているものがあります。
本機とデコーダー搭載アンプを、HDMIケーブル：ハイスピードタイプ（Ver.1.3a、カテゴリー 2）（別売り）で接続すれば、音の遠近感や位置までが感じられる立体的なサラウンドで、ハイビジョン映像の世界をリアルに体感できます。これまでの映像ソフトでは味わえなかった臨場感をリビングで満喫できます。
BDZ-EX200には2つのHDMI出力端子があります。2つの端子を切り換えるには、本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押してください。詳しくは、「HDMI出力を切り換える」（246ページ）をご覧ください。

前回のつづきから再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

再生したことがある映像（タイトル）では、次の場合、前回再生を止めた位置から再生が始まります（つづき再生）。

- ホームメニューでタイトルを選び、《決定》ボタンを押した場合
- ►《再生》ボタンを押して再生した場合
- 《オプション》ボタンを押して［再生］を選び、《決定》ボタンを押した場合

《オプション》ボタンを押して、［始めから再生］を選び《決定》ボタンを押すと、タイトルの最初から再生できます。

以下の場合は、つづき再生が解除され、映像の冒頭から再生されます。

- ディスクトレイを開けたとき（ハードディスクを除く）
- 他のタイトルを再生したとき（ハードディスクやBD-RE、BD-Rを除く）
- 再生の途中で停止したタイトルを編集したとき
- ［映像設定］や［BD/DVD視聴設定］、［年齢制限設定］を変更したり、［設定初期化］を行ったとき（ハードディスクを除く）

ちょっと一言

- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルをおでかけ／おかえり転送すると、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります（［おでかけ転送 再生位置同期］、219ページ）（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）。

ご注意

- 再生するディスクによっては、つづき再生できない場合があります。
- アクトビラからダウンロードしたり、「スカパー！ HD」対応チューナーから録画した視聴年齢制限のあるタイトルをつづき再生するときは、タイトルリストからタイトルを選び直したり、暗証番号の入力が必要な場合があります。

以下のことはできません

- 思い出ディスクダビング（157ページ）で作成したBD-Jメニュー付きディスクを、つづき再生すること。

録画中の映像を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

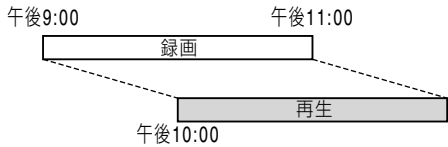
録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します（追いかけ再生）。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **録画中の映像（タイトル）を選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **[再生]を選び、《決定》ボタンを押す。**

録画中の映像の再生が始まります。

例：午後9時からの番組を録画中、10時に帰宅。録画中の番組を始めから見る。

ちょっと一言

- アクトビラからダウンロード中のタイトルも追いかけ再生できます。

ご注意

- 録画モードによっては、録画開始直後の1分間ほど追いかけ再生できない場合があります。

以下のことはできません

- 録画中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30は「録画1」で録画中）のタイトルを追いかけ再生しているときに、ダイジェスト再生や早見再生すること。
- BDに録画中のタイトルを追いかけ再生すること。

早見再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）を再生中に、《黄》ボタンを押すと音声付きで早見再生ができます。

ちょっと一言

- 早見再生中に、◀◀/▶▶《早戻し／早送り》ボタン、または↔を押すと、通常の早戻し／早送り再生になります。▶《再生》ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

以下のことはできません

- 録画中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30は「録画1」で録画中）に早見再生すること。

みどころ場面を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機は、録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、タイトルの中で見どころと思われる場面を中心に自動再生できます（ダイジェスト再生）。本機のハードディスクに録画したタイトル（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30では「録画1」で録画したタイトル）のみダイジェスト再生できます。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

3 再生中に、《青》ボタンを押す。

ダイジェスト再生が始まります。
通常再生に戻すには、►《再生》ボタンまたは《青》ボタンを押します。
ダイジェスト再生中にダイジェスト再生の再生時間を5段階で変更することもできます（88ページ）。

ちょっと一言
- ダイジェスト再生中に、《黄》ボタンを押すと、ダイジェスト早見再生します。
- ダイジェスト再生中（一時停止中も含む）やダイジェスト早見再生中に、◄◄/►►《早戻し／早送り》ボタン、または⬌を押すと、通常の早戻し／早送り再生になります。►《再生》ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

見たい場面を探すには

ダイジェスト再生中に|◄◄/►►|《前／次》ボタンを押すと、再生中の見どころ場面の先頭または、次の見どころ場面の先頭に移動します。1つ前の見どころ場面に移動するには、|◄◄《前》ボタンを続けて2回押してください。←•/•→《フラッシュ ⬅/➡》ボタンを押すと、少し前または先に移動します。

ダイジェスト再生中の画面表示について

ダイジェスト再生中に《画面表示》ボタンを押すと、ダイジェスト再生時間画面が表示されます。ダイジェスト再生で再生する場面と再生しない場面を確認したり、ダイジェスト再生の総再生時間を確認できます。

以下のことはできません
- 次のタイトルをダイジェスト再生すること
  - プレイリスト
  - 結合されたタイトル
  - 追いかけ再生中のタイトル
  - 「録画2」で録画したタイトル（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ）
  - DRモードで録画したタイトル（BDZ-RS10のみ）
  - 再生時間が約10分未満のタイトル（編集して短くなったものを含みます）
  - HDV/DVダビングしたタイトル（BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ）
  - AVCHDダビングしたタイトル
  - x-Pict Story HDで作成したタイトル
  - BDからハードディスクにダビングしたタイトル
  - アクトビラからダウンロードしたタイトル
  - 「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトル

また、受信状態が悪いときに記録されたタイトルや番組内容によってはダイジェスト再生できない場合があります。

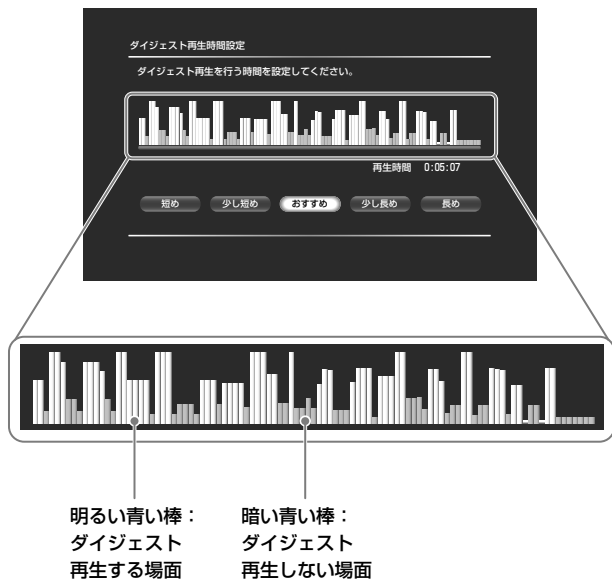
ダイジェスト再生の再生時間を変更する

1 ダイジェスト再生中に、《オプション》ボタンを押す。

2 [ダイジェスト時間]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ダイジェスト再生の再生時間を選び、《決定》ボタンを押す。

再生時間が変更されます。
再生時間を選ぶと、画面の中央に表示されている青いグラフも変化し、タイトル全体の中で再生する時間と場所を確認できます。

ちょっと一言
- ジャンルごとにダイジェスト再生の再生時間を変更することもできます（89ページ）。

ダイジェスト再生の設定を変更する

録画した映像（タイトル）ごとに、ダイジェスト再生のジャンルや再生時間を設定できます。

1 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［設定/編集］を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **［ダイジェスト設定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **設定を変更したら、［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

設定が変更されます。

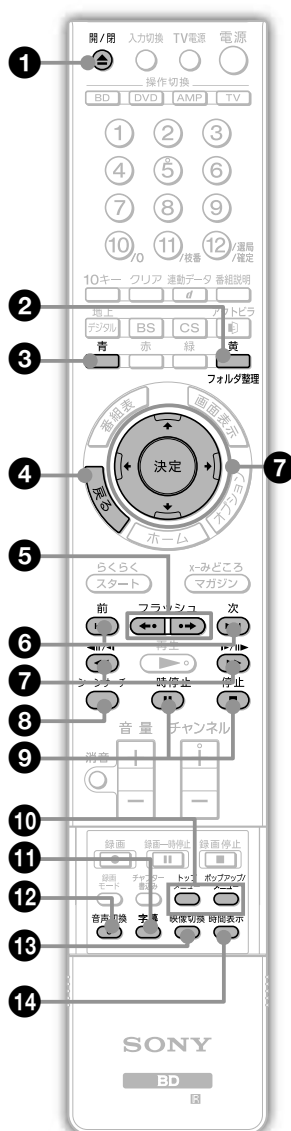
録画中に映像や音楽を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

再生中に録画予約で設定した録画が始まっても再生を続けることができます（同時録画再生）。また、ハードディスクに録画しながら、BD、DVD、CDやデータDVD、データCDを再生できます。

録画中のディスク	録画中に再生できるディスク
ハードディスク	ハードディスク/BD*/DVD/CD、AVCHD方式で記録されたディスク、データDVD／データCD
BD	ハードディスク

* 「録画1」で録画中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ）、DRモード以外で録画中（BDZ-RS10のみ）は、BD-ROMなどは再生できません。

再生で使える便利な機能

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

	押すボタン	できることと使えるディスク
❶	開/閉 (開/閉)	ディスクの再生が停止し、ディスクトレイが開きます。 **すべてのディスク**
❷	黄 フォルダ整理 (黄/フォルダ整理)	ハードディスクの映像を再生中に押すと早見再生になり、ダイジェスト再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります(87、88ページ)。 **ハードディスク**
❸	青 (青)	再生中に押すとダイジェスト再生になり、早見再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります(87、88ページ)。 **ハードディスク**
❹	戻る (戻る)	BD-ROMやDVDビデオ再生時に使用する場合があります。 **BD-ROM、DVDビデオ、AVCHDの映像が含まれているディスク**
❺	フラッシュ (フラッシュ)	少し前に戻る、または先に進みます。 **ハードディスク、BD-ROM、BD-RE/BD-RE DL(2層)、BD-R/BD-R DL(2層)、DVDビデオ、DVD+R/+R DL(2層)/+RW、DVD-R/-R DL(2層)/-RW(VRモード/ビデオモード)、DVD-RAM、AVCHDの映像が含まれているディスク**
❻	前　次 (前/次)	前や次のタイトル/チャプターの先頭に進みます。 1つ前のタイトル/チャプターの先頭に戻るには、⏮《前》ボタンを2回続けて押してください。 ハードディスクの場合は、前や次のタイトルの先頭に進めません。 **すべてのディスク**
❼	(早戻し/早送り) 決定 (スロー、コマ戻し/コマ送り)	● 再生中に押すと3段階で早送り再生(▶▶1、▶▶2、▶▶3)または逆再生(◀)、早戻し再生(◀◀1、◀◀2、◀◀3)します。ボタンを押し続けると、はなすまで選んだ速さで再生します。また、ハードディスクや一部のディスクでは⇔でも同様の操作ができます。 ● 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生またはスロー逆再生します(BD-ROMやDVD、AVCHD方式で記録されたディスクはスロー逆再生できません)。 ● 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生またはコマ戻し再生します(BD-ROMやDVD、AVCHD方式で記録されたディスクはコマ戻し再生できません)。 通常の再生に戻すには、▶《再生》ボタンまたは《決定》ボタンを押します。 **すべてのディスク**
❽	シーンサーチ (シーンサーチ)	再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できる「シーンサーチ」に切り換えます(92ページ)。 **ハードディスク、BD-ROM、BD-RE/BD-RE DL(2層)、BD-R/BD-R DL(2層)、DVDビデオ、DVD+R/+R DL(2層)/+RW、DVD-R/-R DL(2層)/-RW(VRモード/ビデオモード)、DVD-RAM、AVCHDの映像が含まれているディスク**
❾	停止 (停止) 一時停止 (一時停止)	停止や一時停止します。 再生中に《決定》ボタンを押しても一時停止します。 **すべてのディスク**
❿	トップメニュー (トップメニュー) ポップアップ/メニュー (ポップアップ/メニュー)	《トップメニュー》ボタンを押すと、ディスクのメニューを表示できます。 BD-ROMの場合は、《ポップアップ/メニュー》ボタンを押すと、ポップアップメニューの表示/非表示を切り換えられます(82ページ)。 元の画面に戻るには、《トップメニュー》ボタンまたは《ポップアップ/メニュー》ボタンを押してください。 **BD-ROM、DVDビデオ、DVD+R/+R DL(2層)/+RW、DVD-R/-R DL(2層)/-RW(ビデオモード)、AVCHDの映像が含まれているディスク**
⓫	字幕 (字幕)	くり返し押して字幕を切り換えます。 **ハードディスク*1、BD-ROM、BD-RE/BD-RE DL(2層)*1、BD-R/BD-R DL(2層)*1、DVDビデオ、AVCHDの映像が含まれているディスク**

	押すボタン	できることと使えるディスク
⓬	音声切換（音声切換）	くり返し押して音声言語を選びます。 **BD-ROM、DVDビデオ** くり返し押して音声トラックを主音声と副音声から選びます。 **ハードディスク*[2]、BD-RE/BD-RE DL（2層）*[2]、BD-R/BD-R DL（2層）*[2]、DVD-R/-R DL（2層）/-RW（VRモード）、DVD-RAM**
⓭	映像切換（映像切換）	複数の映像が記録されているとき（本体表示窓に(ANGLE)表示）に、くり返し押して映像（アングル）を切り換えます。 **ハードディスク*[3]、BD-ROM、BD-RE/BD-RE DL（2層）*[3]、BD-R/BD-R DL（2層）*[3]、DVDビデオ**
⓮	時間表示（時間表示）	本体の表示窓に再生経過時間／残量時間を表示します。押すたびに再生経過時間と残量時間が切り換わります。 **すべてのディスク**

*[1] DRモードで録画した字幕を含むタイトル

*[2] DRモードで録画した複数音声を含むタイトル

*[3] DRモードで録画した複数映像を含むタイトル（(ANGLE)は表示されません）

ちょっと一言

- BD-ROM再生時にカラーボタン（《青》ボタン、《赤》ボタン、《緑》ボタン、《黄》ボタン）や数字ボタン、↑↓←→を使用する場合があります。

ご注意

- 再生するディスクや映像（タイトル）によって、利用できる機能が異なります。

すばやく見たい場面を探す

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

再生中の映像（タイトル）内で、すばやく場面を移動して見たい場面をさがすことができます（シーンサーチ）。

1 再生中または一時停止中に、《シーンサーチ》ボタンを押す。

画面下部にバーとシーンインジケーターが表示されます。再生中の場合は、画面が一時停止します。

2 ⇔で、見たい場面の位置までシーンインジケーターを移動する。

バー上のシーンインジケーターは場面のおおよその位置を表示します。

3 見たい場面の位置まで来たら、ボタン操作を停止する。

シーンインジケーターを止めた位置の場面が、一時停止で表示されます。
場面を選び直すには、⇔でシーンインジケーターの位置を動かします。

4 《決定》ボタンを押す。

再生が始まります。

手順2 シーンサーチ画面

1 再生状態、録画モードなど
2 現在位置
3 シーンインジケーター
4 経過時間

シーンサーチを途中でやめるには

《再生》ボタンを押します。押した場面から再生が始まります。

以下のことはできません

- 100秒未満、または100時間以上のタイトルでシーンサーチすること。

チャプター番号やタイトル番号で頭出しする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）内にチャプターマークがある場合、それを選んで頭出しできます（ハードディスク／ BD/DVDのみ）。チャプターマークの付けかたについて詳しくは、「再生中にチャプターマークを付ける」（92ページ）をご覧ください。
また、市販のBD-ROMやDVDビデオによっては、タイトル番号を選んで頭出しできます。

1 再生中または一時停止中に《オプション》ボタンを押して、[チャプターサーチ]または[タイトルサーチ]を選び、《決定》ボタンを押す。

2 数字ボタンでチャプター番号またはタイトル番号を入力し、《決定》ボタンを押す。

再生が始まります。
番号の入力を間違えた場合は、《クリア》ボタンを押してから、もう一度入力してください。
場面が少しの間一時停止したあと、再生が始まります。

手順1/2 チャプターサーチ画面

1 現在のチャプター番号
2 総チャプター数

再生中にチャプターマークを付ける

ハードディスクやBD-R/BD-REに録画した映像（タイトル）は、再生中や録画中にチャプターマークを付けることができます（BD-Rは録画中のみ）。
再生／再生一時停止中や録画／録画一時停止中に、映像（タイトル）をチャプターとして分けたい場面で、リモコンのふたの中の《チャプター書込み》ボタンを押します。画面上に「チャプターマーク書込み」が表示され、5秒で消えます。

マークの前後の場面が別々のチャプターになります。チャプターマークはチャプター編集画面で消去できます（112ページ）。チャプターマークを消去すると、前後のチャプターが結合され、1つのチャプターになります。

以下のことはできません

- 一番目のチャプターマーク（タイトルの先頭に自動的に付きます）を消去すること。
- 1つのタイトルに99個以上のチャプターマークを付けること。

視聴年齢制限されたディスクや映像を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

BD-ROMの場合

[設定]－[年齢制限設定]で[BD視聴年齢制限]（227ページ）の設定を変更してください。

DVDビデオの場合

再生またはつづき再生を行うとき、「視聴年齢制限を一時的にレベル＊に変えますか？」と表示されたら、[はい]を選ぶと暗証番号を入力する画面が表示されます。[設定]－[年齢制限設定]の[暗証番号設定]（227ページ）で設定した暗証番号を入力し、[確定]を選ぶと再生が始まります。
設定の変更については、[設定]－[年齢制限設定]の[DVD視聴年齢制限]（228ページ）をご覧ください。

アクトビラからダウンロードしたり、「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトルの場合

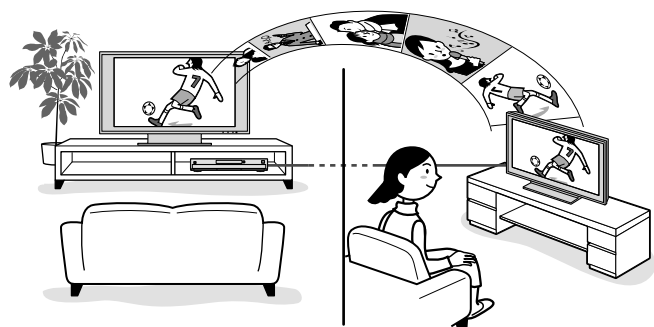
画面にしたがって [設定]－[年齢制限設定]の[暗証番号設定]で設定した暗証番号を入力してください（227ページ）。
また、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルリストなどでタイトルが表示されません。この場合は、「視聴年齢制限付きの映像について」（167ページ）をご覧になり、すべてのタイトルを表示させてから操作してください。
本機の電源を切ると、自動的に制限が再設定されます。
設定の変更については、[設定]－[年齢制限設定]の[HDDタイトル視聴年齢制限]（228ページ）をご覧ください。
視聴年齢制限されたタイトルには、タイトルリストで が付きます。設定年齢を確認するには、《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選び、タイトル情報画面を表示します。

別の部屋のテレビなどで映像や写真を楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

本機とDLNAまたはソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどをネットワークにつなぐと、本機のハードディスクに保存した映像（タイトル）や写真を、テレビやパソコンで再生できます（ホームサーバー機能）。
ホームサーバー機能対応のテレビや、パソコンとのホームネットワーク（LAN）ケーブル（別売り）による接続が必要です。有線LANで接続してください。

「ホームサーバー機能対応」とは

ホームネットワーク上でデジタルAV機器やパソコンなどをつないで、動画などを相互にやりとりできます。本機の映像や写真を別の部屋に設置されているテレビで再生できるようになるなど、大変便利な機能です。

動作推奨機器や再生対応コンテンツについて詳しくは、ソニー製品情報のホームページ（http://www.sony.jp/event/DLNA/）をご覧ください。

ホームサーバー機能を利用するための準備

1 ネットワークにつなぐ。

この機能を利用するには、ネットワークにつなぐ必要があります。電話回線を使って本機能を利用できません。
ネットワークへの接続設定について詳しくは、262ページをご覧ください。

2 ネットワークの設定をする。

本機をネットワークにつなぐための設定をします。設定方法は、[設定]－[通信設定]の[ネットワーク設定]（230ページ）をご覧ください。

3 ホームサーバー機能を利用するための設定をする。

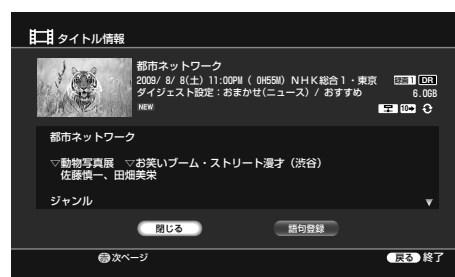
本機のハードディスクの映像や写真を、他機器で再生するための設定をします。設定方法は、[設定]－[通信設定]の[ホームサーバー設定]（232ページ）をご覧ください。

4 他機器のネットワーク接続やホームサーバー機能に対応する設定をする。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
また、他機器でファイアーウォールの設定がされている場合、ホームサーバー機能が使えない場合があります。他機器の取扱説明書をご覧になり、設定を変更してください。

本機の映像や写真を他機器で再生する

他機器を操作して本機の映像（タイトル）や写真を再生したり停止したりします。本機や本機のリモコンで操作できません。
詳しい操作方法については、お使いの他機器の取扱説明書をご覧ください。
接続機器により再生できないタイトルがあります。
また、DRモードで録画したタイトルは、より多くの機器で再生できます。詳しくは、http://www.sony.jp/event/DLNA/でご確認ください。

他機器で再生できるタイトルは、タイトル再生中やタイトルリストでタイトルを選んで《オプション》ボタンを押し、[情報表示]を選んで表示されるタイトル情報画面で [アイコン] が表示されます。

ちょっと一言

- ネットワーク録画予約対応の＜ブラビア＞をお使いの場合、ホームサーバー機能を「入」にすると、＜ブラビア＞から本機に予約設定を転送できます。詳しくは、72ページと、＜ブラビア＞の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 編集した映像（タイトル）を他機器で再生すると、映像が乱れたり再生できないことがあります。
- 他機器によっては、映像（タイトル）の名前が正しく表示されない場合があります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声が途切れる場合があります。
- 本機から出力された映像が乱れているような場合、出力を中止することがあります。
- 本機から出力される映像／写真を他機器で再生するときと、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 一部の他機器では再生できないことがあります。
- 他機器で再生している映像を長時間一時停止していると、本機との通信が切断されることがあります。
- 録画回数制限のあるデジタル放送の番組をホームサーバー機能に対応した他の機器で視聴するには、他の機器側がDTCP-IP*[1]規格に対応している必要があります。

以下のことはできません

- 次の映像や写真を他機器で再生すること。
  - プレイリスト
  - 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル
  - 録画中のタイトル
  - アクトビラからダウンロードしたタイトル
  - サンプルフォトに保存されている写真
- 次のような場合に、本機の映像や写真を他機器で再生すること。
  - 本機の設定を変更しているとき
  - BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生しているとき
  - 再生を伴うタイトル編集をしているとき*[2]
  - タイトルダビングをしているとき*[3]
  - まるごとDVDコピーをしているとき
  - x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中
  - x-Pict Story HDを作成しているとき
  - おでかけ／おかえり転送をしているとき（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）
  - 写真の取り込み中
  - アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ・フルを視聴しているとき
  - 「スカパー！ HD」対応チューナーで録画しているとき
- ホームネットワーク（LAN）経由で同時に2つ以上の機器へ配信すること。
- 本機や本機のリモコンを操作して、本機の映像や写真を他機器で再生すること。

*[1] DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

*[2] 再生を伴うタイトル編集とは、次の編集内容のことです。
サムネイル設定、チャプター編集、チャプター消去、A-B消去、タイトル分割、プレイリスト作成

*[3] HDV/DV ダビングを利用しているときは、他機器で再生できます（BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ）。

映像を探しやすいように分類する

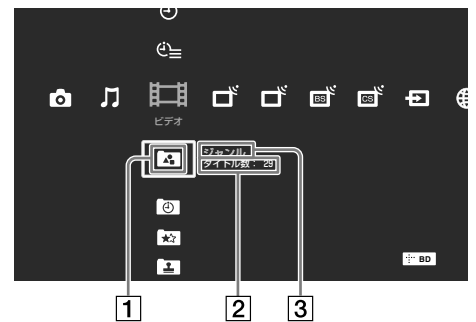
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）を指定したグループで分類して、目的のタイトルをすばやく探すことができます（オートグルーピング機能）。
各グループの中の同じ名前のタイトルは、タイトルごとに1つのフォルダに集約されるため、フォルダ単位で簡単に探すことができます（タイトル名集約）。
また、フォルダの中でまとまったタイトルを一括して消去、ダビングできます。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 《黄／フォルダ整理》ボタンを押す。

タイトルがグループごとに分類されます。
もう一度、《黄／フォルダ整理》ボタンを押すと、タイトル一覧に戻ります。

手順2 グループ一覧画面

1 グループアイコン
2 グループ内のタイトル数
3 グループ名

グループの種類について

[ジャンル]

下記のジャンルで分類します。
ニュース、スポーツ、ワイドショー、ドラマ、音楽、バラエティ、映画、アニメ／特撮、ドキュメンタリー、劇場／公演、趣味／教育、福祉、その他、ジャンルなし

[予約]

予約の種類ごとに分類します。

グループ名	グループの説明
予約録画	毎回録画で予約設定したタイトル名ごとに分類します。

グループ名	グループの説明
スカパー！	「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトルが、このグループに分類されます(74ページ)。
見て録	「見て録」で録画したタイトルが、このグループに分類されます(203ページ)。
その他の予約録画	その他の予約録画、手動で録画したタイトルが、このグループに分類されます。(入力1や入力3から録画したタイトル*、入力2から録画した録画回数制限のあるタイトル*、8cm DVD以外のBD/DVDからハードディスクにダビングしたタイトルを含む)。
おまかせ・まる録	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルが、このグループに分類されます(55ページ)。

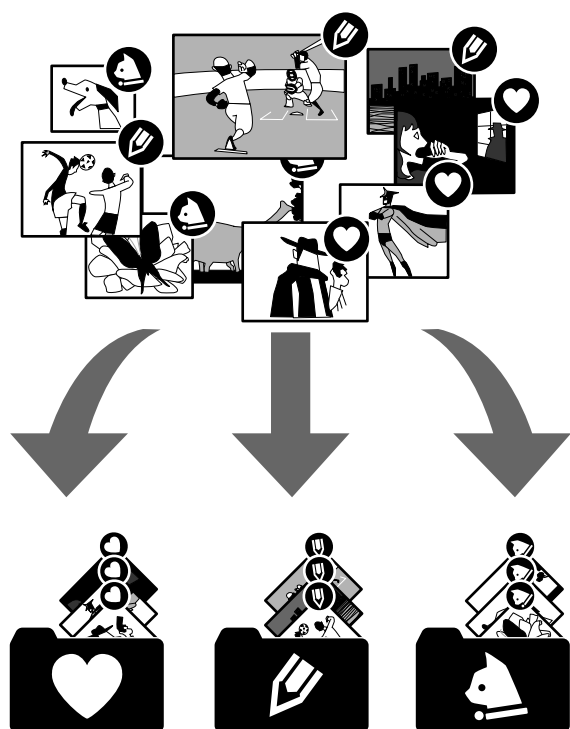
* BDZ-EX200のみ。

[おまかせ・まる録]

x-おまかせ・まる録(55ページ)で録画されたタイトルを、以下のグループに分類します。

グループ名	グループの説明
おすすめ	本機のおすすめで録画されたタイトルが、このグループに分類されます。
スカパー！ｅ２おすすめ	スカパー！ｅ２の無料放送が、本機のおすすめ機能で録画された場合に分類されます。
おまかせ	現在設定されている自動録画条件で分類されます。
その他のおまかせ・まる録	過去に設定した自動録画条件で分類されます。

[マーク]

録画した番組や取り込んだ映像にお好みのマークを付けると、マークごとのフォルダに分類できます。

本機には次の29個のマークがあります。録画予約時にマークを設定したり、録画した映像(タイトル)にマークを付けることができます。

アイコン	名前	アイコン	名前
	マーク1		マーク16
	マーク2		マーク17
	マーク3		マーク18
	マーク4		マーク19
	マーク5		マーク20
	マーク6		マーク21
	マーク7		マーク22
	マーク8		マーク23
	マーク9		マーク24
	マーク10		マーク25
	マーク11		マーク26
	マーク12		マーク27
	マーク13		マーク28
	マーク14		マーク29
	マーク15		マークなし

録画予約時にマークを付けるには　→ 62ページ
映像にマークを付けるには　→ 106ページ
マークの名前を変更するには　→ 97ページ

[x-Pict Story]

x-Pict Story HDで作成したx-Pict Story HD映像(または、そのプレイリストタイトル)を表示します。

[ビデオカメラ映像]
入力2から録画した「録画制限なし」のタイトル*1、8cm DVDからハードディスクへダビングしたタイトル、HDV1080i/DV入力端子から録画したタイトル*2、HDV/DVダビング*2やAVCHDダビングで取り込まれたタイトル（カメラ取込み*3で作成したタイトル、または、そのプレイリストを含む）を表示します。

*1 BDZ-EX200のみ。
*2 BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ。
*3 BDZ-EX200を除く。

PL [プレイリスト]
プレイリストタイトルを表示します（x-Pict Story HD やビデオカメラ映像のプレイリストを除く）。

[ダウンロード]
アクトビラからダウンロードしたタイトルを表示します。タイトルはシリーズごとに集約されます（シリーズ集約）。

[レンタル]
アクトビラからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のあるタイトルを表示します。タイトルはパックごとに集約されます（パック集約）。

グループ選択中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「映像や音楽を再生する」で利用できるオプション」（101ページ）をご覧ください。

マークの名前を変更するには

マークの名前を変更できます。
次の手順を行う前に、「映像を探しやすいように分類する」（95ページ）をご覧になり、録画した映像（タイトル）をマークごとに分類してください。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **[マーク]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **グループを選び、《オプション》ボタンを押す。**

4 **[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **キーボードが表示されたら、新しい名前を入力する（286ページ）。**
マークの名前が変更されます。

録画した映像の順番を並び換える

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）の一覧を並び換えることができます。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **《緑》ボタンをくり返し押して、並び換えの種類を選ぶ。**
《緑》ボタンを押すごとに、次の順番で並び換えの種類を切り換えます。お買い上げ時は、[日付順（新しい順）]に設定されています。

種類	設定
日付順（新しい順）	録画開始日時やダウンロード登録（購入）日時の新しい順に並べます。
日付順（古い順）	録画開始日時やダウンロード登録（購入）日時の古い順に並べます。
未視聴順	見ていないタイトルから並べます（ハードディスクのみ）。
タイトル名順	タイトル名順に並べます。
管理番号順	BD/DVDに録画した順に並べます。ディスク中のタイトルを選んでいるときのみ表示されます。

ご注意

- ［予約］の［予約録画］グループ内で80グループを超えた場合は、予約が消去された日時が最も古いグループが消え、その中にあったタイトルは［その他の予約録画］のグループに移動します。

映像の情報を確認する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

2 **映像（タイトル）を選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［情報表示］を選び、《決定》ボタンを押す。**

タイトル情報画面が表示されます。

手順3 タイトル情報画面

1 マーク、アイコン
マーク、アイコンの種類について詳しくは、329ページをご覧ください。

2 タイトル名

3 録画日時、録画時間、放送局名

4 ダイジェスト設定、ジャンルなど

5 閉じる
タイトル情報画面を終了します。

6 タイトルの詳細情報

7 語句登録
詳細情報に表示されている文字を抜き出して登録できます。

8 タイトルの容量

再生の画質を変更する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機には4つの画質モードがあり、お好みで画質を調整できます。また、［カスタム］を選ぶと、お好みの画質モードを登録できます。

1 **再生中に《オプション》ボタンを押して、［画音設定］－［画質設定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

2 **［画質モード］を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **お好みの画質モードを選び、《決定》ボタンを押す。**

お買い上げ時は、［スタンダード］に設定されています。

4 **各設定項目を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **設定を選び、または調整し、《決定》ボタンを押す。**

設定が変更されます。
初期設定は、手順3で選んだ画質モードにより異なります。
他の項目も調整するときは、手順4 ～ 5をくり返します。

ちょっと一言

- 本機には、視聴中のテレビ映像や再生中の映像に含まれるノイズのレベルに応じて、FNR、BNR、MNR の強度を動的に自動調整する「ピュアイメージリアライザー」が搭載されています。
映像の輪郭がぼやけるときは、FNR、BNR、MNRの設定を［切］にしてください。

6 **設定を調整したら、［閉じる］を選び、《決定》ボタンを押す。**

設定が変更されます。

手順2/4/6 画質設定画面

1 画質モード
スタンダード：標準的な画質に設定されています。
パワフル：コントラストの強いメリハリのある画質に設定されています。

ソフト：ソフトタッチでしっとりと落ち着いた画質に設定されています。

カスタム*[1]：フラットな状態から画質をお好みで調整して登録できます。

ダイレクト：すべての画質処理を無効とし、映像をありのまま忠実に再現します。[画質設定]は無効になります。

2 標準に戻す

選んだ画質モードのすべての設定を標準値に戻します。

3 おすすめカスタム値（モニター別）

本機につないだテレビなどの種類に応じて、最適な画質に設定します。[画質モード]が[カスタム]のときのみ設定できます。

液晶（明るい部屋）：昼間やリビングなど明るい部屋で見るときに適した画質に設定します。

液晶（暗い部屋）：夜間や寝室など暗い部屋で見るときに適した画質に設定します。

プロジェクター：プロジェクターに適した画質に設定します。

有機EL：有機ELテレビに適した画質に設定します。

プラズマ：プラズマテレビに適した画質に設定します。

4 ノイズリダクション

FNR：画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減するための調整をします。

BNR：画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減するための調整をします。DV入力*[6]のとき、アナログチューナーからの入力のとき、音声／映像／ S映像入力端子への入力 のときは使用できません。

MNR：映像の輪郭部に現れる細かいノイズ（モスキートノイズ）を低減するための調整をします。DV入力*[6]のとき、アナログチューナーからの入力のとき、音声／映像／ S映像入力端子への入力 のときは使用できません。

5 画質調整*[2]

コントラスト：コントラストを調整します。（弱）-3 ～ 0 ～ 3（強）から設定します。

ブライトネス：全体の明るさを調整します。（暗）-3 ～ 0 ～ 3（明）から設定します。

色の濃さ：色をより濃く、またはより薄く調整します。（薄）-3 ～ 0 ～ 3（濃）から設定します。

色あい：全体の色のバランスを調整します。（赤）-3 ～ 0 ～ 3（緑）から設定します。

クリアブラック（HDMI）*[3]：お使いのテレビに合わせて、映像の黒い部分の表現をお好みの状態に調整します。たとえば、陰影に富んだ場面が多い映画で、全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます。相対的に白の輝きが増して見えます。-6 ～ 6から設定します。

6 HDリアリティーエンハンサー（HDMI）*[3]

エンハンス：注目部分の鮮鋭感、立体感を高めたり(+)、逆にソフトなタッチにします(−)。（弱）-6 ～ 0 ～ 6（強）から設定します。

スムージング：平坦部の階調（表現）をなめらかにすることによって、画面上の擬似輪郭*[4]を低減します。（切）0 ～ 3（強）から設定します。

FGR：フィルム映像の粒状感を低減します。（切）0 ～ 3(強)から設定します。

アニメ・CGリマスター*[5]：放送波に含まれるノイズを取り除き、市販の映像ソフトの品質に近づけます。（切）0 ～ 4（強）から設定します。

7 DRC設定（HDMI）*[3]*[5]

映像のくっきり（リアル）感とすっきり（ざらつき）感を調整します。

画面を見ながら⬆⬇⬅➡でカーソルを動かし、くっきり／すっきりを調整します。

映像や音楽を再生する

[8] 閉じる
画質設定画面を終了します。

[9] すべて標準
すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

*[1] BDZ-EX200のみ、2通りのカスタムモードが設定できます。
*[2] 視聴中のテレビ映像と再生中の映像にのみ効果があります。
*[3] HDMI出力端子にのみ効果があります。
*[4] 擬似輪郭：なだらかな平坦部にあらわれる輪郭のような縞模様。
*[5] BDZ-EX200のみ。
*[6] BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ。

ご注意

- 再生している場面によっては、FNRやBNR、MNRの効果がわかりにくいことがあります。

再生の音声を変更する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

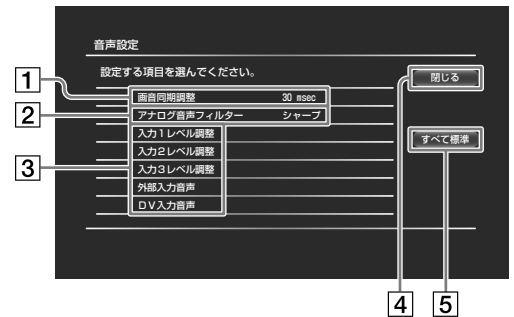
1 再生中に《オプション》ボタンを押して、[画音設定]－[音声設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

2 設定項目を選び、《決定》ボタンを押す。

3 設定を選び、または調整し、《決定》ボタンを押す。

4 設定を調整したら、[閉じる]を選び、《決定》ボタンを押す。

設定が変更されます。

手順2/4 音声設定画面

[1] 画音同期調整
映像と音声のずれを調整するための設定をします。映像に対して音声を遅らせます。（短）0 ～ 120msec（長）から設定します。

[2] アナログ音声フィルター
シャープ：フラットな音質で明瞭な音像定位が得られます。通常はこの設定にします。
スロー：雰囲気のあるあたたかい音が得られます。

[3] 入力1/2/3レベル調整*[1]、外部入力音声、DV入力音声*[2]
録画するときの音声を設定します。詳しくは、44ページをご覧ください。

[4] 閉じる
音声設定画面を終了します。

[5] すべて標準
すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

*[1] BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30、BDZ-RS10は、[外部入力レベル調整]。
*[2] BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ。

ご注意

- ディスクの種類や視聴条件によっては、アナログ音声フィルターの効果がわかりにくいことがあります。

「映像や音楽を再生する」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能		できること
あ行	おでかけ進行状況*		おでかけ転送実行中に、おでかけ進捗画面を表示します（175ページ）。
	おでかけ転送*		
		選択転送	選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（175ページ）。
		すべて転送	表示中のリストのうち、上から順に30タイトルまでを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（175ページ）。
		グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（178ページ）。
		グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、上から順に30タイトルまでを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（178ページ）。
	思い出ディスクダビング		本機に取り込んだ映像や写真、スクラップブックなどをディスクに書き出します（157ページ）。
か行	画音設定		画質・音質を調整します（98、100ページ）。
		画質設定	映像や写真の画質を調整します（98ページ）。
		音声設定	音質を調整します（100ページ）。
	気になる人名		タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます（76ページ）。
	気になるワード		タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます（76ページ）。
	グループ表示		グループごとに分類されます（95ページ）。
さ行	再生		前回停止したところから再生します（86ページ）。
	再生停止		再生を停止します。
	次回予約		録画したタイトルの次回の予約をします（60ページ）。
	視聴制限一時解除／視聴制限再設定		視聴年齢制限を一時的に解除したり、再び設定したりします（93ページ）。
	消去		タイトルなどを消去します（186ページ）。
		1タイトル消去	1つのタイトルを消去します（186ページ）。
		選択消去	複数のタイトルを選んで消去します（186ページ）。
		すべて消去	表示中のリストのすべてのタイトルを消去します（186ページ）。
		グループ消去	グループのタイトルを一括して消去します（187ページ）。
		グループ内選択	グループ内の複数のタイトルを選んで消去します（187ページ）。
	情報表示		詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、⬆⬇で画面をスクロールしてください（98ページ）。
	初期化		BD-REを初期化します（192ページ）。
	進行状況		アクトビラからダウンロード中に、ダウンロード進行状況画面を表示します（167ページ）。
	設定/編集		
		名前変更	名前を変更します（286ページ）。
		マーク設定	タイトルにマークを設定します（106ページ）。
		サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します（107ページ）。
		ダイジェスト設定	ダイジェスト再生のジャンルや再生時間を設定します（89ページ）。
		チャプター編集	チャプターを結合・分割したり、消去したりします（112ページ）。
		チャプター消去	チャプターを消去します（110ページ）。
		A-B消去	タイトル内の一部分を選んで消去します（109ページ）。
		タイトル分割	タイトルを2つに分割します（111ページ）。
		タイトル結合	複数のタイトルを結合します（108ページ）。
		プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します（104ページ）。
	全タイトル表示		すべてのタイトルを表示します。

	オプション機能	できること
た行	ダイジェスト／ダイジェスト解除	タイトルの見どころ場面(盛り上がり場面)のみを再生したり、ダイジェスト再生を解除したりします(88ページ)。
	ダイジェスト時間	ダイジェスト再生の時間を変更します(88ページ)。
	タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします(92ページ)。
	ダビング	
	選択ダビング	選んだタイトルをディスクにダビングします(149ページ)。
	すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30タイトルまでをディスクにダビングします(149ページ)。
	グループ内選択	グループ内の選んだタイトルをディスクにダビングします(151ページ)。
	グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30タイトルまでをディスクにダビングします(151ページ)。
	ダビング進行状況	タイトルダビング実行中に、ダビング進捗画面を表示します(150ページ)。
	チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(92ページ)。
	トップメニュー	ディスクのメニュー画面を表示します(82ページ)。
な行	名前変更	名前を変更します(286ページ)。
	並び替え	タイトルを、日付順(新しい順)、日付順(古い順)、未視聴順、タイトル名順に並び換えます。《緑》ボタンを押しても並び換えできます(97ページ)。
は行	始めから再生	始めから再生します。
	早見／早見解除	タイトルを早見再生したり、早見再生を解除したりします。
	ファイナライズ	DVD-RやDVD+Rをファイナライズします(151ページ)。
	プロテクト／プロテクト解除	ハードディスクやディスクのタイトルが消去、編集されないよう保護したり、解除したりします(111、188ページ)。
	編集	
	タイトル結合	複数のタイトルを結合します(108ページ)。
	プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します(104ページ)。
ま行	メニュー /ポップアップ	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します(82ページ)。
ら行	ロック／ロック解除	ディスクをロックしたり、解除したりします(195ページ)。

	オプション機能	できること
アルファベット	BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします(195ページ)。
	BD情報	BDの情報を表示します(193ページ)。
	DVD情報	DVDの情報を表示します(193ページ)。
	HDD情報	ハードディスクの情報を表示します(193ページ)。
	HDDへダビング	本機で作成したBD-Jメニュー付きのBD-R/BD-REから映像を取り込みます(160ページ)。

* BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ。

映像を編集する

プレイリストを作成する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

オリジナルの映像(タイトル)からお好みの場面のみを集めて、プレイリストを作成できます。プレイリストは何度でも編集できます。
オリジナルのタイトルとプレイリストでは編集方法やできることが異なります。用途に応じて使い分けてください。

オリジナル映像を編集する

録画した映像(オリジナル映像)を直接編集します。

オリジナル編集の特徴

編集すると、ハードディスクの残量を増やせます
映像(タイトル)の不要な部分を、チャプター消去やA-B消去などで編集すると、ハードディスクの残量を増やせます。

一度編集すると、元の状態に戻せません
消去した映像は二度と元に戻りません。大切な映像は、プレイリスト編集をおすすめします。

プレイリスト映像を編集する

オリジナル映像から、編集用の映像(プレイリスト映像)を作成して編集します。

プレイリスト編集の特徴

何度でも編集できます
プレイリストは何回でも作成できるので、1つのオリジナルタイトルから異なる内容のプレイリストを複数作成できます。また、同じ場面をくり返したり、複数のタイトルを組み合わせたり、複雑な編集ができます。

編集しても、ハードディスクの残量は増えません
プレイリストの不要な部分を消去しても、ハードディスクの残量は増えません。また、プレイリストから参照されているオリジナルタイトルは、編集や消去ができなくなります。プレイリストを作成すると、ハードディスクのタイトル数が増えます。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 [設定/編集]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 [プレイリスト作成]を選び、《決定》ボタンを押す。

ハードディスクに保存している場面の一覧(シーンリスト)がある場合は、確認画面が表示されます。

5 タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

選んだタイトルの再生が最初から、または以前に再生した続きから始まります。

6 開始点(イン点)で[イン点設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

ちょっと一言

- 目的の場面を選ぶときに、早戻し／早送りやスロー再生もできます。

7 終了点(アウト点)で[アウト点設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

イン点とアウト点が表示されます。アウト点を先に設定することもできます。

8 [確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

つづけて同じタイトルから場面を追加する場合は、手順6～8をくり返します。

9 場面を選び終わったら[終了]を選び、《決定》ボタンを押す。

選んだ場面の一覧(シーンリスト)が表示されます。さらに編集するときは、[シーン追加]や[シーン移動]を選び、《決定》ボタンを押します。

10 シーンリストを確認し、場面の追加や移動が必要なければ、[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

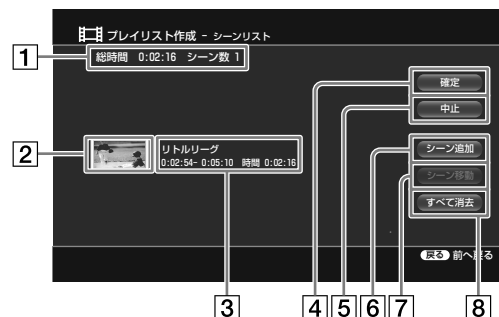
タイトル名を入力するためのキーボードが表示されます。文字入力について詳しくは、「文字入力のしかた」(286ページ)をご覧ください。

11 タイトル名を入力したら[入力終了]を選び、《決定》ボタンを押す。

プレイリストが作成されます。
作成されたプレイリストは、ホームメニューの[ビデオ]の映像の一覧(タイトルリスト)に表示され、タイトルに PL が付きます。

手順6/7/8/9 シーン切出し画面

1 タイトル名
2 再生状態、イン点／アウト点の位置や時間など
3 全指定
タイトル全体を1つの場面として切り出します。
4 イン点設定、アウト点設定
切り出す場面の開始点／終了点を設定します。
5 確定
イン点からアウト点までを場面として切り出します。
6 終了
シーン切出し画面を終了します。

手順10 シーンリスト画面

1 プレイリスト総時間、シーン(場面)数
2 場面のサムネイル
場面を選んで《決定》ボタンを押すと、場面の消去やイン点／アウト点の修正ができます。
3 オリジナルタイトル名、場面の開始／終了時間、場面総時間
4 確定
シーンリストに選んだ場面でプレイリストを作成します。

5 中止
シーンリスト画面を終了し、ホームメニューに戻ります。途中まで作成したシーンリストを保存すると、再度プレイリストを作成するときに、続きから作成できます。

6 シーン追加
同じプレイリストに場面を追加します。

7 シーン移動
場面の順番を変えます。

8 すべて消去
切り出した場面をすべて消去します。

ご注意

- プレイリストを作成すると、編集した場面を再生するとき、映像が一時停止することがあります。
- 視聴年齢制限されたタイトルの場面を含む場合は、プレイリスト作成を中止すると、途中まで作成したシーンリストは保存しません。

以下のことはできません

- 録画中にプレイリストを作成すること。
- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルのプレイリストを作成すること。
- DVDに録画したタイトルのプレイリストを作成すること。
- プレイリストを作成したオリジナルタイトルで、タイトル消去やチャプター編集などをすること。
- 1つのプレイリストに51 個以上の場面を設定すること。

映像にマークを付ける

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像(タイトル)にマークを設定します。29種類のマークから選べます(96ページ)。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 [設定/編集]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 [マーク設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

5 マークを選び、《決定》ボタンを押す。
タイトルにマークが設定されます。

以下のことはできません

- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)のタイトルにマークを付けること。
- DVDに録画したタイトルにマークを付けること。

映像のサムネイルを変更する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）のサムネイル画像を変更します。

1 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［設定/編集］を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **［サムネイル設定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **◀◀ / ▶▶《早戻し／早送り》ボタンなどを使って場面を選ぶ。**

6 **［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

7 **［はい］を選び、《決定》ボタンを押す。**

サムネイルが変更されます。

手順5/6 サムネイル設定画面

1 タイトル名

2 再生位置、再生経過時間など

3 確定
選んだ場面をサムネイルに設定します。

4 中止
サムネイルの変更を中止し、サムネイル設定画面を終了します。

以下のことはできません

- 「録画2」で録画中にサムネイルを変更すること（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ）。
- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルのサムネイルを変更すること。
- DVDに録画したタイトルのサムネイルを変更すること。

映像の名前を変更する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）の名前を変更します。

1 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［設定/編集］を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **名前を変更する。**

文字入力について詳しくは、「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。

6 **［入力終了］を選び、《決定》ボタンを押す。**

名前が変更されます。

以下のことはできません

- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルの名前を変更すること。
- DVDに録画したタイトルの名前を変更すること。

映像を結合する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ハードディスク内や同一ディスク内で、次の映像（タイトル）の結合ができます。

- プレイリストタイトル同士
- オリジナルタイトル同士

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 ［設定/編集］を選び、《決定》ボタンを押す。

4 ［タイトル結合］を選び、《決定》ボタンを押す。

5 タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

選んだ順にタイトルのサムネイル画像の左側に番号が付きます。
もう一度《決定》ボタンを押すと、選択を取り消します。

6 手順5をくり返して、結合したいタイトルをすべて選ぶ。

タイトルは、選んだ順に結合されます。

7 ［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。

8 タイトル名を選び、《決定》ボタンを押す。

タイトルが結合されます。
［名前入力］を選ぶと、新しくタイトル名を入力できます。
文字入力について詳しくは、「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。
［再選択］を選ぶと、前の画面に戻って再び結合するタイトルを選べます。

手順5/6/7 タイトル結合画面

1 タイトルの結合順

2 タイトルのサムネイル

3 タイトル名、録画日時、録画時間など

4 中止
タイトルの結合を中止し、タイトル結合画面を終了します。

5 確定
選んだタイトルを結合します。

ご注意

- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- コピー制限のないタイトルを、ダビング10に対応したタイトルと結合すると、ダビング10対応タイトルに付いていた回数制限が付きます。ダビング可能回数が1回の場合は、ダビングするとハードディスクからは消去されます。

以下のことはできません

- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルを結合すること。
- DVDに録画したタイトルを結合すること。

映像の一部を消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像(タイトル)の一場面を選んで消去できます(A-B消去)。オリジナルタイトルの場面を消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **[設定/編集]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **[A-B消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **消去開始場面(A点)で[A点設定]を選び、《決定》ボタンを押す。**

6 **消去終了場面(B点)で[B点設定]を選び、《決定》ボタンを押す。**

A点とB点が表示されます。B点を先に設定することもできます。

7 **[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。**

8 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

A点からB点までの場面が消去されます。
つづけて同じタイトルの他の場面を消去するには、手順5～8をくり返してください。

9 **[終了]を選び、《決定》ボタンを押す。**

A-B消去画面を終了します。

手順5/6/7 A-B消去画面

1 タイトル名

2 再生状態、A点／B点の位置や時間など

3 A点設定、B点設定
消去開始場面(A点)／消去終了場面(B点)を設定します。

4 確定
A点からB点までの場面を消去します。

5 終了
A-B消去画面を終了します。

ちょっと一言

- A-B消去で場面を消去した場所にはチャプターマークが入り、前後の場面はそれぞれ別のチャプターになります。

ご注意

- A-B消去で消去設定した場面が、若干ずれて消去されることがあります。

以下のことはできません

- 「録画2」で録画中にA-B消去すること(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ)。
- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルをA-B消去すること。
- DVDに録画したタイトルをA-B消去すること。

映像をチャプター単位で消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）の中のタイトルよりも小さい区切りをチャプターと呼びます。不要なチャプターを選んで、映像を消去できます。オリジナルタイトルのチャプターを消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

1 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［設定/編集］を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **［チャプター消去］を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **消去したいチャプターを選び、《決定》ボタンを押す。**

チャプターにカーソルを合わせると、そのチャプターの映像が背景に表示されます。
選んだチャプターの横のボックスにチェックマークが付きます。消去したいチャプターが複数あるときは、手順5をくり返してください。チェックマークを消すにはもう一度《決定》ボタンを押します。

6 **［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

7 **［はい］を選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだチャプターが消去されます。

手順5/6 チャプター消去画面

1 タイトル名
2 チェックボックス
チェックマークの付いたチャプターを消去します。
3 チャプターのサムネイル
4 チャプター番号
5 チャプター開始時刻
6 チャプター総時間
7 確定
選んだチャプターを消去します。
8 中止
チャプターの消去を中止します。
9 全選択解除
すべてのチェックマークを消します。

ご注意

- すべてのチャプターを消去すると、タイトル自体が消去されます。
- チャプターの時間が短いと、消去できないことがあります。

以下のことはできません

- 録画中にチャプター消去すること。
- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルをチャプター消去すること。
- DVDに録画したタイトルをチャプター消去すること。

映像を分割する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

長時間の映像（タイトル）を画質を落とさずにディスクにダビングしたいときなどは、オリジナルタイトルやプレイリストタイトルを2つのタイトルに分割して、それぞれのタイトルを別々のディスクにダビングできます。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **[設定/編集]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **[タイトル分割]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **分割する場面で[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。**

6 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

7 **分割した後のタイトル名を変更するか選ぶ。**

[はい]を選ぶと、タイトル名を変更します。文字入力について詳しくは、「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。タイトル名を入力後、タイトルが分割されます。
[いいえ]を選ぶと、元のタイトル名を両方のタイトルに使います。

手順5 タイトル分割画面

1 タイトル名
2 再生位置、再生経過時間など
3 確定
タイトルを分割します。
4 中止
タイトルの分割を中止します。

以下のことはできません

- 「録画2」で録画中にタイトルを分割すること（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ）。
- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルを分割すること。
- DVDに録画したタイトルを分割すること。

映像を変更できないようにする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

誤って映像（タイトル）を変更しないように、タイトルごとにプロテクト（保護）の設定をします。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **[プロテクト]を選び、《決定》ボタンを押す。**

タイトルがプロテクトされ、🔒が表示されます。

プロテクトを解除するには

上の手順3で[プロテクト解除]を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルから🔒が消え、プロテクトが解除されます。

チャプターを編集する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

チャプターを選んで、1つにまとめたり、2つに分けたり、消去したりして、映像（タイトル）をお好みのチャプターに分けることができます。また、不要な場面をチャプターにして、まとめて消去することもできます。オリジナルのチャプターを消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 [設定/編集]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 [チャプター編集]を選び、《決定》ボタンを押す。

5 チャプターを選ぶ。

6 [分割]、[前と結合]または[消去実行]を選び、《決定》ボタンを押してチャプターを編集する。

7 編集が終わったら[終了]を選び、《決定》ボタンを押す。

チャプター編集画面を終了します。

手順5/6/7 チャプター編集画面

1 タイトル名

2 再生位置、再生経過時間など

3 チャプター

4 分割
現在の再生位置にチャプターマークを付け、チャプターを2つに分けます。チャプターを再生して、◀◀ / ▶▶《早戻し／早送り》ボタンなどで分けたい場面を選んでから《決定》ボタンを押します。

5 前と結合
チャプターマークを消して、現在のチャプターと前のチャプターをつなぎます。

6 消去実行
選んだ複数のチャプターを一度に消去します。チャプターを選んで《決定》ボタンを押し、消したいチャプターをすべて選んでおきます。消去確認画面が表示されたら、[はい]を選びます。

7 終了
チャプター編集画面を終了します。

ちょっと一言

- 再生中などにリモコンのふたの中の《チャプター書込み》ボタンを押しても、チャプターの分割ができます（92ページ）。

ご注意

- チャプターの時間が短いと、消去できないことがあります。

以下のことはできません

- 「録画2」で録画中にチャプターを編集すること（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ）。
- 録画中、ダビング中、おでかけ転送中（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）のタイトルや、アクトビラからダウンロードしたタイトルをチャプター編集すること。
- DVDに録画したタイトルをチャプター編集すること。
- 1つのタイトルに99個以上のチャプターマークを付けること。

「映像を編集する」を利用するときのご注意

- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まると、編集内容が取り消されることがあります。
- BD-Rをクローズすると、編集はできなくなります（195ページ）。
- 元の録画を変えずに編集したいときは、プレイリストを作成してください（104ページ）。
- チャプター消去やチャプター編集、A-B消去で消去した場所の映像や音声が途切れることがあります。
- 視聴年齢制限されたタイトルを編集する場合、視聴年齢制限を一時的に解除してください。タイトルリストに表示されている適当なタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して［視聴年齢一時解除］を選んでください。画面にしたがって、暗証番号（227ページ）を入力すると、一時的に年齢制限が解除されます。
  編集が終わったら、《オプション》ボタンを押して［視聴制限再設定］を選ぶと、制限を再設定できます。また、本機の電源を切ると、自動的に制限が再設定されます。
  設定の変更については、[設定] – [年齢制限設定]の[HDDタイトル視聴年齢制限]（228ページ）をご覧ください。
  視聴年齢制限されたタイトルには、タイトルリストで が付きます。設定年齢を確認するには、《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選び、タイトル情報画面を表示します。
- ホームサーバー機能*を利用して、本機のタイトルを他機器で再生しているときに、本機でチャプター消去やチャプター編集、A-B消去、タイトル分割、サムネイル変更、プレイリスト作成をしようとすると、他機器の再生が停止します。また、本機でこれらの編集を行っているとき、本機のタイトルは、ネットワーク上の他機器から再生できません。

* BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ。

「映像を編集する」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
た行	ダイジェスト設定	ダイジェスト再生のジャンルや再生時間を設定します（89ページ）。

映像を編集する

映像や写真を取り込む

メモリーカードの使いかた

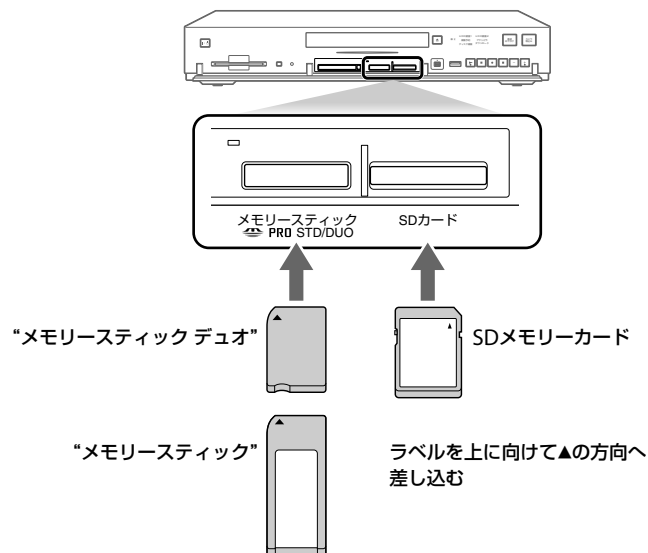
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	×	×	×

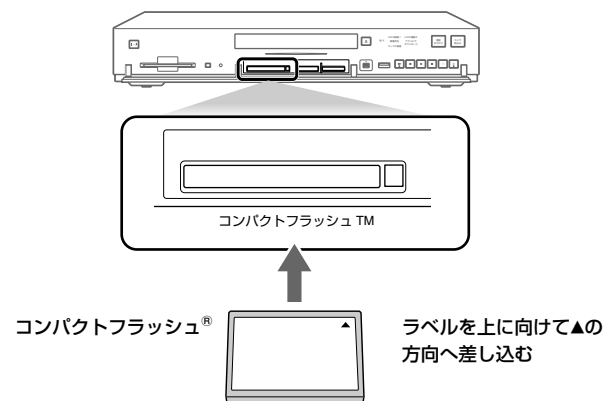
本機で使用できるメモリーカードについては、297ページをご覧ください。

メモリーカードの差し込みかた／取り出しかた

メモリーカードをそれぞれに対応するスロット（挿入口）にしっかりと差し込みます。
メモリーカードのデータを読み込んでいる間は、メモリーカードランプが点灯します。

“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、またはSDメモリーカード（SD）の場合

“メモリースティック マイクロ”（“M2”）やminiSD/microSD カードをご使用のときは、別売りの“M2”やminiSD/microSD アダプターが必要です。

カードを取り出すときはカードを軽く押し、カードが少し出てきたらつまんで引き出してください。

コンパクトフラッシュ®（CF）の場合

CFを取り出すときは、本機前面のイジェクトボタンを押し込み、手を離してください。CFが少し出てきますので、つまんで取り出してください。

メモリーカードについてのご注意

- 本機の電源が入っているときにメモリーカードを2枚以上差し込んだ場合、挿入したすべてのメモリーカードを認識します。
- ひとつのスロット（挿入口）に2枚以上のメモリーカードを差し込まないでください。故障の原因になります。
- メモリーカードは、向きを確かめてから入れてください。
- メモリーカードをまっすぐに差し込んでください。無理に押し込むとメモリーカードや本機を破損するおそれがあります。
- 取り込み中にメモリーカードを取り出さないでください。データ破損の原因になります。
- メモリーカードは、幼児などが誤って飲み込まないよう、手の届かない場所に保管してください。
- 本機では、標準の“メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”のどちらのサイズも使用できます。“メモリースティック”のサイズを自動的に判定するため、“メモリースティック デュオ”アダプターは使わないでください。
- “メモリースティック マイクロ”、miniSD/microSD カードを“M2”またはSD アダプターなしで使用すると、取り出せなくなるおそれがあります。

- メモリーカードは必ず指定のスロット(挿入口)に差し込んでください。
- 差し込まれているメモリーカードに強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- "M2"デュオサイズアダプターに"メモリースティック マイクロ"を入れ、さらにそれを"メモリースティック デュオ"アダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。

映像を取り込む

USBケーブルを使って映像を取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

USB端子のあるデジタルビデオカメラを本機につなぐと、AVCHD方式の映像を簡単に本機に取り込めます(AVCHDダビング)。
8cm DVDに記録した映像を、デジタルビデオカメラ経由で直接取り込むことはできません。ディスクを本機に挿入して取り込んでください(127ページ)。
本機に対応しているデジタルビデオカメラについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 **本機の電源を入れる。**

2 **デジタルビデオカメラを本機のUSB端子に接続する(254ページ)。**

3 **デジタルビデオカメラの電源を入れる。**

4 **デジタルビデオカメラをUSBモードに切り換える。**
切換え方法について詳しくは、お使いのデジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

5 **本機のリモコンで、ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**
BDZ-RX50/BDZ-RX30/BDZ-RS10をお使いの方は、手順7に進んでください。

6 **[ビデオカメラダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。**

7 **[AVCHDダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。**
本機後面のUSB端子につないでいるときは、[AVCHDダビング(USB背面)]を選びます(BDZ-RX100のみ)。

8 **各項目を設定する。**
詳しくは、「手順8 AVCHDダビング画面」(118ページ)をご覧ください。

9 **[実行]を選び、《決定》ボタンを押す。**
取り込みを始めます。
取り込みが完了すると、日付別にタイトルが作成されます。
ビデオカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてください。

手順8 AVCHDダビング画面

1 取り込む全タイトル容量

2 取り込みの方向

3 マーク
マークを変更できます。マークについて詳しくは、96ページをご覧ください。

4 詳細
ダビング範囲：取り込む映像の先頭と末尾の各場面の撮影日時が表示されます。

5 ボタン
実行：取り込みを実行します。
中止：AVCHDダビング画面を中止します。
自動選択：一度に30タイトルまで自動で取り込みます。
タイトル選択：取り込みたいタイトルを選びます。

6 ハードディスクの残量（目安）

前回の続きから取り込むには

ソニー製デジタルビデオカメラから取り込む場合、前回取り込んだ続きから取り込めます。
つないだデジタルビデオカメラに記録されている映像を自動で検出し、前回取り込んだ映像がある場合は手順7（117ページ）で確認画面が表示されます。続きから取り込むには［続きから］を選びます。

ちょっと一言

- 取り込んだ映像をスクラップブックの中に取り込むことができます。「映像や写真をスクラップブックにして楽しむ」（140ページ）をご覧ください。
- お気に入りの場面を静止画にして切り出すことができます（129ページ）。

ご注意

- デジタルスチルカメラで撮影した動画は、フォーマットによっては、本機に取り込むことはできません。
- デジタルビデオカメラで記録した映像を本機に取り込んだ場合、表示される録画モードが元の録画モードと異なる場合がありますが、画質は劣化しません。
- 日付ごとに場面をまとめたタイトルとして取り込まれます。各撮影場面はチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影場面の数が多い場合、複数のタイトルに分割される場合があります。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。デジタルビデオカメラで編集されたタイトルは分割されません。
- 撮影の前にデジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていることを確認してください。デジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていないと、自動チャプター機能（119ページ）や日付ごとのタイトル作成機能が正しく働きません。
- デジタルビデオカメラで何回も編集した場合、取り込み時に編集した箇所の一部が失われることがあります。
- 取り込みが、録画予約（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30では「録画2」の録画予約）の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までに取り込み完了できる範囲で取り込みます。取り込めなかったタイトルを取り込むには、「前回の続きから取り込むには」（118ページ）をご覧ください。予約した録画の完了後にもう一度AVCHDダビングを行うと、続きから取り込めます。
- アクトビラからダウンロード中にAVCHDダビングすると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

以下のことはできません

- ハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合に取り込むこと。
- 31個以上のタイトルを一度に取り込むこと。
- 他の機器や本機と同じ機種のレコーダーを使って、本機を操作すること。
- 録画モードなどを設定すること。
- デジタルビデオカメラで記録された、撮影日時などの字幕を取り込むこと（取り込んだ映像を再生するとき、画面に撮影日時を表示することはできません）。
- デジタルビデオカメラに記録されたAVCHD方式（ハイビジョン画質）以外の映像を取り込むこと。
- おでかけ転送中に取り込むこと。

i.LINKケーブルを使って映像を取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	×	×	×

本機のHDV1080i/DV入力端子にデジタルビデオカメラをつなぐと、HDV/DV方式の映像を簡単に取り込めます（HDV/DVダビング）。
本機に対応しているデジタルビデオカメラについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 **本機の電源を入れる。**

2 **デジタルビデオカメラを本機のHDV1080i/DV入力端子に接続する（253ページ）。**

3 **デジタルビデオカメラの電源を入れる。**

4 **デジタルビデオカメラをビデオ再生モードに切り換える。**

切換え方法について詳しくは、お使いのデジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。デジタルビデオカメラ側でテープを巻き戻すなどの操作は必要ありません。

5 **本機のリモコンで、ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

6 **[ビデオカメラダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。**

7 **[HDV/DVダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。**

8 **各項目を設定する。**

詳しくは、「手順8/9 HDV/DVダビング画面」(119ページ)をご覧ください。

9 **[実行]を選び、《決定》ボタンを押す。**

取り込みを始めます。
取り込みが完了すると、終了します。ビデオカメラの電源を切り、i.LINKケーブルを抜いてください。

手順8/9 HDV/DVダビング画面

1 接続機器

2 設定項目

←→で選び↑↓で設定して《決定》ボタンを押します。

録画信号：DV機器をつないだときは、自動的に[DV]に固定されます。HDV機器をつないだときは、取り込む信号に合わせて[HDV]または[DV]を選んでください。

- HDV：ハイビジョン画質で記録されたHDV信号のみをダビングする場合。
- DV：従来方式のDV信号のみをダビングする場合。

録画モード：録画モードを選びます。ただし、録画信号に[HDV]を選んだときは、自動的に[DR]に固定され、ハイビジョン画質のまま録画できます。録画モードについて詳しくは、「録画モード一覧」(299ページ)をご覧ください。

マーク：タイトルに設定された分類用のマークを表示します。「[マーク]」(96ページ)をご覧ください。

3 詳細

4 ボタン

実行：取り込みを実行します。

中止：HDV/DVダビング画面を中止します。

音声設定(DVのみ)：↑↓←→で選び《決定》ボタンを押すと、設定画面が表示されます。お買い上げ時は[ステレオ1]に設定されています。

- ステレオ1：最初からの記録音声のみをダビングします。DVテープを取り込むときは通常この設定を選びます。
- ミックス：ステレオ1、ステレオ2音声の両方を取り込みます。
- ステレオ2：あとから追加された音声のみを取り込みます。

[ミックス]や[ステレオ2]はデジタルビデオカメラで記録したあとから第2音声を加えたときにだけ、選んでください。

プレイリスト設定：↑↓←→で選び《決定》ボタンを押すと、設定画面が表示されます。デジタルビデオカメラに録画した日付ごとにプレイリストを作成するかどうかを選びます。お買い上げ時は[作成する]に設定されています。1回のダビングでプレイリストを30個まで作成でき、ひとつのプレイリスト内に250の場面を入れることができます。

チャプターの作られかた

テープ上の1回の撮影が自動的に1つのチャプターになります。取り込み中にリモコンのふたの中の《チャプター書込み》ボタンで手動でチャプターマークを書き込むこともできます。

取り込みを止めるには

リモコンのふたを開け、■《録画停止》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ［プレイリスト設定］を［作成する］にしているときは、録画が止まるまでに5分以上かかることがあります。
- ［プレイリスト設定］が［作成する］に設定されていると、オリジナルタイトルとは別に日付ごとにプレイリストタイトルが作成されます（104ページ）。
- ■《停止》ボタンを押しても録画は止まりません。
- 取り込みが中断してしまう場合は、「外部入力映像を録画する」に記載されている方法で録画してください（42ページ）。
- DV入力端子を使ってデジタルビデオカメラを接続した場合、取り込む前に、録画の画質や映像サイズを調整できます。「録画の画質・映像サイズを変更する」（45ページ）をご覧ください。
- 取り込んだ映像をスクラップブックの中に取り込むことができます。「映像や写真をスクラップブックにして楽しむ」（140ページ）をご覧ください。
- お気に入りの場面を静止画にして切り出すことができます（129ページ）。

ご注意

- 本機のHDV1080i/DV入力端子は入力専用です。信号は出力されません。
- テープのカセットメモリーの内容はディスクに記録できません。
- テープに5分以上の無記録部分があると、取り込みは自動的に終了します。HDV機器から取り込む場合、無記録部分は本機に録画されません。DV機器から取り込む場合は録画されます。止めるには、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタンを押してください。
- 撮影の前にデジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていることを確認してください。デジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていないと、自動チャプター機能（119ページ）や日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働きません。
- テープの途中に無記録部分があるときや、HDV信号とDV信号が混在しているときは、日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働かないことがあります。
- 次のときは、取り込まれた画像と音声が一瞬途切れることがあります。
  - 複数の録画モードで記録されているとき
  - 画像サイズが途中で切り換わっているとき
  - 無記録部分を含むとき
  - HDV信号とDV信号が混在しているとき
- デジタルビデオカメラで何回も編集した場合、取り込み時に編集した箇所の一部が失われることがあります。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。デジタルビデオカメラで編集されたタイトルは分割されません。
- 次の場合、HDV1080i/DV入力端子は使えません。
  - デジタルビデオカメラと本機のHDV1080i/DV入力端子に互換性がない場合（MICROMV方式など）。
    本機の音声／映像／ S映像入力端子につなぎ、「S映像ケーブルや映像ケーブルを使ってビデオカメラの映像を取り込む」（120ページ）の手順にしたがってください。
  - テープの記録画像がコピー制御信号を含んでいる場合。
- 次のときは、HDV/DVダビングはできません。
  - 「録画1」で録画しているとき
  - ダビングをしているとき
  - おでかけ／おかえり転送実行中や、おでかけ転送用動画ファイルを作成しているとき
- アクトビラからダウンロード中にHDV/DVダビングすると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

以下のことはできません

- テープのカセットメモリーの内容をディスクに記録すること。
- 他の機器や本機と同じ機種のレコーダーを使って、本機を操作すること。

S映像ケーブルや映像ケーブルを使ってビデオカメラの映像を取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

S映像端子または映像端子のあるビデオカメラを本機につなぐと、撮影した映像を本機に取り込めます。

1 **ビデオカメラを本機の音声／映像／ S映像入力端子に接続する（255ページ）。**

2 **ビデオカメラの電源を入れる。**

3 **ホームメニューから［外部入力］を選ぶ。**

4 **［入力］を選び、《決定》ボタンを押す。**

BDZ-EX200では［入力1］～［入力3］からビデオカメラをつないだ入力を選んでください。
画面が外部入力の映像に切り換わります。

ちょっと一言

- 放送を見ている状態で《入力切換》ボタンをくり返し押して選ぶこともできます。

5 **リモコンのふたの中の《録画モード》ボタンをくり返し押して、録画モードを選ぶ。**

録画モードについて詳しくは、「録画モード一覧」（299ページ）をご覧ください。

6 **リモコンのふたの中の❚❚《録画一時停止》ボタンを押して、本機の録画を一時停止する。**

7 **ビデオカメラの再生を一時停止する。**

8 **リモコンの❚❚《録画一時停止》ボタンと、ビデオカメラの一時停止または再生ボタンを同時に押す。**

録画が始まります。
録画を止めるには、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタンを押します。

手順5 録画モード画面

1 録画モードの種類
録画モードについて詳しくは、299ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 取り込みの前に、録画の画質や映像サイズを調整することができます。「録画の画質・映像サイズを変更する」(45ページ)をご覧ください。

ご注意

- 取り込んだ映像がコピー制御信号を含んでいる場合、取り込んだ映像はCPRM対応のDVDへのみダビングできます。BDへのダビングはできません。

メモリーカードの映像を取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	×	×	×

1 メモリーカードを対応するスロット(挿入口)に挿入する。

メモリーカードの入れかたは「メモリーカードの使いかた」(116ページ)をご覧ください。

2 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

3 [ビデオカメラダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 [AVCHDダビング(メモリースティック)]または[AVCHDダビング(SDメモリーカード)]を選び、《決定》ボタンを押す。

挿入したメモリーカードに応じて選んでください。

5 各項目を設定する。

詳しくは、「手順5/6 AVCHDダビング(メモリースティック)画面」(121ページ)をご覧ください。

6 [実行]を選び、《決定》ボタンを押す。

取り込みが始まります。取り込みが完了すると終了します。読み込み中は、メモリーカードランプが点滅します。

手順5/6 AVCHDダビング(メモリースティック)画面

1 取り込む全タイトル容量
2 取り込みの方向
3 マーク
マークを変更できます。マークについて詳しくは、96ページをご覧ください。
4 詳細
ダビング範囲：取り込む映像の先頭と末尾の各場面の撮影日時が表示されます。
5 ボタン
実行：取り込みを実行します。
中止：AVCHDダビング画面を中止します。
自動選択：一度に30タイトルまで自動で取り込みます。
タイトル選択：取り込みたいタイトルを選びます。
6 ハードディスクの残量(目安)

ご注意

- 日付ごとに場面をまとめたタイトルとして取り込まれます。各撮影場面はチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影場面の数が多い場合、複数のタイトルに分割される場合があります。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。デジタルビデオカメラで編集されたタイトルは分割されません。
- 取り込みが「録画2」の録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までに完了できる範囲で取り込みます。取り込めなかったタイトルを取り込むには、「前回の続きから取り込むには」(118ページ)をご覧ください。予約した録画の完了後にもう一度AVCHDダビングを行うと、続きから取り込めます。
- データの転送速度は、撮影時の設定やメモリーカードの使用環境によって異なります。
- マジックゲートで保護されたデータのように、暗号化されているものは、本機へ取り込めません。
- 日付ごとにシーンをまとめたタイトルとして取り込まれます。各撮影シーンはチャプターとして引き継がれます。ただし、1つのタイトルに80個以上のシーンがある場合、タイトルが分割されます。
- デジタルビデオカメラで編集されたタイトルは80個以上のシーンがあっても分割されませんが、98シーン以上あるタイトルを取り込んだ場合98シーン目以降シーンは１つのチャプターとしてまとめられます。
- 1回に取り込めるタイトル数の上限は 30タイトルです(ハードディスクの残量によって変わります)。

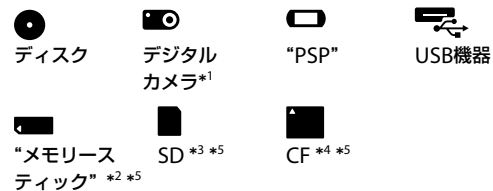
写真を取り込む

以下のことはできません

- ハードディスクの残量が足りない場合や、タイトルがいっぱいの場合に、本機に取り込むこと。
- 31個以上のタイトルを一度に取り込むこと。
- 録画モードなどを設定すること。
- デジタルビデオカメラで記録した字幕を記録すること。
- メモリーカードに記録された、AVCHD方式(ハイビジョン画質)以外の映像を、本機に取り込むこと。
- おでかけ転送中に取り込むこと。

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ディスクや本機につないだデジタルスチルカメラ、"PSP"、USB機器から写真(JPEGのみ)を取り込むことができます。
本機ではフォルダのことをアルバム、ファイルのことを写真と呼びます。

アルバムごと取り込む

1 ホームメニューから[フォト]を選ぶ。

2 メディアまたは接続機器を選び、《決定》ボタンを押す。

*1 デジタルスチルカメラをつないだ場合でも「USB機器」と表示されることがあります。
*2 "メモリースティック" ／ "メモリースティック デュオ" ／ "メモリースティック マイクロ"(アダプターが必要)
*3 SDメモリーカード／ SDHCメモリーカード／ miniSDカード(アダプターが必要) ／ microSDカード(アダプターが必要) ／ microSDHC(アダプターが必要)
*4 コンパクトフラッシュ®
*5 BDZ-RX100のみ。

3 アルバムを選び、《オプション》ボタンを押す。

4 [コピー]を選び、《決定》ボタンを押す。

5 [1アルバムコピー]を選び、《決定》ボタンを押す。

ちょっと一言

- [選択コピー]を選ぶと複数のアルバムを選んで取り込めます。[選択コピー]を選んだときは自動分類しません。

6 [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。

7 [このままコピー]または[次へ]を選び、《決定》ボタンを押す。

このままコピー:コピー元のアルバムをそのまま取り込む場合に選びます。取り込みが始まります。
次へ:アルバム内に取り込み済みの写真があるか調べたり、アルバム内の写真を自動的に撮影日で分類する場合に選びます。取り込み済みの写真が本機にあるときは手順8に進んでください。お買い上げ後など、本機に取り込み済みの写真がないときは、手順9に進んでください。

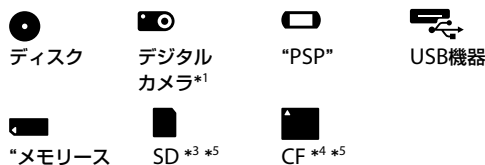
8 **［続きからコピー］または［すべてコピー］を選び、《決定》ボタンを押す。**

続きからコピー：アルバム内のまだ取り込んでいない写真を取り込みます。
すべてコピー：アルバム内のすべての写真を取り込みます。

9 **［分類して実行］または［分類しないで実行］を選び、《決定》ボタンを押す。**

取り込みが始まります。
分類して実行：撮影頻度や撮影日時の情報からイベントごとに自動分類して取り込みます。自動分類された各アルバム名の先頭には、アルバム内のもっとも古い撮影日時が付きます。
分類しないで実行：自動分類せずそのまま写真を取り込みます。

写真を選択して取り込む

1 **ホームメニューから［フォト］を選ぶ。**

2 **メディアまたは接続機器を選び、《決定》ボタンを押す。**

ディスク　デジタルカメラ[*1]　“PSP”　USB機器

“メモリースティック”[*2 *5]　SD[*3 *5]　CF[*4 *5]

[*1] デジタルスチルカメラをつないだ場合でも「USB機器」と表示されることがあります。
[*2] “メモリースティック”／“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック マイクロ”（アダプターが必要）
[*3] SDメモリーカード／SDHCメモリーカード／miniSDカード（アダプターが必要）／microSDカード（アダプターが必要）／microSDHC（アダプターが必要）
[*4] コンパクトフラッシュ®
[*5] BDZ-RX100のみ。

3 **アルバムを選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **写真を選び、《オプション》ボタンを押す。**

5 **［コピー］を選び、《決定》ボタンを押す。**

6 **［1ファイルコピー］を選び、《決定》ボタンを押す。**

ちょっと一言
- ［選択コピー］を選ぶと複数の写真を選んで取り込めます。

7 **［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

8 **コピー先のアルバムを選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだ写真が取り込まれます。
新しくアルバムを作成する場合は［新規作成］を選びます。
新しいアルバムの名前入力については「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。

取り込んだ写真をコピーする

本機に取り込んだアルバム内の写真を、他のアルバムや新しいアルバムにコピーできます。さらにアルバムにまとめることで写真を整理したり、x-Pict Story HDで1つのフォト作品にしたりできます。

1 **ホームメニューから［フォト］を選ぶ。**

2 **アルバム内の写真を選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［コピー］を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **［1ファイルコピー］を選び、《決定》ボタンを押す。**

ちょっと一言
- ［選択コピー］を選ぶと、複数の写真を選んでコピーできます。

5 **［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。**

6 **コピー先のアルバムを選び、《決定》ボタンを押す。**

ハードディスクに写真がコピーされます。
新しくアルバムを作成する場合は［新規作成］を選びます。
新しいアルバムの名前入力については「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。

ちょっと一言
- 本機に取り込んだアルバムを使ってx-Pict Story HDで映像を作成すると、BDやDVDにダビングできるようになります（139ページ）。
- ハードディスクに取り込めるアルバムの総数は最大200個です（サンプルアルバムは除く）。
- ハードディスク上のアルバムの名前に登録できる文字数は全角16文字、半角32文字までです。
- ハードディスク上のアルバムの名前に半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「:」「¥」「;」「・」「.」「 」（スペース）などの文字を使用すると、DVDにコピーした場合、フォルダ名が正しく表示できないことがあります。

ご注意
- フォルダごと取り込むときは、取り込もうとしているフォルダの中に入っている写真のみ取り込むことができます。取り込もうとしているフォルダの中に入っているフォルダは、取り込むことができません。

ワンタッチで取り込む

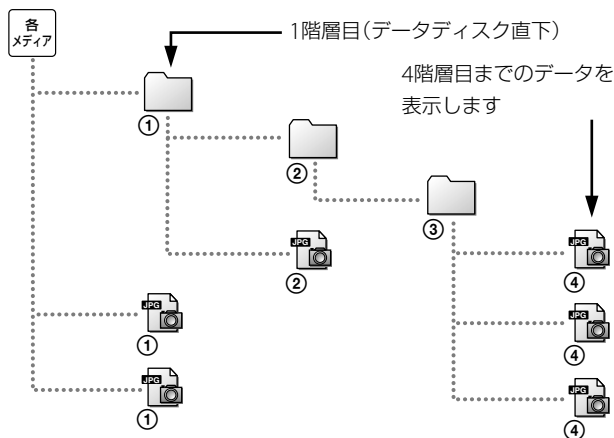
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	○	○	○

- 写真以外のファイルが複数記録されているUSB機器の場合、写真（JPEG)を表示できない場合があります。
- 本機では1枚の写真を取り込むのに10秒ほどかかります。また、一度に大量の写真を取り込むと、取り込みが完了するまで30分以上時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 写真の取り込み中に接続機器の電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- コピー先に同じ名前の写真がある場合は、コピーする写真の名前の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。写真に付けられる名前の文字数は全角16文字、半角32文字以内になるため、コピーする写真の名前が長いと、すべて同じ名前として判断され、数字が付いてしまうことがあります。
- 接続するデジタルスチルカメラによっては一度に100枚以上取り込む場合、100枚ごとに仮想フォルダができます。

以下のことはできません

- ハードディスクに空きがないときに取り込むこと。
- 4階層目のフォルダを取り込むこと。
- ハードディスク内に10,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に201個以上のアルバムを作成すること。
- 1つのアルバムに501個以上の写真を取り込むこと。
- 1つのフォルダから501枚以上の写真を取り込むこと。
- 「録画2」で録画中（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30のみ）に、アルバムや写真を取り込むこと。
- おでかけ転送中に取り込むこと。

本機に取り込めるフォルダやファイルについて

各メディア直下（ルート）を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存したファイルを認識できます。

カメラ取込みボタンを利用するときのご注意

- 本機の他の機能を利用しているときは、カメラ取込みボタンが利用できません。
- [設定]の2階層目の項目を表示しているときは、カメラ取込みボタンが利用できません。
- カメラ取込みを中止したり、取り込めないタイトルがあった場合、自己メール（212ページ）が発行されます。
- DCF*準拠のファイルが対象です。DCFで規定されているフォルダ・ファイル形式以外のファイルは取り込みません。（*（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera Files systems"のことです。）

BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30の場合

- カメラ取込み（HDV/DVダビング）を利用しているときは、「録画2」の予約のみ実行できます。
- カメラ取込み（AVCHDダビング）を利用しているときは、「録画1」の予約のみ実行できます。「録画2」の予約を実行すると、カメラ取込みボタンでのダビング（AVCHDダビング）を中断します。

映像や写真を取り込む優先順位について

デジタルビデオカメラ、USB機器（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ含む）、メモリーカード、ディスクから取り込むときは、次の優先順位で映像や写真を取り込みます。

① HDV1080i/DV入力端子につないだデジタルビデオカメラ
② 本機の前面USB端子につないだUSB機器（デジタルビデオカメラを含む）
③ 本機の背面USB端子につないだUSB機器（デジタルビデオカメラを含む）*[1]
④ “メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”*[1]
⑤ SDメモリーカード*[1]
⑥ コンパクトフラッシュ®*[1]、*[2]
⑦ ディスク

*[1] BDZ-RX100のみ
*[2] 写真のみ

映像や写真を取り込む

ビデオカメラの映像をワンタッチで取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	○	○	○

以下の端子にデジタルビデオカメラをつないで、デジタル映像をボタンひとつで簡単に取り込めます。

HDV1080i/DV入力端子：HDV/DV方式の映像を取り込めます（HDV/DVダビング）（BDZ-RX100のみ）。

USB端子：AVCHD方式の映像を取り込めます（AVCHDダビング）。

8cm DVDで記録するデジタルビデオカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。ディスクを本機に挿入して取り込んでください。

本機に対応しているデジタルビデオカメラについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/bd/

1 **HDV/DV方式のときはテープをデジタルビデオカメラに入れる。**

2 **デジタルビデオカメラの電源と本機の電源を入れる。**

3 **デジタルビデオカメラを本機に接続する。**

HDV1080i/DV入力端子につなぐときは、253ページをご覧ください。
USB端子につなぐときは、254ページをご覧ください。

4 **デジタルビデオカメラのモード切り換える。**

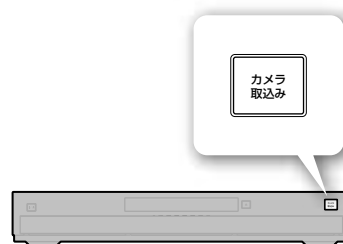
HDV1080i/DV入力端子につないだときは：ビデオ再生モードにします。デジタルビデオカメラ側でテープを巻き戻すなどの操作は必要ありません。

USB端子につないだときは：USBモードにします。

モード切換について詳しくは、お使いのデジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

5 **本機前面の《カメラ取込み》ボタンを押す。**

《カメラ取込み》ボタン／ランプが白く点滅したあと、赤く点灯して取り込みが始まります。カメラ取込み実行中画面が表示され、取り込みが終わると画面は消えます。

HDV/DV方式の映像のときは、挿入したテープを丸ごと取り込みます。

ご注意

HDV1080i/DV入力端子につないだときは

- 録画モードやプレイリスト設定、音声設定、マーク設定などの設定はできません。設定を変えて取り込む場合は「i.LINKケーブルを使って映像を取り込む」（118ページ）をご覧ください。
- デジタルビデオカメラにテープが挿入されていない場合は、カメラ取込みは実行されません。
- 2時間以内に録画予約が設定されている場合、カメラ取込みは動作しません。
- HDV機器からHDVとDVの信号が出力可能な状態のときは、HDV信号を取り込みます。DV信号を取り込みたいときは、「i.LINKケーブルを使って映像を取り込む」（118ページ）をご覧ください。

USB端子につないだときは

- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。
- 取り込みが、「録画2」の録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までに取り込み完了できる範囲で取り込みます（BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30のみ）。
- カメラ取込みでは、動画、静止画の順に取り込めます。
- 取り込まれたタイトルは、日付単位で分割されて本機に保存されます。
- カメラ取込みでは、前回の続きから取り込みます。先頭から取り込みたい場合には、「USBケーブルを使って映像を取り込む」（117ページ）を行ってください。
- デジタルビデオカメラに記録されたAVCHD以外の映像は、本機に取り込めません。
- デジタルビデオカメラで記録した字幕は記録されません。
- デジタルビデオカメラから写真を取り込む場合、HDV1080i/DV入力端子ではなく、USB端子を使って本機とつないでいることを確認してください。

以下のことはできません

USB端子につないだときは、以下のことはできません。

- ハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合に、取り込むこと。
- カメラ取込みで録画モードなどを設定すること。
- ディスクからAVCHD方式以外の映像を取り込むときは、録画できません。
- 一度に4,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に10,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に201個以上のアルバムを作成すること。
- 1つのアルバムに501個以上の写真を取り込むこと。
- 1つのフォルダから501枚以上の写真を取り込むこと。
- 録画中に、アルバムや写真を取り込むこと。
- おでかけ転送中に取り込むこと。

取り込みを止めるには

1 ［停止］を選び、《決定》ボタンを押す。

HDV1080i/DV入力端子につないだときは、［オプション］から［ダビング停止］を選んで停止します。

2 ［はい］を選び、《決定》ボタンを押す。

ちょっと一言

- HDV1080i/DV入力端子につないだときは、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタンを押しても録画を停止できます。
- ［プレイリスト設定］を［作成する］にしているときは、録画が止まるまでに5分以上かかることがあります。
- ■《停止》ボタンを押しても録画は止まりません。

デジタルスチルカメラの写真をワンタッチで取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	○	○	○

本機につないだデジタルスチルカメラなどのUSB機器から、ボタンひとつで写真を簡単に取り込むことができます。
本機に対応しているデジタルカメラについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 USB機器を本機に接続する（254ページ）。

2 写真を取り込む機器の電源を入れる。

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

3 本機前面の《カメラ取込み》ボタンを押す。

《カメラ取込み》ボタン／ランプが白く点滅したあと、赤く点灯して取り込みが始まります。カメラ取込み実行中画面が表示され、取り込みが終わると画面は消えます。

ご注意

- USB機器と映像をやり取りしている間は、USBケーブルを抜かないでください。
- 本機ですでに取り込まれているファイルは、カメラ取込みでは取り込めません。これらのファイルを取り込む場合には、アルバムコピー、ファイルコピーで行ってください。
- USB機器内にAVCHDフォーマットのビデオファイルが記録されている場合には、ビデオファイルも同時に取り込まれます。
- 取り込みが、「録画2」の録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までに完了できる範囲でアルバム単位毎に写真を取り込みます（BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30のみ）。
- 本機では1枚の写真を取り込むのに10秒ほどかかります。また、一度に大量の写真を取り込むと、取り込みが完了するまで30分以上時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 写真の取り込み中に接続機器の電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- コピー先に同じ名前の写真がある場合は、コピーする写真の名前の末尾に(1)、(2)・・・などの数字が付きます。写真につけられる名前の文字数は全角16文字、半角32文字以内になるため、コピーする写真の名前が長いと、すべて同じ名前として判断され、数字が付いてしまうことがあります。
- 写真を取り込むと自動分類して新しいアルバムとして保存します。写真を選択したい場合や、保存先を指定したい場合には、フォトの［1アルバムコピー］または［1ファイルコピー］から写真を取り込んでください。詳しくは「写真を取り込む」（122ページ）をご覧ください。

以下のことはできません

- 一度に4,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に10,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に201個以上のアルバムを作成すること。
- 1つのアルバムに501枚以上の写真を取り込むこと。
- 1つのフォルダから501枚以上の写真を取り込むこと。
- 録画中に、アルバムや写真を取り込むこと。
- おでかけ転送中に取り込むこと。
- ハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合に、取り込むこと。

メモリーカードの映像や写真をワンタッチで取り込む

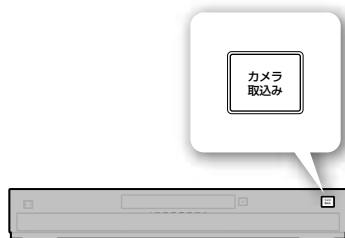
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	×	×	×

ボタンひとつでAVCHD方式の映像や写真を簡単に取り込むことができます。

1 メモリーカードを、対応するスロット（挿入口）に挿入する。

メモリーカードの入れ方は「メモリーカードの使いかた」（116ページ）をご覧ください。

2 本機前面の《カメラ取込み》ボタンを押す。

《カメラ取込み》ボタン／ランプが白く点滅したあと、赤く点灯して取り込みが始まります。カメラ取込み実行中画面が表示され、取り込みが終わると画面は消えます。読み込み中は、メモリーカードスロット（挿入口）の上のランプが点滅します。

ご注意

- 本機がメモリーカードから取り込んでいる（メモリーカードスロットの上にあるランプが点滅している）間は、メモリーカードを取り出さないでください。
- コンパクトフラッシュ®に記録されている映像は取り込めません。
- データの転送速度は、ビデオカメラやメモリーカードの使用環境によって異なります。
- マジックゲートで保護されたデータのように、暗号化されているものは、本機へ取り込めません。

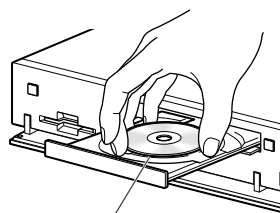
以下のことはできません

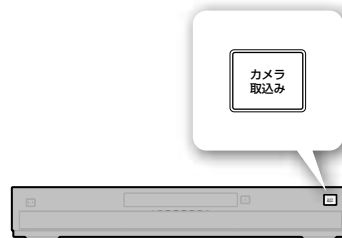
- ハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合に、取り込むこと。
- カメラ取込みで録画モードなどを設定すること。
- 一度に4,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に10,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に201個以上のアルバムを作成すること。
- 1つのアルバムに501個以上の写真を取り込むこと。
- 1つのフォルダから501枚以上の写真を取り込むこと。
- 録画中に、アルバムや写真を取り込むこと。
- おでかけ転送中に取り込むこと。

8cm DVDの映像や写真をワンタッチで取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	○	○	○

AVCHD方式のハイビジョン映像や、標準画質の映像、写真（JPEGファイルのみ）をボタン一つで取り込むことができます。

1 本機に8cm DVDを挿入する。

2 本機前面の《カメラ取込み》ボタンを押す。

《カメラ取込み》ボタン／ランプが白く点滅したあと、赤く点灯して取り込みが始まります。カメラ取込み実行中画面が表示され、取り込みが終わると画面は消えます。

ご注意

- 映像と写真が混在しているディスクの場合は、映像、写真の順に取り込みます。
- 取り込み可能なディスクの種類は8cm DVDのみです。
- 31タイトル以上あるディスクはカメラ取込みできません。「BDやDVDの映像を取り込む」（128ページ）をご覧ください。
- 取り込み実行時間内に同時動作できない録画予約が設定されている場合には、実行できません。
- 取り込み時の録画モードは本機が自動で設定します。録画モードを変更して取り込みたい場合は、「BDやDVDの映像を取り込む」（128ページ）をご覧ください。
- HDV1080i/DVまたはUSBでつないだ機器があるときは、ディスクから取り込めません。
- 8cm DVDをカメラ取込みする場合、すべてのタイトルの取り込みが完了するまでの間に、「録画2」の録画予約が入っている場合は、取り込みできません（BDZ-RX100/BDZ-RX50/BDZ-RX30のみ）。

以下のことはできません

- ハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合に、取り込むこと。
- カメラ取込みで録画モードなどを設定すること。
- 一度に4,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に10,001枚以上の写真を取り込むこと。
- ハードディスク内に201個以上のアルバムを作成すること。
- 1つのアルバムに501個以上の写真を取り込むこと。
- 1つのフォルダから501枚以上の写真を取り込むこと。
- 録画中に、アルバムや写真を取り込むこと。
- おでかけ転送中に取り込むこと。

BDやDVDの映像を取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **本機にディスクを挿入する。**

2 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

3 **[ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **[BD/DVD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。**

すべてのタイトルを選ぶときは、[全選択]を選びます。

6 **[実行]を選び、《決定》ボタンを押す。**

取り込みを始めます。

手順5/6 タイトルダビング画面

1 取り込む全タイトル容量

2 取り込みの方向

3 取り込む順番

4 タイトルの種類、マークなど
マークの種類について詳しくは、96ページをご覧ください。

5 ボタン
実行：取り込みを実行します。
中止：タイトルダビング画面を中止します。
全選択：取り込み可能なタイトルを、リストの上から順に30個まで選びます。
全選択解除：取り込み対象に選んだタイトルをすべて取り消します。

6 ハードディスクの残量（目安）

ちょっと一言

- DVD（AVCHD方式）からハードディスクへ取り込んだ場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとして取り込まれます。
- BDやDVDからハードディスクへ取り込む場合は、BDやDVDの映像サイズはそのまま取り込まれます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみ取り込まれることがあります。

ご注意

- DVD（AVCHD方式）からハードディスクへの取り込みでは、録画モードを変更できません。
- DVD（AVCHD方式以外）からハードディスクに取り込む場合は、高速ダビングできません。

以下のことはできません

- 市販のBD-ROMやDVDビデオから取り込むこと。
- コピー制御信号を含む映像を取り込むこと。
- 他機器で作成したディスクで、本機に挿入したときに「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。

お気に入りの場面を写真にする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

以下の映像（タイトル）の中から、お好みの場面を選んで写真にできます。

- HDV/DVダビングしたタイトル（BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ）
- AVCHDダビングしたタイトル
- HDV1080i/DV入力端子から録画したタイトル（BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ）
- 入力2音声/映像/S映像端子から録画した「録画制限なし」のタイトル（BDZ-EX200のみ）。
- 8cm DVDから取り込んだタイトル
- x-Pict Story HDで作成したタイトル

1 ホームメニューから［フォト］を選ぶ。

2 ［フォト切り出し］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 写真にしたい場面を含む映像を選び、《決定》ボタンを押す。

4 保存先のアルバムを選び、《決定》ボタンを押す。

新しくアルバムを作成する場合は［新規作成］を選びます。新しいアルバムの名前入力については、「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。

5 再生中の映像を見ながら、切り出すポイントを選び❚❚《一時停止》ボタンを押す。

►《再生》ボタンで映像を再生します。また、◄◄《早戻し》／►►《早送り》ボタンで切り出すポイントを選べます。

6 ［実行］を選び、《決定》ボタンを押す。

実行後、自動で手順5に戻ります。同じタイトルから他の画像を切り出す場合は手順5～6をくり返します。

7 ［終了］を選び、《決定》ボタンを押す。

ちょっと一言

- ビデオカメラ映像からフォト切り出ししたファイル（写真）は、HDVからは日付が付きますが、DVからの切り出しは本機に取り込んだ日付になります（BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ）。

ビデオテープの映像を取り込む

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

VHSテープに保存されている映像を本機のハードディスクに簡単に取り込むことができます（8ミリやベータのビデオテープからも取り込むことができます）。あらかじめ本機の音声／映像入力端子にビデオデッキを接続してください（249ページ）。

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 ［VHSダビング］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ビデオデッキの電源を入れる。

4 ビデオデッキを再生一時停止状態にする。

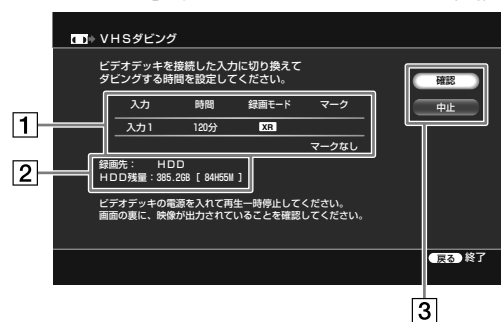
5 ←→で［入力］を選び、↑↓でビデオデッキをつないだ入力を選ぶ（BDZ-EX200のみ）。

6 ←→で［時間］を選び、↑↓で録画する時間を選ぶ。

7 ［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。

8 ［実行］を選び、《決定》ボタンを押す。

9 ダビング開始のメッセージが表示されたら、ビデオデッキで再生を始める。

手順5/6/7 VHSダビング画面

1 設定項目

入力（BDZ-EX200のみ）：ビデオデッキをつないだ入力を選びます。

時間：録画する時間を選びます。

録画モード：録画モードについて詳しくは、「録画モード一覧」（299ページ）をご覧ください。

マーク：タイトルに設定された分類用のマークを表示します。「［マーク］」（96ページ）をご覧ください。

2 詳細
3 ボタン
確定：設定内容を確定します。
中止：VHSダビング画面を中止します。

ダビングを中止するには

1 **ダビング中に《オプション》ボタンを押す。**

2 **[ダビング停止]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

ちょっと一言

- VHSテープからのダビングはらくらくスタートメニューでもできます。
- ビデオデッキをS映像入力端子につないでいるときは、[設定]の[映像設定]で[映像入力]*を[S映像]に設定してください(220ページ)。

* BDZ-EX200では[映像入力1] ～ [映像入力3]と表示されます。ビデオデッキをつないだビデオ入力を選んでください。

- 録画する画像の横縦比を変更したいときは、オプションの[外部入力録画横縦比]を設定してください(45ページ)。

「映像や写真を取り込む」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
あ行	**思い出ディスクダビング**	本機に取り込んだ映像や写真、スクラップブックなどをディスクに書き出します(157ページ)。
か行	**回転(左)**	写真ファイルを左回りに90度回転させます。
	回転(右)	写真ファイルを右回りに90度回転させます。
	画質設定	画質の調整をします(98ページ)。
	コピー	アルバムや写真をコピーします。
	1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします(122ページ)。
	1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします(123ページ)。
	選択コピー	選択した複数のアルバムまたは写真をコピーします(122ページ)。
さ行	**再生**	前回停止したところから再生します(86ページ)。
	再生停止	再生を停止します。
	消去	アルバムや写真を消去します(188ページ)。
	1ファイル消去	1ファイルの写真を消去します(188ページ)。
	選択消去	選択した複数の写真を消去します(189ページ)。
	情報表示	アルバムや写真の情報を表示します。
	初期化	BD-REのディスクを初期化します(192ページ)。
	スライドショー	スライドショーで表示します(135ページ)。
	スライドショーの速さ	スライドショー表示の速さ(速い／標準／遅い)を設定します。
	選択モード	選択モードに切り換えます。

	オプション機能	できること
た行	ダビング	
	選択ダビング	選んだタイトルをハードディスクやディスクにダビングします(128、149ページ)。
	すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30タイトルまでをハードディスクやディスクにダビングします(128、149ページ)。
	ダビング停止	ダビング実行中にダビングを停止します。
	チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(92ページ)。
	停止	スライドショーやx-ScrapBookの再生を停止します。
	テーマ変更	壁紙のテーマを変更します(141ページ)。
な行	名前変更	アルバムやx-Pict Story HDのフォト作品の名前を変更します。文字入力については286ページをご覧ください。
は行	始めから再生	タイトルを始めから再生します。
	早見	タイトルを早見再生します。
	早見解除	タイトルの早見再生を解除します。
	ビデオ作成	x-Pict Story HD のフォト作品を映像にします。
	表示	x-ScrapBookを表示します(140ページ)。
	表紙へ	表紙ページを表示します。
	表示モード	
	ノーマル	写真を画面にあわせて表示し、余白には黒帯を表示します。
	ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[標準]と同様に再生します。
	ファイナライズ	DVD-RやDVD+Rをファイナライズします(151ページ)。
	ファイルサーチ	指定した写真ファイルを表示します。
	ファイル消去	x-Pict Story HDのフォト作品を消去します。
	プロテクト/プロテクト解除	ディスクの内容が誤って消去されないよう保護します(188ページ)。
	ページサーチ	入力した番号のページを表示します。
	ページモード	ページモードに切り換えます。
	編集	
	テーマ変更	壁紙のテーマを変更します(141ページ)。
	ビデオ選択解除	ビデオの選択を解除します(141ページ)。
	ビデオ選択追加	x-ScrapBookにビデオを追加します(141ページ)。

	オプション機能	できること
ら行	ロック/ロック解除	ディスクをロックしたり、ロックを解除します(195ページ)。
アルファベット	BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします(195ページ)。
	BD情報	BDの情報を表示します(193ページ)。
	DVD情報	DVDの情報を表示します(193ページ)。
	HDD情報	ハードディスクの情報を表示します(193ページ)。
	x-Pict Story作成	x-Pict Story HDを作成します(136ページ)。
	x-ScrapBook再生	x-ScrapBookを再生します(140ページ)。

写真を楽しむ

ディスクやUSB機器の写真を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機では、ディスクやUSB機器、メモリーカード（BDZ-RX100のみ）に保存されている写真を再生できます。

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

ディスクやUSB機器、メモリーカード（BDZ-RX100のみ）に保存した写真を本機に取り込んで、スクラップブックやフォト作品を作成したいときは、「アルバムの写真を使ってフォト作品を作る」（136ページ）をご覧ください。

1 本機にディスクやメモリーカードを挿入する。

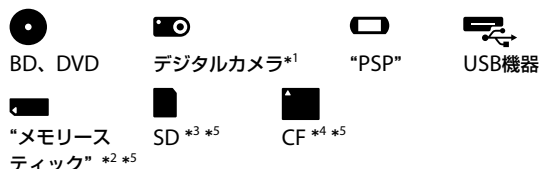
デジタルスチルカメラや“PSP”などのUSB機器の場合は本機のUSB端子につないでください（254ページ）。

メモリーカードの挿入のしかたについては、「メモリーカードの使いかた」（116ページ）をご覧ください。

2 ホームメニューから[フォト]を選ぶ。

3 ディスクやメモリーカード、接続機器を選び、《決定》ボタンを押す。

BD、DVD　デジタルカメラ*1　“PSP”　USB機器

“メモリースティック”*2 *5　SD *3 *5　CF *4 *5

*1 デジタルスチルカメラをつないだ場合でも「USB機器」と表示されることがあります。

*2 “メモリースティック” ／ “メモリースティック デュオ”

*3 SDメモリーカード／ SDHCメモリーカード／ miniSDカード（アダプターが必要） ／ microSDカード（アダプターが必要）

*4 コンパクトフラッシュ®

*5 BDZ-RX100のみ。

4 フォルダを選び、《決定》ボタンを押す。

本機ではフォルダのことをアルバムと呼びます。

5 写真を選び、《決定》ボタンを押す。

表示中に⏮《前》ボタンを押すと前の写真を、⏭《次》ボタンを押すと次の写真を表示します。

ちょっと一言

- 16:9（HDTVサイズ）で撮影した写真を本機で再生すると、上下、または上下左右に黒帯が表示されることがあります。[設定] − [映像設定]の[テレビタイプ]を[16:9]に設定してください（220ページ）。また、ワイドテレビ側のワイド切換で16:9に設定してください。切り換え方法について詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 写真を表示しているときや本機に取り込んでいるときに、デジタルスチルカメラや“PSP”をつないでいるUSBケーブルを抜かないでください。
- 写真を表示しているときに、メモリーカードを抜かないでください（BDZ-RX100のみ）。
- ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- DCF形式以外のJPEG形式の写真（パソコンで加工した静止画像など）では、一部の機能が正しく動作しないことがあります。
- 本機はサイバーショットのボイスメモ機能に対応していません。
- 本機で再生できる写真は、圧縮方式がJPEG形式で、ファイル名形式がDCF形式*のものです。

* （社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera Files systems"のことです。

- ファイル名、フォルダ名がISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット（Joliet）に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- 写真によっては、表示に時間がかかることがあります。写真の数（ファイル数）が多いときには、サムネイルの表示やスライドショーの再生で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。また、サムネイルの表示*1やスライドショーの再生中に電源を切ると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。

*1 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかる場合があります。

以下のことはできません

- 以下のファイルを再生すること、ハードディスクに取り込むこと。
  画面上の写真の一覧には表示されますが、再生すると⧄が表示され再生できません。
  - 縦または横のいずれかが、8192ドット以上の写真
  - 縦または横のいずれかが、15ドット以下の写真
  - ファイルサイズが32MBを超える写真
  - 横縦のサイズ比が50:1より横長、あるいは1:50より縦長の写真
  - プログレッシブJPEG形式の写真
- 501個以上のファイル*2やフォルダを1つの階層で表示すること。
  500個を超えた場合は、一部表示されません。

*2 JPEG以外のファイルも含む。

- BD-RにUDF2.6以外で記録された写真を再生すること。
- BD-REにUDF2.5以外で記録された写真を再生すること。
- おでかけ転送中（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）にUSB機器から写真を再生すること。

“メモリースティック” USBリーダー／ライター を使って写真を再生したいときは

本機に“メモリースティック” USBリーダー／ライター MSAC-US40（別売り）を接続し、“メモリースティック”を“メモリースティック” USBリーダー／ライター MSAC-US40に挿入してください。

写真の再生や取り込みが可能なUSB機器について

動作確認機器についての最新の情報は、次のホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/bd/

写真を楽しむ

ハードディスクの写真を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 ホームメニューから[フォト]を選ぶ。

2 ハードディスク内のアルバムを選び、《決定》ボタンを押す。

3 写真を選び、《決定》ボタンを押す。

表示中に⏮《前》ボタンを押すと前の写真を、⏭《次》ボタンを押すと次の写真を表示します。

写真を再生しているときや、アルバムや写真を選択中、接続機器やディスクを選択中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「写真を楽しむ」で利用できるオプション」(142ページ)をご覧ください。

ご注意

- DCF形式以外のJPEG形式の写真(パソコンで加工した静止画像など)では、一部の機能が正しく動作しないことがあります。
- ファイル名、フォルダ名がISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- 写真によっては、表示に時間がかかることがあります。写真の数(ファイル数)が多いときには、サムネイルの表示やスライドショーの再生で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。また、サムネイルの表示やスライドショーの再生中に電源を切ると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。

スライドショーを楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機のハードディスクや、BD-RE、BD-R、データCD、データDVD、USB機器やメモリーカード(BDZ-RX100のみ)に保存されている写真でスライドショーが楽しめます。
アルバム内のすべての写真の表示が終わると、アルバムの先頭からくり返し再生されます。写真の数(ファイル数)が多いときやファイルサイズが大きいと動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

1 ホームメニューから[フォト]を選ぶ。

2 アルバムを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 [スライドショー]を選び、《決定》ボタンを押す。

スライドショーを再生中に⏮《前》ボタンを押すと前の写真を、⏭《次》ボタンを押すと次の写真を表示します。
スライドショーをやめるには、■《停止》ボタンを押します。
スライドショーを一時停止するには、⏸《一時停止》ボタンを押します。⏸《一時停止》ボタンか▶《再生》ボタンを押すとスライドショーを再開します。

ブラビアで高画質な写真を楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機をHDMIケーブル(別売り)で接続する。

対応機種について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravia/support/

2 テレビの映像設定を「ビデオ-A」モードに設定する。

「ビデオ-A」モードについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラビア プレミアムフォトとは

写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。「ブラビア プレミアムフォト」対応のソニー機器同士の組み合わせで、写真を今までになかった感動のフルハイビジョン高画質で楽しめます。
また、人肌や花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面で楽しめます。
「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビをお使いの場合、以下の接続と設定を行うことで、よりよい画質で写真を見ることができます。

アルバムの写真を使ってフォト作品を作る

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機のハードディスクのアルバムに保存されている写真を、30種類のオリジナルサウンドの中から好みの音楽を選ぶだけの簡単操作で、音楽と顔の位置を捉えたエフェクト(映像処理)が付いたハイビジョン画質のフォト作品を自動作成します。
CDからお気に入りの曲を取り込んでBGMにしたり、できあがったフォト作品を映像にしてデジタルハイビジョン信号でBDにダビングしたり、標準テレビ信号(SD)でDVDにダビングしたりできます。

1 ホームメニューから[フォト]を選ぶ。

2 [x-Pict Story HD 作成]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 アルバムを選び、《決定》ボタンを押す。

すでにCDから取り込んだ曲がある場合、取り込んだ曲が5曲までオリジナルサウンドと一緒に一覧表示されます。

本機にあらかじめ登録されている曲を利用するときは手順4に進んでください。
CDから曲を選ぶときは手順5に進んでください。

4 曲を選び、《決定》ボタンを押す(本機に登録されている曲を選ぶときのみ)。

選んだ曲によりエフェクトが変わり、作品が再生されるので確認して手順9に進んでください。
セピアやモノクロになる場合もありますが、故障ではありません。

5 CDを挿入する(CDから曲を選ぶときのみ)。

6 [CD取込み]を選び、《決定》ボタンを押す(CDから曲を選ぶときのみ)。

7 曲を選び、《決定》ボタンを押す(CDから曲を選ぶときのみ)。

8 曲に合わせるテーマを選び、《決定》ボタンを押す(CDから曲を選ぶときのみ)。

選んだテーマによってエフェクトが変わり、作品が再生されるので確認してください。

9 ↑↓で[作成する]または[作成しない]を選び、《決定》ボタンを押す。

x-Pict Story HD映像を作成するかしないかを選びます。

10 [実行]を選び、《決定》ボタンを押す。

手順9で[作成する]を選んだときは、映像作成中にフォト作品が再生されます。映像作成が終了するまでお待ちください。

手順8 x-Pict Story HD作成-テーマ選択画面

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

1 テーマ
 から に向かう●の数が多いほど、エフェクトのテンポが速くなります。

2 中止
 x-Pict Story HD作成-テーマ選択画面を中止します。

3 モード設定
 作成するフォト作品の再生時間を設定できます。
 <u>おまかせ</u>：曲長と使用する写真の枚数を自動的に設定します。
 曲長合わせ：取り込んだ曲を最後まで使います。
 画像枚数合わせ：選んだアルバム内の写真をすべて使います。

ちょっと一言

- すべての写真を使って作品を作成したい場合、CD取り込みを行った後、[モード設定]を[画像枚数合わせ]に設定してください。

手順9 x-Pict Story HD作成画面

1 ビデオタイトル作成
 作成する：本機が自動的にx-Pict Story HD映像を作成します。作成した映像はBDやDVDにダビングしたり、"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などに転送できます*。完成したx-Pict Story HD映像はホームメニューで[ビデオ]のタイトルとして表示されます。作成できるx-Pict Story HD映像は最大100個までです。
 作成しない：x-Pict Story HD 映像として保存しません。作成したフォト作品はホームメニューの[フォト]の[x-Pict Story HD]内に保存されます。

* "ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などに転送できるのは、BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみです。

2 実行
 x-Pict Story HD作成を実行します。

3 中止
 x-Pict Story HD作成画面を中止します。

4 再選択
 アルバム、曲、エフェクトなどを設定し直します。手順3に戻って設定してください。

5 名前変更
 タイトル名を変更できます。文字入力について詳しくは、「文字入力のしかた」(286ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- x-Pict Story HD映像作成を途中で止めるには、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタンを押します。
- フォト作品に表示される日時が不要なときは、[設定]—[フォト設定]—[x-Pict Story HD 日時情報表示]で、表示しないようにできます(224ページ)。

ご注意

- フォト作品を作成したあとに、作品で使用したアルバムから写真を1枚でも削除するとフォト作品は削除されます。
- BDおよびDVDにダビングしたx-Pict Story HD映像を第三者にプレゼントする場合は内蔵BGMをお使いください。あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数が利用できる家庭外ネットワークに送信すること、また他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数からアクセスできる状態におくことは著作権法上禁止されていますのでご注意ください。
- CDによっては、完全に取り込めない場合があります。
- 1曲が70分以上の曲を取り込んで[曲長合わせ]を選んだ場合、フォト作品が正しく再生されないことがあります。

- 再生中に次のものを本機から抜き差しすると、フォト作品が正しく再生されないことがあります。
  - B-CASカード
  - USB機器
  - アンテナケーブル
  - HDV/DV接続機器（BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ）
  - HDMI接続機器
- 出力解像度、x-Pict Story HDで使う写真の絵柄、x-Pict Story HDのエフェクトによっては、フォト作品の一部分が震えて見える場合があります。
- ［モード設定］で［おまかせ］や［曲長合わせ］を選んだ場合は、曲の長さによってはすべての写真が表示されないことがあります。
- x-おまかせ・まる録とx-Pict Story HDが重なるときは、x-おまかせ・まる録は実行されません。
- アクトビラからダウンロード中にx-Pict Story HDの作成や再生をすると、ダウンロードの速度が遅くなったり、一時停止したりします。

以下のことはできません

- 録画実行中にフォト作品を保存、再生すること。
- 録画予約の開始時間と重なっているときに、フォト作品を保存、再生すること。
- 取り込んだ音楽のタイトル名を変更すること。
- 取り込んだ音楽を自分で削除すること（6曲目を取り込むと最も古い曲が削除されます）。

フォト作品を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 ホームメニューから［フォト］を選ぶ。

2 ［x-Pict Story HD］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 フォト作品を選び、《決定》ボタンを押す。

再生が始まります。

ご注意

- x-Pict Story HDの作成や再生中はx-おまかせ・まる録による録画は実行されません。
- アクトビラからダウンロード中にx-Pict Story HDの作成や再生をすると、ダウンロードの速度が遅くなったり、一時停止したりします。

以下のことはできません

- 録画実行中にフォト作品を保存、再生すること。
- 録画予約の開始時間と重なっているときに、フォト作品を保存、再生すること。

フォト作品を映像にする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

フォト作品の作成を終了した後からでも、フォト作品を映像にできます。

1 **ホームメニューから[フォト]を選ぶ。**

2 **[x-Pict Story HD]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **フォト作品を選び、《オプション》ボタンを押す。**

4 **[ビデオ作成]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **[実行]を選び、《決定》ボタンを押す。**

x-Pict Story HD映像作成が開始されます。
映像作成中はフォト作品が再生され、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタン以外働きません。完成したx-Pict Story HD映像はホームメニューで[ビデオ]のタイトルとして表示されます。

ちょっと一言

- x-Pict Story HD映像作成を途中で止めるには、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタンを押します。映像作成を途中で中止すると、中止した時点までの映像が作成されます。

ご注意

- x-Pict Story HDの作成や再生中はx-おまかせ・まる録による録画は実行されません。
- アクトビラからダウンロード中にx-Pict Story HDの作成や再生をすると、ダウンロードの速度が遅くなったり、一時停止したりします。

以下のことはできません

- 録画実行中にフォト作品を保存、再生すること。
- 録画予約の開始時間と重なっているときに、フォト作品を保存、再生すること。
- 101個以上のx-Pict Story HDを作成すること。

フォト作品を消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **ホームメニューから[フォト]を選ぶ。**

2 **[x-Pict Story HD]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **フォト作品を選び、《オプション》ボタンを押す。**

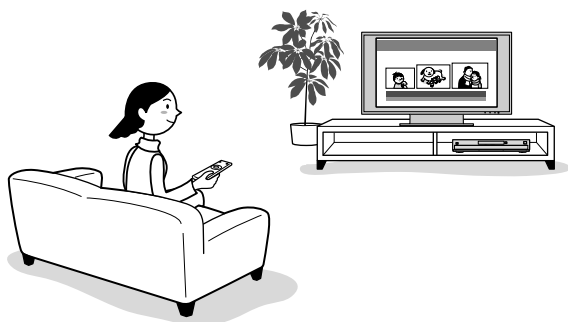
4 **[消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだフォト作品が消去されます。

映像や写真をスクラップブックにして楽しむ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

写真を取り込んでアルバムが作成されると、本機はその中に含まれるすべての写真をレイアウトしたオリジナルのスクラップブックを自動作成します。また、壁紙を変更したり、ビデオカメラ映像（97ページ）やx-Pict Story HDで作成した映像の追加もでき、写真とビデオを一緒に楽しめます。

1 ホームメニューから[フォト]を選ぶ。

2 [x-ScrapBook]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 スクラップブックを選び、《決定》ボタンを押す。

スクラップブックの表紙、または前回の続きのページが表示されます。

ちょっと一言

- 撮影期間が重なるビデオがあるときは、スクラップブックに追加するかどうかの確認画面が表示されます。⬌で[はい]を選び《決定》ボタンを押すとビデオが追加され、スクラップブックが表示されます。[いいえ]を選んでも、後から手動で追加できます（141ページ）。

4 ページを送る。

スクラップブックを表示中に《黄》ボタンを押すとページを送るモードを切り換えられます。

ページモード：アルバムをめくるように全体を再生できます。⬌でページを送ります。また、《オプション》ボタンを押して[ページサーチ]を選び、1 ～ 12の数字ボタンで見たいページ番号を入力し《決定》ボタンを押すと、そのページを表示します。

選択モード：写真やビデオを個別に選んで、拡大表示や再生ができます。右端や左端の写真／ビデオを選んで⬌を押すとページを送ります。ビデオには、ビデオであることを示すアイコンが表示されます。⬆⬇⬌で写真やビデオを選んで《決定》ボタンを押すと、個別に全画面で再生します。再生を停止するには■《停止》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 《オプション》ボタンを押してから、[選択モード]または[ページモード]を選んで切り換えることもできます。

ちょっと一言

- スクラップブックを再生中に《画面表示》ボタンを押すとアルバム名やページ番号を表示できます。
- スクラップブックを再生中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「写真を楽しむ」で利用できるオプション」（142ページ）をご覧ください。
- x-Pict Story HDで作成したフォト作品も先に映像にしておくと（139ページ）、ビデオタイトルとして追加できます。

ご注意

- 元になるフォトアルバムや、そのフォトアルバム内のすべての写真がハードディスクから消去されると、スクラップブックも消去されます。

以下のことはできません

- 1つのスクラップブックに同じビデオを複数回追加すること。
- 録画中にスクラップブックを再生すること。

スクラップブックを編集する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ビデオの追加や選択解除、壁紙のテーマ変更ができます。写真の追加や削除はできません。スクラップブックの表紙に表示されるタイトル名はホームメニュー上のアルバム名がそのまま入力されます。表紙のタイトル名を変更したいときは、アルバム名を変更することで表紙のタイトル名も変更されます。

1 ホームメニューから[フォト]を選ぶ。

2 [x-ScrapBook]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 スクラップブックを選び、《オプション》ボタンを押す。

4 [編集]を選び、《決定》ボタンを押す。

5 変更したい項目を選び、《決定》ボタンを押す。

6 各項目を設定する。

手順5/6 x-ScrapBook編集画面

1 テーマ変更
テーマを変更できます。テーマを選び決定を押します。《黄》ボタンを押すと拡大表示されます。

2 ビデオ選択追加
ビデオを追加できます。追加したいビデオを選び《決定》ボタンを押し、[確定]を選んでください。ビデオのサムネイル画像は表示されない場合があります。撮影日を持たないビデオは、後ろに追加されます。

3 ビデオ選択解除
ビデオを解除できます。解除したいビデオを選び《決定》ボタンを押し、[確定]を選んでください。

ちょっと一言

- スクラップブックに使った写真・ビデオ、さらにスクラップブック再生画面をページごとに静止画像として保存したものをまとめてBDやDVDに書き出せます（157ページ）。

以下のことはできません

- ビデオが追加されたスクラップブックを、DVD+RやDVD+RWに書き出すこと。
- 録画中にスクラップブックを編集すること。

「写真を楽しむ」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能		できること
あ行	思い出ディスクダビング		本機に取り込んだ映像や写真、スクラップブックなどをディスクに書き出します（157ページ）。
か行	回転（左）		写真ファイルを左回りに90度回転させます。
	回転（右）		写真ファイルを右回りに90度回転させます。
	画質設定		画質の調整をします（98ページ）。
	コピー		アルバムや写真をコピーします。
		1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします（122ページ）。
		1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします（123ページ）。
		選択コピー	選択した複数のアルバムまたは写真をコピーします（122ページ）。
さ行	再生		前回停止したところから再生します（86ページ）。
	再生停止		再生を停止します。
	消去		アルバムや写真を消去します（188ページ）。
		1ファイル消去	1ファイルの写真を消去します（188ページ）。
		選択消去	選択した複数の写真を消去します（189ページ）。
	情報表示		アルバムや写真の情報を表示します。
	初期化		BD-REのディスクを初期化します（192ページ）。
	スライドショー		スライドショーで表示します（135ページ）。
	スライドショーの速さ		スライドショー表示の速さ（速い／標準／遅い）を設定します。
	選択モード		選択モードに切り換えます。
た行	ダビング停止		ダビング実行中にダビングを停止します。
	チャプターサーチ		チャプターを選んで頭出しします（92ページ）。
	停止		スライドショーやx-ScrapBookの再生を停止します。
	テーマ変更		壁紙のテーマを変更します（141ページ）。
な行	名前変更		アルバムやx-Pict Story HDのフォト作品の名前を変更します。文字入力については286ページをご覧ください。
は行	始めから再生		タイトルを始めから再生します。
	早見		タイトルを早見再生します。
	早見解除		タイトルの早見再生を解除します。
	ビデオ作成		x-Pict Story HD のフォト作品を映像にします。
	表示		x-ScrapBookを表示します（140ページ）。
	表紙へ		表紙ページを表示します。
	表示モード		
		ノーマル	写真を画面にあわせて表示し、余白には黒帯を表示します。
		ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[標準]と同様に再生します。
	ファイナライズ		DVD-RやDVD+Rをファイナライズします（151ページ）。
	ファイルサーチ		指定した写真ファイルを表示します。
	ファイル消去		x-Pict Story HDのフォト作品を消去します。
	プロテクト／プロテクト解除		ディスクの内容が誤って消去されないよう保護します（188ページ）。
	ページサーチ		入力した番号のページを表示します。
	ページモード		ページモードに切り換えます。
	編集		
		テーマ変更	壁紙のテーマを変更します（141ページ）。
		ビデオ選択解除	ビデオの選択を解除します（141ページ）。
		ビデオ選択追加	x-ScrapBookにビデオを追加します（141ページ）。
ら行	ロック／ロック解除		ディスクをロックしたり、ロックを解除します（195ページ）。
アルファベット	BDクローズ		BD-Rを録画できないようにします（195ページ）。
	BD情報		BDの情報を表示します（193ページ）。
	DVD情報		DVDの情報を表示します（193ページ）。
	HDD情報		ハードディスクの情報を表示します（193ページ）。
	x-Pict Story作成		x-Pict Story HDを作成します（136ページ）。
	x-ScrapBook再生		x-ScrapBookを再生します（140ページ）。

映像や写真をディスクに残す

ダビングガイド

ダビングで利用できるディスクの種類

本機でダビングを行うときは、以下のBDディスクとDVDディスクが利用できます。

BD

デジタル放送の番組やアクトビラからダウンロードした映像をハイビジョン画質でダビングしたいときや、長時間の映像をダビングしたいときに最適なディスクです。

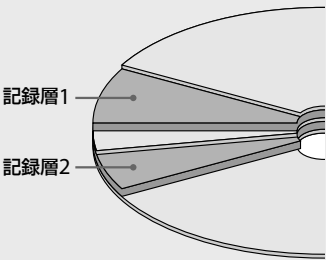
	書き換え	最大記録時間（目安）	デジタル放送の番組のダビング	高速ダビング	ハイビジョン画質でのダビング	利用できるダビングモード
BD-R	×	約24時間25分	○	○ 映像を高速でダビングできます。	○	DR XR XSR SR LSR LR ER デジタル放送（高画質）↕（長時間録画）
BD-R DL（2層）	×	約48時間50分				
BD-RE	○	約24時間25分				
BD-RE DL（2層）	○	約48時間50分				

DVD

アナログ放送の番組をダビングしたいときや、標準画質の映像をダビングしたいときに最適なディスクです。

	書き換え	最大記録時間（目安）	デジタル放送の番組のダビング	高速ダビング	ハイビジョン画質でのダビング	利用できるダビングモード
DVD-R	×	約6時間	○（CPRM対応のディスクのみ）	× ダビングする映像の長さと同じ時間がかかります。	×	XP XSP SP LSP LP EP （高画質）↕（長時間録画）
DVD-RW	○	約6時間	○（CPRM対応のディスクのみ）			
DVD+R	×	約6時間	×			
DVD+R DL（2層）	×	約10時間51分	×			
DVD+RW	○	約6時間	×			

「DL（2層）」とは

片面に記録できる層が2層あるディスクです。片面1層のディスクよりも多くの映像を記録できます。

DVD-R/DVD-RWの記録方式について

DVD-R/DVD-RWを使ってダビングするときは、次の2種類の記録方式の中から、目的にあった記録方式を選んでダビングを行います。

	デジタル放送の番組のダビング	アナログ放送の番組やビデオカメラから取り込んだ映像のダビング	他機器での再生
VRモード	○（CPRM対応のディスクのみ）	○	DVD-R/-RW VRモード対応の機器で再生可能
ビデオモード	×	○	多くのDVD機器で再生可能

目的別ダビングガイド

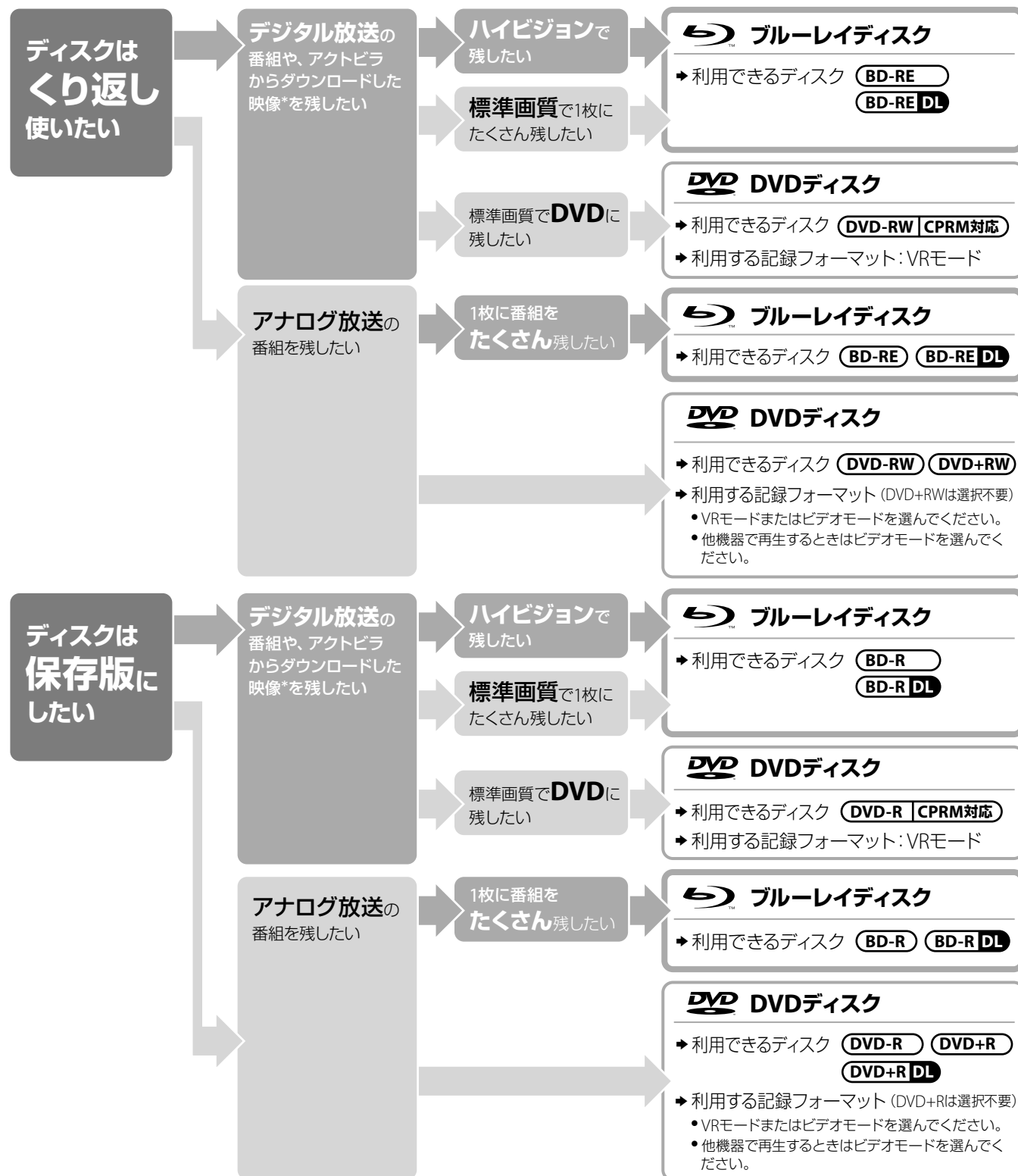
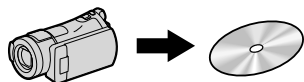
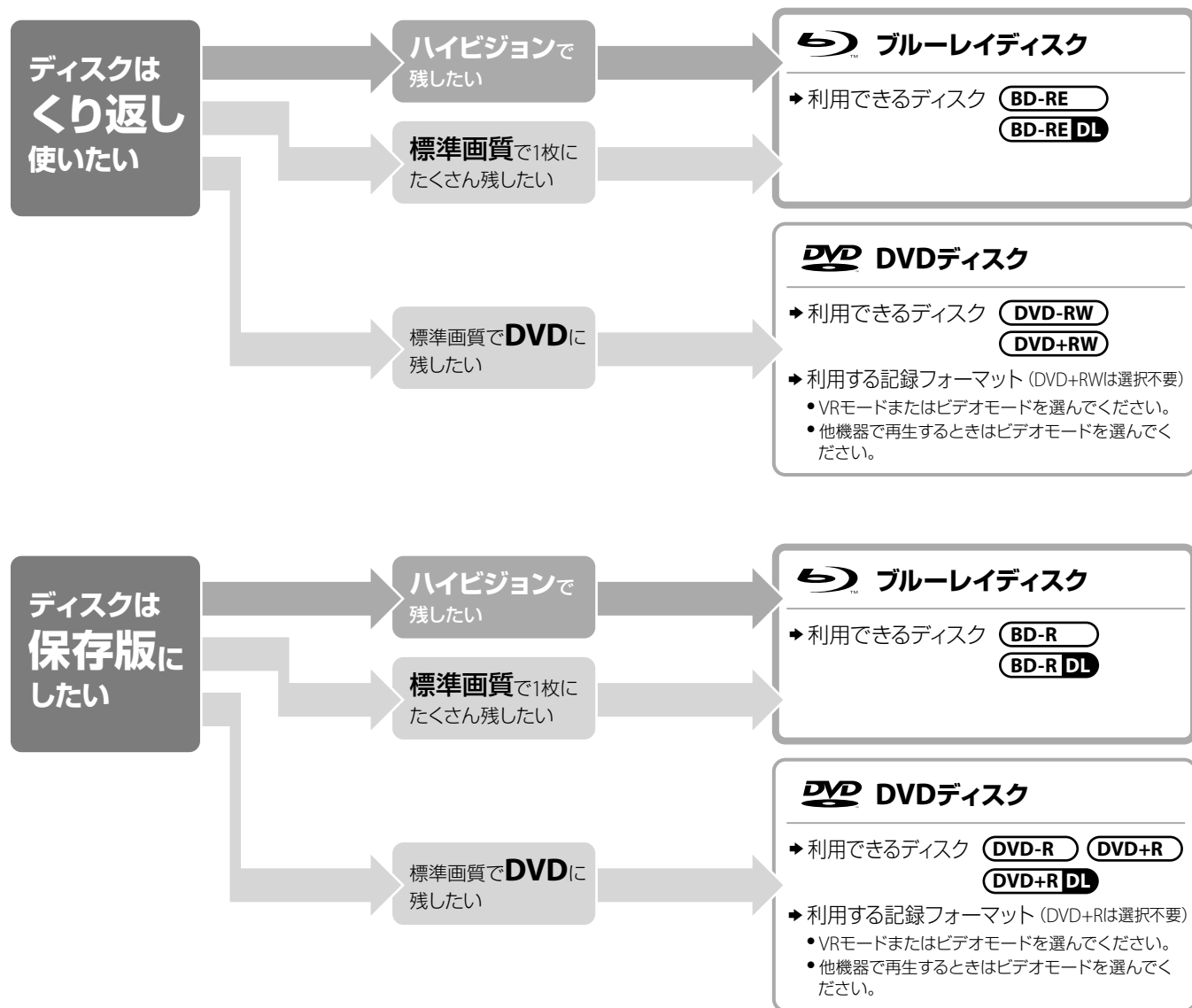
ダビングの目的を選ぶ*　→　ディスクを選ぶ　→　ダビングする

ダビングの目的を選ぶ*		ディスクを選ぶ	ダビングする
ハードディスクの映像（タイトル）をBDやDVDにダビングしたい	録画した**テレビ番組**やアクトビラからダウンロードした映像をダビングしたい	**「ディスク選択ガイド」**の**「テレビで録画した番組をダビングする場合」**（146ページ）でディスクを選んでください。	**「映像をBDやDVDに残す」** ➡ 149ページ
	連続ドラマをまとめてBDにダビングしたい	**永久保存版**にしたいときは ➡ BD-R **くり返し**使いたいときは ➡ BD-RE	**「グループ内の映像をまとめてダビングする（連ドラ一括ダビング）」** ➡ 151ページ
	ビデオカメラからハードディスクに取り込んだ映像をディスクにダビングしたい	**「ディスク選択ガイド」**の**「デジタルハイビジョンビデオカメラ／デジタルビデオカメラで撮った映像をダビングする場合」**（147ページ）でディスクを選んでください。	**「映像をBDやDVDに残す」** ➡ 149ページ
8cm/12cm DVDを**DVDにコピー**したい		**永久保存版**にしたいときは ➡ DVD-R/DVD+R **くり返し**使いたいときは ➡ DVD-RW/DVD+RW	**「DVDをコピーする」** ➡ 155ページ
デジタルハイビジョンビデオカメラの映像（タイトル）をBDにダビングしたい		**永久保存版**にしたいときは ➡ BD-R **くり返し**使いたいときは ➡ BD-RE	**「ビデオカメラの映像をワンタッチでBDに残す」** ➡ 156ページ
個人で撮影した映像（タイトル）や写真をBDやDVDにダビングしたい		**「ディスク選択ガイド」**の**「デジタルハイビジョンビデオカメラ／デジタルビデオカメラで撮った映像をダビングする場合」**（147ページ）でディスクを選んでください。	**「個人で撮影した映像や写真をBDやDVDに残す」** ➡ 157ページ

* 本機の入力端子（音声／映像／ S映像、HDV1080i/DV（BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ））につないだ機器から、本機のハードディスクやBDにダビング（録画）するには、「外部入力映像を録画する」（42ページ）、「ビデオテープの映像を取り込む」（129ページ）をご覧ください。

ディスク選択ガイド

次のガイドを使って、ダビングしたい映像の種類や目的に合わせて、おすすめのディスクを選べます。どのディスクを選べばよいかわからない場合などに、ご覧ください。

テレビで録画した番組をダビングする場合

* アクトビラからダウンロードした映像は、ブルーレイディスク（BD-R/BD-RE）にのみダビングできます。
録画モード変換ダビングはできません。

デジタルハイビジョンビデオカメラ／デジタルビデオカメラで撮った映像をダビングする場合

デジタル放送のコピー制限について

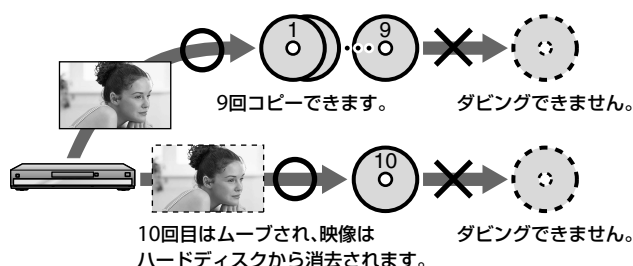
地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送には、番組の著作権保護のために、コピー制御信号が組み込まれています。そのため、本機で録画／ダビングするときは、番組に組み込まれているコピー制御信号の種類により以下の制限が発生します。

制限の種類	制限の説明		利用できるディスク
録画制限なし 地上アナログ	**録画**	本機のハードディスクやBDに録画できます。	ハードディスク BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）／BD-RE DL（2層）
	ダビング	BDやDVDに何回でもダビングできます。	BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）／BD-RE DL（2層） DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL（2層）
1回だけ録画可能 地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル　など	**録画**	本機のハードディスクやBDに録画できます。	ハードディスク BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）／BD-RE DL（2層）
	ダビング	BDやDVD（CPRM対応）に移動（ムーブ）できます。詳しくは、下記の「移動（ムーブ）について」をご覧ください。	BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）／BD-RE DL（2層） CPRM対応のDVD-R/DVD-RW
ダビング10 地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル　など	**録画**	本機のハードディスクやBDに録画できます。	ハードディスク BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）／BD-RE DL（2層）
	ダビング	BDやDVD（CPRM対応）に10回ダビングできます。10回目のダビングは本機からBD、DVDへの移動（ムーブ）になります。詳しくは、下記の「ダビング10について」をご覧ください。	BD-R/BD-RE/BD-R DL（2層）／BD-RE DL（2層） CPRM対応のDVD-R/DVD-RW
録画禁止 110度CSデジタル放送の未契約の有料放送　など	**録画**	本機では録画できません。	
	ダビング	本機ではダビングできません。	

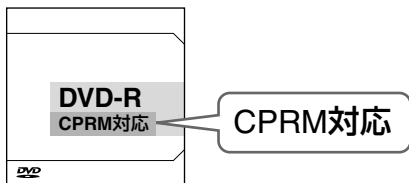
移動（ムーブ）について

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（タイトルリストで 1➡ が表示されているタイトル）は、ハードディスクからBD-RE/BD-R、CPRM対応のDVD-RW（VRモード）／DVD-R（VRモード）へのみ1回だけ移動（ムーブ）することができます。一度ムーブすると、録画した映像はハードディスクから消えますので、ご注意ください。

ダビング10について

ダビング10（タイトルリストで 10➡ が表示されているタイトル）は、ハードディスクに録画した映像をBDやDVDに10回ダビングできます。ダビングを行うごとに、アイコンに表示されるダビング可能回数の数字が減ります。9回ダビングを行うと 1➡ が表示され、もう一度ダビングを行うと、録画した映像はハードディスクからBDやDVDに移動（ムーブ）します。本機のハードディスクからBDやDVDにダビングした映像を、ハードディスクに戻したり、そのディスクから他のBDやDVDにダビングすることはできません。

映像や写真をディスクに残す

DVDにダビングするときは

デジタル放送は、CPRMに対応したDVD-RまたはDVD-RWのVRモードにのみダビングできます。デジタル放送をダビングするときは、パッケージに「CPRM対応」と記載されたディスクをお使いください。

CPRMとは

CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画した映像(タイトル)は、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 本機にディスクを挿入する。

2 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

3 [ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 [HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。

初期化や、DVDの記録フォーマットを選ぶ画面が表示されます。ダビングするディスクにより、表示される画面が以下のように異なります。

DVD-R/-RW 未初期化ディスクの場合
VRモードとビデオモードのどちらで初期化するかを選ぶ画面が表示されます。どちらかのモードを選ぶと、初期化が始まります。デジタル放送をダビングする場合はVRモードを選んでください。

DVD+R/+RW 未初期化ディスクの場合
自動的に初期化が始まります。

DVD-RW(ビデオモード/VRモード)やDVD+RWの初期化済み/記録済みディスクの場合
データを追記するか初期化するかを選ぶ画面が表示されます。

DVD-RW、DVD+RWのデータディスクや、ビデオとデータが混在しているDVDディスク、DVDフォーマットが不明のディスクの場合
ディスクの初期化を行うと記録済みデータがすべて消去されることを確認する画面が表示されます。

5 映像(タイトル)を選び、《決定》ボタンを押す。

一度のダビングで最大30個までタイトルを選ぶことができます。ダビングモードは元の録画モードと同じ設定になります(BD-RE/BD-Rのみ)。高速ダビング可能なタイトルは「高速ダビング」に設定されます。なお、ダビングモードは変更できます(153ページ)。

ちょっと一言

- ハードディスクに録画したタイトルをDVDにダビングする場合は、自動的にXPモードや他のモードに設定されます。DRモードやXRモードで録画したタイトルは、XPモードに設定されます。XSR、SR、LSR、LR、ERモードは、それぞれXSP、SP、LSP、LP、EPモードに設定されます。

6 [実行]を選び、《決定》ボタンを押す。

BDの場合はダビングが始まります。以降の手順を行う必要はありません。ダビングが完了したディスクは、本機や他のBD機器で再生できます。

DVD-RやDVD+Rの場合は手順7に、DVD-RW(ビデオモー

ド)やDVD+RWの場合は手順8に、DVD-RW(VRモード)の場合は手順9に進んでください。

7 [ファイナライズする]を選び、《決定》ボタンを押す。

[しないで実行]を選ぶと、ダビングが始まります。以降の手順を行う必要はありません。ダビング終了後、必要に応じてファイナライズを行ってください。ファイナライズについて詳しくは、「ファイナライズについて」(151ページ)をご覧ください。

DVD-R(VRモード)で[ファイナライズする]を選んだ場合は、手順9に進んでください。

8 DVDメニューを選び、《決定》ボタンを押す。

DVDメニューは24種類の中から選べます。
《黄》ボタンを押すと、背景画面を拡大表示し、背景画面のデザインを確認できます。

9 [ダビング実行]または[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押す。

ディスクの名前を変更してDVDにダビングする場合は、[名前変更]を選んでください。
ディスクの名前を変更しない場合は、[ダビング実行]を選びます。
[ダビング実行]を選ぶと、ダビングが始まります。
ダビングが終了すると、自動的にファイナライズを行います。映像の記録時間が短いほど、ファイナライズにかかる時間は長くなり、最大で数十分かかります。
ファイナライズが終了すると、手順4の画面に戻ります。

手順5/6 タイトルダビング画面

1 ダビングする全タイトル容量
2 ダビングの方向
3 ダビング先の残量(目安)
4 ダビングする順番
5 タイトル名、タイトルの種類、マークなど
マークの種類について詳しくは、329ページをご覧ください。
6 実行
ダビングを実行します。
7 中止
ダビングを中止します。
8 全選択
ダビング可能なタイトルを、リストの上から順に30タイトルまで選びます。
9 全選択解除
ダビング対象に選んだタイトルをすべて取り消します。
10 自動調整
ディスクの残量に応じてダビングモードを調整します(153ページ)。

ダビングを途中でやめるには

ダビング進捗画面で[停止]を選び《決定》ボタンを押し、確認画面で[はい]を選び《決定》ボタンを押します。ダビングが止まるまでに時間がかかる場合があります。
ダビングを途中でやめると、DVD-R、DVD+R、DVD-RW(ビデオモード)ではファイナライズされません。必要に応じてファイナライズを行ってください(151ページ)。

高速ダビング中に他の操作を行ったり、ダビングの進捗画面に戻るには

高速ダビング中は、いったんホームメニューに戻り、テレビを見たり、ハードディスクに録画した映像(タイトル)を再生したりできます。
ホームメニューに戻るには、ダビング進捗画面で[閉じる]を選び《決定》ボタンを押し、[はい]を選び《決定》ボタンを押します。この場合は、高速ダビング所要時間(300ページ)が通常より長くなりますので、ご注意ください。
ダビング進捗画面に戻るには、「映像をBDやDVDに残す」(149ページ)の手順2 ～ 4を行ってください。
番組視聴中、またはホームメニューでタイトルを選んで、《オプション》ボタンを押して[ダビング進行状況]を選んでも、ダビング進捗画面に戻れます。
アクトビラからダウンロードしたタイトルを高速ダビングしているときは、他の操作を行うことはできません。

グループ内の映像をまとめてダビングする（連ドラ一括ダビング）

毎回録画で録りためたドラマなどを、タイトルやシリーズのグループ（フォルダ）ごとにまとめてダビングできます。

1 **本機にディスクを挿入する。**

2 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

3 **映像（タイトル）の一覧が表示されている場合は、《黄／フォルダ整理》ボタンを押してタイトルをグループごとに分類する。**

4 **グループを選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **ダビングしたい番組のグループ（フォルダ）を選び、《オプション》ボタンを押す。**

6 **［ダビング］を選び、《決定》ボタンを押す。**

7 **［グループ内すべて］を選び、《決定》ボタンを押す。**

タイトルダビング画面が表示され、グループ内で録画日などの古い順にタイトルが並びます。上から順に30タイトルまでを選びます。

8 **［実行］選び、《決定》ボタンを押す。**

ダビングが始まります。
ダビングが終了すると、ホームメニューに戻ります。
ダビングするディスクによっては、初期化を選ぶ画面などが表示されます。その場合は、「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）の手順5 ～ 9をご確認の上、操作してください。

グループ内の複数の映像を選んでダビングする

1 **「グループ内の映像をまとめてダビングする（連ドラ一括ダビング）」の手順7で［グループ内選択］を選び、《決定》ボタンを押す。**

2 **「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）の手順5 ～ 9を行い、ダビングを実行する。**

ダビングが始まります。
ダビングが終了すると、ホームメニューに戻ります。

ファイナライズについて

ファイナライズとは、本機で録画したDVDを他のDVD機器で再生可能なデータ配列にすることです。
ダビング時にファイナライズしなかったディスク（DVD+R/DVD-R）は後でファイナライズのみ行うことができます。
DVD+RWやDVD-RWでダビングを行うと自動的にファイナライズされます。
BDの場合はファイナライズは不要です。

1 **本機にディスクを挿入する。**

2 **ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。**

3 **ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押す。**

4 **［ファイナライズ］を選び、《決定》ボタンを押す。**

ファイナライズが始まります。

ファイナライズの解除について

ソニー製のBD/DVDレコーダーで作成したファイナライズ済みのDVD-RW（ビデオモード）に映像を追記しようとした場合、ファイナライズ解除作業が自動的に行われます。

ちょっと一言

- ハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- デジタル放送の が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動（ムーブ）してよいか確認する画面が表示されます。［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、ハードディスクからは消去されます（148ページ）。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 下記の文字を使用したタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は消去されます。
  「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
  「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」
  その他特殊文字は消去される場合があります。
- 16:9と4:3の映像が混在しているタイトルを、DVD-RW（ビデオモード）やDVD-R（ビデオモード）にダビングする場合、LPまたはEPモードのときは4:3、それ以外のモードではタイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされます。DVD+RW、DVD+Rにダビングする場合は、常に4:3でダビングされます。BDに高速ダビングした場合、元の映像サイズのままダビングされます。BDに録画モードを変えてダビングする場合は、タイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされます。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルをダビングするときは、本機をインターネットにつないでください（262ページ）。

- アクトビラからダウンロードしたタイトルのダビングを中止した場合は、もう一度ダビングを行って、必ずダビングを完了してください。タイトルによっては、ダビングを中止したタイトルを違う種類の機器やメディアに転送することが禁止されている場合があります。
- アクトビラからダウンロードしたり、「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトルが視聴年齢制限されている場合は、画面にしたがって、ホームメニューの［設定］－［年齢制限設定］の［暗証番号設定］で設定した暗証番号を入力してください（227ページ）。
  18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルダビング画面などでタイトルが表示されません。この場合は、あらかじめタイトルリストに表示されている適当なタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して［視聴制限一時解除］を選んで、画面にしたがって暗証番号を入力して、すべてのタイトルを表示させてから操作してください（228ページ）。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルや、「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトルには、ダビング期限や有効期限が指定されているものがあります。ダビング期限などを確認するには、「映像の情報を確認する」（98ページ）でタイトル情報画面を表示してください。
- ホームサーバー機能対応のクライアント機器で再生中にダビングをしようとすると、再生が停止します（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）。
- アクトビラからダウンロード中にダビングを開始すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング直後に開始する「録画2」の録画予約（BDZ-RS10を除く）やBDへの録画予約が実行されない場合があります。
- ハードディスクとBD間のダビングで、複数のタイトルを選んで合計12時間を超える場合はダビングできません。
- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。録画モードを変えるとダビングが可能となる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます（153ページ）。
- 「スカパー！ HD録画」で録画したタイトルを高速ダビングしたディスクの再生は、対応した機器でのみ再生できます。ソニー製ブルーレイディスクレコーダーでは、2009年9月以降発売の機種で、「スカパー！ HD録画」のタイトルをダビングしたディスクの再生を確認しています。

以下のことはできません

- BDやDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）でDVDメニューを作成すること。ただし、BDにはBD-Jメニュー付きで書き出せます（157ページ）。
- 全角32文字、半角64文字を超えた文字数を、DVDのディスク名として入力すること。
  他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送の番組の録画タイトルを、5.1chの音声のままDVDにダビングすること。
  DVDにダビングしたタイトルは2chの音声になります。
- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすること。
- 高画質の録画モードに変換して、ダビング元のタイトルより高画質にすること。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルをDVDにダビングしたり、録画モードを変えてダビングしたりすること。
  BD-RE/BD-Rにのみ高速ダビングできます。
- 録画しているとき（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30では、「録画1」で録画しているとき）に下記の操作をすること。
  － 録画モードを変えるダビング
  － アクトビラからダウンロードしたタイトルのダビング
- 「録画2」で録画中のときにダビングを開始すること（BDZ-RS10を除く）。
- ハードディスクからDVDへ高速ダビングすること。
- DRモード以外のモードで二か国語放送の両音声やアクトビラからダウンロードしたタイトルをBDに記録すること。
- DVDに二か国語放送の両音声を記録すること。
  あらかじめ、記録する音声の種類（［主音声］または［副音声］）を選んでください（［二重音声記録］、218ページ）。
- DVD-RAM、DVD-R DLへダビングすること。
- が付いたタイトルをダビングすること。
- ダビング中のタイトルを再生すること。
- 8時間を超えるタイトルをBDやDVDにダビングすること。

ダビングモードについて

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。ダビングには、録画モードを変えない「高速ダビング」と、ダビング元とは異なる録画モードに変換する「録画モード変換ダビング」があります。以下を読んで、所要時間やディスク容量、画質に合わせて、ダビングモードをお選びください。

すばやくダビングする（高速ダビング）

ハードディスクからBDへ、録画モードを変えずに高速でダビングできます。
タイトルダビングやタイトルダビング時の［ダビングモード設定］で、［高速］を選んで実行します（153ページ）。ダビングの所要時間は300ページをご覧ください。

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動調整する

ディスクの残量が不足しているときのみ、［自動調整］が選べます。自動調整をするとダビング元より低い画質になりますが、高画質でデータ量の多い映像（タイトル）を少ないディスク容量でたくさん保存できます。

1 「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）の手順5を終えたあと、［自動調整］を選び、《決定》ボタンを押す。

ディスクの残量に応じて本機がダビングモードを自動的に調整します。変更後のダビングモードが画面に表示されます。

2 「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）の手順6～9を行い、ダビングを実行する。

ダビングが始まります。

ちょっと一言

- 編集したタイトルのダビングモードが調整されると、ダビング後のタイトル間での継ぎ目がなめらかになります。

タイトルごとにダビングモードを変更する

ダビング元とは異なるダビングモードを映像（タイトル）ごとに設定してダビングします。ダビングモードを変更するとダビング元より低い画質になりますが、高画質でデータ量の多い映像（タイトル）を少ないディスク容量でたくさん保存できます。

1 「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）の手順5を終えたあと、《オプション》ボタンを押す。

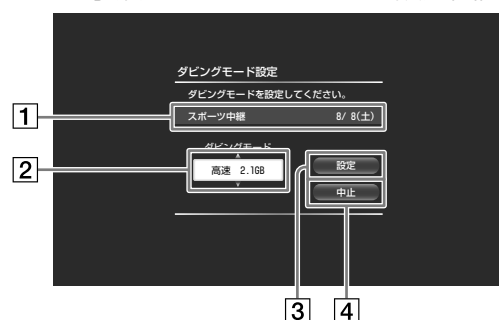
2 ［ダビングモード設定］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 ダビングモードを選ぶ。

4 ［設定］を選び、《決定》ボタンを押す。

5 ［実行］を選び、《決定》ボタンを押す。

ダビングが始まります。

手順3/4 ダビングモード設定画面

1 タイトル名、録画日時

2 ダビングモード
高速／XR/XSR/SR/LSR/LR/ERから好みのダビングモードを選びます。［高速］はハードディスクからBDへのダビング時のみ表示されます。
ハードディスクからDVDへダビングするときは、XP/XSP/SP/LSP/LP/EPから選びます。

3 設定
選んだダビングモードを設定します。

4 中止
ダビングモードの設定を中止します。

複数の映像／音声が記録されているタイトルをダビングする

複数の映像／音声が記録されている映像（タイトル）をダビングする場合は、ディスクやダビングモードによって、ダビングできる映像／音声が異なります。

DRモード（ハードディスク）→ DRモード（BDのみ）（高速ダビング）
すべての映像／音声をダビングします。ダビングしたBDの再生時に、映像／音声を切り換えられます。
DRモード（ハードディスク）→ DRモード以外（BD/DVD）（録画モード変換ダビング）
［設定］－［ビデオ設定］－［二重音声記録］で選んだ音声（［主音声］／［副音声］、218ページ）と、次の「記録する映像／音声を選ぶには」の信号選択画面で選んだ映像と音声のみをダビングします。

記録する映像／音声を選ぶには

1. 「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）の手順5を終えたあと、《オプション》ボタンを押す。
2. ［ダビングモード設定］を選び、《決定》ボタンを押す。
3. ［高速］以外のダビングモードを選ぶ。
4. ［設定］を選び、《決定》ボタンを押す。
5. 《オプション》ボタンを押す。
6. ［信号選択］を選び、《決定》ボタンを押す。
7. ダビングしたい映像または音声を選び、《決定》ボタンを押す。
8. ［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。
9. ［実行］を選び、《決定》ボタンを押す。
   ダビングが始まります。

手順7/8 信号選択画面

1 タイトル名
2 映像信号・音声信号
　記録する信号を選びます。
3 確定
　選んだ映像／音声信号を確定します。
4 中止
　信号選択を中止します。

タイトルダビング画面で《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は「「映像や写真をディスクに残す」で利用できるオプション」（161ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- デジタル放送の [1回] が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動（ムーブ）してよいか確認する画面が表示されます。［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、ハードディスクからは消去されます（148ページ）。
- 編集したタイトルで録画モード変換ダビングをすると、タイトル間の継ぎ目がなめらかになります。
- 本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しています。このため、録画モードを変えてダビングする場合や、ダビングモードを自動調整してダビングする場合は、元のタイトルと実際にダビングされるタイトルの容量に差が出ることがあります。特に長時間録画モード（ERモード）では、その差が著しくなりますので、残量に余裕がある状態でダビングしてください。

ご注意

- 編集したタイトルを高速ダビングすると、消去した映像が残ることがあります。
- 再生時間が短いタイトルを録画モード変換ダビングすると、正しくダビングされないことがあります。

以下のことはできません

- 高画質の録画モードに変換して、ダビング元のタイトルより高画質にすること。

DVDをコピーする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

DVDビデオカメラで撮影した映像が記録された8cm DVDや、お気に入りの映像を記録した12cm DVDを、高速で、簡単に12cm DVDにコピーできます（まるごとDVDコピー）。

1 **本機に、コピーしたい記録済みのDVD（ファイナライズ済みのディスク）を挿入する。**

2 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

3 **[ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **[まるごとDVDコピー]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **[実行]を選び、《決定》ボタンを押す。**
まるごとDVDコピー読込実行中画面が表示され、ディスクの読み込みが始まります。
読み込みが終了すると、メッセージが表示されます。

6 **コピー元のDVDを取り出して、新しいDVDを挿入する。**
新しいディスクが認識されると、ディスク認識のメッセージが表示されます。
DVD-RWまたはDVD+RWの記録済みディスクを入れると、記録されているデータがすべて消去されるというメッセージが表示されます。

7 **[実行]を選び、《決定》ボタンを押す。**
まるごとDVDコピー書込実行中画面が表示され、ディスクへのコピーが始まります。
コピーが完了すると、終了確認画面が表示されます。

複数のDVDにコピーするときは

まるごとDVDコピーの終了確認画面で［継続］を選び、《決定》ボタンを押します。新しいディスクに入れ換えて、「DVDをコピーする」の手順6から行ってください。

本機でコピーできるDVDについて

DVDコピーは読み込み元のディスクの種類により、書き込み先のディスクが異なります。次の表をご覧になり、最適なディスクを選んでください。

書き込み先のディスクにDVD-RまたはDVD+Rを使う場合、必ず新品（未フォーマット）のディスクを使用してください。

読み込み元	書き込み先
DVD-R	DVD-R
DVD-RW	DVD-R または DVD-RW
DVD+R	DVD+R
DVD+R DL（2層）	DVD+R DL（2層）
DVD+RW	DVD+R または DVD+RW

また、ディスクのサイズによって書き込み先のディスクが異なります。
次の表をご覧になり、最適なディスク*[1]を選んでください。

読み込み元のディスクサイズ		書き込み先のディスクサイズ	
12cm	片面1層	12cm	片面1層
12cm	片面2層*[2]	12cm	片面1層
12cm	片面2層	12cm	片面2層*[3]
8cm	片面1層	12cm	片面1層
8cm	片面2層	12cm 12cm	片面1層 片面2層*[3]

*[1] 読み込み元と書き込み先ディスクのメーカーが異なるとコピーできない場合があります。
*[2] データ、またはAVCHD方式の映像を記録したディスクのみ。
*[3] DVD+Rのみ。

「まるごとDVDコピー」は、本機で記録したDVD、および、ソニー製DVDデジタルビデオカメラレコーダーで記録したDVDでのみ行えます。
他の機器で記録したDVDがデータディスクの場合、「まるごとDVDコピー」ができない場合があります。
他の機器で記録したDVDで本機能が動作しない場合は、タイトルダビングを行ってください。

ご注意

- アクトビラからダウンロード中に「まるごとDVDコピー」を開始すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。
- コピー先のDVDがDVD+R/-Rの場合、書き出しを途中で中止すると、そのディスクは使えなくなります。
- コピーするDVDのメディアの種類が異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります。

以下のことはできません

- DVD-RAMへコピーすること。
- 次の場合に、DVDをコピーすること。
  - ハードディスクの空き容量がコピーしたいDVDの容量より少ない
  - 録画実行中
  - 映画などの市販ソフト
  - 「1回だけ録画可能」などのコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送など）を録画したことがあるDVD
  - ファイナライズされていないDVD

ビデオカメラの映像をワンタッチでBDに残す

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ワンタッチディスクボタンの付いたソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラ*を、USB端子を使って本機につなぐと、AVCHD方式の映像を簡単にBDにダビングすることができます（ワンタッチディスクダビング）。
お使いのデジタルハイビジョンビデオカメラに、ワンタッチディスクボタンが付いていない場合は、ビデオカメラの映像を本機に取り込み（117、124ページ）、取り込んだ映像をBDにダビング（149ページ）してください。

* 対応機種について詳しくは、ソニー製品情報のホームページ（http://www.sony.jp/support/bd/）をご覧ください。

1 **AVCHD方式のデジタルハイビジョンビデオカメラの電源を入れる。**

2 **本機の電源を入れる。**

3 **本機に、書き込み可能なBD-REまたはBD-Rを挿入する。**

4 **デジタルハイビジョンビデオカメラを、本機のUSB端子につなぐ。**

接続について詳しくは、「ビデオカメラやデジタルスチルカメラをつなぐ」（253ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- BDZ-RX100をお使いの場合は、本機後面のUSB端子も使用できます。

5 **デジタルハイビジョンビデオカメラのワンタッチディスクボタンを押す。**

ワンタッチディスクダビング画面が表示され、ダビングが始まります。
ダビングが完了すると、終了します。

ちょっと一言

- ワンタッチディスクダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- ワンタッチディスクダビング後にビデオカメラで撮影を追加した場合は、再度ワンタッチディスクダビングを行うと、追加した映像だけダビングされます。

1枚のBDにダビングできなかったときは

複数の映像が1枚のディスクにおさまらなかったときは、画面にメッセージが表示されます。[継続]を選んで《決定》ボタンを押し、新しいディスクを入れてください。ダビングを終了するときは、[終了]を選びます。
2枚目以降は未記録のディスクを入れてください。
記録済みのBD-REを入れた場合は、ディスクを初期化してダビングを続けます。
記録済みのBD-Rを入れると、ダビングを続行できません。新しいディスクと交換してください。
ダビング中に本機の電源を切り、1枚のディスクにおさまらなかった場合は、1枚目のディスクへのダビングが終わった時点でダビングは終了します。

ダビングを途中でやめるには

ワンタッチディスクダビング画面で[停止]を選び《決定》ボタンを押し、確認画面で[はい]を選び《決定》ボタンを押します。ダビングが止まるまでに数十秒かかることがあります。
ダビングを途中でやめると、ダビングしていたタイトルはディスクに残りません。また、BD-Rの場合はディスクの残量が減ります。

ご注意

- ダビングすると、日付ごとに場面をまとめたタイトルとして記録されます。各撮影場面はチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影場面の数が多い場合、ダビング時に複数のタイトルに分割される場合があります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで多数の編集点を追加した場合、ダビング時に編集点の一部が失われることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した映像をダビングすると、表示される録画モードが元の録画モードと異なる場合がありますが、画質は劣化しません。

以下のことはできません

- 最初にダビングするタイトルが、記録するディスクの残量よりも大きい場合にダビングすること。
- 未記録ディスクの容量よりも大きいタイトルをダビングすること。
  複数のタイトルをダビングする場合、そのタイトルはダビングされません。
- 「録画2」の録画中にワンタッチディスクダビングすること（BDZ-RS10を除く）。
  ダビングが、「録画2」の録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までにダビング完了できる範囲でダビングします。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した字幕をBDに記録すること。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD方式以外の映像をダビングすること。
- おでかけ転送中にワンタッチディスクダビングすること（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）。

個人で撮影した映像や写真をBDやDVDに残す

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機に取り込んだビデオカメラ映像（97ページ）やx-Pict Story HDで作成した映像、写真、x-ScrapBookの静止画像を、まとめて1枚のBDやDVDに書き出せます（思い出ディスクダビング）。
使用するディスクにより、書き出せる内容が異なります。また、BD-R/BD-REに書き出すと、BD-Jメニュー付きディスクを作成できます（ディスクはBDMVフォーマットになります）。
BD-Jメニューでは、映像や写真をカレンダーのように年月日で表示したり、アルバムごとに表示したりして、見たいコンテンツをすぐに探すことができます。また、x-Pict Story HDで作成した映像をメニュー画面の背景に設定したり、x-ScrapBookのように写真を自動的にレイアウトして再生したりできます。
映像の書き出しについて詳しくは、「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）をご覧ください。
録画モードを変換して書き出したり、デジタル放送を録画した映像と合わせて書き出したいときは、思い出ディスクダビングは利用できません。「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）をご覧になり、タイトルダビングを行ってください。

1 **本機にディスクを挿入する。**

2 **ホームメニューから［ビデオ］または［フォト］を選ぶ。**

［フォト］を選んだ場合は、手順4に進んでください。

3 **［ディスクダビング］を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **［思い出ディスクダビング］を選び、《決定》ボタンを押す。**

ディスクによっては、メニュー作成やディスク追記などを選ぶ画面が表示されます。画面にしたがって、操作してください。表示されない場合は、手順5に進んでください。

5 **タイトルやアルバムを選び、《決定》ボタンを押す。**

書き出す内容を切り換えるには、［ビデオ］や［アルバム］、［x-ScrapBook］を選んで《決定》ボタンを押し、タイトルやアルバムの一覧を切り換えます。

6 **タイトルやアルバムを選び終わったら、［実行］を選び、《決定》ボタンを押す。**

BD-Jメニュー付きでBD-R/BD-REに書き出す場合は、手順7に進んでください。
その他の場合は、手順8に進んでください。
映像をDVDに書き出す場合は、ファイナライズやDVDメニュー作成、ディスクの名前変更などの画面が表示されます。画面にしたがって操作してください。詳しくは、「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）をご覧ください。

7 **BD-Jメニューの背景を選び、《決定》ボタンを押す。**

x-Pict Story HDで作成した映像を書き出す場合は、その映像を背景に指定できます。

8 **［ダビング実行］または［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押す。**

［名前変更］を選ぶと、ディスクの名前を変更できます。
［ダビング実行］を選ぶと、書き出しを開始します。
書き出しが終了すると、必要な場合は自動的にファイナライズを行います。終了すると、ホームメニューに戻ります。

手順5/6 思い出ディスクダビング画面

例：ビデオ選択

1 書き出しする全タイトル数／容量
2 書き出しの方向
3 タイトル名、タイトルの種類、マークなど
マークの種類について詳しくは、329ページをご覧ください。
4 書き出しする順番
5 操作ガイド
画面の操作に利用できるボタンを表示します。
6 ボタン
実行：書き出しを実行します。
中止：書き出しを中止します。
全選択：書き出し可能なタイトルを、リストの上から順に選びます（ビデオ映像の場合は30タイトルまでしか選べません）。

全選択解除：書き出し対象に選んだタイトルをすべて取り消します。

アルバム、x-ScrapBook、ビデオ：書き出す内容を切り換えます。

7 書き出し先ディスクの残量（目安）

ご注意

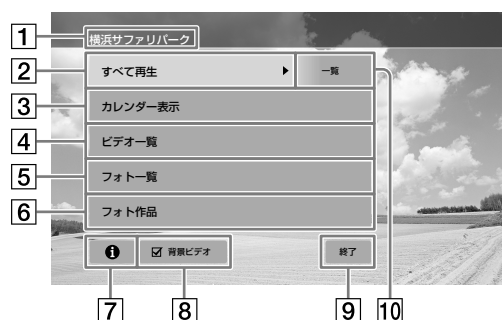
- 写真やx-ScrapBookをDVDに書き出すときは、新品で未初期化のDVDを使用してください。DVD-RW/DVD+RWの場合は初期化して書き出せますが、記録済みの内容は消去され、上書きされますのでご注意ください。
- 写真やx-ScrapBook、映像を混在してDVDに書き出すときは、DVD-R/DVD-RWのみ使用できます。
- メニュー付きBDに追記する場合は、本機で作成したディスクのみ利用できます。
- 一度に選択できる映像タイトルは、30タイトルまでです。また、1タイトルが8時間以上の映像タイトルや、選んだ映像タイトルの合計が12時間以上の場合は、書き出せません。その他、映像タイトルの制限事項について詳しくは、「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）をご覧ください。
- 1枚のDVDに約4,000枚以上の写真（x-ScrapBook再生画面の静止画を含む）を書き出すと、一部の写真が書き出せないことがあります。
- BDへ書き出すときは、すでにBDに記録されている写真／x-ScrapBookやアルバムと、新たに書き出す写真／x-ScrapBookやアルバムの合計が、6,000個以下の場合に書き出せます。
- 書き出し先のディスクやアルバム内に同じ名前のファイルがある場合は、書き出したファイル名の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。
- DVDへ写真／x-ScrapBookを含む書き出しが終わると、自動的にディスクがファイナライズされ、追記できなくなります。BD-RE、BD-Rの場合は追記できます。
- DVDへ写真／x-ScrapBookを書き出すときは、ハードディスク内にコピーイメージを一時的に作成するため、DVDの容量よりも多めのハードディスク残量が必要です。
- x-ScrapBookを書き出すと、x-ScrapBook再生画面をページごとに静止画像として保存します。x-ScrapBookに取り込んだ元の写真や映像は保存されません。その場合は、別途、写真や映像を書き出してください。
- アクトビラからダウンロード中にBDやDVDに書き出すと、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

以下のことはできません

- HDVダビングで取り込んだタイトルを、メニュー付きでBDに書き出すこと（BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ）。
- 録画中に思い出ディスクダビングを行うこと。
- BDクローズしたディスクに書き出すこと。
- コピー制限のあるタイトルを書き出すこと。
  コピー制限のあるタイトルをディスクに書き出す場合は、タイトルダビングを行ってください（149ページ）。
- サンプルアルバムやサンプルのx-ScrapBookを書き出すこと。
- 録画モードを変換して書き出すこと。
  録画モードを変換して書き出す場合は、タイトルダビングを行ってください（149ページ）。
- 本機以外で作成した「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。
- 記録済みのDVDに写真やx-ScrapBookを追記すること。
- DVD+R DL（2層）に写真やx-ScrapBookを書き出すこと。
- ファイナライズ済みのDVD-R/DVD+Rに映像を追記すること。
- データディスク、およびビデオとデータのフォーマットが混在したディスクに追記すること。
- フォーマットが不明なDVDに追記すること（DVD-RW/DVD+RWの場合は初期化して書き出せますが、記録済みの内容は消去され、上書きされますのでご注意ください）。

BD-Jメニュー付きディスクを再生する

「個人で撮影した映像や写真をBDやDVDに残す」（157ページ）で、BD-Jメニュー付きでBDに書き出すと、映像や写真、x-ScrapBookなどのコンテンツを便利に再生できます。
本機にディスクを挿入し、画面にしたがって、↑↓←→や《決定》ボタンなどを押して操作してください。

トップメニュー画面

表示される項目は、書き出した内容により異なります。

1 ディスク名
2 すべて再生
ディスク内のすべてのコンテンツを、撮影日の古い順に再生します。
3 カレンダー表示
ディスク内のコンテンツを、撮影した年月日で分類して表示します（[フォト作品]のコンテンツを除く）。
4 ビデオ一覧
映像（x-Pict Story HDから作成した映像を除く）のみを表示します。
5 フォト一覧
写真のみを表示します。
6 フォト作品
本機のハードディスクから書き出したx-ScrapBookの静止画像とx-Pict Story HDから作成した映像のみを表示します。
7 i（information）
バージョン情報などを表示します。
8 背景ビデオ
背景映像がx-Pict Story HDから作成した映像の場合に、再生／一時停止を切り換えます。
9 終了
ディスクの再生を終了します。
10 一覧
ディスク内のすべてのコンテンツの一覧を表示します。

その他の主な画面

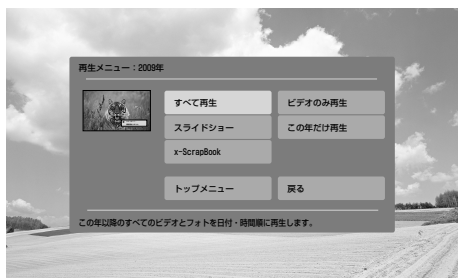
表示される項目は、書き出した内容や状況により異なります。

カレンダー表示画面

ディスク内の映像や写真を、撮影した年月日ごとに表示して、見たいコンテンツをかんたんにさがすことができます。
|◀◀／▶▶|《前／次》ボタンを押して目的の年を選び、順に目的の月、日を選んで《決定》ボタンを押します。撮影日の一覧画面からタイトルを選んで《決定》ボタンを押すと、選んだタイトルから再生を始めます。

コンテンツ一覧画面

ディスク内の映像や写真の一覧を表示します。タイトルを選んで《決定》ボタンを押すと、選んだタイトルから再生を始めます。どの画面からコンテンツ一覧画面を表示させるかで、表示される内容が異なります。

映像や写真をディスクに残す

再生メニュー画面

カレンダー表示画面やコンテンツ一覧画面で［再生メニュー］を選ぶと、ディスク内の写真をx-ScrapBookで再生したり、さまざまな再生方法を楽しめます。画面の下に、選んだ再生メニューの説明が表示されます。項目や再生内容は、状況によって異なります。

ポップアップメニューを使うには

ポップアップメニューを使うと、再生を止めずにメニューを表示できます。

1 **再生中にリモコンのふたの中の《ポップアップ/メニュー》ボタンを押す。**

ポップアップメニューが表示されます。
もう一度《ポップアップ/メニュー》ボタンを押すと、ポップアップメニューを終了します。

2 **項目を選び、《決定》ボタンを押す。**

ちょっと一言

- フォト一覧からアルバムを選んで再生メニューを表示させた場合は、そのアルバム内の写真を再生します。
- 再生メニュー画面からx-ScrapBookを再生中に、《ポップアップ/メニュー》ボタンを押して［テーマ変更］を選ぶと、x-ScrapBookのテーマを変更できます。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクから映像を取り込むには、ホームメニューの［ビデオ］からディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押して［HDDへダビング］を選び《決定》ボタンを押します。取り込みの手順について詳しくは、「BDやDVDの映像を取り込む」（128ページ）の手順5以降をご覧ください。また、BD-Jメニュー付きディスクから写真を取り込むには、「写真を取り込む」（122ページ）の手順にしたがってください。

ご注意

- 映像や写真に撮影日のデータが無い場合は、カレンダー表示画面には表示されません。その場合は、トップメニュー画面から［カレンダー表示］以外を選んで再生してください。
- カレンダー表示画面からは、x-Pict Story HDから作成した映像やx-ScrapBookは再生できません。

本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクの再生対応機器

BD-Jメニュー付きディスクは、新しい規格にもとづいて作成されているため、過去に発売された一部の機器では再生できません。BD-Jメニュー付きディスクの再生に対応した機器でのみ再生できます。ソニー製ブルーレイディスクレコーダー／プレーヤーでは、2008年9月以降に発売された機種で、BD-Jメニュー付きディスクの再生を確認しています（2009年8月現在）。
対応していない機種で再生したいときは、あらかじめ「個人で撮影した映像や写真をBDやDVDに残す」（157ページ）でメニューがないディスクを作成してください。

「映像や写真をディスクに残す」を利用するときのご注意

- ハードディスクにDRモードで録画した字幕付きデジタル放送の番組を、DRモード以外でBD/DVDにダビングすると字幕データは失われます。ホームメニューの[設定]－[ビデオ設定]の[字幕焼き込み]を[入]に設定すると、映像に字幕を焼きこんでダビングできます(219ページ)。なお、字幕を焼きこんだ映像から字幕を削除することはできません。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできる場合があります。
- DVDにダビングしたタイトルは消去できません。DVD-RW/DVD+RWですべてのタイトルを消去して記録する場合は、ダビングの手順中に初期化を行ってください(149ページ)。
- DVDにダビングしたタイトルは、A-B消去などの編集はできません。あらかじめハードディスクで編集してから、ダビングしてください。

「映像や写真をディスクに残す」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
さ行	**信号選択**	録画モードをDRモードから変換するときに、ダビングする映像／音声信号を設定します(154ページ)。
	選択	タイトルを選びます。
	選択解除	タイトルの選択を解除し、ダビング選択リストから消去します。
た行	**ダビングモード設定**	ダビングモードを設定します(153ページ)。

アクトビラを楽しむ

アクトビラの楽しみかた

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

アクトビラでできること

本機をインターネットのブロードバンド回線につなげば、映画／音楽／アニメなど幅広いジャンルの映像や、普段の生活に役立つさまざまな情報を好きな時に楽しめます。
ご利用にあたって入会手続きなどは必要ありません。本機をインターネットにつなげば、その日からすぐに楽しめます。

* おでかけ転送できるのはBDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみです。

アクトビラを利用するための準備

1 ネットワークに接続する。
詳しくは、「ネットワークにつなぐ」（262ページ）をご覧ください。

2 ネットワークを設定する。
詳しくは、230ページをご覧ください。

アクトビラについて困ったときは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/faq/BD/

回線速度の目安について

「アクトビラ ビデオ・フル」、「アクトビラ ビデオ・ダウンロードレンタル」「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」のご利用には、FTTH（光）回線をおすすめします。実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。
回線速度が安定しない場合、映像や音声が途切れることがあります。回線速度についてはお使いの回線事業者やプロバイダーなどにお問い合わせください。

■ アクトビラに関するお問合せは
アクトビラ・カスタマーセンター：
0570-091017(10時-19時年末年始除く)
IP電話の場合：03-3513-6740
info@desk.actvila.jp

■ アクトビラの最新情報は
アクトビラ公式情報サイトhttp://actvila.jp/

ちょっと一言
- 会員登録することでさらに便利になるサービスもあります。一部有料のサービスもあります。
- 暗証番号を設定して、アクトビラを利用できないように制限できます。暗証番号は［設定］の［年齢制限設定］から［アクトビラ利用制限］を設定してください（228ページ）。

ご注意
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款により、ご利用いただけない場合があります。
- サービスの内容や画面は、予告なく変更することがあります。
- 「アクトビラ」の利用規約などについては、アクトビラのヘルプページをご覧ください。

アクトビラのページを表示する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

《アクトビラ》ボタンを押す。

アクトビラのトップページが表示されます。
アクトビラをはじめて利用するときは、アクトビラの案内画面が表示されます。画面のメッセージにしたがってください。
「アクトビラ」は無料でご利用いただけますが、一部有料のサービスもあります。有料サービスの課金方法については、アクトビラのヘルプページをご覧ください。

ちょっと一言

- アクトビラはホームメニューの[ネットワーク]から[アクトビラ]を選んでも表示できます。

ページ表示画面

1 ページタイトル
現在表示しているページのタイトル。

2 ダウンロード可能容量
ハードディスクにダウンロードできる容量を表示します。

3 鍵マーク
通信内容を保護し安全にやりとりできるホームページであることを示すマークを表示します。

4 ビジーマーク
ページ読込み中に表示されます。

5 操作ガイド
リモコンの《画面表示》ボタンを押すと、画面の操作に利用できるボタンを表示します。
《青》ボタン：表示しているページを上にスクロールします。
《赤》ボタン：表示しているページを下にスクロールします。
《緑》ボタン：前のページを表示します。
《黄》ボタン：次のページを表示します。

アクトビラのページを表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「アクトビラを楽しむ」で利用できるオプション」（170ページ）をご覧ください。

以下のことはできません

- 録画中に、アクトビラのページ表示や映像の再生をすること。

アクトビラ上で映像を再生するときの操作について

以下のリモコンボタンで再生操作ができます。

押すボタン	できること
再生（再生）	停止中または一時停止中に押すと再生を始めます。
停止（停止）	停止します。
一時停止（一時停止） 決定（決定）	一時停止／一時停止を解除します。
（早戻し／早送り）	早戻し／早送り再生します。 対応している映像（タイトル）のみ利用できます。
前 次（前／次）	前や次のチャプターの先頭に進みます。 1つ前のチャプターの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 対応している映像（タイトル）のみ利用できます。
フラッシュ（フラッシュ）	少し前に戻る、または先に進みます。
戻る（戻る）	再生を停止して、前のページに戻ります。

アクトビラを終了する

1 アクトビラのページを表示中に《ホーム》ボタンを押す。

2 [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。

アクトビラページの文字入力方法

1行入力の場合

1 アクトビラページ上の文字入力欄を選び、《決定》ボタンを押す。
文字の入力方法について詳しくは、「文字入力のしかた」(286ページ)をご覧ください。

2 [入力終了]を選び、《決定》ボタンを押す。
文字の入力を終了します。

複数行入力の場合

1 アクトビラページ上の文字入力欄を選び、《決定》ボタンを押す。
文字入力欄にカーソルが表示されます。

2 入力したい箇所にカーソルを動かし、《決定》ボタンを押す。
文字の入力方法について詳しくは、「文字入力のしかた」(286ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- 改行するときは改行したい箇所にカーソルを動かし、《赤》ボタン[改行]を押してください。
- 文字を削除するときは削除したい文字の右側にカーソルを動かし、《緑》ボタン[左削除]を押してください。

3 [入力終了]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 《戻る》ボタンを押す。
文字の入力を終了します。

以下のことはできません

- ダビング中または転送中に、アクトビラを利用すること。

お気に入りのページを登録する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 アクトビラのページを表示中に、《オプション》ボタンを押す。

2 [ブックマーク]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 [ブックマーク追加]を選び、《決定》ボタンを押す。
表示中のページがブックマークに登録されます。
登録しているブックマークを確認するには、手順3で[ブックマーク一覧]を選んでください。ブックマークが一覧で表示されます。

登録したページを表示する

1 アクトビラのページを表示中に、《オプション》ボタンを押す。

2 [ブックマーク]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 [ブックマーク一覧]を選び、《決定》ボタンを押す。
ブックマークの一覧が表示されます。

4 ブックマークを選び、《決定》ボタンを押す。
選んだページが表示されます。

映像をダウンロードする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ダウンロードレンタルした映像（タイトル）は、一定期間視聴することができます。また、「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」で購入したタイトルは、視聴に加え、タイトルによってはBDにダビングしたり、おでかけ転送（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）して楽しむことができます。

1 **《アクトビラ》ボタンを押す。**

2 **タイトルを選ぶ。**

ダウンロードできるタイトルに関しては、アクトビラのヘルプページをご覧ください。

3 **購入手続をする。**

購入手続きが完了すると、ダウンロードが開始されます。ダウンロード中は、本体のアクトビラダウンロードランプが点灯します。

ちょっと一言

- ダウンロード中に本機の電源を切ってもダウンロードは継続されます。
- ダウンロードしたタイトルはタイトルリストに表示されます。
- タイトルの購入方法や課金方法について詳しくは、アクトビラのヘルプページをご覧ください。
- ホームサーバー機能（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）の利用中やBD-LIVEの再生中などは、ダウンロードを一時停止することがあります。
- ダウンロード中も他のタイトルを購入できます。

ご注意

- ダウンロード登録数が50件を超えている場合、新規の登録（購入）ができなくなります。
- x-Pict Story HDの作成や再生、BD-ROMの再生、ネットワークの設定時に、一時的にダウンロードを停止することがあります。

以下のことはできません

- ハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合にダウンロードすること。
- 51件以上のタイトルを同時にダウンロードすること。

視聴年齢制限付きの映像について

[設定]の[年齢制限設定]－[HDDタイトル視聴年齢制限]（228ページ）で視聴年齢制限の設定をした場合、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトル（228ページ）は、タイトルリストに表示されません。表示するにはタイトルリストに表示されている適当なタイトルを選び《オプション》ボタンを押して[視聴制限一時解除]を選び、画面の指示に従って[設定]の[年齢制限設定]ー[暗証番号設定]（227ページ）で設定した暗証番号を入力してください。《オプション》ボタンを押して[視聴制限再設定]を選ぶと、制限を再設定できます。

視聴年齢制限された映像を再生するには

[設定]の[年齢制限設定]－[HDDタイトル視聴年齢制限]（228ページ）で視聴年齢制限の設定をした場合、該当するタイトルを再生するには暗証番号が必要です。詳しくは、「視聴年齢制限されたディスクや映像を再生する」（93ページ）をご覧ください。

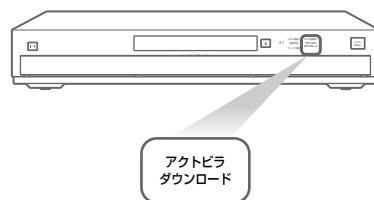
ダウンロード中の本体表示について

ダウンロードの状況により、アクトビラダウンロードランプの状態が変わります。

点灯：ダウンロード実行中。

点滅：ダウンロードエラー。

消灯：ダウンロード一時停止中、待機中またはすべてのダウンロードが終了。

アクトビラを楽しむ

ダウンロード情報を確認する

ダウンロードエラーやダウンロードが一時停止してしまったときは、ダウンロード管理画面を表示してダウンロード情報を確認してください。

1 ホームメニューから[ネットワーク]を選ぶ。

2 [ダウンロード管理]を選び、《決定》ボタンを押す。

ダウンロード予定のタイトルを一覧で確認できます。

3 タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

タイトルのダウンロード情報を確認できます。サムネイルは表示されません。

ダウンロード管理画面を表示中に《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます。各オプションの説明は、「「アクトビラを楽しむ」で利用できるオプション」(170ページ)をご覧ください。
ダウンロード完了後のタイトルは、ダウンロード管理画面から消え、[ビデオ]のタイトルリストにのみ表示されます。

ダウンロードを中止する

ダウンロードを中止すると、ダウンロードを再開することはできません。**中止すると購入した映像(タイトル)が消去され、再ダウンロードできなくなりますので、ご注意ください。**

1 ホームメニューから[ネットワーク]を選ぶ。

2 [ダウンロード管理]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。

4 [中止]を選び、《決定》ボタンを押す。

5 [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。

選択したタイトルのダウンロードを中止し、ダウンロード管理画面やタイトルリストから消去します。

ダウンロードした映像を再生する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

インターネットに接続したままで、再生してください。再生方法について詳しくは、「ハードディスクの映像を再生する」(82ページ)をご覧ください。また、以下もあわせてご確認ください。

- 視聴年齢制限の設定をした場合、映像(タイトル)によっては、再生する際に暗証番号の入力を求められる場合があります。
- 18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限が設定してある場合、タイトルリストに表示されません。タイトルを表示させるには、167ページをご覧ください。
- 視聴期間に入っていない、または視聴期限が切れたタイトルは再生できません。また、再生中に視聴期限が切れた場合は、再生を停止します。
- 有効期限が指定されているタイトルもあります。有効期限を確認するには、「映像の情報を確認する」(98ページ)でタイトル情報画面を表示してください。また、再生中に有効期限が切れた場合は、再生を停止します。
- レンタルしたタイトルは、視聴期限が切れると削除されます。
- ダイジェスト再生はできません。
- ホームサーバー機能(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)による再生はできません。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルは、編集できません。

ダウンロードした映像をダビングする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

アクトビラで購入した映像（タイトル）には、ダビングできるものがあります。ダビング方法について詳しくは、「映像をBDやDVDに残す」（149ページ）をご覧ください。また、以下もあわせてご確認ください。

- インターネットに接続したままで操作してください。
- 書き出せるメディアや回数に制限があります。タイトルリストのアイコン（329ページ）で確認してください。
- ブルーレイディスク（BD-RE/BD-R）にのみ高速ダビングできます。録画モード変換ダビングはできません。
- 視聴年齢制限を設定した場合、タイトルによってはダビングする際に暗証番号の入力を求められる場合があります。
- 18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限が設定されている場合、タイトルダビング画面に表示されません。タイトルを表示させるには、167ページをご覧ください。
- DVDにダビングできません。
- ダウンロード中のタイトルはダビングできません。
- ダビングを中断した場合は、必ず同じメディアで再開してください。

ダウンロードした映像をおでかけ転送する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

アクトビラで購入したタイトルによっては、"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などに転送して外に持ち出せます。転送方法について詳しくは、「他機器に映像を持ち出す」（171ページ）をご覧ください。また、以下もあわせてご確認ください。

- インターネットに接続したままで操作してください。
- 転送できる回数には制限があります。タイトルリストのアイコン（329ページ）で確認してください。
- 視聴年齢制限を設定した場合、タイトルによっては、転送する際に暗証番号の入力を求められる場合があります。
- 18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限が設定されている場合、おでかけ転送画面に表示されません。タイトルを表示させるには、167ページをご覧ください。
- ダウンロード中のタイトルは転送できません。
- おかえり転送はできません。
- おでかけ転送を中断した場合は、必ず同じ機器やメディアで再開してください。
- タイトルを部分的に転送することはできません。

「アクトビラを楽しむ」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能	できること
か行	改行	改行します。
	画質設定	画質を調整します(98ページ)。
さ行	再生	映像(タイトル)を再生します。
	再生停止	• アクトビラのページから再生している場合は、停止してアクトビラのページを表示します。 • ダウンロードした映像(タイトル)を再生している場合は、停止してタイトルの一覧(タイトルリスト)を表示します。
	再読込み	表示中のページを更新します。
	削除	選んだブックマークを削除します。
	視聴制限一時解除／視聴制限再設定	視聴年齢制限を一時的に解除したり、再び設定したりします。
	終了	アクトビラを終了します。
	情報表示	ページ情報または映像(タイトル)の情報を表示します。
	進行状況	映像(タイトル)のダウンロード情報を表示します(167ページ)。
	進む	次のページを表示します。
	すべて一時停止／すべて再開	ダウンロードを一時的に停止したり、再開したりします。
	前回終了のページ	前回アクトビラを終了するときに表示していたページを表示します。
た行	ダウンロード管理	アクトビラを終了して、ダウンロード管理画面を表示します。
	ダウンロード実行	選んだ映像(タイトル)のダウンロードを最優先にします。
	チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(92ページ)。
	中止	選んだ映像(タイトル)のダウンロードを中止し、ダウンロード管理画面およびタイトルの一覧(タイトルリスト)から消去します。
	トップページ	アクトビラのトップページを表示します。
な行	名前変更	選んだブックマークの名前を変更します。
	入力	文字入力画面を表示します。

	オプション機能	できること
は行	始めから再生	頭出しします。
	左削除	カーソルの左1文字を削除します。
	開く	選んだブックマークのページを表示します。
	ブックマーク	
	ブックマーク一覧	ブックマーク一覧画面を表示します。
	ブックマーク追加	表示中のページをブックマークに登録します。ブックマークは10個まで登録できます。
ま行	戻る	前のページを表示します。
や行	読込み中止	ページの読み込みを中止します。
アルファベット	Cookie削除	Cookieを削除します。

他機器に映像を持ち出す

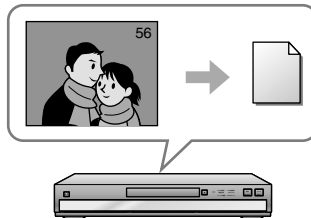
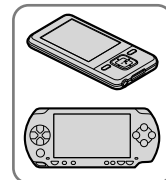
おでかけ転送ガイド

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

おでかけ転送の流れ

① 転送用動画ファイルの作成
おでかけ転送するには、転送先機器で再生するための動画ファイルの作成が必要です。録画前に設定しておけば、転送用動画ファイルを録画時に同時に作成し、高速転送できます。

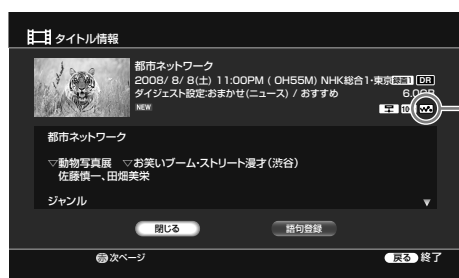
② 転送先機器におでかけ転送する
作成した転送用動画ファイルを各機器に転送します。途中まで見た番組のつづきの部分だけを転送することもできます。

③ 本機におかえり転送する
の付いたタイトルを転送した場合、映像を本機に戻すまでタイトルリストから再生できなくなります。おかえり転送すると、本機でタイトルの再生ができるようになります。

おでかけ転送対応機種について

本機では下記機種におでかけ転送できます。対象機種など詳しい情報は下記ホームページでも確認できます。
http://www.sony.jp /support/bd/

	“ウォークマン”	“PSP”	“メモリースティック” USBリーダー／ライター	携帯電話*1	“nav-u” *4	“mylo”
デジタル放送の番組を録画したタイトル	○*2	○	○*2	○*2 *4	○	–
アナログ放送の番組を録画したタイトル ビデオカメラから取り込んだタイトル x-Pict Story HDで作成したタイトル	○	○	○	○	○	○
BD/DVD→HDDダビングしたタイトル*3	○	○	○	○	○	○
外部入力から録画したタイトル（コピー制御信号なし）	○	○	○	○	○	○
外部入力から録画したタイトル（コピー制御信号あり）*3	○*2	○	○*2	○*2 *4	○	–
アクトビラからダウンロードしたタイトル*1 *3	○*2	○	○*2	○*2 *4	○	–
「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトル	○*2	○	○*2	○*2 *4	○	–

*1 おかえり転送はできません。
*2 機種によってはできません。
*3 録画時におでかけ転送用ファイルを作成しません。
*4 2009年9月現在対応する機種はありません。

高速転送できるタイトルは、タイトル情報の画面にアイコンが表示されます。

おでかけ転送用動画ファイルの種類を示すアイコン

: “PSP”

: “ウォークマン”、“nav-u”、“mylo”

: 携帯電話

おでかけ転送用動画ファイルについて

おでかけ転送するには、再生用のファイル以外におでかけ転送用動画ファイルが必要です。おでかけ転送用動画ファイルは設定しておけば録画時に自動的に作成でき、60分の番組を約5分で高速転送できます。おでかけ転送用動画ファイルがないタイトルは転送と同時におでかけ転送用動画ファイルを作成するので、転送時間は再生と同じくらいかかります。

録画時におでかけ転送動画ファイルを作成するには

[おでかけ転送 高速転送録画]を[入]にしてください(218ページ)。

入：録画時におでかけ転送用動画ファイルを作成します。転送時には高速転送ができます。

HDV/DVダビング(BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ)やx-Pict Story HDで作成したタイトルでもおでかけ転送用動画ファイルが自動作成されます。転送先の機器を設定してください(174ページ)。

切：転送時におでかけ転送用動画ファイルを作成するので、ハードディスクの残容量は増えますが、転送に時間がかかります。

録画時に同時生成されないタイトルについて

以下のタイトルは、録画時におでかけ転送用動画ファイルが同時生成されません。

- [おでかけ転送 高速転送録画]が[切]になっている状態で録画したタイトル
- 「録画2」で録画したタイトル
- 外部入力からデジタル放送の番組を録画したタイトル
- [おでかけ転送機器]で設定した転送先の機器と異なる機器に転送するタイトル
- プレイリスト
- デジタルハイビジョンビデオカメラからAVCHDダビングしたタイトル
- アクトビラからダウンロードしたタイトル

転送するタイトルの録画モードと記録可能時間について

おでかけ転送で利用できる録画モードは2種類あります。録画モードの設定方法については[ビデオ設定]の[おでかけ転送 録画モード](219ページ)をご覧ください。

録画モード	できること
QVGA768k	高画質な映像で転送します。
QVGA384k	データサイズを小さくして、より高速に映像を転送します。

転送先の機器や、録画モードによって記録できる時間が異なります。それぞれの機器で記録できる時間については、下記をご覧ください。

"ウォークマン"に記録できる時間

録画モード	記録可能時間(目安)	
	16GB	32GB
QVGA768k	約35時間	約71時間
QVGA384k	約61時間	約124時間

2009年8月現在"ウォークマン"は、2GBを超えるタイトル(ファイル)を再生できません。ファイルサイズが2GB以下になるようにファイルを分割してください。

画像の内容によって、記録できる時間は異なります。

"PSP"や"nav-u"、携帯電話に記録できる時間

録画モード	記録可能時間(目安)				
	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
QVGA768k	約2時間	約4時間	約9時間	約19時間	約39時間
QVGA384k	約4時間	約8時間	約16時間	約33時間	約68時間

2009年8月現在携帯電話は、2GBを超えるタイトル(ファイル)を再生できません。ファイルサイズが2GB以下になるようにファイルを分割してください。

2009年8月現在、6時間37分を超える映像が記録されているタイトル(ファイル)は"PSP"では再生できません。ファイルは6時間37分以下になるよう分割してください。

画像の内容によって、記録できる時間は異なります。

おでかけ転送の準備をする

1 ホームメニューから[設定]を選ぶ。

2 [ビデオ設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 [おでかけ転送機器]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 転送したい機器を選び、《決定》ボタンを押す。

"mylo"におでかけ転送するときは[ウォークマン/nav-u]を選んでください。

5 [おでかけ転送 高速転送録画]を選び、《決定》ボタンを押す。

6 [入]を選び、《決定》ボタンを押す。

高速転送する場合は、「録画1」で録画してください。「録画2」で録画された番組(タイトル)は高速転送できません。

デジタル放送の字幕も録画した状態で転送するには

録画する前に[ビデオ設定]の[字幕焼きこみ](219ページ)を[入]にして、番組を録画してください。なお、字幕が記録されたタイトルから字幕を削除できません。
アクトビラからダウンロードしたタイトルの場合は、オプションの[信号選択]で選んだほうの設定が優先されます。

二か国語放送

録画する前に[ビデオ設定]の[二重音声記録](218ページ)を[主音声]または[副音声]にして録画してください。設定された音声が転送されます。

ちょっと一言

- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルの再生位置の同期を行うことができます。この機能をお使いになる場合は、あらかじめ[おでかけ転送 再生位置同期]を[入]にしてください。再生位置の同期はおでかけ転送やおかえり転送時に行われ、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。
  対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/
- アクトビラからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送するときは、本機をインターネットにつないでください(262ページ)。

ご注意

- 本機のハードディスク内に録画されているタイトルを消去したり、A-B消去やタイトル分割などの編集を行うと、対応するおでかけ転送用動画ファイルは自動的に消去されます。
- 録画時におでかけ転送用動画ファイルを作成すると、その分ハードディスクの空き容量が必要となり録画可能時間は短くなります(299ページ)。
- 「録画2」で録画中のときは、高速転送でのみ、おでかけ転送ができます。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルのおでかけ転送を中止した場合は、必ず同じ機器やメディアで転送を再開してください。タイトルによっては、おでかけ転送を中止したタイトルを違う種類の機器やメディアに転送することが禁止されている場合があります。
- アクトビラからダウンロードした、視聴年齢制限されたタイトルをおでかけ転送するときは、画面にしたがって、[設定]−[年齢制限設定]の[暗証番号設定]で設定した暗証番号を入力してください(227ページ)。18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトル(228ページ)は、視聴年齢制限されていると、おでかけ転送画面などでタイトルが表示されません。この場合は、あらかじめタイトルリストに表示されている適当なタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[視聴制限一時解除]を選んで、画面にしたがって暗証番号を入力して、すべてのタイトルを表示させてから操作してください。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルには、有効期限が指定されているものがあります。有効期限を確認するには、「映像の情報を確認する」(98ページ)でタイトル情報画面を表示してください。
- アクトビラからダウンロード中におでかけ/おかえり転送すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。
- 1⇒ の付いたタイトルをおでかけ転送、おかえり転送するときは、以下の制限があります。

  携帯電話におでかけ転送するときは
  - おでかけ転送すると、本機のハードディスクからは削除されます。
  - おかえり転送はできません。

  携帯電話以外のおでかけ転送対応機器では
  - おかえり転送するまで本機のタイトルリストから再生できなくなります。
  - おかえり転送すると、おでかけ転送対応機器からは自動的にタイトルが消去されます。
  - おでかけ転送対応機器でタイトルを消去すると、おかえり転送ができなくなります。このとき、本機のハードディスクに残っているおかえり待ちのタイトルは再生できなくなりますので、タイトルを消去してください。
  - おでかけ転送したタイトルを本機側で消去すると、おかえり転送できなくなります。
  - 途中まで転送したタイトルを続きから転送するには、転送したタイトルを本機におかえり転送してから、もう一度おでかけ転送を行ってください。前回の続きから転送されます。
- 1⇒ のついたタイトルはおでかけ転送しても本機にタイトルが残るため、本機で再生できますが、以下の制限があります。
  - アクトビラからダウンロードしたタイトルはおかえり転送できません。
  - 携帯電話におでかけ転送したタイトルはおかえり転送できません。

以下のことはできません

- 「録画1」で録画中におでかけ転送や変換、おかえり転送(177ページ)をすること。
- [アイコン] が付いたタイトルをおでかけ転送すること。
- 本機のカードスロット(BDZ-RX100のみ)に入れた"メモリースティック"やSDカードにおでかけ転送すること。
- 以下の状況やタイトルの場合に高速転送すること。
  - 録画したタイトルを編集したとき
  - 録画モード、映像や音声の信号、おでかけ転送機器の設定を変更したとき
  - 録画時におでかけ転送用動画ファイルが同時生成されないタイトル(173ページ)

"ウォークマン"や"PSP"・携帯電話などに転送する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

1 接続する機器の電源を入れる。

2 "PSP"や携帯電話の場合はUSBモードに切り換える。

転送先機器の操作方法について、詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- ソフトウェアバージョンが5.00以降の"PSP"は、USB自動接続が「入」に設定されているときは、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。

3 転送先の機器を、本機のUSB端子に接続する(256ページ)。

4 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

5 [おでかけ・おかえり転送]を選び、《決定》ボタンを押す。

6 [おでかけ転送]を選び、《決定》ボタンを押す。

7 転送したいタイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

複数のタイトルを転送したいときは、手順7をくり返してください。

ちょっと一言

- タイトルを選んで《オプション》ボタンを押すと、転送方法や、モードなどの設定ができます(183ページ)。

8 [実行]を選び、《決定》ボタンを押す。

選んだ映像が転送されます。
映像を転送している間は、転送先機器の電源を切らないでください。

手順7 おでかけ転送画面

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

1 タイトルリスト
転送するタイトルを選びます。30個まで選択できます。

高速：高速転送できるタイトル。

2 ボタン

実行：おでかけ転送を実行します。

中止：おでかけ転送画面を中止します。

全選択：転送可能なタイトルを、リストの上から順に30タイトルまで選びます。

全選択解除：転送対象に選らんだタイトルをすべて取り消します。

携帯電話におでかけ転送するときは

携帯電話によっては、[録画モード]が[QVGA384k]のときのみ再生できるものがあります。モードを変更するようにメッセージが表示されたときは、おでかけ転送画面で転送するタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[モード]を変更してください。おでかけ転送用動画ファイルを作り直します。

転送を中止する

おでかけ転送の進捗画面で[停止]を選び《決定》ボタンを押します。

転送先の空き容量が足りないときは

確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと、途中まで転送できます。転送先のメモリーの空きを増やすには、転送先の機器を操作して不要なファイルを消去してください。

ちょっと一言

- おでかけ転送用動画ファイルの転送中や作成（変換）中に本機の電源を「切」にしても、転送や作成（変換）は続きます。
- [ワンタッチ転送 更新転送]（219ページ）を[切]に設定したときに、転送したタイトルを転送先機器から消去したいときは、以下の方法で消去してください。
  コピー制御信号を含まないタイトル：転送先機器でタイトルを消去してください。タイトルの消去方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
  1⇒ または 1→ ～ 10→ のコピー制御信号を含むタイトル：おかえり転送で本機に戻してください。
- 転送先機器によって、再生映像の映りかたが異なる場合があります。
- 本機は、"PSP"のシステムソフトウェアバージョン4.00以降で利用できます。
  "PSP"のシステムソフトウェアの情報やバージョンアップ方法については株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品情報ページ（http://www.jp.playstation.com/psp/index.html）をご確認ください。
- ハードディスクの録画可能時間は、[ビデオ設定]の[おでかけ転送 録画モード]の設定（219ページ）により異なります。

ご注意

- x-おまかせ・まる録で録画したタイトルは、おでかけ転送した状態でも、予約した番組を録画するためのハードディスク残量が足りない場合は自動消去されます。消去されないよう保護するには「映像を消去できないようにする」（188ページ）をご覧ください。
- ホームサーバー機能を利用して、本機のタイトルを他機器が再生しているときにおでかけ転送を行うと、他機器の再生が停止します。
- "ウォークマン"や"メモリースティック PRO デュオ"にパソコンなどを使って作成したファイルなどがあるときは、おでかけ転送用動画ファイルを"ウォークマン"や"メモリースティック PRO デュオ"に転送しても再生できない場合があります。
- タイトルの転送を途中でやめた場合は、"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などにはタイトルは残りません。
- 転送中に次の状態になった場合は、本機と転送先の両方から映像が消去される可能性があります。
  － 転送先機器の電源を切ったとき
  － USBケーブルを抜いたとき
  － 停電になったとき
  転送中に転送先機器の電源が切れないよう、あらかじめバッテリーの残量を確認してください。

つづきの場面から転送する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

ハードディスク内で途中まで再生した映像（タイトル）や、前回途中まで転送した映像を、続きから転送し、“ウォークマン”や“PSP”、携帯電話などで楽しめます。

□ の付いたタイトルで、転送先の“ウォークマン”や“PSP”、携帯電話などでは先頭に⇔の付いたタイトルは、本機におかえり転送してから以下の手順を行ってください（177ページ）。

1 接続する機器の電源を入れる。

2 “PSP”や携帯電話の場合はUSBモードに切り換える。

転送先機器の操作方法について、詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- ソフトウェアバージョンが5.00以降の“PSP”は、USB自動接続が「入」に設定されているときは、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。

3 転送先の機器を接続する（256ページ）。

4 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

5 ［おでかけ・おかえり転送］を選び、《決定》ボタンを押す。

6 ［おでかけ転送］を選び、《決定》ボタンを押す。

7 タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

8 ［続きから］を選び、《決定》ボタンを押す。

9 ［実行］を選び、《決定》ボタンを押す。

ちょっと一言

- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルの再生位置の同期を行うことができます。この機能をお使いになる場合は、あらかじめ［おでかけ転送 再生位置同期］を［入］にしてください。再生位置の同期はおでかけ転送やおかえり転送時に行われ、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。
  対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/

以下のことはできません

- アクトビラからダウンロードしたタイトルを続きから転送すること。

転送した映像を本機に戻す

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

1➡ ～ 10➡ の付いた映像（タイトル）をおでかけ転送した場合、ダビング可能回数の数字は減りますが、おかえり転送すると、もとの数字に戻ります。

□ の付いたタイトルを転送した場合、タイトルとおでかけ転送用動画ファイルは本機のハードディスクに残りますが、転送先のタイトルを本機に戻すまでタイトルリストから再生できなくなります。

1 接続する機器の電源を入れる。

2 “PSP”の場合はUSBモードに切り換える。

転送先機器の操作方法について、詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- ソフトウェアバージョンが5.00以降の“PSP”は、USB自動接続が「入」に設定されているときは、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。

3 転送先の機器を接続する（256ページ）。

4 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

5 ［おでかけ・おかえり転送］を選び、《決定》ボタンを押す。

6 ［おかえり転送］を選び、《決定》ボタンを押す。

おかえり転送画面に、おかえり転送できるタイトルのみ表示されます。

7 タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。

選んだタイトルの横にチェックマークが付きます。
複数の映像を転送したいときは、手順7をくり返してください。
チェックマークを消すには、もう一度《決定》ボタンを押します。

8 ［実行］を選び、《決定》ボタンを押す。

選んだ映像が本機のハードディスクに戻り、転送先から削除されます。

以下のことはできません

- 携帯電話におでかけ転送したタイトルをおかえり転送すること。

ちょっと一言

- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルの再生位置の同期を行うことができます。この機能をお使いになる場合は、あらかじめ[おでかけ転送 再生位置同期]を[入]にしてください。再生位置の同期はおでかけ転送やおかえり転送時に行われ、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。
  対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/
- [ワンタッチ転送 更新転送]（219ページ）を[切]に設定したときに、転送したタイトルを転送先機器から消去したいときは、以下の方法で消去してください。
  コピー制御信号を含まないタイトル：転送先機器でタイトルを消去してください。タイトルの消去方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
  1回 または 1→ ～ 10→ のコピー制御信号を含むタイトル：おかえり転送で本機に戻してください。

ご注意

- 同じタイトルを同じ機器に複数回おでかけ転送した場合、おでかけ転送した日時が一番古いタイトルから、1タイトルずつおかえり転送します。
- 更新転送（181ページ）で送ったタイトルをメニュー画面を使っておかえり転送すると、更新期間内でもワンタッチ転送リストからタイトルが削除されます。
- 1回 または 1→ ～ 10→ の付いたタイトルをおでかけ転送して本機のハードディスクに戻した場合（おかえり転送）、転送先の映像は消去されます。

以下のことはできません

- 以下の状況やタイトルの場合におかえり転送すること。
  - おでかけ転送先の機器で消去したタイトル
    本機のハードディスクに残っているおかえり待ちのタイトルは再生できなくなりますので、タイトルを消去してください。
  - おでかけ転送したタイトルを本機のハードディスクで消去したときやA-B消去、タイトル分割などの編集をしたとき
    転送したタイトルが不要になった場合は、転送先機器でタイトルを消去してください。
  - 「録画1」で録画中のとき
  - アクトビラからダウンロードしたタイトル
  - 携帯電話におでかけ転送したタイトル

まとめて転送する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

選んだグループに含まれる映像（タイトル）を、一括して転送します。

1 ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。

2 タイトルがグループ化されていない場合、《黄／フォルダ整理》ボタンを押す。
タイトルがグループごとに分類されます。

3 グループを選び、《決定》ボタンを押す。

4 グループ（フォルダ）を選び、《オプション》ボタンを押す。

5 [おでかけ転送]を選び、《決定》ボタンを押す。

6 [グループ内すべて]を選び、《決定》ボタンを押す。

7 [実行]を選び、《決定》ボタンを押す。
おでかけ転送が開始されます。
おでかけ転送が終わると、ホームメニューに戻ります。

グループ内の複数の映像を選んで転送する

1 「まとめて転送する」の手順6で[グループ内選択]を選び、《決定》ボタンを押す。

2 映像を選び、《決定》ボタンを押す。
複数の映像を転送したいときは、手順2をくり返してください。

3 [確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

ちょっと一言

- おでかけ転送画面で《オプション》ボタンを押すと、オプション機能を利用できます（183ページ）。

ワンタッチで転送する

高速転送中に他の操作をする

高速転送中は、いったんホームメニューに戻り、テレビを見たりハードディスクのタイトルを再生したりできます。
ホームメニューに戻るには、おでかけ転送の進捗画面で［閉じる］を選び《決定》ボタンを押します。
おでかけ転送の進捗画面に戻るには、「"ウォークマン"や"PSP"・携帯電話などに転送する」（175ページ）の手順4 ～ 6を行ってください。
また、番組視聴中やタイトル再生中に、《オプション》ボタンを押して、［おでかけ進行状況］を選んでも戻れます。

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	○	×	×

番組表から録画予約するときにワンタッチ転送の設定をすると、本機前面の《番組おでかけ》ボタンを押すだけで、タイトルを、"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などにおでかけ転送できます。

ワンタッチ転送の準備をする

ワンタッチ転送するときは、録画予約時にワンタッチ転送の設定が必要です。
予約時にワンタッチ転送の設定をしていない番組は、ワンタッチ転送できません。「"ウォークマン"や"PSP"・携帯電話などに転送する」（175ページ）をご覧になり、転送してください。

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 ［録画予約］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 番組表を選び、《決定》ボタンを押す。

4 録画したい番組を選び、《決定》ボタンを押す。

5 ←→で［ワンタッチ転送］を選び、↑↓で［入］を選ぶ。

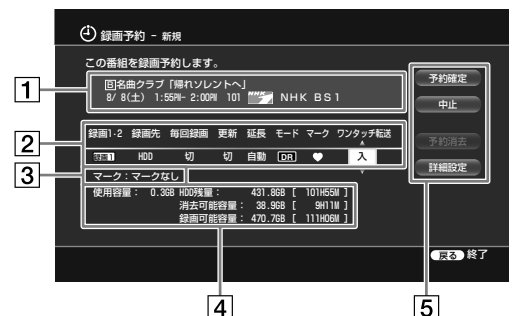
必ず「録画1」と［HDD］を選んでください。他の項目も必要に応じて変更します。

6 ［予約確定］を選び、《決定》ボタンを押す。

ワンタッチ転送の設定をした番組が録画されると、録画した番組が［ワンタッチ転送リスト］に表示されます。
［ワンタッチ転送リスト］の表示方法は、「ワンタッチ転送するタイトルを確認する・取り消す」（181ページ）をご覧ください。

手順5/6 録画予約—新規画面

1 番組詳細

他機器に映像を持ち出す

2 設定項目
録画1・2：[録画1]を選びます。
録画先：[HDD]を選びます。
毎回録画／更新／延長／モード／マーク：必要に応じて設定してください。
ワンタッチ転送：[入]を選びます。

3 マーク
マークが表示されます。

4 ハードディスク容量
使用容量、HDD残量、消去可能容量、録画可能容量が表示されます。

5 ボタン
予約確定：予約を確定します。
中止：録画予約一新規画面を中止します。
予約消去：予約されている場合、予約を取り消します。
詳細設定：記録する信号を選びます。必要に応じて設定してください。

ワンタッチ転送する

1 本機の電源を入れる。

2 接続する機器の電源を入れる。

3 "PSP"や携帯電話の場合はUSBモードに切り換える。

転送先機器の操作方法について、詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- ソフトウェアバージョンが5.00以降の"PSP"は、USB自動接続が「入」に設定されているときは、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。

4 転送先の機器を接続する（256ページ）。

本機が転送先の機器を認識すると、《番組おでかけ》ボタン／ランプが白く点灯します。

5 本機前面の《番組おでかけ》ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、《番組おでかけ》ボタン／ランプが白く点滅したあと、オレンジ色に点灯し転送が開始されます。転送できない場合はオレンジ色に点滅します。
タイトルを転送している間は、USBケーブルを抜かないでください。

ちょっと一言

- ［ワンタッチ転送リスト］に表示されている番組を転送します。
- 転送中に電源を切っても転送が終了するまで転送は続きます。

高速起動モードのときは

高速起動モードのときは、本機の電源が「切」の状態でも、《番組おでかけ》ボタンを押せば、本機の電源が自動的に入りワンタッチ転送できます。
《番組おでかけ》ボタンを押すと、白く点滅しながら本機が起動します。その後"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などを本機が認識すると、白く点灯します。しばらくすると、《番組おでかけ》ボタン／ランプがオレンジ色に点灯し転送が開始されます。転送できない場合はオレンジ色に点滅します。
転送終了後、電源は自動的に切れませんのでご注意ください。
転送中に本機の電源を切っても、転送が終了するまで転送は続きます。

転送が終了すると

本機の電源が「入」になっている場合、転送が終了すると、《番組おでかけ》ボタン／ランプが白く点灯します。
本機の電源が「切」になっている場合、転送が終了すると、《番組おでかけ》ボタン／ランプが消灯します。

本機の映像と転送機器の映像を同期させる

ワンタッチ転送の設定を[入]にして録画したタイトルのうち一定期間のタイトルが更新転送対象タイトルとなり、ワンタッチ転送リストに表示されます。

ワンタッチ転送リストにあり、転送先機器にないタイトル：
自動的におでかけ転送されます。

ワンタッチ転送リストになく、転送先機器にあるタイトル：
コピー制限のないタイトルは転送先機器から消去されます。コピー制限のあるタイトルはおかえり転送されます(携帯電話を除く)。

1 **ホームメニューから[設定]を選ぶ。**

2 **[ビデオ設定]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **[ワンタッチ転送 更新転送]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **更新期間を選び、《決定》ボタンを押す。**

[最新3日間分]、[最新1週間分]、[最新2週間分]から選べます。
ワンタッチ転送対象タイトルは選んだ設定により変化しますので、ワンタッチ転送リスト(181ページ)でご確認ください。

以上で設定は終了です。設定終了後、ワンタッチ転送を行うと、更新転送が実行されます。

ちょっと一言

- [ワンタッチ転送 更新転送]の設定を[切]にすると、更新転送は行わず、ワンタッチ転送対象タイトルを録画日の古い順に転送します。

ご注意

- 更新転送したタイトルを本機内で消去すると、次に更新転送したときに、転送先機器内からもそのタイトルは消去されますのでご注意ください。

ワンタッチ転送するタイトルを確認する・取り消す

選んだタイトルのワンタッチ転送を取り消します。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **[おでかけ・おかえり転送]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **[ワンタッチ転送リスト]を選び、《決定》ボタンを押す。**

転送されるタイトルの一覧が表示されます。

4 **取り消したいタイトルを選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

手順4 ワンタッチ転送リスト画面

1 タイトルリスト
ワンタッチ転送を取り消すタイトルを選びます。

複数の映像を選んでワンタッチ転送を取り消す

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **[おでかけ・おかえり転送]を選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **[ワンタッチ転送リスト]を選び、《決定》ボタンを押す。**

転送されるタイトルの一覧が表示されます。

4 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

5 **[転送選択取消]を選び、《決定》ボタンを押す。**

6 **取り消したいタイトルを選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだタイトルの横にチェックマークが付きます。
複数のタイトルを取り消すときは、手順6を繰り返してください。

ちょっと一言

- チェックマークを消すにはもう一度《決定》ボタンを押します。

7 **[確定]を選んで、《決定》ボタンを押す。**

8 [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。

手順6/7 ワンタッチ転送取消画面

1 タイトルリスト
タイトルを選んで、取り消しができます。
高速：高速転送できるタイトル。

2 ボタン
確定：取り消すタイトルを確定します。
中止：ワンタッチ転送取消画面を中止します。
全選択：すべてのタイトルを選択します。
全選択解除：選んだタイトルをすべて解除します。

ワンタッチ転送リストから消去される場合

ワンタッチ転送の設定をして録画したタイトルでも、以下の場合、ワンタッチ転送リストから消去されるため、ワンタッチ転送できません。

- タイトルを消去したとき
- タイトルを編集（A-B消去/タイトル分割/チャプター消去/チャプター編集/タイトル結合）したとき
- 更新転送(181ページ)が[切]で、下記の場合
  - ワンタッチ転送で転送済みのとき(179ページ)
  - メニュー画面を使っておでかけ転送したとき(175ページ)
  - 以前に更新転送を行ったことがあるタイトルで、録画の日から2週間以上経過したとき
- 更新転送(181ページ)が[切]以外で、下記の場合
  - メニュー画面からおかえり転送したとき(177ページ)
  - 更新転送(181ページ)で設定した期間を過ぎたとき

ちょっと一言

- お使いの転送先機器によっては、本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、そのタイトルの再生位置の同期を行うことができます。この機能をお使いになる場合は、あらかじめ[おでかけ転送 再生位置同期]を[入]にしてください。再生位置の同期はおでかけ転送やおかえり転送時に行われ、つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。
  対応する転送先機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/

以下のことはできません

- 「録画2」で録画したタイトルをワンタッチ転送すること。
- x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルをワンタッチ転送すること。
- アクトビラからダウンロードしたタイトルをワンタッチ転送すること。
- 日時指定予約の番組をワンタッチ転送すること。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトルをワンタッチ転送すること。

制約事項

機器や接続、設定が以下の状態のときは正常にワンタッチ転送できなくなります。症状別に次の原因をご確認ください。

録画予約画面の[ワンタッチ転送]（62ページ）で[入]に設定してもワンタッチ転送されない

以下の場合に発生します。

- ワンタッチ転送リストに表示されていないとき（181ページ）
- おでかけ転送中のとき
- 1➡ の付いたタイトルで、プレイリストが作成されているとき
- 1➡ の付いたタイトルで、タイトルがプロテクトされているとき
- 転送先が携帯電話で 1➡ の付いたタイトルのとき
- 録画時点の[おでかけ転送機器]の設定とは異なる機器が接続されていたとき（"PSP"転送用ファイルを"ウォークマン"や携帯電話へワンタッチ転送するなど）。
- デジタル放送の録画タイトルに対してコピー制御信号に対応しない機器や"メモリースティック"が転送先に使用されていたとき
- 転送先が携帯電話で、タイトルが2GB以上のとき

一部のタイトルしか転送されない

以下の場合に発生します。

- 転送先機器の容量が不足していたとき
- 転送中に「録画1」の予約が重複したとき（「録画1」の録画が終わってからもう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます）
- 転送タイトルが31タイトル以上あったとき（もう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます）

まったく転送されない

以下の場合に発生します。

- 「録画1」で録画中のとき
- 接続された機器に合う転送用ファイルが作成されていなかったとき
- DVDのファイナライズ中だったとき
- 接続機器やメディアが書き込み禁止だったとき
- 接続機器やメディアの残量が転送する最初のタイトルの容量よりも小さかったとき
- [本体設定]の[スタンバイモード](225ページ)が[標準]に設定され、本機の電源が入っていなかったとき
- USB機器が正しく接続されていなかったとき
- USBケーブルが断線していたとき
- “メモリースティック PRO デュオ”が“PSP”に正しく挿入されていなかったとき
- “PSP”がUSBモードになっていなかったとき

その他

- 録画予約の設定で「録画1」を「録画2」に変更すると、ワンタッチ転送の設定は[切]に戻り、ワンタッチ転送できなくなります。
- ワンタッチ転送で転送先の容量が不足し、すべて転送できない場合、ワンタッチ転送リストの録画日時の古い順から転送先機器の容量に収まる分まで転送します。ただし、更新転送の場合は、未転送のタイトルを優先して転送します。
- 更新転送は本体のワンタッチ転送リストにある内容に転送機器内の内容を一致させます。したがって、転送機器側でファイルを削除しても、リスト上に存在するタイトルがあれば、同じファイルを再度転送します。
- アクトビラからダウンロード中にワンタッチ転送すると、ダウンロードの速度が遅くなったり一時停止したりします。

「他機器に映像を持ち出す」で利用できるオプション

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

利用状況により、利用できるオプションが異なります。

	オプション機能		できること
さ行	信号選択*		複数の映像または音声が記録されている映像を転送するときに設定できます。[映像]または[音声]で転送する信号を選んでください。アクトビラからダウンロードした映像(タイトル)では[字幕]も選べます。
さ行	選択		タイトルを選びます。
さ行	選択解除		タイトルの選択を解除します。
た行	転送選択取消		複数のタイトルを選んでワンタッチ転送を取り消します。
た行	転送取消		1件のタイトルのワンタッチ転送を取り消します。
ま行	モード*		転送する映像の録画モードを設定します。
ま行		QVGA768k	QVGA 768kbpsの映像を転送します。
ま行		QVGA384k	QVGA 384kbpsの映像を転送します。

* [信号選択]や[モード]の設定を変更すると、高速転送できなくなり、再生時間と同程度の転送時間がかかります。

映像や写真を消去する

映像を消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

選んだ映像(タイトル)を消去します(1タイトル消去)。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

BDの場合は、ディスクアイコンを選んで《決定》ボタンを押し、さらにタイトルを選んで《オプション》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 《オプション》ボタンの代わりに、《クリア》ボタンを押してもタイトルを消去できます。その場合は手順5に進んでください。

3 **[消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **[1タイトル消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだタイトルが消去されます。

ちょっと一言

- [1タイトル消去]や[選択消去]でプロテクトされたタイトルを選んだときは、確認画面で[プロテクト解除]を選び、プロテクトを解除してください。
- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去したいときは、先にプレイリストを消去してください。

以下のことはできません

- 以下のタイトルを消去すること。
  - プロテクトされているタイトル
  - DVDに記録されているタイトル
  - 録画中のタイトル
  - ダビング中のタイトル
  - おでかけ転送中(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)のタイトル
  - アクトビラからダウンロード中のタイトル
  - ホームサーバー機能(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)で再生中のタイトル
  - プレイリストから参照されているオリジナルタイトル

複数の映像を選んで消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

BDの場合は、ディスクアイコンを選んで《決定》ボタンを押し、さらにタイトルを選んで《オプション》ボタンを押します。

3 **[消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **[選択消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

ちょっと一言

- タイトルリストのすべてのタイトルを消去したいときは、[すべて消去]を選びます。

5 **タイトルを選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだタイトルの横に、チェックマークが付きます。複数のタイトルを消去するときは、手順5を繰り返してください。

ちょっと一言

- チェックマークを消すには、もう一度《決定》ボタンを押します。

6 **[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。**

7 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだタイトルがすべて消去されます。

手順5/6 タイトル選択消去画面

1 消去するタイトルの全容量

2 消去先のディスク

3 タイトルリスト

4 ボタン

確定:消去するタイトルを確定します。

中止:タイトル選択消去画面を中止します。

全選択:消去可能なすべてのタイトルにチェックマークを付けます。

全選択解除:チェックマークをすべてはずします。

5 ハードディスクの残量(目安)

ちょっと一言

- ［1タイトル消去］や［選択消去］でプロテクトされたタイトルを選んだときは、確認画面で［プロテクト解除］を選び、プロテクトを解除してください。
- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去したいときは、先にプレイリストを消去してください。

映像をグループごとまとめて消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

選んだグループ（フォルダ）と、そのグループに含まれる映像（タイトル）を、一括して消去します（グループ消去）。

1 ホームメニューから［ビデオ］を選ぶ。

2 《黄／フォルダ整理》ボタンを押す。
タイトルがグループに分類されます。

3 グループを選び、《決定》ボタンを押す。

4 消去したいグループ（フォルダ）を選び、《オプション》ボタンを押す。

ちょっと一言

- 《オプション》ボタンの代わりに、《クリア》ボタンを押してもグループを消去できます。その場合は手順7に進んでください。

5 ［消去］を選び、《決定》ボタンを押す。

6 ［グループ消去］を選び、《決定》ボタンを押す。

7 ［はい］を選び、《決定》ボタンを押す。
選んだグループの映像がすべて消去され、グループもなくなります。

グループ内の複数の映像を選んで消去する

1 「映像をグループごとまとめて消去する」（187ページ）の手順6で［グループ内選択］を選び、《決定》ボタンを押す。

2 「複数の写真を選んで消去する」（189ページ）の手順6 ～ 8を行い、タイトルを消去する。

ちょっと一言

- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去したいときは、先にプレイリストを消去してください。プレイリストが同じグループ内にある場合は両方同時に消去できます。

ご注意

- タイトルリストに表示されていない視聴年齢制限されたタイトルは、［グループ消去］で消去できません。
この場合は、タイトルリストに表示されている適当なタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して［視聴制限一時解除］を選びます。画面にしたがって、［設定］－［年齢制限設定］の［暗証番号設定］（227ページ）で設定した暗証番号を入力して、すべてのタイトルを表示させてから操作してください。

映像を消去できないようにする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

誤ってタイトルを消去しないよう、録画した映像（タイトル）ごとにプロテクト（保護）の設定をします。

1 **ホームメニューから[ビデオ]を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**
BDの場合は、ディスクアイコンを選んで《決定》ボタンを押し、さらにタイトルを選んで《オプション》ボタンを押します。

3 **[プロテクト]を選び、《決定》ボタンを押す。**
選んだタイトルがプロテクトされ、が表示されます。

プロテクトを解除するには

手順3で[プロテクト解除]を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルからが消えます。

写真を消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 **ホームメニューから[フォト]を選ぶ。**

2 **アルバムを選び、《決定》ボタンを押す。**

3 **写真を選び、《オプション》ボタンを押す。**

4 **[消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

5 **[1ファイル消去]を選び、《決定》ボタンを押す。**

6 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**
選んだ写真が消去されます。

複数の写真を選んで消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1. ホームメニューから[フォト]を選ぶ。
2. アルバムを選び、《決定》ボタンを押す。
3. 写真を選び、《オプション》ボタンを押す。
4. [消去]を選び、《決定》ボタンを押す。
5. [選択消去]を選び、《決定》ボタンを押す。
6. 写真を選び、《決定》ボタンを押す。
   複数の写真を消去するときは、手順6を繰り返してください。
7. [確定]を選び、《決定》ボタンを押す。
8. [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。
   選んだ写真がすべて消去されます。

アルバムごと写真を消去する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1. ホームメニューから[フォト]を選ぶ。
2. アルバムを選び、《オプション》ボタンを押す。
3. [消去]を選び、《決定》ボタンを押す。
4. [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。
   選んだアルバムが消去されます。

ディスクの情報を変更する

BD-REを初期化する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

BD-REの内容をすべて消去して、空きディスクにします。録画した映像（タイトル）を選んで消去したいときは、「映像を消去する」（186ページ）をご覧ください。
DVDの初期化はダビングの手順の中で行います（149ページ）。

1 ホームメニューから［ビデオ］または［フォト］を選ぶ。

2 ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 ［初期化］を選び、《決定》ボタンを押す。

4 ［はい］を選び、《決定》ボタンを押す。

ディスクの初期化が始まります。

ご注意

- BD-REの自動初期化以外の方法で初期化したディスクは、「BD-REを初期化する」の手順では初期化できない場合があります。

ディスクに名前を付ける

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ディスクに名前を付けたり、変更したりできます。
DVDにはダビングの手順のなかで名前を付けます（149ページ）。

1 ホームメニューから［ビデオ］または［フォト］を選ぶ。

2 ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押す。

3 ［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押す。

4 ディスク名を入力したら、［入力終了］を選び、《決定》ボタンを押す。

文字入力について詳しくは、「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- ディスク名として入力できる文字数は、BDの場合は最大で全角69文字、半角138文字までです。
- 他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。
- 一部の文字はタイトルリストで表示されません。

ディスクの情報を確認する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ディスク情報画面では、ディスクの種類や残量を確認できます。

1 **ホームメニューから[ビデオ]または[フォト]を選ぶ。**

2 **タイトルを選び、《オプション》ボタンを押す。**

BDやDVDの場合は、ディスクアイコンを選んで《オプション》ボタンを押します。

3 **[HDD情報]または[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押す。**

[HDD情報]を選ぶと本機のハードディスクの情報が、[情報表示]を選ぶとディスク情報が表示されます。
BDやDVDを入れた場合は、それぞれ[BD情報]や[DVD情報]を確認できます。
情報画面の項目は、ディスクの種類や記録フォーマットによって異なります。

ハードディスク情報画面

HDD情報画面

1 メディア
ディスクの種類

2 タイトル数
オリジナルタイトルの総数／プレイリストの総数

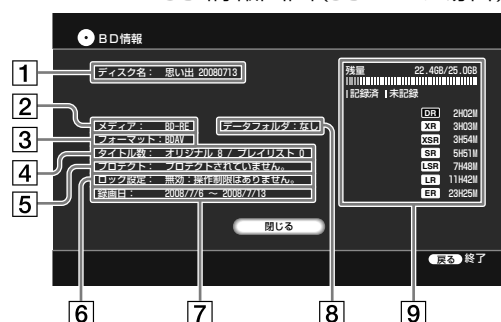
3 アルバム数
写真のアルバムの総数

4 ファイル数
写真のファイルの総数

5 残量（目安）
- ハードディスクの空きを表すバー表示
- ハードディスクの空き容量／総容量
- ハードディスクの録画可能時間

残量や空き容量は目安です。なお、ハードディスクのDRモードの表示は、ハイビジョン放送（HD）を録画できる時間の目安です。

BD/DVD情報画面

BD情報画面（BD-REの場合）

DVD情報画面（DVD-RWの場合）

ディスクの種類によって表示される項目と表示されない項目があります。

1 ディスク名
ディスクの名前を表示します。
ディスク名はタイトルリストにも表示されます。

2 メディア
ディスクの種類

3 ディスクのフォーマット
DVD-RWとDVD-Rでは記録フォーマットがVRモードかビデオモードかを表示します。

4 タイトル数
タイトルの総数／プレイリストの総数

5 プロテクト
ディスクが保護設定されているかどうかを表示します（194ページ）。

6 ロック設定
ディスクがロック設定されているかどうかを表示します（195ページ）。

7 録画日
録画した期間を表示します。

8 データフォルダ
フォトなどを含むフォルダがあるかどうかを表示します。

9 残量（目安）
- BD/DVDの空きを表すバー表示
- BD/DVDの空き容量／総容量
- BD/DVDの録画可能時間

残量や空き容量は目安です。
他機器で録画したディスクは、ディスクの情報画面で正しく表示されない場合があります。

ディスクの内容を変更できないようにする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像（タイトル）を誤って消去したりすることのないように、ディスクをプロテクト（保護）できます。

1 **ホームメニューから［ビデオ］または［フォト］を選ぶ。**

2 **ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［プロテクト］を選び、《決定》ボタンを押す。**
ディスクがプロテクトされます。プロテクトされたディスクには、ホームメニュー上で 🔒 マークが付きます。

プロテクトを解除する

1 **ホームメニューから［ビデオ］または［フォト］を選ぶ。**

2 **ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **［プロテクト解除］を選び、《決定》ボタンを押す。**

暗証番号でディスクをロックする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ディスクに暗証番号を設定して、再生などをできないようにします。

1 **ホームメニューから[ビデオ]または[フォト]を選ぶ。**

2 **ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **[ロック]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **数字ボタンで暗証番号を設定し、[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。**
ディスクを取り出すと、次に入れたときに暗証番号を入力しないと再生やロック解除などの操作ができなくなります。ロックしたディスクを操作するには「ロックされたBD-REやBD-Rを操作するには」(195ページ)をご覧ください。

ロックされたBD-REやBD-Rを操作するには

ロック設定されたBD-REやBD-Rを入れると、暗証番号を入力する画面が表示されます。4桁の暗証番号を入力し、[確定]を選ぶと、ロックが解除され再生できるようになります。ディスクを取り出すと、再びロックされます。

ロックを解除するには

手順3で[ロック解除]を選び、ディスクロック設定画面で[はい]を選び《決定》ボタンを押します。

BDをクローズする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

BD-Rをクローズすることにより、追加記録や編集ができなくなります。録画した映像(タイトル)を誤って消去したり、新たなタイトルを記録しないようにできます。一度クローズしたディスクは解除できません。

1 **ホームメニューから[ビデオ]または[フォト]を選ぶ。**

2 **ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押す。**

3 **[BDクローズ]を選び、《決定》ボタンを押す。**

4 **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。**

「ディスクの情報を変更する」で利用できるオプション

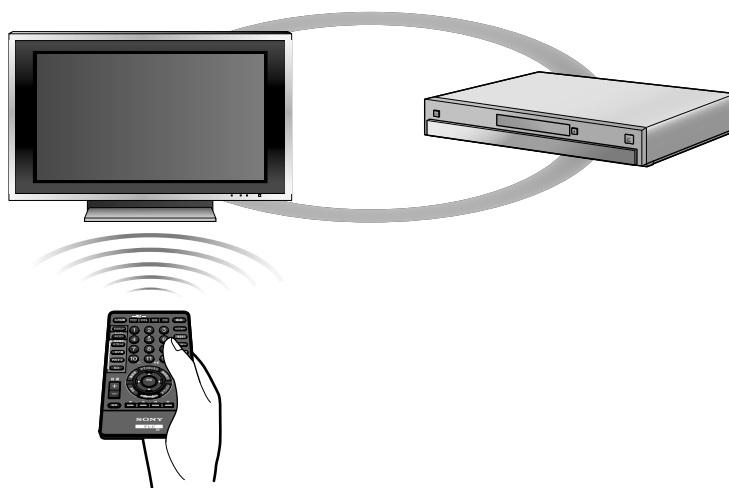
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

	オプション機能	できること
さ行	再生	前回停止したところから再生します（86ページ）。
	情報表示	ディスクの情報を表示します。
	初期化	BD-REを初期化します（192ページ）。
	スライドショー	スライドショーで表示します（135ページ）。
	スライドショーの速さ	スライドショー表示の速さ（速い／標準／遅い）を設定します。
な行	名前変更	名前を変更します（286ページ）。
は行	ファイナライズ	DVD-RやDVD+Rをファイナライズします（151ページ）。
	プロテクト／プロテクト解除	ディスクの内容が誤って消去されないよう保護します（188ページ）。
ら行	ロック／ロック解除	ディスクをロックしたり、ロックを解除します（195ページ）。
アルファベット	BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします（195ページ）。
	BD情報	BDの情報を表示します（193ページ）。
	DVD情報	DVDの情報を表示します（193ページ）。
	HDD情報	ハードディスクの情報を表示します（193ページ）。

ブラビアリンクを使う

ブラビアリンクとは

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

「ブラビアリンク」は、HDMIケーブルでさまざまな機器をつなぎ、<ブラビア>のリモコンで連動操作ができるソニー商品の機能名称です。見るボタンや予約するボタンを押すだけで、本機の再生方法選択画面や録画予約方法選択画面を表示できます。見て録ボタンを押せば、テレビで見ている番組を本機で録画します。

ブラビアリンクに対応している機器

リンクメニュー対応

左のロゴが表記されている機器で、ブラビアリンクを使えます。

ブラビアリンク対応機器についての情報は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

ちょっと一言

- 本機、<ブラビア>およびシアタースタンドシステムを組み合わせてつなぐと、より迫力のあるサラウンド音声を楽しめます。
- 「ブラビアリンク」対応の<ブラビア>をつなぐと、テレビのリモコンを使って本機を操作できます。操作できるボタンや、ボタンを押した後の操作のしかたはテレビによって異なります。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 他社製品とつないだときの動作は保証できません。

ブラビアリンクを利用するための準備をする

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

1 HDMIケーブルをつなぐ

本機とテレビをHDMIケーブルでつないでください（242ページ）。

2 HDMI機器制御の設定をする

接続が完了したら、本機のHDMI機器制御を設定します。

1. **本機の電源を入れる。**
2. **本機の［HDMI機器制御］を、いったん［切］に設定する（225ページ）。**
3. **本機の［HDMI機器制御］を［入］に再設定する（225ページ）。**

3 テレビのリモコンに本機を登録する

お使いのテレビのリモコンがマルチリモコンか、マルチリモコン以外のリモコンかによって登録方法が異なります。詳しくはお使いのテレビのリモコンをご確認ください。

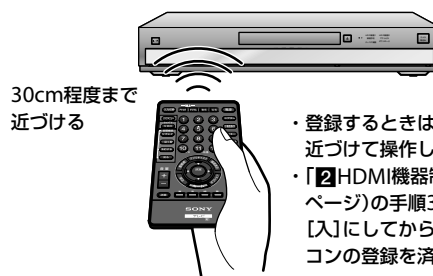
マルチリモコンをお使いの場合

この後の説明に従ってリモコンに登録してください

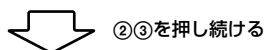
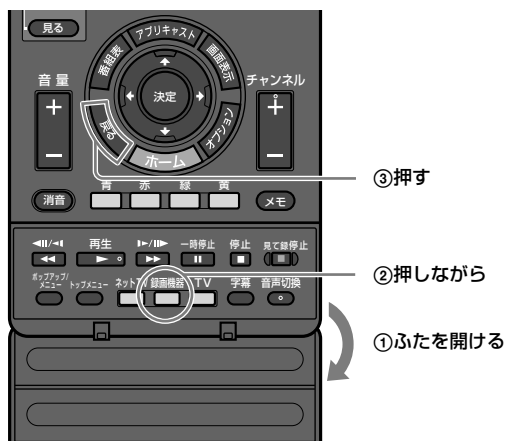
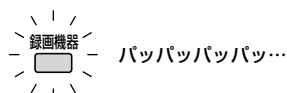
マルチリモコン以外のリモコンをお使いの場合

201ページの説明に従ってリモコンに登録してください

マルチリモコンをお使いの場合

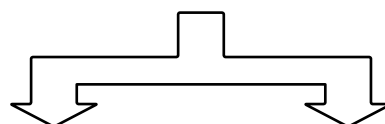
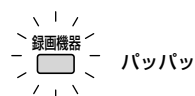
マルチリモコンの登録は2の作業が終わってから、5分以内に登録を済ませてください。
この後の登録作業はテレビのマルチリモコンを本機と30cm程度まで近づけて行ってください。

・登録するときは本機にマルチリモコンを近づけて操作してください
・「2HDMI機器制御の設定をする」（199ページ）の手順3で［HDMI機器制御］を［入］にしてから、5分以内にマルチリモコンの登録を済ませてください

1 マルチリモコンのふたを開け(①)、録画機器ボタンを押しながら(②)、戻るボタンを押し続けて(③)、登録を開始する。

②③を押し続ける

録画機器ボタンが早く点滅したら指を離す

2 録画機器ボタンに本機を登録するために数字ボタンの「1」を押す。

録画機器ボタンが点灯

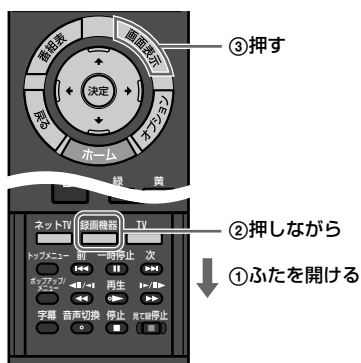
3 決定ボタンを押して、録画機器ボタンに本機を登録する。

マルチリモコンの登録を確認するには

録画機器ボタンを押して、ボタンが点灯したら正しく登録できています。正しく登録されると、本機を操作できます。

本機を操作できないときは

マルチリモコンの電源ボタンを押し、「2HDMI機器制御の設定をする」(199ページ)の手順2からやり直してください。

マルチリモコン以外のリモコンをお使いの場合

以下の機種をお使いのときは次の手順でテレビのリモコンに本機を登録してください。
<ブラビア>KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-46V3000/KDL-40V3000

1 テレビのリモコンのふたを開け(①)、録画機器ボタンを先に押しながら(②)、画面表示ボタンを押して(③)、登録を開始する。

2 本機の本体側で設定したリモコンモードに対応する、テレビのリモコンのリモコンモード(3桁)を数字ボタンを使って入力する。

本機の本体側のリモコンモード	手順2で入力するテレビのリモコンのリモコンモード
BD1	101
BD2	102
BD3(お買い上げ時の設定)	103

お買い上げ時の本機のリモコンモードの設定は「BD3」です。本機のリモコンモードを変更していないときは「103」を入力してください。
0を入力するときは数字ボタンの「10」を押してください。「103」と入力するときは、数字ボタンの「1」、「10」、「3」を順番に押してください。
リモコンモードの入力が完了すると、テレビのリモコンの録画機器ボタンが点灯します。

3 決定ボタンを押して、録画機器ボタンに本機を登録する。

登録されたときは、録画機器ボタンが2回点滅して消灯します。
登録されなかったときは、録画機器ボタンが5回点滅します。手順1からもう一度やり直してください。

ちょっと一言

- テレビのリモコンの使いかたについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- リモコンの登録がうまくいかない場合は、[設定]－[本体設定]－[HDMI機器制御](225ページ)の設定が[入]になっているかご確認ください。[切]にすると、ブラビアリンクやテレビに付属のリモコンが利用できなくなります。
- [設定]－[設定初期化]－[お買い上げ時の状態に設定](233ページ)で、[本体設定]または[すべての設定の内容]を選ぶと、[HDMI機器制御]の設定が[切]に戻り、ブラビアリンクやテレビに付属のリモコンが利用できなくなります。もう一度「ブラビアリンクを利用するための準備をする」(199ページ)を行ってください。
- テレビのリモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定した内容や登録したリモコンモードが消えることがあります。その場合は、もう一度設定し直してください。

ブラビアリンクで本機をかんたんに操作する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

録画した映像をブラビアリンクで再生する

＜ブラビア＞のリモコンの見るボタンを押すだけで、テレビの入力が切り換わり、本機の再生方法選択画面を表示できます。ここでは本機に録画したすべての映像（タイトル）からタイトルを選んで再生する方法を説明します。

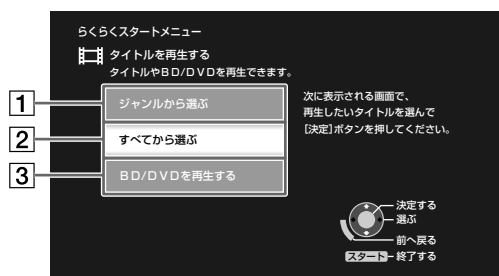
1 **見るボタンを押して、再生方法選択画面を表示する。**

テレビの入力は、本機をつないだ入力に自動的に切り換わります。

2 **［すべてから選ぶ］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **タイトルを選び、決定ボタンを押す。**

タイトルの再生が始まります。
再生をやめるには、■（停止）ボタンを押します。

手順2 再生方法選択画面

1 ジャンルから選ぶ
ジャンルを選んでタイトルの一覧（タイトルリスト）を表示します。

2 すべてから選ぶ
本機で録画したすべてのタイトルを表示します。

3 BD/DVDを再生する
BDやDVDを再生するときに選びます。

ちょっと一言

- 使用できるリモコンのボタンについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラビアリンクを使って録画予約する

＜ブラビア＞のリモコンの予約するボタンを押すだけで、テレビの入力が切り換わり、本機の録画予約方法選択画面を表示できます。ここでは本機の番組表から録画予約する方法を説明します。

1 **予約するボタンを押して、録画予約方法選択画面を表示する。**

テレビの入力は、本機をつないだ入力に自動的に切り換わります。

2 **［番組表から選ぶ］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **録画したい番組の放送を選び、決定ボタンを押す。**

BS/110度CSデジタル放送を受信していない場合は、手順3の画面は表示されません。

4 **日付を選び、決定ボタンを押す。**

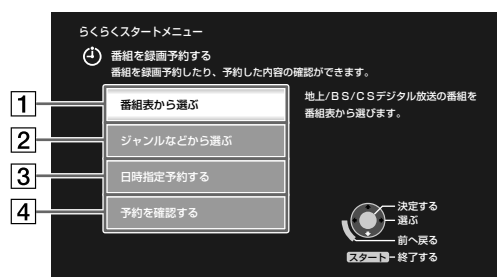
5 **番組を選び、決定ボタンを押す。**

6 **←→ボタンで各設定項目を選び、↑↓ボタンで設定する。**

設定項目について詳しくは、「録画予約の便利な機能」（62ページ）をご覧ください。

7 **［予約確定］を選び、決定ボタンを押す。**

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。

手順2 録画予約方法選択画面

1 番組表から選ぶ
放送の種類と日付を選んで番組表を表示します。

2 ジャンルなどから選ぶ
ジャンルやキーワードを選んで、お気に入り番組表を表示します。

3 日時指定予約する
地上アナログ放送、またはCATVなどの外部チューナーの映像を録画予約するときに選びます。

4 予約を確認する
予約リストを表示します。予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更ができます。

ちょっと一言

- 使用できるリモコンのボタンについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- <ブラビア>の番組表を使って録画予約するには、本機と<ブラビア>をネットワークにつないでください。操作方法について詳しくは、「ブラビアの番組表を使って録画予約する」（72ページ）をご覧ください。

テレビで見ている番組を今すぐ録画する

<ブラビア>のリモコンの見て録ボタンを押すだけで、テレビで見ている番組を本機で録画できます。

テレビでデジタル放送の番組を視聴中に、見て録ボタンを押して、録画を開始する。

本機で録画が始まります。
録画を停止するには、■（見て録停止）ボタンを押します。

ちょっと一言

- 使用できるリモコンのボタンについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 「見て録」はテレビのチューナーでテレビ番組を見ているときに、利用できます。
- 「見て録」は本機の■《録画停止》ボタンでも停止できます。

ご注意

- 「見て録」開始時に「カードエラー」と表示されたときはB-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
- 「見て録」開始時に本機のハードディスクの残量を算出します。ハードディスクの残量が不足しているときは「見て録」を開始できません。ハードディスクに録画した映像（タイトル）を消去してください。
- 本機の以下の機能を利用しているとき「見て録」を行うと、利用中の機能は停止します。
  - まるごとDVDコピーの読み込み
  - タイトルの再生
  - タイトルの編集
- 「見て録」中に番組情報が変更されても、番組を追跡することはできません。
- 「見て録」を開始した時点で、番組の残り時間が3分以下の場合は、「見て録」の終了時間は次の番組の終了時間になります。

以下のことはできません

- 「見て録」を利用して以下の放送や番組を録画すること。
  - 地上アナログ放送
  - デジタル放送のラジオ放送
  - データ放送
  - コピー制御信号により録画できない番組
  - 本機で受信できない番組
  - 未購入の番組
  - 視聴年齢制限を越えた番組
- 本機のハードディスクに録画した映像（タイトル）が499以上（BDZ-EX200は998以上）あるときに「見て録」を利用すること。
  ハードディスクに録画したタイトルを消去してから利用してください。
- 本機の「録画1」の録画予約（BDZ-RS10では録画予約）と「見て録」が重複した場合に「見て録」を実行すること。
  「見て録」を実行したいときは重複している録画予約を取り消してください。
- 番組情報が取得できない場合に「見て録」を利用すること。
  アンテナの接続を確認してください。
- 本機の以下の機能を利用しているときに「見て録」を利用すること。
  - 「録画1」で録画（BDZ-RS10では録画）
  - ダビング
  - おでかけ／おかえり転送（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）
  - HDV/DVダビング（BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ）
  - x-Pict Story HD作成
  - 思い出ディスクダビング
  - まるごとDVDコピーの書き込み

その他ブラビアリンクでできること

- <ブラビア>のホームメニューの外部入力から本機を選ぶと本機の電源が入り、テレビの入力が切り換わります。
- テレビCH設定連動機能に対応した<ブラビア>をつないでいる場合、テレビのチャンネル設定をそのまま本機のチャンネル設定に反映できます。詳しくは、「らくらくガイド」の「かんたん設定をする」、および「BRAVIAチャンネル設定連動についてのご注意」（204ページ）をご覧ください。
- オートジャンルセレクター機能に対応したAVアンプをつないでいる場合、最適なサウンドフィールドを自動的に選びます。詳しくはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- <ブラビア>につないでいる場合、テレビの電源状態に同期して本機の起動時間を短縮することができます。詳しくは[本体設定]の[HDMI機器制御 高速連動]（225ページ）をご覧ください。

- シーンセレクトに対応した＜ブラビア＞をつないでいる場合は、最適な画質を自動的に選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

BRAVIAチャンネル設定連動についてのご注意

- 本機能を使うには、BRAVIAチャンネル設定連動対応の＜ブラビア＞とHDMIケーブルでつなぎ、はじめに＜ブラビア＞の設定を完了させてください。
- 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、HDMI出力を連動する＜ブラビア＞側に合わせてください（BDZ-EX200のみ、246ページ）。
- 下記の情報を＜ブラビア＞から取得します。
  - 郵便番号、デジタル放送の地域情報（県域）
  - チャンネル情報（地上アナログ放送：[表示CH]、[受信CH]、[＋/－選局]、[プリセット選局]、地上デジタル放送：[＋/－選局]、[プリセット選局]、BS/CSデジタル放送：[プリセット選局]）
    それぞれの設定内容については、「受信する放送の設定を行う（放送受信設定）」（213ページ）をご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動を行った後に＜ブラビア＞で設定を変更した場合、変更した内容は本機に反映されません。
- 本機と＜ブラビア＞を、AVアンプやセレクターを経由してつないだ場合、AVアンプやセレクターの機種や状態によっては、BRAVIAチャンネル設定連動が働かない場合があります。詳しくはAVアンプやセレクターの取扱説明書をご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動は、本機の自動チャンネル設定で検出されたチャンネル情報を＜ブラビア＞のチャンネル情報を使って最適化する機能です。このため、＜ブラビア＞と本機で受信状況が異なる場合は、設定されるチャンネルが異なることがあります。
- 地上アナログ放送の場合は＜ブラビア＞で設定されたチャンネルを追加しますが、地上デジタル放送やBS/CSデジタル放送の場合はチャンネルを追加しません。
- 本機の[プリセット選局]で登録したチャンネルは、[＋/－選局]の設定が[必ず選局]になります（地上アナログ放送を除く）。詳しくは、「受信する放送の設定を行う（放送受信設定）」（213ページ）をご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動対応の＜ブラビア＞について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/bravialink/

本機のリモコンでできること

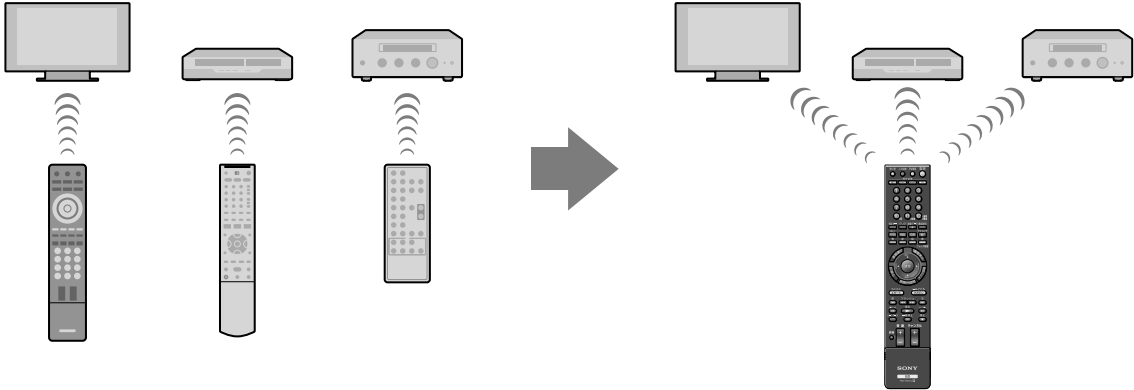
本機で以下のボタンを押すと、テレビの電源が自動的に入り、テレビの入力が本機をつないでいる入力に自動的に切り換わります。

- 《電源》ボタン
- 《ホーム》ボタン
- ►《再生》ボタン
- 《番組表》ボタン
- 《らくらくスタート》ボタン
- 《x-みどころマガジン》ボタン

設定を変更する

本機のリモコンで他機器を操作する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

リモコンの操作機器切換用ボタン(《DVD》ボタン、《AMP》ボタン、《TV》ボタン)を押すと、これらのボタンに登録されているテレビやAVアンプなどの他機器を操作できるようになります。

1 **《DVD》ボタン、《AMP》ボタン、《TV》ボタンのうち、操作したい機器が登録されているボタンを押す。**

リモコンが他機器モードに切り換わります。

お買い上げ時は、《DVD》ボタン、《AMP》ボタン、《TV》ボタンに以下の機器が登録されています。

ボタン	お買い上げ時の設定	登録できる機器
DVD	103	各社のビデオ機器やその他のソニー製機器(208ページ)、ソニー製BD機器(210ページ)
AMP	651	各社のビデオ機器やその他のソニー製機器(208ページ)、ソニー製BD機器(210ページ)
TV	901	各社のテレビ(208ページ)

操作機器切換用ボタンにはさまざまなメーカーの機器を登録することができます(208、209ページ)。

2 **選んだ操作機器切換用ボタンが点灯している間に、他機器を操作する。**

操作機器切換用ボタンは、30秒間点灯します。

ご注意

- 本機のリモコンで他機器の基本的な操作ができますが、機器によっては操作できないことがあります。その場合は他機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が他機器にない場合は、そのボタンでは操作できません。

自動でBDモードに戻らないようにするには

お買い上げ時の設定では、操作機器切換用ボタンを押すと、30秒後に自動的にBDモードに戻ります。次の設定を行うと、操作機器切換用ボタンで選んだ機器の設定に固定することができます。

《TV電源》ボタンを押しながら、《音量－》ボタン、《チャンネル－》ボタンの順番で3つのボタンを同時に押す。

4つの操作機器切換用ボタンがすべて点灯します。手を離してボタンが消灯すると設定が完了します。
もう一度上記手順を行うと、《BD》ボタンのみ点灯し、30秒後に自動的にBDモードに戻るように設定されます。

他機器の操作に利用できるボタン

登録した機器によって、利用できるボタンが異なります。機種によっては一部のボタンは操作できません。

ボタン		<ブラビア>	<ブラビア>以外のソニー／アイワ製テレビ	他社製テレビ／その他の機器
電源	電源	○	○	○
チャンネル ＋ / －	チャンネル＋／－	○	○	○
音量 ＋ / －	音量＋／－	○	○	○
入力切換	入力切換	○	○	○
1～12	数字ボタン	○	○	×
消音	消音	○	○	×
ホーム	ホーム	○	×	×
↑↓←→	↑↓←→	○	×	×
戻る	戻る	○	×	×
オプション	オプション	○	×	×
画面表示	画面表示	○	×	×
番組表	番組表	○	×	×

操作したい他機器を登録する

本機のリモコンの操作機器切換用ボタンにはさまざまなメーカーの機器を登録できます。登録する機器によって、登録の手順が異なります。「さまざまな機器を操作したい」（208ページ）、「テレビまたはAVアンプの音量を手軽に調整したい」（209ページ）をご覧になり、操作したい機器を登録してください。

さまざまな機器を操作したい

テレビ

1 《TV》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンを離すと《TV》ボタンが点滅します。

2 《TV》ボタンが点滅している間に、登録したいテレビのメーカー番号（3桁）を押す。

メーカー	メーカー番号	
ソニー	901*	912
アイワ	917	
パナソニック	902	913
東芝	903	
日立	904	
三菱	905	
ビクター	906	
サンヨー	907	915
シャープ	908	916
NEC	909	
パイオニア	910	
富士通ゼネラル	911	
フナイ	914	
三星電子（SAMSUNG）	918	919

* 《TV》ボタンのお買い上げ時の設定です。

3 《決定》ボタンを押す。

操作機器切換用ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

操作方法

206ページをご覧ください。

ソニー製AV機器

1 《DVD》ボタンまたは《AMP》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンを離すと《DVD》ボタンまたは《AMP》ボタンが点滅します。

2 《DVD》ボタンまたは《AMP》ボタンが点滅している間に、登録したいAV機器の登録番号（3桁）を押す。

機器	登録番号		
DVDレコーダー／プレーヤー	101*[1]	102	103*[2]
HDDレコーダー	301 304	302 308	303
ビデオ	001 004 201*[3]	002 005	003 006
フォトストレージ	351		
ホームシアターシステム	601 604	602	603
AVアンプ	651*[4]	652	653
デジタルCS放送チューナー	701		
PSX	801	802	803

*[1] DVDプレーヤーは「101」に設定してください。
*[2] 《DVD》ボタンのお買い上げ時の設定です。
*[3] DVD一体型ビデオ
*[4] 《AMP》ボタンのお買い上げ時の設定です。

3 《決定》ボタンを押す。

操作方法

206ページをご覧ください。

VHSビデオレコーダー

1 《DVD》ボタンまたは《AMP》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンを離すと《DVD》ボタンまたは《AMP》ボタンが点滅します。

2 《DVD》ボタンまたは《AMP》ボタンが点滅している間に、登録したいVHSビデオレコーダーのメーカー番号（3桁）を押す。

メーカー	メーカー番号		
アイワ	037 040	038 049	039
パナソニック	010* 013	011* 014	012*
東芝	015* 018	016*	017
日立	019 022*	020	021
三菱	023* 026	024*	025
ビクター	027* 030*	028* 031	029* 032
サンヨー	033* 036	034	035
シャープ	041*	042	043
NEC	045 048	046	047
フナイ	044*		

* DVD一体型ビデオ

3 《決定》ボタンを押す。

操作方法

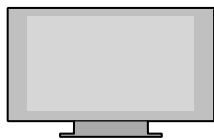
206ページをご覧ください。

ちょっと一言

- メーカー番号901のソニー製テレビには、R マークが付いています。
- 10秒以内に次の操作を始めなかったときは、手順1からやり直してください。
- アイワのメーカー番号を設定しても操作できないときは、ソニーのメーカー番号で登録してください。

ご注意

- メーカー番号や登録番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。メーカーの記載がない場合は使用できません。

テレビまたはAVアンプの音量を手軽に調整したい

テレビ

1 **「さまざまな機器を操作したい」(208ページ)で、操作するテレビを登録する。**

2 **《BD》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。**

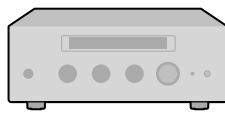
ボタンを離すと《BD》ボタンが点滅します。

3 **《BD》ボタンが点滅している間に、本機に設定されているリモコンモード(お買い上げ時は「BD3」に設定されています。210ページ)に対応する登録番号(3桁)を押す。**

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3	503

4 **《決定》ボタンを押す。**

操作機器切換用ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

操作方法

《音量+/-》ボタンを押す。

AVアンプ

1 **《BD》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。**

ボタンを離すと《BD》ボタンが点滅します。

2 **《BD》ボタンが点滅している間に、音量を調整したいAVアンプのメーカー番号(3桁)を押す。**

本機に設定しているリモコンモードによって、設定するメーカー番号が異なりますのでご注意ください。

リモコンモードを「BD1」に設定している場合

メーカー	メーカー番号		
ソニー	511	512	513
	514		
オンキョー	515	516	517
デノン	518	519	520
サンスイ	521		
ケンウッド	522	523	
ヤマハ	524	525	526
パナソニック	527	528	
パイオニア	529		

リモコンモードを「BD2」に設定している場合

メーカー	メーカー番号		
ソニー	531	532	533
	534		
オンキョー	535	536	537
デノン	538	539	540
サンスイ	541		
ケンウッド	542	543	
ヤマハ	544	545	546
パナソニック	547	548	
パイオニア	549		

リモコンモードを「BD3」に設定している場合

メーカー	メーカー番号		
ソニー	551	552	553
	554		
オンキョー	555	556	557
デノン	558	559	560
サンスイ	561		
ケンウッド	562	563	
ヤマハ	564	565	566
パナソニック	567	568	
パイオニア	569		

3 **《決定》ボタンを押す。**

操作機器切換用ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

操作方法

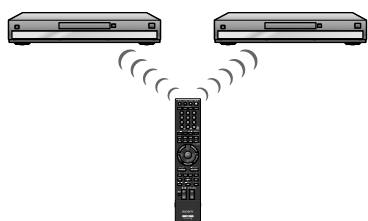
《音量+/-》ボタンを押す。

ご注意

- 音声を出力する機器に対して設定を行ってください。

複数のソニー製BD機器を操作する

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機にはBD機器を操作できるリモコンのモードが3つあります。本機のリモコンでは、《BD》ボタンに対して3つのリモコンモードのうち1つを設定できます。（お買い上げ時は「BD3」に設定されています。）
また、《DVD》ボタン、《AMP》ボタンに残り2つのリモコンモードをそれぞれ設定すれば、複数のソニー製BD機器を1つのリモコンで操作できます。

リモコンモードは本体側とリモコン側のそれぞれに設定されています。本体側のリモコンモードとリモコン側のリモコンモードは、同じ番号に合わせてお使いください。リモコンのリモコンモードを変更せずに本体のリモコンモードを変更すると、リモコン操作ができなくなります。

1 ホームメニューから[設定]を選ぶ。

2 [本体設定]を選び、《決定》ボタンを押す。

3 [リモコンモード]を選び、《決定》ボタンを押す。

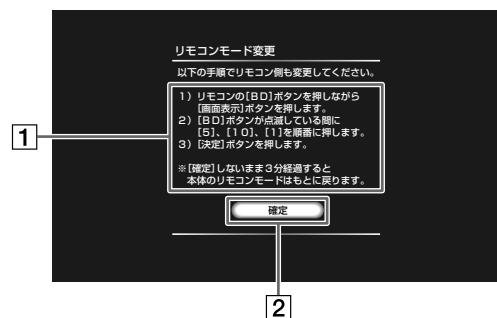
4 リモコンモード（BD1/BD2/BD3）を選び、《決定》ボタンを押す。

5 [はい]を選び、《決定》ボタンを押す。

リモコンモード変更画面が表示され、本体側のリモコンモードが手順4で選んだリモコンモードに変わります。

6 画面の指示に従い、リモコン側のリモコンモードを変更した後、[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。

変更しない場合は操作しないでください。3分後に画面が消え、変更前のリモコンモードに戻ります。

手順6 リモコンモード変更画面

1 リモコンモード変更手順
画面にしたがって、リモコン側のリモコンモードを変更してください。

2 確定
変更したリモコンモードを確定します。

ご注意

- リモコンモードの変更は、必ず本機のリモコンで行ってください。

リモコン側のリモコンモードを変更する

1 《BD》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

ボタンを離すと《BD》ボタンが点滅します。
《BD》ボタンの代わりに《DVD》ボタンや《AMP》ボタンを押すと、そのボタンに登録できます。

2 操作機器切換用ボタンのランプが点滅している間に、登録したいリモコンモードの登録番号（3桁）を押す。

例：「501」を入力するときは、リモコンの《5》ボタン、《10》ボタン、《1》ボタンを順番に押します。

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3	503

3 《決定》ボタンを押す。

操作機器切換用ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。
手順1で選んだボタンに対し、手順2で選んだリモコンモードが設定されます。《BD》ボタンに設定するリモコンモードは、本体側のリモコンモードと同じ番号にしてください。

ご注意

- 手順2と3で10秒以内に操作を始めなかったときは、手順1からやり直してください。

本機の設定を変更する

本体側とリモコン側のリモコンモードの設定が異なるときは

本機の表示窓に本体側のリモコンモードが次のように表示されます。

BD3

この場合は、「リモコン側のリモコンモードを変更する」(210ページ)の設定を行い、リモコン側のリモコンモードを表示窓に合わせて変更してください。

本体側のリモコンモードを誤って設定したときは

本体側のリモコンモードのみ変更すると、リモコンで本機を操作できなくなります。
この場合は、「リモコン側のリモコンモードを変更する」(210ページ)の設定を行い、リモコン側のリモコンモードを本体側のリモコンモードに合わせてください。

リモコン側のリモコンモードをお買い上げ時の設定に戻す

リモコンのふたの中の《時間表示》ボタンを押しながら、《TV電源》ボタン、《決定》ボタンの順番で3つのボタンを同時に押す。

4つの操作機器切換用ボタンがすべて点灯します。
手を離してランプが消灯すると、リモコン側のリモコンモードが「BD3」に戻ります。また、リモコンの《DVD》ボタン、《AMP》ボタン、《TV》ボタンなどに登録した設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

設定画面でチャンネルや画質・音質などのさまざまな設定ができます。

1 ホームメニューから[設定]を選ぶ。

2 項目を選び、《決定》ボタンを押す。

各設定項目の詳細については、次の「設定カテゴリー 機能一覧」に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー 機能一覧

アイコン	説明
	お問い合わせ(212ページ) 商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。
	お知らせ(212ページ) 本機や放送局からのお知らせメールなどをご確認いただけます。
	放送受信設定(213ページ) 受信設定やチャンネル設定などを行います。
	ビデオ設定(217ページ) 録画の詳細設定を行います。
	映像設定(220ページ) つないだ端子にあわせた映像設定などを行います。
	音声設定(222ページ) つないだ端子にあわせた音声設定などを行います。
	フォト設定(224ページ) スライドショーの効果などを設定します。
	本体設定(224ページ) 本体全般の設定を行います。
	BD/DVD視聴設定(226ページ) BDやDVDを視聴するときの詳細設定を行います。
	年齢制限設定(227ページ) 暗証番号と制限レベルを設定します。
	通信設定(229ページ) 電話回線やネットワークなど通信の詳細設定を行います。
1·2·3	**かんたん設定(233ページ)** 基本的な設定を順に行います。
	設定初期化(233ページ) お買い上げ時の状態に戻します。

お問い合わせ

お問い合わせ	商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

お知らせを見る（お知らせ）

メール 放送メール	放送局からお客様へのお知らせのメールを見ることができます。 **ご注意** ● 受信してから14日以上経ったメールは、未開封でも自動的に削除されます。 **メールマークの意味** （既読）：すでに読んだメール （未読）：まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません。
メール 自己メール	予約や録画、ダビングの結果、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
ボード	110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。
ルートCA証明書	見たいルートCA証明書を選び、《決定》ボタンを押すと、詳細が表示されます。 選んだルートCA証明書を削除するには、［削除］を選び、《決定》ボタンを押します。

受信する放送の設定を行う（放送受信設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

ご注意

- チャンネル設定を変更すると、変更前に登録した録画予約が正しく行われないことがあります。チャンネル設定を変更した場合は、録画予約を登録し直してください。

地上デジタルチャンネル登録 受信している地上デジタル放送の選局方法などが設定できます。	**［＋/－選局］** リモコンの《チャンネル＋／－》ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：［プリセット選局］が選ばれているときに設定されます。《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。 **選局する**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できるようになります。 **選局しない**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できません。［選局しない］を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 ［臨時チャンネル］と表示されているときは、［選局する］や［選局しない］に変更できません。 すべてのチャンネルを選局したいときや、まったく選局したくないときは、画面右側の［全選局］や［全選局解除］を選んでください。 ［全選局］を選ぶと、［プリセット選局］の設定は［初期スキャン］時の状態に戻ります。また、［全選局解除］を選ぶと、［プリセット選局］の設定もすべて解除されます。 **ちょっと一言** • 番組を共有しているチャンネルは、［選局する］に設定しても、番組表に表示されないことがあります。また、チャンネル番号の下一桁が「1」のチャンネルは［選局しない］を選べません。 **［プリセット選局］** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1** **登録したいチャンネルの行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2** **［プリセット選局］を選ぶ。** **3** **↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、《決定》ボタンを押す。** プリセット選局を登録すると、［＋/－選局］の設定が［必ず選局］になります。
地上デジタル自動チャンネル設定 「らくらくガイド」の「かんたん設定をする」を行うと地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。ただし、県域が変わった場合や、他にも受信できるチャンネルがある場合には、自動チャンネル設定をやり直してください。	**1** **県域に変更があるときは、［県域］でお住まいの地域を選び、→を押す。** **2** **［初期スキャン］または［再スキャン］を選び、《決定》ボタンを押す。** **初期スキャン**：全チャンネルを再設定します。 **再スキャン**：新しく受信できたチャンネルが追加されます。県域を変更した場合は選べません。 自動チャンネル設定が終わると、スキャン結果画面が表示されます。
地上デジタル自動再スキャン 地上デジタル放送のチャンネル変更に合わせて自動的に本機のチャンネルを変更するかを選びます。	**1** **《決定》ボタンを押す。** **2** **設定を選び、《決定》ボタンを押す。** **入**：地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信時に、本機が自動的にチャンネルの再設定を行います。通常はこの設定にします。 **切**：チャンネルの再設定を自動で行いません。
地上デジタルアンテナレベル 地上デジタル放送の受信状態を確認できます。	**1** **《決定》ボタンを押す。** **2** **受信状態を見たいチャンネルを選ぶ。** **3** **受信状態を確認しながら、アンテナの向きを調整する。**

BSデジタルチャンネル登録 受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	**[+/−選局]** リモコンの《チャンネル+／−》ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：[プリセット選局]が選ばれているときに設定されます。《チャンネル+／−》ボタンで選局できます。 **選局する**：《チャンネル+／−》ボタンで選局できるようになります。 **選局しない**：《チャンネル+／−》ボタンで選局できません。[選局しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 [臨時チャンネル]と表示されているときは、[選局する]や[選局しない]に変更できません。 すべてのチャンネルを選局したいときや、まったく選局したくないときは、画面右側の[全選局]や[全選局解除]を選んでください。 [全選局]を選ぶと、[プリセット選局]の設定は[初期スキャン]時の状態に戻ります。また、[全選局解除]を選ぶと、[プリセット選局]の設定もすべて解除されます。 **ちょっと一言** • 番組を共有しているチャンネルは、[選局する]に設定しても、番組表に表示されないことがあります。また、チャンネル番号の下一桁が「1」のチャンネルは[選局しない]を選べません。 **[プリセット選局]** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1 登録したいチャンネルの行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [プリセット選局]を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、《決定》ボタンを押す。** プリセット選局を登録すると、[+/−選局]の設定が[必ず選局]になります。
CSデジタルチャンネル登録 受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	**[+/−選局]** リモコンの《チャンネル+／−》ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：[プリセット選局]が選ばれているときに設定されます。《チャンネル+／−》ボタンで選局できます。 **選局する**：《チャンネル+／−》ボタンで選局できるようになります。 **選局しない**：《チャンネル+／−》ボタンで選局できません。[選局しない]を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 [臨時チャンネル]と表示されているときは、[選局する]や[選局しない]に変更できません。 すべてのチャンネルを選局したいときや、まったく選局したくないときは、画面右側の[全選局]や[全選局解除]を選んでください。 [全選局]を選ぶと、[プリセット選局]の設定は[初期スキャン]時の状態に戻ります。また、[全選局解除]を選ぶと、[プリセット選局]の設定もすべて解除されます。 **ちょっと一言** • 番組を共有しているチャンネルは、[選局する]に設定しても、番組表に表示されないことがあります。また、チャンネル番号の下一桁が「1」のチャンネルは[選局しない]を選べません。 **[プリセット選局]** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1 登録したいチャンネルの行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [プリセット選局]を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、《決定》ボタンを押す。** プリセット選局を登録すると、[+/−選局]の設定が[必ず選局]になります。

BS/CSデジタルアンテナレベル 受信中のBS/110度CSデジタル放送の受信状態を確認できます。アンテナレベルができる限り最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。	BS/110度CSデジタル放送の映像がテレビに映った状態で、必要に応じて[最大値]の数字がより大きくなるようにBS/110度CSアンテナを動かして固定します。 **ちょっと一言** • 《BS》ボタン、《CS》ボタンを押して、BS/CSのアンテナレベルの表示を切り換えることができます。
BS/CSデジタルアンテナ電源 BS/110度CSアンテナへの電源供給を設定します。	**自動**：本機の電源を入れたときに、本機がBS/110度CSアンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。 **切**：電源を供給しません。
BS/CSデジタルアンテナ出力 BS/110度CSアンテナの音声信号をテレビなどに出力するかを設定します。	**入**：本機の電源の入／切にかかわらず、つないだテレビなどにデジタルアンテナ信号を出力します。 **切**：本機の電源が切れているときは、デジタルアンテナ信号を出力しません。 **ちょっと一言** • BS/110度CSアンテナから本機を通してテレビなどにつないでいる場合は、[切]に設定すると、本機の電源「切」時にテレビなどでBS/110度CSデジタル放送を受信できません。
デジタル放送地域設定 地域特有の放送を受信できるように、郵便番号と県域を設定します。	**1 [郵便番号]を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 ↑↓←→または《1》ボタン～《10》ボタンで7桁の郵便番号を入力し、《決定》ボタンを押す。** **3 [県域]を選び、《決定》ボタンを押す。** **4 お住まいの地域を選び、《決定》ボタンを押す。** **ご注意** • お住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信してしまいます。
文字スーパー表示 地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報を「文字スーパー」と呼びます。文字スーパー放送は最大2言語の放送が行われます。 デジタル放送では、第1音声（日本語）、第2音声（英語）のように、同時に複数の音声信号による放送を行うことがあります。その場合に表示される文字スーパーも、[第1言語]、[第2言語]のような表示が行われ、切り換えることができます。	**切**：文字スーパーを表示しません。 **第1言語**：文字スーパー放送が行われているときに、第1言語の文字スーパーを表示します。 **第2言語**：文字スーパー放送が行われているときに、第2言語の文字スーパーを表示します。 **ご注意** • 放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
地上アナログチャンネル登録 地上アナログ放送のチャンネル設定では右の6項目が設定できます。	[表示CH]（表示チャンネル） 受信している放送のチャンネル番号表示を、お使いのテレビや新聞のテレビ欄などの表示に合わせることができます。 **1 変更したい放送の行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [表示CH]を選ぶ。** **3 番号を選び、《決定》ボタンを押す。** 選んだ番号が放送のチャンネル番号表示になります。[--]に設定すると、そのチャンネルが受信できなくなります。 **ご注意** • 録画予約が設定されているときに、表示チャンネルを変更しないでください。変更すると、録画予約が正しく行われないことがあります。

地上アナログチャンネル登録（つづき）	**[受信CH]（受信チャンネル）** 本機で受信する放送を変更できます。 **1 変更したい放送の行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [受信CH]を選ぶ。** **3 受信したいチャンネル番号を選び、《決定》ボタンを押す。** **[放送局]** 受信している放送の放送局名を設定できます。302ページをご覧になり、正しい放送局名を設定してください。 **1 変更したい放送の行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [放送局]を選ぶ。** **3 放送局名を選び、《決定》ボタンを押す。** 302ページをご覧になり、お住まいの地域にあった放送局名を必ず選んでください。 **[+/−選局]** リモコンの《チャンネル+／−》ボタンで選局できるようにします。 **1 変更したい放送の行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [+/−選局]を選ぶ。** **3 項目を選び、《決定》ボタンを押す。** **する**：《チャンネル+／−》ボタンで選局できるようになります。 **しない**：《チャンネル+／−》ボタンで選局できません。 [初期設定]を選ぶと、[プリセット選局]の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。また、[全選局解除]を選ぶと、[プリセット選局]の設定もすべて解除されます。 **[プリセット選局]** リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録できます。 **1 登録したい放送の行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [プリセット選局]を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、《決定》ボタンを押す。** **[微調整]** 受信している映像を見ながら、受信状態を微調整できます。 **1 微調整したい放送の行を選び、《決定》ボタンを押す。** **2 [微調整]を選ぶ。** **3 項目を選び、《決定》ボタンを押す。** **自動**：映像を自動的に調整します。 **手動**：受信状態の微調整を手動で行います。地上アナログ微調整画面が表示されますので、←→で画面を見ながら映像がきれいに映るように調整し、《決定》ボタンを押します。
地上アナログ自動チャンネル設定	[実行]を選び《決定》ボタンを押すと、[地上アナログ放送地域設定]（217ページ）で設定した地域のチャンネルを自動で設定します。

地上アナログ放送地域設定 地上アナログ放送を受信するために、地域を設定します。	お住まいの地域を設定して、その地域のチャンネルを受信します。 どの地域を選べばよいかわからないときは、302ページをご覧になり、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域を選んでください。お住まいの地域の放送局は新聞のテレビ欄などで確認できます。 **お住まいに近い地域を選び、《決定》ボタンを押す。**
地上アナログ自動ステレオ受信 ステレオ放送を受信したときに、自動的にステレオ音声に切り換えるための設定です。	**入**：ステレオ放送をステレオで出力します。通常はこの設定にします。 **切**：ステレオ放送でもモノラルで出力します。雑音が多いときにこの設定にします。

録画・再生の設定をする（ビデオ設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

自動チャプターマーク ソニー独自の「シーン検出アルゴリズム」により、無音状態のステレオ音声の検出だけでなく、音楽と会話の境など音の切り換わりや、場面変化が大きい映像の切り換わりを自動で検出してチャプターを設定します（おまかせチャプター）。 1つのタイトルに最大で98個のチャプターを設定します。	**入**：録画時に、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。 **切**：録画時に、自動でチャプターを区切りません。 **ご注意** • 録画する映像の情報量によっては、実際に区切られるチャプターの間隔が異なることがあります。 • ［入］の場合、ハードディスクへのHDV/DVダビングでは、テープ上の1回の撮影ごとに、その先頭にチャプターマークが自動的に入ります（118、125ページ）（BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ）。 • ハードディスクからBDやDVD（DVD+R DL（2層）を除く）へダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。ハードディスクからDVD+R DL（2層）へダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークは引き継がず、［入］に設定すると、約6分間隔でチャプターを区切ります。［切］では自動でチャプターを区切りません。DVDへダビングすると、チャプターマークが書き込まれない場合があります。 • 「スカパー！ HD」対応チューナーから録画したタイトルは、おまかせチャプター機能は働きません。［入］では約6分間隔でチャプターを区切ります。［切］では自動でチャプターを区切りません。 • 「録画1」で録画したタイトルと「録画2」で録画したタイトルでは、チャプターで区切られる位置が異なることがあります（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ）。
録画予約「録画1・2」初期値（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ） 録画予約画面を表示したときに、［録画1・2］の項目に「録画1」と「録画2」のどちらを初期値とするかを設定します。	**録画1**：「録画1」を初期値として設定します。 **録画2**：「録画2」を初期値として設定します。 **ご注意** • 最後に録画や視聴を行ったチャンネルが地上アナログ放送、もしくは外部入力の場合、日時指定予約を行うと、本設定にかかわらず「録画1」を表示します。 • ブラビアリンクを使って<ブラビア>のリモコンから予約する場合は、本設定は無効です。
スポーツ延長対応 スポーツ延長対応（67ページ）で延長時間の情報が番組表にないときの録画延長時間を設定します。	**30分**：30分延長します。 **60分**：60分延長します。 **120分**：120分延長します。 **切**：録画時間を延長しません。
番組追跡録画 番組放送の開始時刻や終了時刻が変更になった場合、時刻変更に合わせて録画時間を自動で修正します。	**入**：録画時間を自動的に修正します。 **切**：録画時間を自動的に修正しません。

ダイジェスト設定 ダイジェスト再生の再生時間を映像(タイトル)のジャンルごとに設定できます。 **ちょっと一言** タイトルごとにダイジェスト再生の設定を変更したいときは、「ダイジェスト再生の設定を変更する」(89ページ)をご覧ください。	**1** **再生時間を変更したいジャンルを選び、《決定》ボタンを押す。** **2** **再生時間を選び、《決定》ボタンを押す。** **長め**：ダイジェストをじっくり見たいときに設定します。 **少し長め**：通常よりも少し長めのダイジェストが再生されます。 **おすすめ**：適度な長さのダイジェストが再生されます。 **少し短め**：通常よりも少し短めのダイジェストが再生されます。 **短め**：短時間でダイジェストを再生したいときに設定します。 **ご注意** • ダイジェスト再生を利用するときは、「録画1」で10分以上録画してください(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30のみ)。 • ダイジェスト再生を利用するときは、DRモード以外の録画モードで10分以上録画してください(BDZ-RS10のみ)。
二重音声記録 DRモード以外でハードディスクやBDへ録画するときの音声を設定します。ハードディスク内のDRモードのタイトルを、BDやDVDに録画モード変換ダビングするときの音声も設定します。	**主音声**：主音声で録音します。 **副音声**：副音声で録音します。 **ちょっと一言** • 外部入力から映像を録画するときは、「二重音声の映像を記録するには」(42ページ)をご覧ください。
外部入力録画横縦比 外部入力(ライン入力)(BDZ-EX200は入力1/2/3端子)録画時の映像サイズを設定します。	16：9：画面サイズが16：9の横縦比で録画します。 4：3：画面サイズが4：3の横縦比で録画します。
DV入力録画横縦比 **(BDZ-EX200、BDZ-RX100のみ)** DV入力録画時の映像サイズを設定します。	16：9：画面サイズが16：9の横縦比で録画します。 4：3：画面サイズが4：3の横縦比で録画します。
おでかけ転送機器 **(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)** 録画時にはここで選んだ機器に合わせた転送用動画ファイルを作成します。必ず転送する機器に合わせて設定してください。	**ウォークマン/nav-u**：“ウォークマン”や“nav-u”へ転送できるファイルを作成します。 “mylo”に転送する場合は[ウォークマン/nav-u]を選んでください。 **PSP**：“PSP”へ転送できるファイルを作成します。 **携帯電話**：携帯電話へ転送できるファイルを作成します。 “ウォークマン” ／ “nav-u”転送用ファイル、携帯電話転送用ファイルはAVC Baseline Profile形式、“PSP”転送用ファイルはAVC Main Profile形式で作成されます。
おでかけ転送 高速転送録画 **(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)** おでかけ転送用動画ファイルを、録画時に自動的に作成できます。	**入**：録画時に、おでかけ転送用動画ファイルを自動的に作成します。詳しくは、「おでかけ転送用動画ファイルについて」(173ページ)をご覧ください。 **切**：おでかけ転送用動画ファイルを自動的に作成しません。 **ちょっと一言** • [入]に設定すると、ハードディスクの録画可能時間が短くなります。録画可能時間については、「録画モード一覧」(299ページ)をご覧ください。 • 上記項目で[切]を選択しても、録画予約設定画面(62ページ)の[ワンタッチ転送]を[入]にするとおでかけ転送用動画ファイルが作成されます(BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)。

おでかけ転送 録画モード （BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ） おでかけ転送用動画ファイルの画質を設定します。	**自動**：録画時の録画モードにあった画質を自動で調整します。 LSR以上のモードで録画したときは［QVGA768k］、LR以下のモードで録画したときや［おでかけ転送機器］（218ページ）を［携帯電話］に設定したときは［QVGA384k］に設定されます。 **QVGA768k**：高画質でおでかけ転送用動画ファイルを作成します。 **QVGA384k**：データサイズを抑えた画質でおでかけ転送用動画ファイルを作成します。
おでかけ転送 再生位置同期 （BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ） おでかけ／おかえり転送をしたときに、本機と転送先機器の再生位置を同期するかどうかを設定します。	**入**：お使いの転送先機器によっては、再生したタイトルをおでかけ／おかえり転送すると、前回再生を停止した位置から再生を開始します。転送時に、本機と転送先機器に同じタイトルが存在するときは、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。 **切**：再生位置は同期されません。つづき再生の再生位置は本機と転送先機器で、それぞれ別の位置になります。
ワンタッチ転送 更新転送 （BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ） ワンタッチ転送の転送方法を設定します。	**切**：更新転送を行いません。ワンタッチ転送をすると、対象タイトルを録画日の古いものから順番に転送します。 **最新3日間分**：ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）を最新3日間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは消去またはおかえり転送されます。 **最新1週間分**：ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）を最新1週間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは消去またはおかえり転送されます。 **最新2週間分**：ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）を最新2週間分のみとし、これに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは消去またはおかえり転送されます。
字幕焼きこみ デジタル放送の字幕放送をDR以外の録画モードで録画やダビングするときに、字幕を映像の中に焼きこむかどうかを設定します。字幕を焼きこんだ映像から字幕を削除できません。	**入**：字幕を焼きこみます。おでかけ転送用動画ファイルにも焼きこまれます（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）。 **切**：字幕を焼きこみません。 **ご注意** • アクトビラからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送する場合は、おでかけ転送画面のオプションメニューの［信号選択］（183ページ）で選んだ設定が優先されます（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）。

設定を変更する

映像の設定をする（映像設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	設定
テレビタイプ お使いのテレビの横縦比を選びます。	<u>16：9</u>：画面サイズが16：9のテレビとつなぐときに選びます。 4：3：画面サイズが4：3のテレビとつなぐときに選びます。
画面モード 画面の横縦比を維持して映像を表示するか、画面いっぱいに映像を表示するか設定します。	<u>**オリジナル**</u>：ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐときに選びます。ワイドテレビでも4：3映像を常に16：9で表示します。 **横縦比固定**：映像の横縦比は維持したまま、映像サイズを変更します。
DVDワイド映像表示 16：9サイズの映像を記録したDVDを4：3画面のテレビで再生するときの画面サイズを設定します。 [映像設定]の[テレビタイプ]（220ページ）が[4：3]で、同時に[画面モード]（220ページ）が[横縦比固定]のときに有効な設定です。 横縦比が16：9のワイド映像を見るときに調整してください。	<u>**レターボックス**</u>：ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。 **パンスキャン**：ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。 **ご注意** • DVDによっては[レターボックス]または[パンスキャン]に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。
映像入力 **（BDZ-EX200は[映像入力1]）** 外部入力（ライン入力）（BDZ-EX200は、入力1端子）からの映像信号の種類を選びます。	<u>**映像**</u>：映像端子でつないだときに選びます。 **S映像**：S映像端子でつないだときに選びます。
映像入力3 **（BDZ-EX200のみ）** 入力3端子からの映像信号の種類を選びます。	<u>**映像**</u>：映像端子でつないだときに選びます。 **S映像**：S映像端子でつないだときに選びます。
シネマ変換モード HDMI出力端子、D映像出力端子、またはコンポーネント映像出力端子（BDZ-EX200のみ）で接続していて、525p（480p）や750p（720p）、1125i（1080i）、1125p（1080p）（BDZ-EX200のみ）の信号を出力しているときに、映像の変換方法を設定します。映像にはビデオ素材（テレビドラマやアニメーション）とフィルム素材（映画フィルム）があり、ご覧になる映像に合わせて設定します。	<u>**自動**</u>：通常はこの設定にします。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。 **ビデオ**：記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

出力映像解像度設定 HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使う場合に、設定します。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	HDMI解像度優先：HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使うときに、HDMI解像度設定に従って映像信号を出力します。 **D1/2/3/4設定優先**：HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使うときに、D1/2/3/4設定に従って、映像信号を出力します。この設定を選んだ場合、[HDMI解像度]は[自動]（お買い上げ時の設定）に設定されます（221ページ）。
HDMI解像度 HDMI出力端子からの映像信号の種類を選びます。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	自動：通常はこの設定にします。また、[出力映像解像度設定]（221ページ）で[D1/2/3/4設定優先]を選んだ場合はこの設定になります。 テレビ側で受けられる最大の解像度で映像信号を1125p（1080p）（BDZ-EX200のみ）→1125i（1080i）→750p（720p）→525p（480p）→525i（480i）の優先順位で出力します。 映像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお持ちのテレビ／プロジェクターなどに合わせて他の設定を試してください。詳しくは、テレビ／プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。 HDMIケーブルで接続されたテレビの電源が入っているときに設定できる解像度だけが表示されます。 **1125p（1080p）**（BDZ-EX200のみ）：1125p（1080p）の映像信号を出力します。 **1125i（1080i）**：1125i（1080i）の映像信号を出力します。 **750p（720p）**：750p（720p）の映像信号を出力します。 **525p（480p）**：525p（480p）の映像信号を出力します。 **525i（480i）**：525i（480i）の映像信号を出力します。
BD-ROM 1125(1080)/24p出力 お使いのテレビが1125（1080）/24pの映像信号に対応している場合に、設定します。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	自動：1125（1080）/24pの映像信号を自動で出力します。 **切**：1125（1080）/24pの映像信号を出力しません。
HDMI映像出力フォーマット HDMI出力端子からの映像信号の色空間変換を設定します。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	自動：通常はこの設定にします。 **Y Cb Cr(4：2：2)**：Y Cb Cr を 4：2：2 の比率で色変換を行います。 **Y Cb Cr(4：4：4)**：Y Cb Cr を 4：4：4 の比率で色変換を行います。 **RGB(16-235)**：出力信号を RGB 16 ～ 235 の範囲で色変換を行います。 **RGB(0-255)**：出力信号を RGB 0 ～ 255 の範囲で色変換を行います。
HDMI Deep Color出力 HDMI出力端子からの映像信号Deep Color（色深度）を設定します。Deep Colorに対応したテレビやプロジェクターが必要です。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	自動：通常はこの設定にします。 **12bit**：お使いのテレビで12bit階調の表現ができる場合に設定します。 **10bit**：お使いのテレビで10bit階調の表現ができる場合に設定します。 **切**：映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。
SBM SBM (Super Bit Mapping)技術で人間の目では見ることのできない領域を利用して、高階調な画像データを、低い階調出力でも視覚的に表現可能にする機能です。	入：通常はこの設定にします。 **切**：映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。

x.v.Color情報出力 xvYCC情報をつないだテレビやプロジェクターに送るかを設定します。 xvYCCに準拠した映像とx.v.Color表示に対応したテレビやプロジェクターと組み合わせることで、自然界に存在する物体色をより忠実に再現できます。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	x.v.Color対応テレビをお使いの場合に対応状況に合わせて設定してください。 自動：通常はこの設定にします。 切：映像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。
一時停止モード 一時停止にしたときの映像のモードを設定します。BD-ROMやAVCHD方式で記録されたディスクを再生する場合は、常に［自動］になります。	自動：通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。 フレーム：動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声の設定をする（音声設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

HDMI音声出力 HDMIの音声信号の出力を設定します。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	自動：通常はこの設定にします。テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。 PCM：音声信号を常に2チャンネルのリニアPCM信号にダウンミックスし、HDMI出力端子から出力します。 ご注意 • ドルビーデジタルやDTS、AACに対応しないテレビやAVアンプに本機をつないで［自動］を選ぶと、音が出ないことがあります。その場合は［PCM］を選んでください。
BD-ROM HD音声出力 HDMIからのドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDの音声信号の出力を設定します。BDZ-EX200は、HDMI出力端子1、2の両方に影響します。	自動：ドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDの出力をする設定です。 切：「BD-ROM HD音声出力」を行いません。 ご注意 • 「BD-ROM HD音声出力」に対応しているBD-ROMの再生時のみ、出力します。 • HDオーディオ*対応機器に接続している時のみ、出力します。 • HDオーディオ出力時は、デジタル音声出力、アナログ音声出力からは出力されません。 • ［HDMI解像度］（221ページ）が1125p（1080p）（BDZ-EX200のみ）/1125i（1080i）/ 750p（720p）のときのみ、効果があります。ただし、ドルビーデジタルプラスとDTS-HD High Resolutionは、解像度の制限を受けません。 • ［HDMI音声出力］（222ページ）を［自動］に設定しているときのみ、効果があります。 * HDオーディオとはドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDを指します。
音声出力ATT 音声出力レベルを低くして、音のひずみを防ぎます。	入：音がひずまないように音声の出力レベルを低くします。 切：通常はこの設定にします。 ご注意 • デジタル音声出力、HDMI音声出力には効果がありません。
ドルビーデジタル ドルビーデジタル信号の出力方式を設定します。デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	ダウンミックスPCM：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。5.1chのサラウンド情報も付加されます。 ドルビーデジタル：ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。

AAC AAC信号の出力方式を設定します。 デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	ダウンミックスPCM：AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。5.1chのサラウンド情報も付加されます。 AAC：AACデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。
DTS DTS信号の出力方式を設定します。 デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	ダウンミックスPCM：DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。5.1chのサラウンド情報も付加されます。 DTS：DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。
48kHz/96kHz PCM デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	48kHz/16bit：96kHzPCMの音声を48kHz16bitで出力します。 96kHz/24bit：96kHzPCMの音声を96kHz24bitで出力します。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは、48kHz16bitで出力されます。 **ご注意** • 96kHzに対応していないアンプなどをつないでいるときに[96kHz/24bit]を選ぶと、音が出なかったり、突然大音量が出たりすることがあります。 • 音声信号が音声出力（左／右）端子から出力されるときは、この設定は影響しません。サンプリング周波数は96kHzなら96kHzのままアナログ信号に変換されて出力されます。
オーディオDRC（BD/DVDのみ） [オーディオDRC]（Dynamic Range Control）では、オーディオDRC対応のBDやDVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。	スタンダード：通常はこの設定にします。 テレビ：小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。 ワイドレンジ：迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。 **ご注意** • オーディオDRC機能のないBDやDVDを再生しているときは効果がありません。 • [音声設定]の[ドルビーデジタル]が[ドルビーデジタル]に設定されている場合（222ページ）、デジタル音声出力 同軸（BDZ-EX200のみ）／光端子から出力される音声には[オーディオDRC]の効果はありません。ただし、BDの場合[BD音声デジタル出力]（223ページ）を[ミックス]に設定してある場合は除きます。
ダウンミックス [ダウンミックス]では、左右リア信号やモノラルリア信号などのリアスピーカーの音声信号成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルで記録されているタイトルを再生するとき、ダウンミックスの方式を切り換えます。	ドルビーサラウンド：ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応しているオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。 ノーマル：ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかっていない音声信号を出力します。 **ご注意** • [音声設定]の[ドルビーデジタル]が[ドルビーデジタル]に設定されている場合（222ページ）、デジタル音声出力 同軸（BDZ-EX200のみ）／光端子から出力される音声には[ダウンミックス]の効果はありません。
BD音声デジタル出力 ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたセカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオを含むBDを再生するとき、セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオをミキシングしてドルビーデジタル出力またはDTS出力するか、記録されている音声ストリームをそのまま出力するかを選択します。	ダイレクト：セカンダリーオーディオ（映画の解説など）・インタラクティブオーディオ（効果音など）が含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずに記録されている音声ストリームをそのまま出力します。 ミックス：セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。デジタル音声出力には、ドルビーデジタル出力またはDTS出力します。 **ご注意** • アナログ音声出力、PCMデジタル音声出力には効果がありません（常にセカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオをミキシングします）。 • [ミックス]に設定時、オーディオ機器とHDMI接続している場合は、PCM出力となります。オーディオ機器の設定によっては、2チャンネル出力になります。

フォトの設定をする（フォト設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	設定
表示モード 横長の写真を表示するときの設定を行います。横縦比は保持します。	**<u>ノーマル</u>**：写真の縦方向と画面をあわせます。両側に黒い帯がでます。 **ズーム**：写真の横方向と画面をあわせます。上下を省略して画面いっぱいに表示します。
スライドショーの速さ スライドショーの速さを設定します。	**速い**：[標準]より速い再生速度です。 **<u>標準</u>**：基本の再生速度です。 **遅い**：[標準]より遅い再生速度です。
スライドショー効果設定 スライドショーの効果を設定します。	**入**：効果を付けて次の写真に切り換わります。 **<u>切</u>**：効果を付けずに、スライドショーを再生します。
x-Pict Story HD 日時情報表示	**<u>入</u>**：フォト作品の効果として日時情報を表示します。 **切**：フォト作品の効果として日時情報を表示しません。
サンプル表示	**<u>入</u>**：ホームメニューの[フォト]の列にサンプルアルバムを表示します。 **切**：ホームメニューの[フォト]の列にサンプルアルバムを表示しません。

本体の設定をする（本体設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	設定
現在時刻／時刻設定	地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。 時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定を行います。
本体表示の明るさ 電源「入」時の本体表示窓の明るさを設定します。[暗]または[消灯]に設定すると、消費電力を軽減できます。 この設定にかかわらず、電源が「切」のとき、表示窓は消灯します。	**<u>明</u>**：表示窓とランプ*は明るく点灯します。 **暗**：表示窓とランプ*は暗く点灯します。 **消灯**：電源「入」時に表示窓が暗く点灯します。ただし、映像や写真の再生時には表示窓は消灯します。ランプ*は暗く点灯します。 * ランプとは、HDD録画1/HDD録画2ランプ（BDZ-RS10は、HDD録画ランプ）、ディスク録画ランプ、録画予約ランプ、アクトビラダウンロードランプ、およびHDMI出力1/HDMI出力2/HDMI AVピュアランプ（BDZ-EX200のみ）、また、《番組おでかけ》ボタン（BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）、および《カメラ取込み》ボタン（BDZ-EX200を除く）を指し、本機の状態によって点灯または消灯します（19ページ）。 **ちょっと一言** • [明]または[暗]に設定すると、本機の電源「切」時に↑↓←→や《決定》ボタンを押すと、現在日時が5秒間表示されます。
自動画面表示 番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示できます。	**<u>入</u>**：画面表示を自動で表示します。 **切**：画面表示を自動で表示しません。

スタンバイモード 電源「切」(待機状態)からの起動時間を短縮する[高速起動]モードの設定をします。 下記の場合は、[高速起動]に設定してください。 － USB端子経由で、"ウォークマン"や"PSP"などに充電するとき － 電源「切」の状態でワンタッチ転送を行うとき(BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ) － HDMI機器制御機能を利用するとき	**高速起動**:電源「切」(待機状態)からの起動後、素早くチャンネル切換えや入力切換えなどの操作が行えます。さらに、電源「切」のときでもUSB端子からUSB機器の充電ができます。 リモート録画予約やHDMI機器制御機能を利用するように設定すると、自動的に[高速起動]に設定されます。 **標準**:お買い上げ時に設定されているモードです。 **ご注意** • [高速起動]に設定した場合、内部の制御部が電源「切」(待機状態)のときでも通電状態になるため、[標準]に比べて待機時の消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。 • 電源「切」の状態で、ワンタッチ転送を行うときは、[高速起動]に設定してください(BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)。 • [標準]に設定すると、リモート録画予約や、「スカパー! HD」対応チューナーからのネットワーク経由の録画が正しく動作しません。 • [標準]に設定すると、[HDMI機器制御]は[切]に設定されます。
自動電源オフ 本機を一定時間、操作しない場合に、自動的に待機状態にするかどうかを設定します。	**入**:操作しない状態が3時間つづくと、自動で待機状態になります。 **切**:自動で待機状態になりません。
HDMI機器制御 ブラビアリンク(198ページ)を利用するためのHDMI機器制御機能(321ページ)を設定します。	**入**:ブラビアリンクを使うときに選びます。 **切**:ブラビアリンクを使わないときに選びます。 **ご注意** • [入]に設定すると、[スタンバイモード](225ページ)が[高速起動]に、[HDMI機器制御 テレビ電源連動](225ページ)が[入]に設定されます。 • ブラビアリンク対応のマルチリモコンを使用するときは、[入]を選んでください。 • [HDMI機器制御]を[入]にすると、待機時の消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。
HDMI機器制御 高速連動 本機の電源を、本機とHDMI機器制御機能を使ってつないだテレビの電源に連動させるかどうかを設定します。	**入**:テレビの電源に連動します。テレビの電源を「入」にすると、本機は起動待機状態になります(電源「入」の状態ではありません)。テレビの電源を「切」にすると、本機の電源は「切」になります。 **切**:テレビの電源に連動しません。 **ご注意** • [入]に設定し、テレビの電源を「入」にすると、本機の電源を切っていても起動待機状態になり、電源が入っている状態と同等の消費電力になります。 • 本機が番組表データを取得中のときは、テレビの電源と本機の電源に連動しないことがあります。
HDMI機器制御 テレビ電源連動 本機とHDMI機器制御機能を使ってつないだテレビの電源を、本機の電源に連動させるかどうかを設定します。	**入**:本機の電源を入れると、テレビの電源も「入」になり、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。 **切**:本機の電源を入れると、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。 **ちょっと一言** • [HDMI機器制御](225ページ)を[入]にすると[HDMI機器制御 テレビ電源連動]も自動的に[入]になります。 **ご注意** • [HDMI機器制御](225ページ)が[切]の場合は、[HDMI機器制御 テレビ電源連動]を[入]にできません。
HDMI AV独立ピュア出力(BDZ-EX200のみ) HDMI AV独立ピュア出力機能(247ページ)を使用するかどうかを設定します。	**使用する**:HDMI AV独立ピュア出力機能を使用します。 **使用しない**:HDMI AV独立ピュア出力機能を使用しません。 **ご注意** • HDMI AV独立ピュア出力機能を利用するには、HDMI機器をHDMI出力1/2端子に正しくつなぎ、本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、出力を「HDMI AVピュア」に切り換えてください。詳しくは、247ページをご覧ください。

リモコンモード 「複数のソニー製BD機器を操作する」(210ページ)をご覧ください。	BD1 BD2 <u>BD3</u>
ソフトウェアアップデート 地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを自動的に受信し、本機のソフトウェアを更新します。	**<u>自動</u>**：アップデートデータを自動で更新します。通常はこの設定にしてください。 **切**：アップデートデータを自動で更新しません。
カード情報	カードID番号などを表示します。カードを本体から取り出さなくても、カードID番号を確かめることができます。
本体情報	本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

BDやDVDの設定をする（BD/DVD視聴設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

ご注意

- ディスクやタイトルによっては、再生の設定があらかじめ決められていることがあります。その場合、設定した機能は働きません。

BD/DVDメニュー言語 BD/DVDメニューに表示する言語を設定します。	[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(301ページ)を参照して、言語コードを入力します。
音声言語 BDやDVD再生時の音声の言語を設定します。	[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(301ページ)を参照して、言語コードを入力します。 **ちょっと一言** • [オリジナル]を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
字幕言語 BDやDVDに記録されている字幕の言語を設定します。	[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(301ページ)を参照して、言語コードを入力します。
BDインターネット接続 BD-LIVEを利用するときは、本機をネットワークにつなぎ、[BDインターネット接続]を[許可する]に設定してください。	**許可する**：BDからのインターネット接続を許可します。 **<u>許可しない</u>**：BDからのインターネット接続を許可しません。

年齢制限の設定をする（年齢制限設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	操作
暗証番号設定 暗証番号を設定すると、次の場合に視聴や再生などを制限できます。 － 視聴制限があるBS/110度CSデジタル放送の番組を見たり、録画したりするとき － 視聴制限があるBDやDVDを再生するとき － アクトビラからダウンロードしたり「スカパー！ HD」対応チューナーから録画した、視聴制限がある映像（タイトル）の再生、ダビング、おでかけ転送*などをするとき － アクトビラのページを表示するとき 暗証番号はすべて同じ番号ですが、それぞれ違う制限レベルを設定できます。 * BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ。	**1 暗証番号を入力する。** **2 ［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。** **暗証番号を変更するには** ［暗証番号設定］を選んだときに表示される画面で現在の暗証番号を入力し、その後で新しい暗証番号を入力します。 **登録した暗証番号を忘れてしまったときは** ［設定］から［設定初期化］を選び、［お買い上げ時の状態に設定］の［年齢制限設定］を選びます（233ページ）。［実行］を選ぶと以前の暗証番号が削除されます。
BS/CSデジタル視聴年齢制限 視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、［暗証番号設定］（227ページ）で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。	**1 暗証番号（227ページ）を入力して［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。** 暗証番号を忘れたときは、［設定初期化］（233ページ）の［お買い上げ時の状態に設定］－［年齢制限設定］で［実行］を選び、暗証番号を削除して、［暗証番号設定］（227ページ）で新しい暗証番号を設定してください。 **2 制限年齢を選び、《決定》ボタンを押す。** 年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。［制限しない］を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。 **ご注意** • 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。
BD視聴年齢制限 BD-ROMには、見る人の年齢によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えて再生します。	**1 暗証番号（227ページ）を入力して［確定］を選び、《決定》ボタンを押す。** 暗証番号を忘れたときは、［設定初期化］（233ページ）の［お買い上げ時の状態に設定］－［年齢制限設定］で［実行］を選び、暗証番号を削除して、［暗証番号設定］（227ページ）で新しい暗証番号を設定してください。 **2 制限する年齢を選び、《決定》ボタンを押す。** 年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。［制限しない］を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。［年齢指定］を選ぶと、0歳から255歳までの年齢を↑↓←→と数字ボタンで入力できます。 **ご注意** • 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 • 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。 • ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、年齢を変更してください。

DVD視聴年齢制限 DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えて再生します。	**1 暗証番号(227ページ)を入力して[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。** 暗証番号を忘れたときは、[設定初期化](233ページ)の[お買い上げ時の状態に設定]－[年齢制限設定]で[実行]を選び、暗証番号を削除して、[暗証番号設定](227ページ)で新しい暗証番号を設定してください。 **2 制限するレベルを選び、《決定》ボタンを押す。** レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。 **ご注意** • 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 • 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。 • ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。
HDDタイトル視聴年齢制限 アクトビラからダウンロードしたり「スカパー！HD」対応チューナーから録画した映像(タイトル)を、見る人の年齢によって、再生などができないように制限できます。タイトルの制限レベルによって、タイトルの一覧(タイトルリスト)などに表示されなくなったり、暗証番号を入力しないと再生などができなくなったりします。	**1 暗証番号(227ページ)を入力して[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。** 暗証番号を忘れたときは、[設定初期化](233ページ)の[お買い上げ時の状態に設定]－[年齢制限設定]で[実行]を選び、暗証番号を削除して、[暗証番号設定](227ページ)で新しい暗証番号を設定してください。 **2 制限する年齢を選び、《決定》ボタンを押す。** タイトルの制限レベルによって、制限方法が異なります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。 • 20歳未満制限付きタイトルの場合 本機で視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。 • 19歳未満制限付きタイトルの場合 本機で[19歳以上]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。 • 18歳未満制限付きタイトルの場合 本機で[19歳以上]や[18歳以上]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。 • 上記以外の制限付きタイトルの場合 タイトルリストなどには表示されますが、本機の設定年齢以上の制限付きタイトルは、暗証番号を入力しないと再生、ダビング、おでかけ転送*などができません。 • 制限のないタイトルの場合 本機で視聴年齢制限を設定しても、制限できません。 **ちょっと一言** • 視聴年齢制限を一時的に解除するには、タイトルリストに表示されている適当なタイトルを選び、《オプション》ボタンを押して[視聴制限一時解除]を選んで、暗証番号を入力します。 **ご注意** • 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 • ダビングやおでかけ転送*などをするときは、あらかじめタイトルリストで視聴年齢制限を一時的に解除してください。 * BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ。
アクトビラ利用制限 暗証番号を入力しないと、アクトビラのページを表示できないように制限できます。	**入**：暗証番号(227ページ)を入力しないと、アクトビラのページが表示できなくなります。暗証番号が登録されていないときは、[入]を選んだ後に暗証番号設定の画面が表示されます。 **切**：暗証番号による制限を行いません。

通信の設定をする（通信設定）

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

項目	説明
データ放送通信設定 **セキュリティサイト自動接続**	**入**：セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **切**：セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。
データ放送通信設定 **証明書のダウンロード確認**	**入**：放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **切**：ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。
データ放送通信設定 **証明書の自動ダウンロード**	[証明書の自動ダウンロード]項目は、[証明書のダウンロード確認]（229ページ）が[切]の場合に選択できます。 **入**：放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **切**：放送局から新しい証明書が発行されても、自動的にはダウンロードしません。
電話回線設定 **回線** 電話回線の種類を設定します。	**自動**：回線の種類を自動的に選びます。ADSL回線を使っているときはこの設定にします。 **トーン**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときや、ISDN回線を使っているときに選びます。 **20pps**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときに選びます。 **10pps**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときで、[20pps]で正常に接続できない場合に選びます。
電話回線設定 **発信** 発信方法を設定します。	**通常**：外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときに選びます。 **0発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付けるときに選びます。 **9発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「9」を付けるときに選びます。
電話回線設定 **発信詳細設定** [電話番号通知]、[電話会社の指定]、または[マイラインプラス契約]を選んで、設定します。	**[電話番号通知]** **通知しない**：電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせません。 **通知する**：電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせます。 **指定しない**：電話番号の先頭に何も付けません。 **[電話会社の指定]** 必要に応じて、電話会社の事業者識別番号を設定します。 **[マイラインプラス契約]** **している**：マイラインプラスの契約をしているときに選びます。 **していない**：マイラインプラスの契約をしていないときに選びます。
電話回線設定 **電話回線接続診断**	電話回線と物理的に接続されているかをテストします。テストがうまくいっても正常につながらないときは、[回線]（229ページ）の設定が正しいか確認してください。

ネットワーク設定	
LANケーブルを接続し、FTTH(光)等のブロードバンド接続環境でアクトビラを楽しんだり、インターネット経由で放送局から提供される双方向サービスを楽しんだり、リモート録画予約を利用したり、ホームサーバー機能(BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ)を利用したいときなどに設定します。設定する項目は、状況によって異なります。インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。	**1** **[IPアドレス設定]を選び、《決定》ボタンを押す。** **2** **項目を選び、《決定》ボタンを押す。** 自動取得:ルーターやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。通常ルーターが自動で割り当てますので、設定する必要はありません。 **手動**:ルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。 次の項目にプロバイダー指定の値を手動で入力してください。 • IPアドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • DNS設定*[1] • プライマリDNS/セカンダリDNS*[2] *[1] 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。 *[2] [DNS設定]を[切]にすると、プライマリDNSとセカンダリDNSのアドレスを手動で設定できます。この場合、必ずプライマリDNSは入力してください。入力しない場合ネットワークが正しく設定されません。 **3** **プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは、[プロキシサーバー設定]を選び、《決定》ボタンを押す。** プロキシサーバー設定画面が表示されます。プロキシサーバーの設定が必要ない場合は、手順7に進んでください。 **4** **[プロキシサーバー使用]を[入]に設定する。** **5** **[アドレス]と[ポート]を選び、設定を入力する。** [アドレス]を選ぶと、文字入力画面が表示されます。「文字入力のしかた」(286ページ)をご覧ください。 **6** **《戻る》ボタンを押す。** **7** **[ネットワーク接続診断]を選び、《決定》ボタンを押す。** **8** **[はい]を選び、《決定》ボタンを押す。** **9** **「ネットワークは正しく接続されています」というメッセージが画面に表示されていることを確認する。** 「ネットワークは正しく接続されています」と表示されない場合は、画面のメッセージにしたがってください。 **10** **[閉じる]を選び、《決定》ボタンを押す。** **ちょっと一言** • LAN ケーブルを別のネットワークに切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、切り換えたときは[ネットワーク接続診断]を行ってください。

リモート録画予約設定 リモート録画予約を利用するには、本機をネットワークに接続する必要があります（262ページ）。	[リモート機器登録] リモート録画予約で利用する携帯電話やパソコンを本機に登録します。 **[リモート機器登録]を選び、《決定》ボタンを押す。** 登録パスワード入力画面が表示されます。登録パスワードの入力方法には、携帯電話の赤外線を利用した入力と本機の画面を見ながら、リモコンのボタン操作により入力する方法とがあります。 登録パスワードは携帯電話やパソコンからアクセスしたサービス事業者の画面に表示されます。詳しくは、リモート録画予約サービス事業者にご確認ください（73ページ）。 **携帯電話の赤外線を利用して入力する場合** **1 携帯電話で登録パスワード送信画面を表示する。** **2 携帯電話の赤外線発光部を本機のリモコン受光部に向け、登録パスワードを本機に発信する。** **本機の画面を見ながら、リモコンのボタン操作により入力する場合（携帯電話の赤外線を利用しないで入力する場合や、パソコンをリモート機器として登録する場合など）** **1 入力欄を選ぶ。** **2 ↑↓や数字ボタンで数値を入力する。** **3 すべての数値を入力したら、[確定]を選び、《決定》ボタンを押す。** **4 [閉じる]を選び、《決定》ボタンを押す。** ご注意 • 本製品内のメモリーにはリモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話やパソコンの「ニックネーム」や「機器名」が記録されます。 [登録リモート機器一覧] 本機に登録されている携帯電話やパソコンを一覧で確認できます。登録した携帯電話やパソコンの削除なども行えます。 **1 [登録リモート機器一覧]を選び、《決定》ボタンを押す。** [すべて削除]を選ぶと、[登録リモート機器一覧]に表示されている登録機器をすべて削除できます。 **2 詳細を確認したいリモート機器を選び、《決定》ボタンを押す。** 選んだ携帯電話やパソコンの詳細が表示されます。 ここで[機器削除]を選び《決定》ボタンを押すと、選んだ携帯電話やパソコンが登録機器一覧から削除されます。

ホームサーバー設定
（BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ）

本機をホームサーバーとして登録すると、ホームサーバー機能対応機器から本機の映像を再生したり、「スカパー！ HD」対応チューナーの番組表から本機に録画予約できるようになります。登録には、右記の設定が必要です。
ホームサーバー機能対応機器の使用方法は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。
ホームサーバー機能を利用するには、本機をネットワークに接続してください（262ページ）。

［サーバー機能］
本機のホームサーバー機能を入／切します。

1 ［サーバー機能］を選び、《決定》ボタンを押す。

2 項目を選び、《決定》ボタンを押す。
入：本機のホームサーバー機能を有効にします。
［入］に設定すると［スタンバイモード］（225ページ）の設定を［高速起動］に切り換えるか選べます。
切：本機のホームサーバー機能を無効にします。

［サーバー名］
本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。

1 ［サーバー名］を選び、《決定》ボタンを押す。

2 画面上のキーボードで本機のサーバー名を入力する。

［クライアント機器登録方法］
本機のホームサーバー機能を利用して、ネットワーク経由で映像を再生したり本機に録画や予約できる機器のことをクライアント機器と呼びます。本機にクライアント機器が登録されていないと、ホームサーバー機能を利用できません。
ここではクライアント機器の登録方法を設定できます。

1 ［クライアント機器登録方法］を選び、《決定》ボタンを押す。

2 項目を選び、《決定》ボタンを押す。
自動：本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。
［未登録機器一覧］に表示されているホームサーバー機能対応機器があるときは、［自動］を選ぶと、［未登録機器一覧］で表示されている未登録機器を削除できます。
手動：本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。

［登録機器一覧］
本機に登録されているクライアント機器を一覧で表示します。

1 ［登録機器一覧］を選び、《決定》ボタンを押す。
［すべて削除］を選ぶと、表示されている登録機器を一覧から削除できます。
確認したい機器が登録機器一覧に表示されないときは、［未登録機器一覧］をご覧ください。

2 詳細を確認したい機器を選び、《決定》ボタンを押す。
選んだ機器の詳細が表示されます。
ここで［機器削除］を選び《決定》ボタンを押すと、選んだ機器が登録機器一覧から削除されます。

［未登録機器一覧］
本機に登録されていないホームネットワーク上のホームサーバー機能対応機器を一覧で表示し、本機のクライアント機器として登録できます。

1 ［未登録機器一覧］を選び、《決定》ボタンを押す。
［すべて削除］を選ぶと、表示されている未登録機器を一覧から削除できます。

2 詳細を確認したい機器を選び、《決定》ボタンを押す。
選んだ機器の詳細が表示されます。
ここで［機器登録］を選び《決定》ボタンを押すと、選んだ機器が本機のクライアント機器として登録され、ホームサーバー機能が利用できるようになります。

基本的な設定を行う（かんたん設定）

かんたん初期設定 本機を使うための基本的な設定をします。本機を使う前に必ずかんたん初期設定を行ってください。	かんたん初期設定について詳しくは、「らくらくガイド」の「かんたん設定をする」をご覧ください。
かんたん機能設定 本機をさらに便利に使うための設定をします。	お気に入り番組表、スカパー！ｅ２おすすめ自動録画、おでかけ転送する機器*、おでかけ転送 高速転送録画*、スタンバイモード、HDMI機器制御の設定を行います。詳しくは、「らくらくガイド」の「かんたん設定をする」をご覧ください。 * BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50のみ。

お買い上げ時の設定に戻す（設定初期化）

お買い上げ時の状態に設定 各設定ごとに、お買い上げ時の設定に戻すことができます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。	**1** **お買い上げ時の設定に戻したい設定を選び、《決定》ボタンを押す。** **2** **確認画面で［はい］を選び、《決定》ボタンを押す。** **ご注意** • ［本体設定］、または［すべての設定の内容］をお買い上げ時の状態に設定すると、［HDMI機器制御］（225ページ）の設定が［切］に戻り、ブラビアリンクやテレビに付属のマルチリモコンが利用できなくなります。
個人情報の初期化 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。	本機を廃棄したり譲渡したりするときは、次の個人情報などのデータを本機から消去することを強くおすすめします。 • データ放送で登録した個人情報やポイントなど • 視聴年齢制限レベルと暗証番号 • 語句登録した単語 • キーワード履歴 • 検索履歴 • メール • すべてのルートCA証明書 • アクトビラのサービスに機器を登録した際に発行される機器登録（識別）情報など 暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が表示されます。 **ご注意** • 個人情報などの登録・設定データは項目ごとに消去できません。一度消去すると、すべての登録・設定データが消去されます。 • リモート録画予約サービス事業者のサーバーに登録しているお客様は、本機を廃棄したり譲渡したりするときは、リモート録画予約設定の設定内容を消去しておくことをおすすめします。詳しくは、「リモート録画予約設定」（231ページ）をご覧ください。 • ［通信設定］（229ページ）で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、［放送受信設定］（213ページ）で入力した県域、郵便番号などの情報は、消去されません。［お買い上げ時の状態に設定］（233ページ）でそれぞれの設定を選んで消去してください。 • アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。アクトビラの退会処理をする場合は、本機の個人情報の初期化より前に行ってください。先に本機の個人情報を初期化すると、アクトビラの退会処理ができなくなります。

HDD初期化	ハードディスクを初期化します。初期化すると以下が削除され、元に戻すことができません。 ● 録画した番組(タイトル) ● 写真 ● x-Pict Story HDで作成したフォト作品と映像 ● x-ScrapBook作品 ● BONUSVIEWやBD-LIVEで使用するBDデータ(ローカルストレージ)(84ページ) ● アクトビラからダウンロードしたタイトル

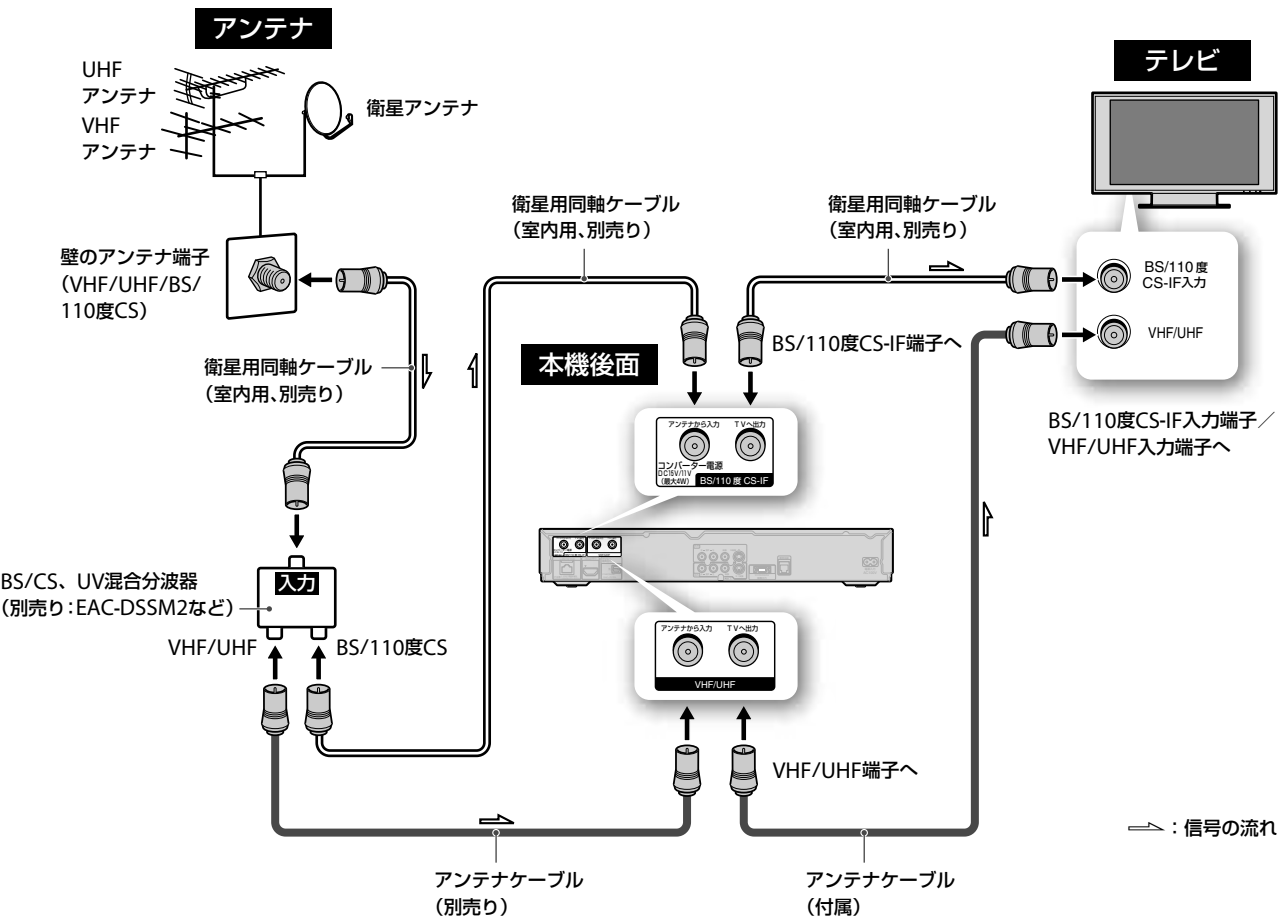
接続する

アンテナをつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

本機でテレビ番組の視聴や録画をするにはテレビアンテナの接続が必要です。アンテナの種類や形状に応じてつないでください。BSデジタル放送を視聴や録画するには、BSデジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。

地上放送と衛星放送の信号が混合の場合

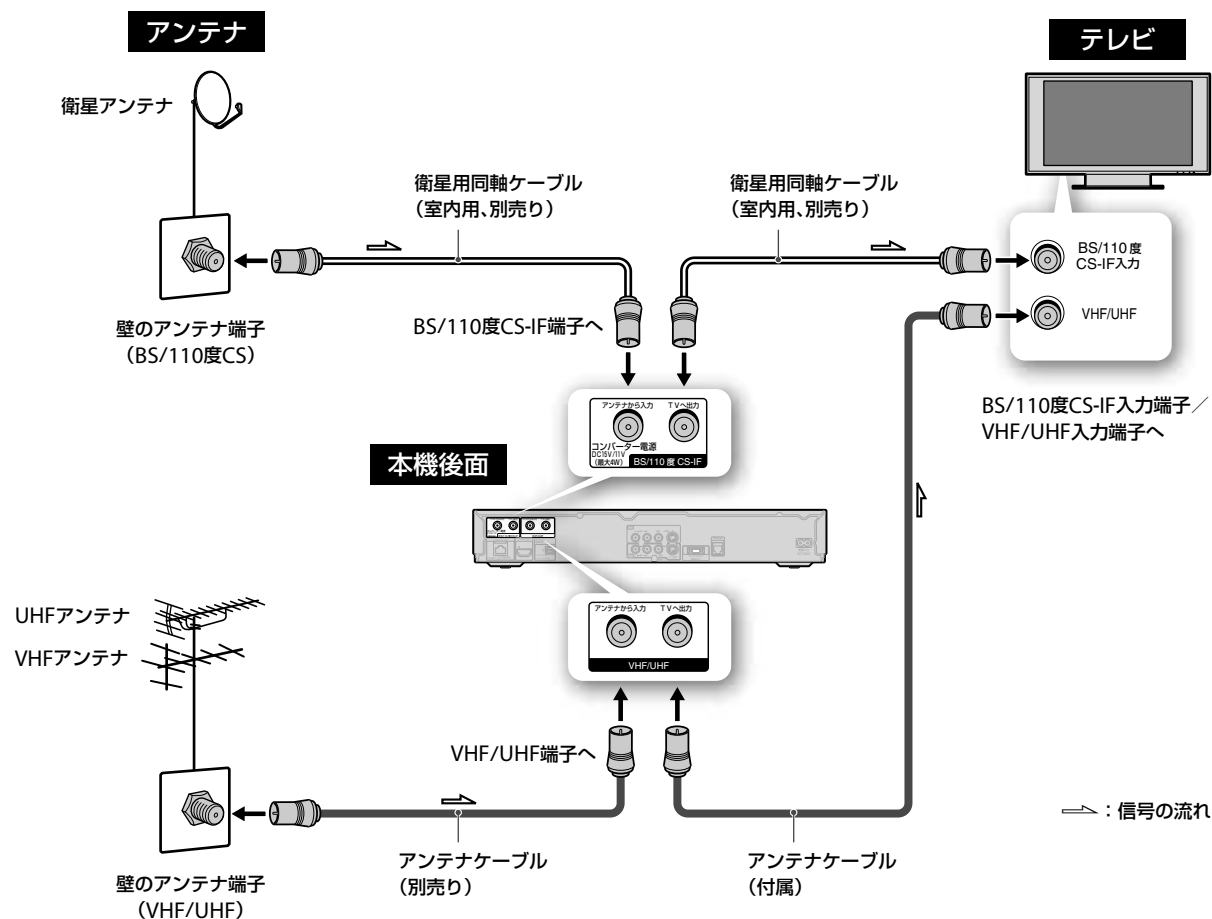
BS/110度CSデジタル放送と地上放送を分波してつなぎます。
アンテナから本機のアンテナ入力へ、本機のアンテナ出力からテレビ（入力）につなぎます。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- BS/110度CSデジタル放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、別売りのBS/CSブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS/110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、BS/CSブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

ご注意

- アンテナの接続状況によっては、［放送受信設定］の［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］に設定してください（215ページ）。
- ［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］に設定した場合、BS/CS、UV混合分波器は「通電タイプ」を使用してください。
- 混合アンテナ端子と分配器をつなぐと映像が乱れることがあります。必ず分波器を使用してください。
- 110度CSデジタル放送に共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。対応していない場合もBSデジタル放送は受信できます。詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

地上放送と衛星放送の信号が個別の場合

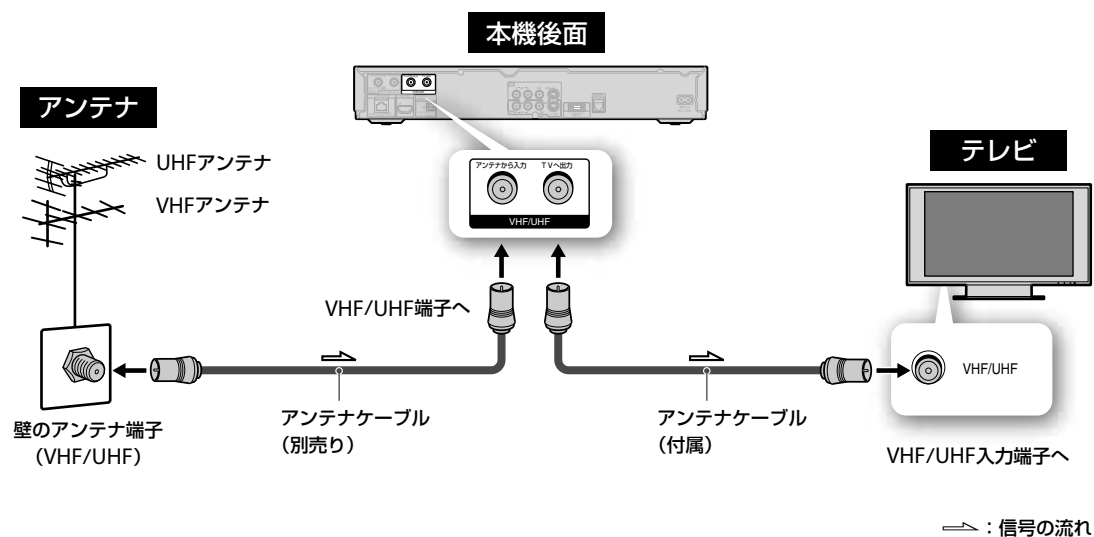
アンテナから本機のアンテナ入力へ、本機のアンテナ出力からテレビ（入力）につなぎます。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- BS/110度CSデジタル放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、別売りのBS/CSブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS/110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、BS/CSブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

ご注意

- テレビなどでBSアンテナに電源を供給しているときは、[放送受信設定]の[BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]に設定し（215ページ）、テレビのコンバーター用電源も「入」にしてください。
- 110度CSデジタル放送に衛星アンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

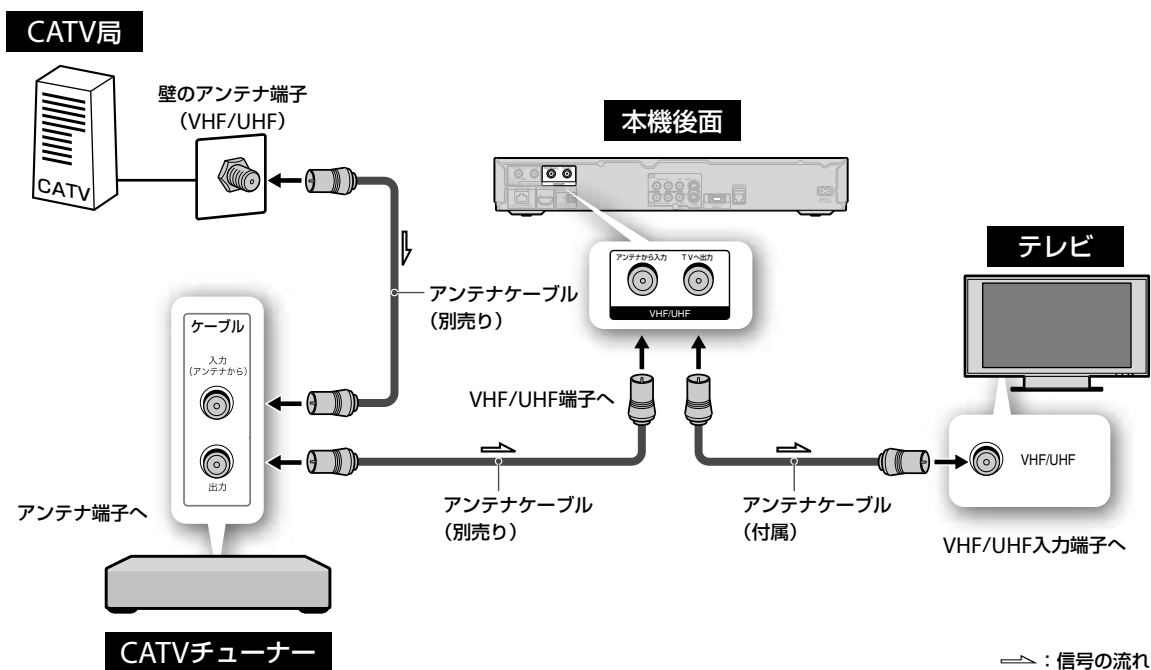
地上放送のみの場合

アンテナから本機のアンテナ入力へ、本機のアンテナ出力からテレビ（入力）につなぎます。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。

接続する

CATVを利用している場合

CATVチューナーやセットトップボックスなどのアンテナ出力から本機のアンテナ入力に、本機のアンテナ出力からテレビ(入力)につなぎます。お使いのCATVチューナーにケーブル出力端子がないときは、「CATVやスカパー!のチューナーをつなぐ」(248ページ)をご覧ください。また、CATVチューナーがない場合は、「地上放送のみの場合」(238ページ)の接続をしてください。BS/CSアンテナを設置している場合は、「地上放送と衛星放送の信号が個別の場合」(237ページ)をご覧になり、BS/110度CS-IF端子の接続を行ってください。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。

ご注意

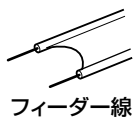
- CATV局の提供するサービス、接続状況によっては動作しないことがあります。詳しくはご利用のCATV局にお問い合わせください。
- CATV局と有料契約しているチャンネルなどを視聴または録画したいときは、CATVチューナーの音声/映像出力端子と本機の音声/映像入力端子をつないでください(248ページ)。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従ってつないでください。

* スカパー！（124/128度CSデジタル放送）のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

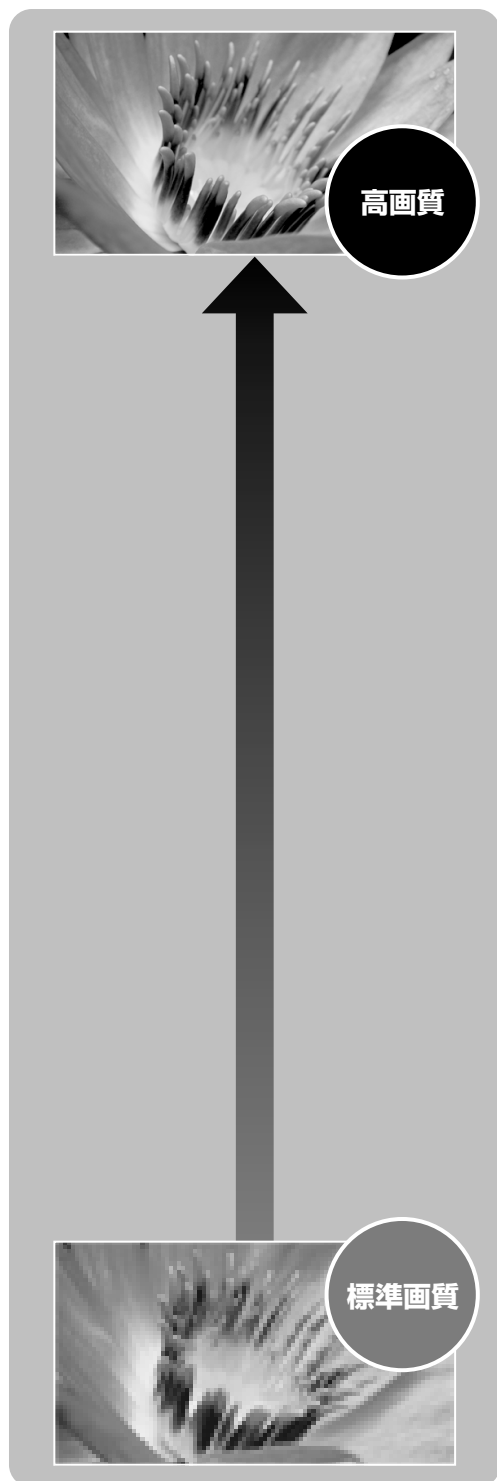
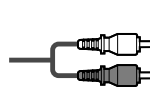
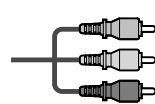
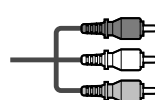
「アンテナをつなぐ」を利用するときのご注意

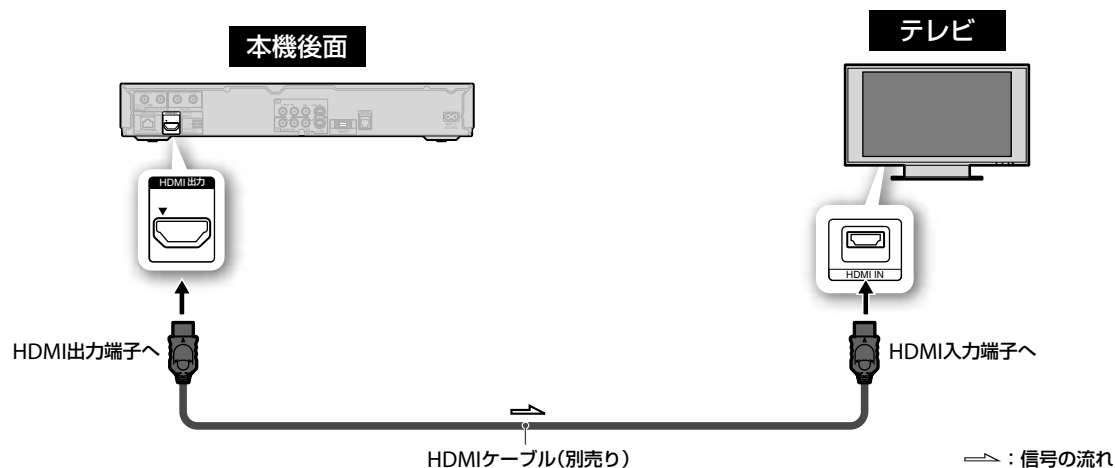
- 次のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。
  - 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、VHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使ってください。
  - アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
  - 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
  - BSアナログ用のアンテナでBSデジタル放送を受信すると、映像が乱れたりすることがあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。
- 画像の乱れを防ぐため、本機の上にテレビを直接置かないでください。
- 画像の乱れを防ぐため、アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してお使いください。特にフィーダー線は同軸ケーブルに比べて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機からできる限り離してください。

フィーダー線

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。
- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり、画面が乱れたりするときは、お買い上げ店などにご相談ください。
- お住まいの地域や電波の状態によっては、地上デジタル放送を受信できない場合があります。
- 共同受信システムで地上デジタル放送が受信できない場合、マンション管理会社に確認してください。
- 次のようなときはBS/110度CSデジタル放送を受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  - お住まいの地域またはBS/110度CSデジタル放送を送信する放送衛星会社（315ページ）のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - BS/110度CSアンテナにゴミや雪が付着しているとき
  - 強風などでアンテナの向きが変わったとき（[放送受信設定]の[BS/CSデジタルアンテナレベル]を確認してBS/110度CSアンテナの向きを調整してください（215ページ）。）
- 本書記載の別売りアクセサリーは、2009年8月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

テレビをつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

テレビにある映像端子と音声端子に応じて、以下のいずれかのケーブルでつないでください。

HDMIケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

BDZ-EX200をお使いのときは

本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、つないだHDMI出力端子に切り換えてください（246ページ）。

映像・音声・本体の設定をする

それぞれの設定について詳しくは、「本機の設定を変更する」（211ページ）をご覧ください。

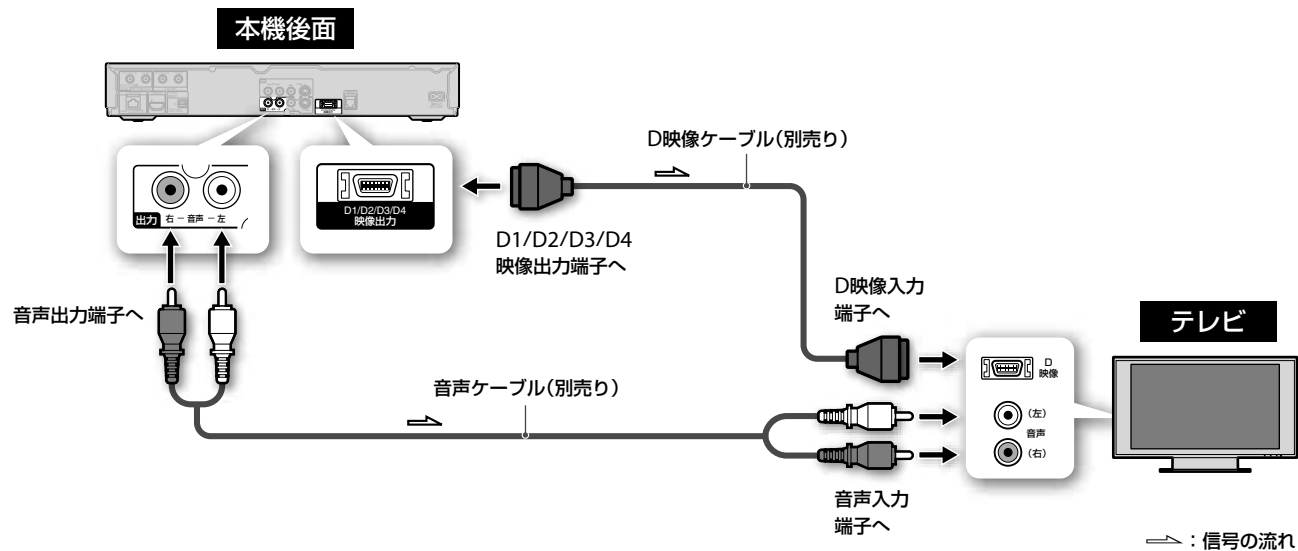
- [映像設定]の[出力映像解像度設定]、[HDMI解像度]、[BD-ROM 1125(1080)/24p出力]、[HDMI映像出力フォーマット]、[HDMI Deep Color出力]、[SBM]、[x.v.Color情報出力]
- [音声設定]の[HDMI音声出力]、[BD-ROM HD音声出力]
- [本体設定]の[HDMI機器制御]、[HDMI機器制御 高速連動]、[HDMI機器制御 テレビ電源連動]

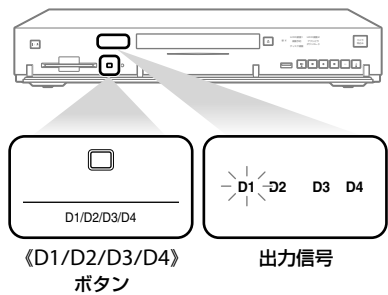
ちょっと一言

- 再生時の画質や音声は、オプションメニューの[画音設定]の[画質設定]－[画質モード]（98ページ）、および[音声設定]－[画音同期調整]（100ページ）で設定できます。

接続する

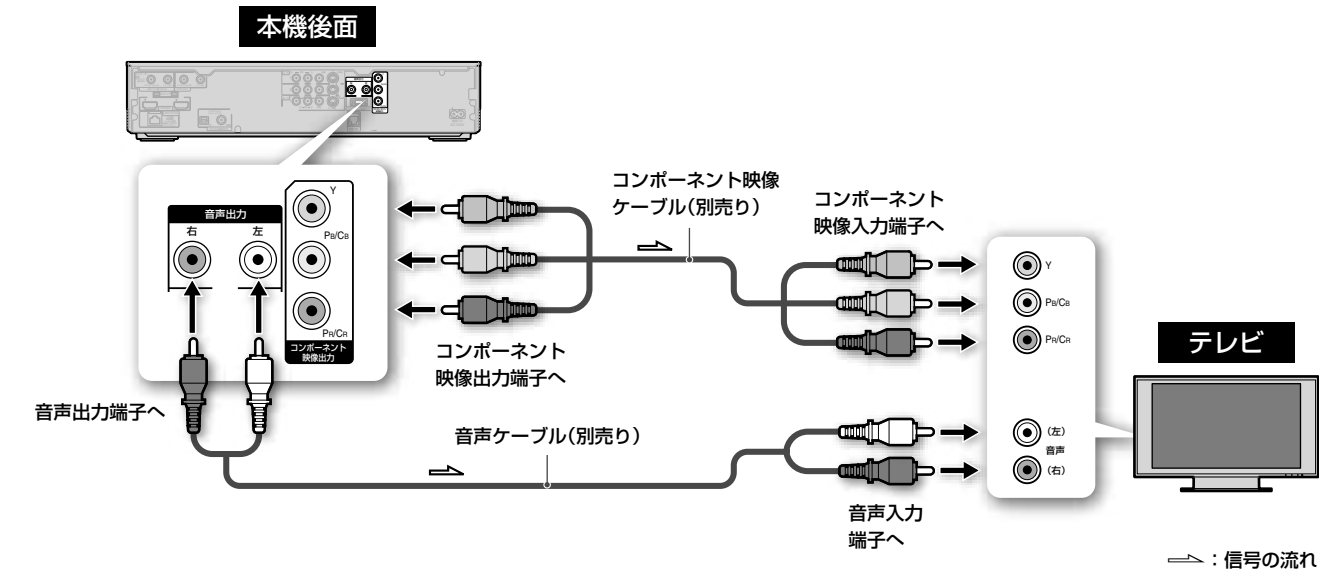
D映像ケーブルでつなぐ

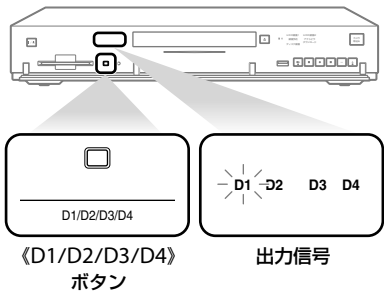
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

出力信号を切り換える

本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンを押して、D映像出力端子からの出力信号を選びます。テレビに映像が映らない場合は、本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンを押して、「D1」に切り換えてください。D映像出力端子からの出力信号は、《D1/D2/D3/D4》ボタンを押したときに、本体表示窓で確認できます。

出力映像解像度の設定をする

[出力映像解像度設定]を[D1/2/3/4設定優先]に設定する（221ページ）。

コンポーネント映像ケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	×	×	×	×

出力信号を切り換える

本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンを押して、コンポーネント映像出力端子からの出力信号を選びます。テレビに映像が映らない場合は、本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンを押して、「D1」に切り換えてください。コンポーネント映像出力端子からの出力信号は、《D1/D2/D3/D4》ボタンを押したときに、本体表示窓で確認できます。

出力映像解像度の設定をする

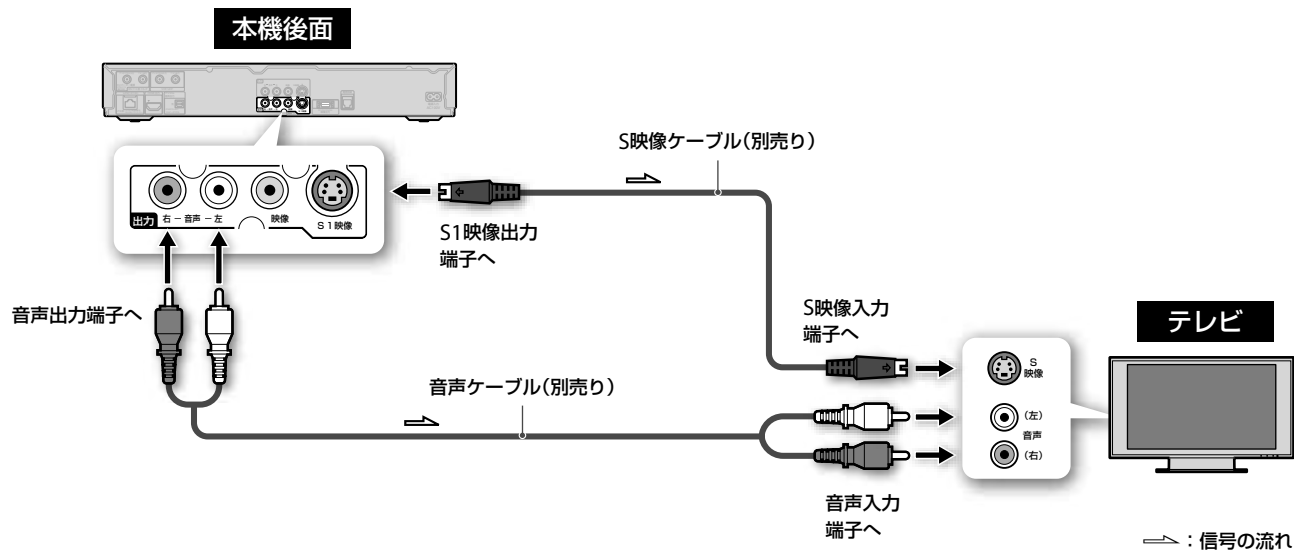
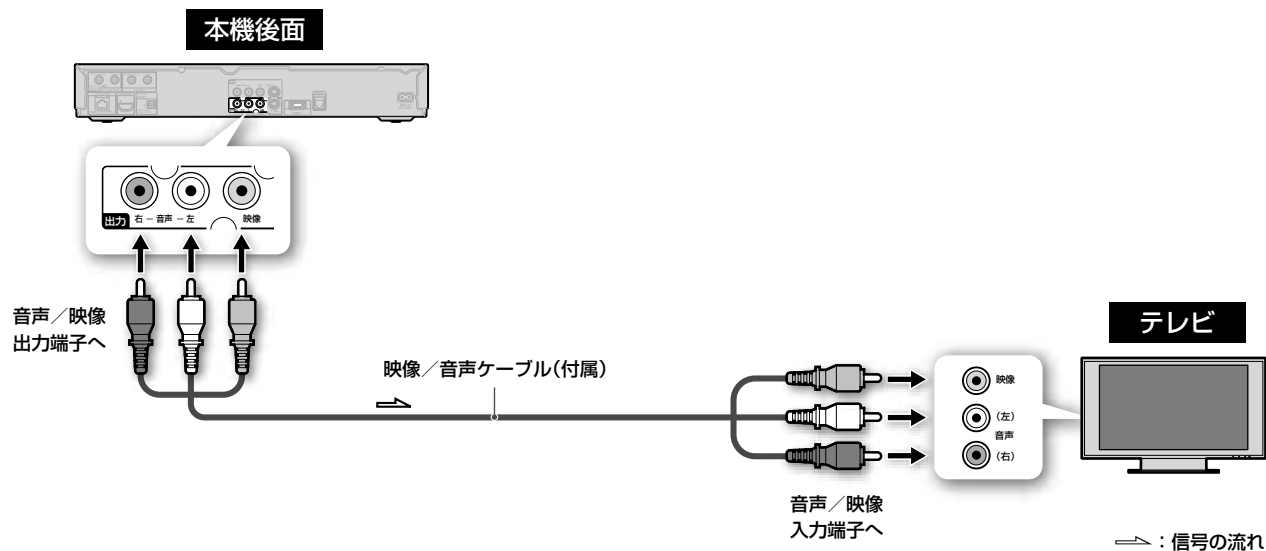
[出力映像解像度設定]を[D1/2/3/4設定優先]に設定する(221ページ)。

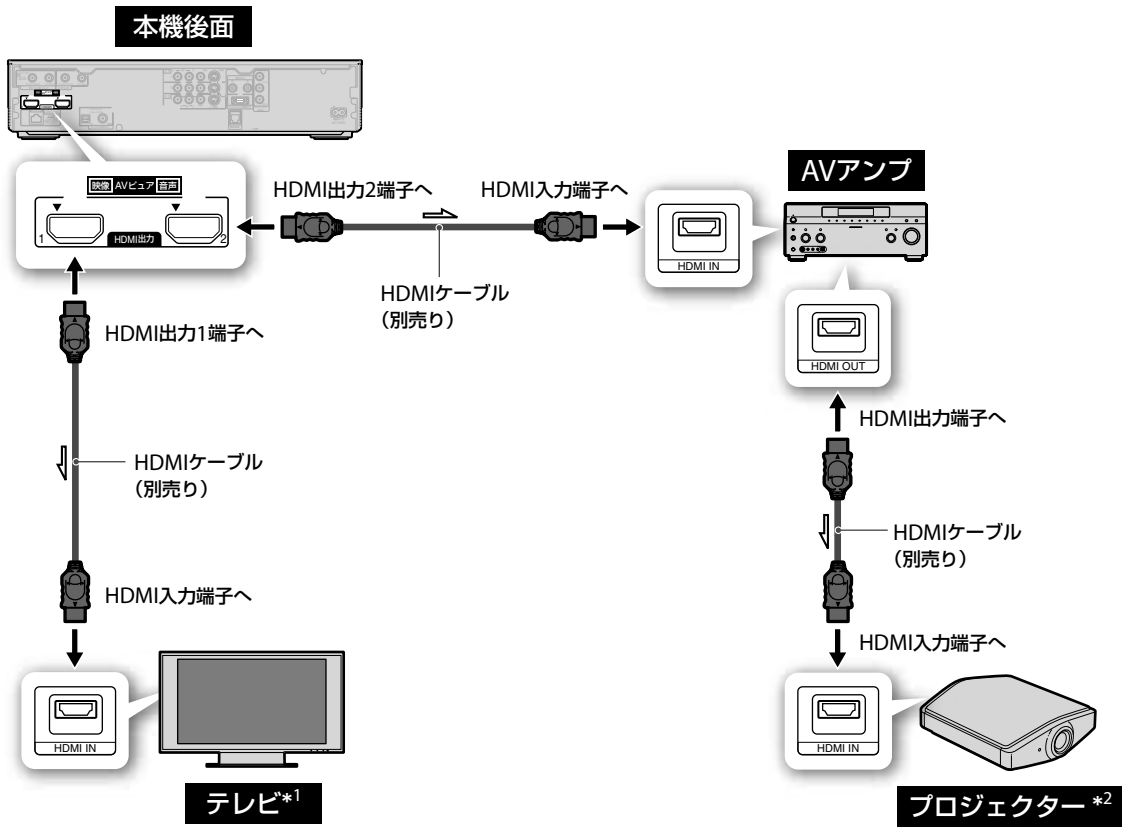
S映像ケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

映像ケーブルでつなぐ

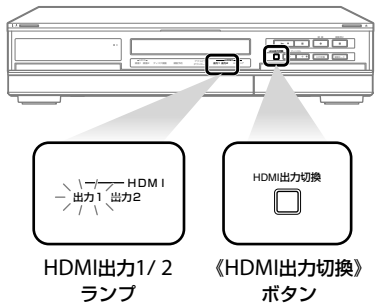
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

接続する

2台のテレビやプロジェクターをHDMIケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	×	×	×	×

*1 HDMI AV独立ピュア出力機能を利用するときはプロジェクターも利用できます。
*2 HDMI AV独立ピュア出力機能を利用するときは接続不要です。

HDMI出力を切り換える

本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、出力するHDMI出力端子を切り換えてください。
出力中の端子に対応して、本機前面のHDMI出力1/2ランプが点灯します。

HDMI出力1/ 2 ランプ　《HDMI出力切換》ボタン

映像・音声・本体の設定をする

次の設定は、HDMI出力1/2端子に共通の設定です。それぞれの設定について詳しくは、「本機の設定を変更する」（211ページ）をご覧ください。

- [映像設定]の[出力映像解像度設定]、[HDMI解像度]、[BD-ROM 1125(1080)/24p出力]、[HDMI映像出力フォーマット]、[HDMI Deep Color出力]、[SBM]、[x.v.Color情報出力]
- [音声設定]の[HDMI音声出力]、[BD-ROM HD音声出力]
- [本体設定]の[HDMI機器制御]、[HDMI機器制御 高速連動]、[HDMI機器制御 テレビ電源連動]

ちょっと一言

- オプションメニューの[画音設定]の[画質設定]－[画質モード](98ページ)、および[音声設定]－[画音同期調整](100ページ)は、HDMI出力1/2端子のそれぞれに個別に設定できます。

高画質・高音質で楽しむ

HDMI AV独立ピュア出力機能を使えば、HDMI出力1端子から高画質の映像を、HDMI出力2端子から高音質の音声を同時に出力できます。映像はHDMI出力1端子、音声はHDMI出力2端子に固定されます。

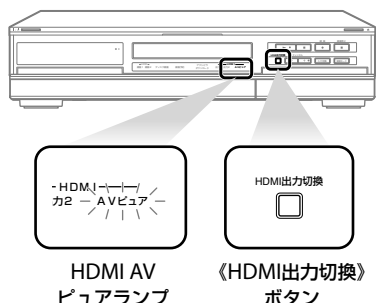
1 プロジェクターやAVアンプをつなぐ。

HDMI出力1端子にプロジェクターまたはテレビを、HDMI出力2端子にAVアンプをつなぎます。

2 [HDMI AV独立ピュア出力]を[使用する]に設定する(225ページ)。

3 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、HDMI AVピュアに切り換える。

本機前面のHDMI AVピュアランプが点灯します。

HDMI AV ピュアランプ　《HDMI出力切換》ボタン

4 [HDMI音声出力](222ページ)や[BD-ROM HD音声出力](222ページ)を設定する。

HDMI出力2端子につないだ機器にのみ有効です。

ちょっと一言

- HDMI AV独立ピュア出力時は、つないだ機器に最適な映像設定で出力されます。[本体設定]の[HDMI機器制御](225ページ)、[HDMI機器制御 高速連動](225ページ)、および[HDMI機器制御 テレビ電源連動](225ページ)は無効になります。
- HDMI AV独立ピュア出力時、オプションメニューの[画音設定]の[画質設定]－[画質モード](98ページ)はHDMI出力1端子の設定で出力されます。[音声設定]－[画音同期調整](100ページ)は、HDMI AV独立ピュア出力に対して個別に設定できます。

ご注意

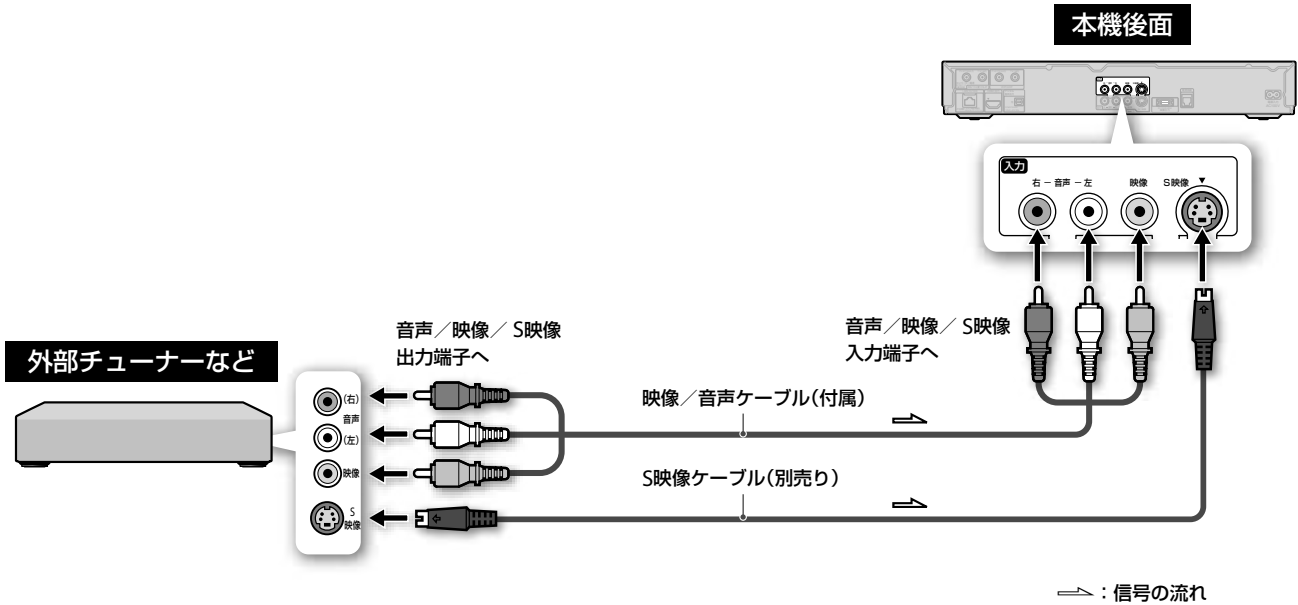
- DVI機器への接続は保障いたしません。
- [HDMI機器制御](225ページ)と[HDMI機器制御 高速連動](225ページ)は、出力中の端子にのみ有効です。本機前面のHDMI AVピュアランプが点灯しているときは、HDMI機器制御機能は働きません。
- HDMI AV独立ピュア出力機能を利用するときは、HDMI出力2端子にテレビやプロジェクターをつながないでください。誤ってつなぐとプロジェクターやテレビの入力が切り換わり、映像が表示されなくなります。

以下のことはできません

- HDMI AV独立ピュア出力機能を使用しない場合に、同時に2つのHDMI端子に出力すること。
- HDMI AV独立ピュア出力時に、HDMI出力1端子から音声、HDMI出力2端子から映像を出力すること。
- 以下の場合にHDMI出力1/2/HDMI AVピュアを切り換えること。
  － BD-ROMを1080/24p(24p True Cinema)で再生しているとき
  － x-Pict Story HDを再生しているとき
  － x-ScrapBookを再生しているとき
  － 写真を表示したり、スライドショーを再生しているとき
  再生を停止してから切り換えてください。

CATVやスカパー！のチューナーをつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

CATVやスカパー！チューナーの映像を外部入力から録画するための接続です。BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で「スカパー！ HD」対応チューナーの番組を録画したいときは、ネットワーク接続による録画をおすすめします（74、262ページ）。
付属の映像／音声ケーブル、または別売りのS映像ケーブルを使ってつないでください。

S映像ケーブルでつなぐときは

1 映像ケーブル（黄）をはずす。

2 ［映像入力］を［S映像］に設定する（220ページ）。

BDZ-EX200をお使いの場合、本機前面の入力2 S映像端子につないだときは、S映像入力を自動的に判別するため、映像入力を設定する必要はありません。入力1/3 S映像端子につないだときのみ、［映像入力1］または［映像入力3］を［S映像］に設定してください（220ページ）。

ちょっと一言

- 本機前面の入力2音声／映像／ S映像端子も使用できます（BDZ-EX200のみ）。
- CATVやスカパー！チューナーの映像の視聴方法については35ページ、録画方法については61ページをご覧ください。

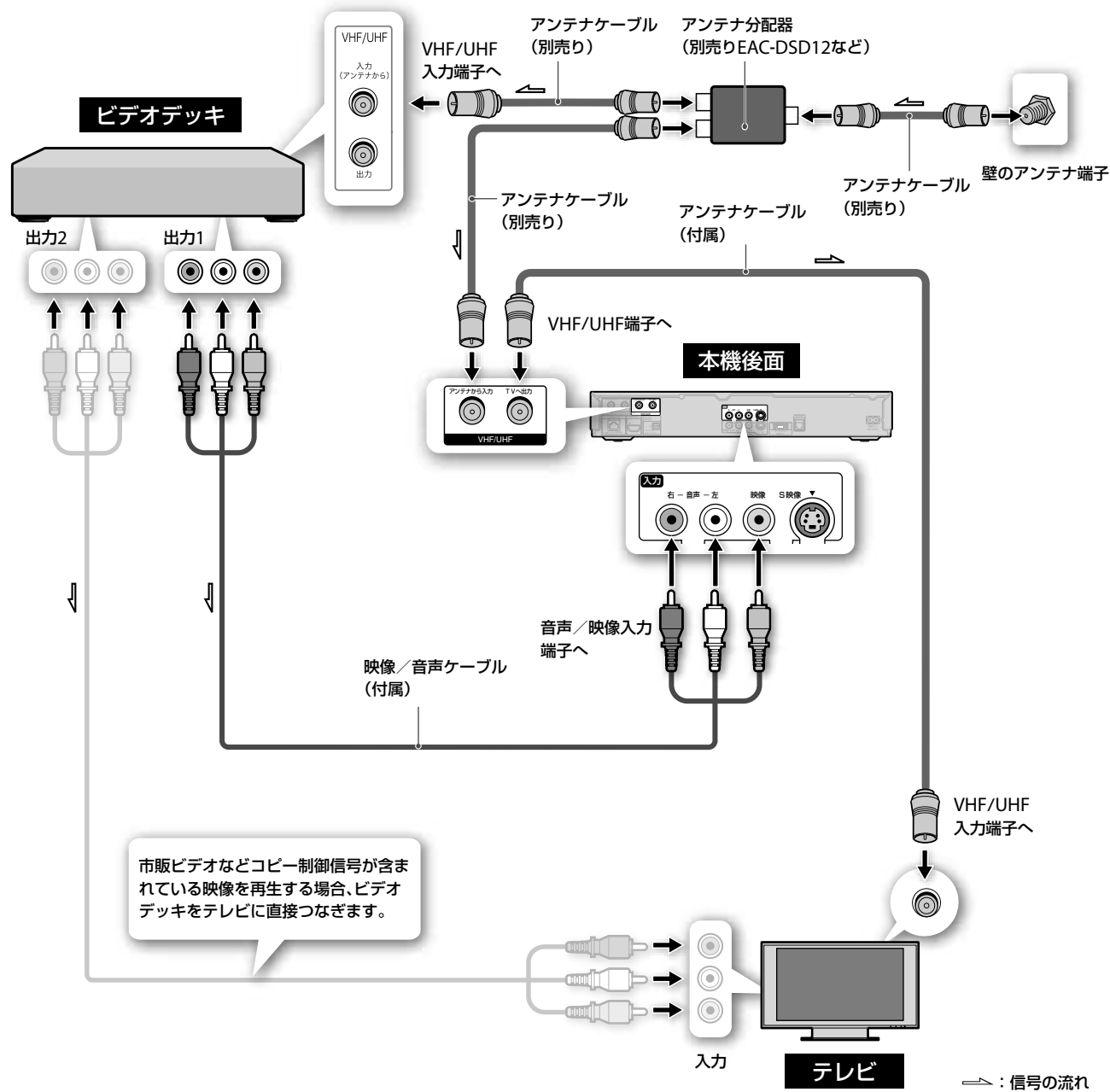
ご注意

- 本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しているため、番組によっては録画できないことがあります。
- 外部チューナーの番組を本機につないで視聴する場合、映像が乱れることがあります。この場合、外部チューナーを直接テレビにつないで視聴してください。
- 本機には標準画質で映像が入力されるため、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画できません。
- BDZ-EX200/BDZ-RX100のi.LINK端子はHDV1080i/DVの入力専用端子です。ご利用のチューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合でも、BDZ-EX200/BDZ-RX100のi.LINK端子とつないでデジタル放送を録画することはできません。
- BDZ-EX200でフォト切り出し（129ページ）やx-ScrapBook（140ページ）、思い出ディスクダビング（157ページ）を利用する場合、本機前面の入力2音声／映像／ S映像端子につないでください。

ビデオデッキをつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ビデオデッキをつなぐと、ビデオテープの映像を本機のハードディスクやBDにダビングできます。

VHF/UHF
入力（アンテナから）
出力
VHF/UHF
入力端子へ
アンテナケーブル
（別売り）
アンテナ分配器
（別売りEAC-DSD12など）
ビデオデッキ
壁のアンテナ端子
アンテナケーブル
（別売り）
アンテナケーブル
（別売り）
アンテナケーブル
（付属）
出力2
出力1
VHF/UHF端子へ
本機後面
アンテナから入力
TVへ出力
VHF/UHF
入力
右 ー 音声 ー 左
映像
S映像
音声／映像入力
端子へ
映像／音声ケーブル
（付属）
VHF/UHF
入力端子へ
市販ビデオなどコピー制御信号が含まれている映像を再生する場合、ビデオデッキをテレビに直接つなぎます。
入力
テレビ
：信号の流れ

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- 本機とテレビの接続方法については、「テレビをつなぐ」（241ページ）をご覧ください。
- 本機前面の入力2音声／映像端子も使用できます（BDZ-EX200のみ）。他機の出力がモノラルの場合は、本機前面の入力2の音声（左）端子につないでください。
- ビデオテープをBDにダビングする場合、ハードディスクに一度取り込んでからBDにダビングすることで、編集や録画モードを変更したものをくり返しダビングできます。

ご注意

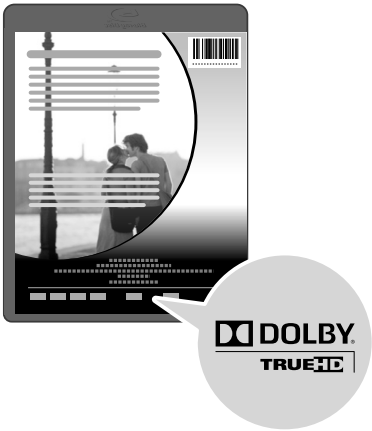
- 他の機器（ビデオデッキなど）をつなぐ場合は、アンテナ分配器（別売り）をお使いください。
- ビデオデッキなどの映像記録機器を経由してつなぐと、メニュー画面や映像が乱れることがあります。

AVアンプをつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

再生したい音声の種類により、AVアンプの種類や必要なケーブルが異なります。次の中から再生したい音声に必要なアンプとケーブルを確認してください。

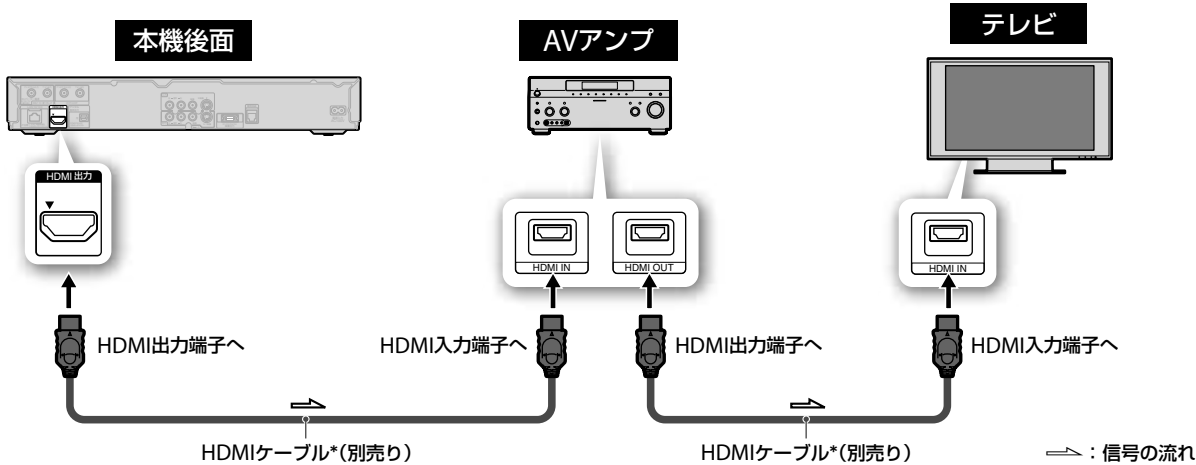
音声フォーマットについて

再生するBDやDVDが対応しているかについては、BDやDVDのパッケージの裏側で確認できます。

ドルビーデジタル、DTS、またはAACデコーダー付きアンプに光デジタル接続ケーブルでつないでいる場合は、本機の[音声設定]の[ドルビーデジタル]、[DTS]、または[AAC]の設定を変更してください（222、223ページ）。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、「AAC」ロゴおよびダブルD記号 ◘◘ は、ドルビーラボラトリーズの商標です。DTSは登録商標です。DTSロゴおよび記号はDTS,Inc.の商標です。

マルチチャンネル音声でBDやDVDを楽しみたい

ステレオ音声でBDやDVDを楽しみたい

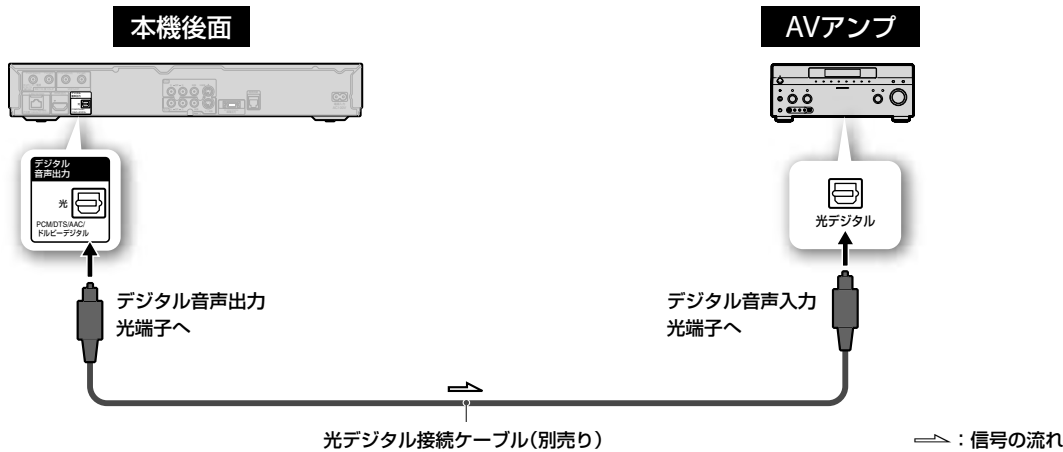
HDMIケーブルでつなぐ

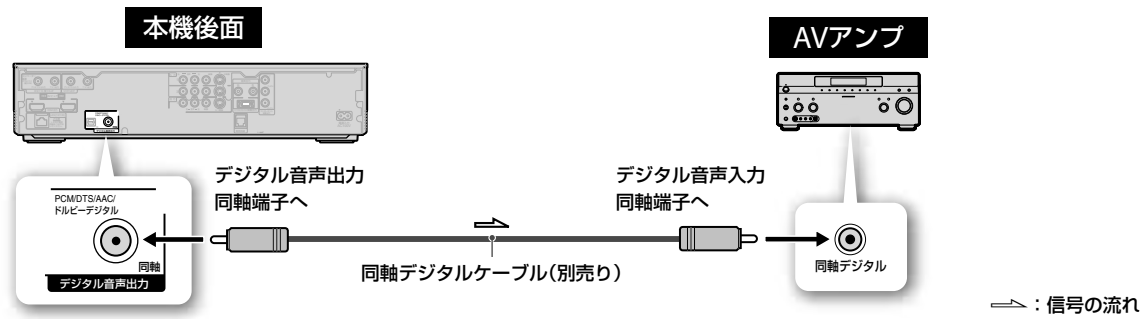
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

* 本機とアンプをHDMIケーブルでつないだ場合は、アンプとテレビをHDMIケーブルでつなぎます。テレビにHDMI入力端子がない場合は、別の映像ケーブルで本機とテレビを直接つなぎます(241ページ)。

BDZ-EX200をお使いのときは

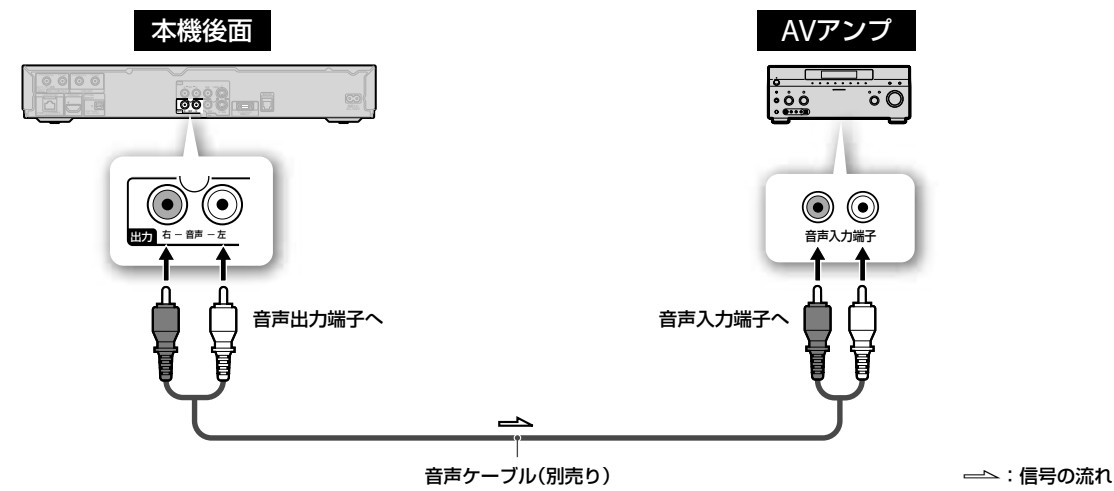
本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、つないだHDMI出力端子に切り換えてください(246ページ)。

光デジタル接続ケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

同軸デジタルケーブルでつなぐ

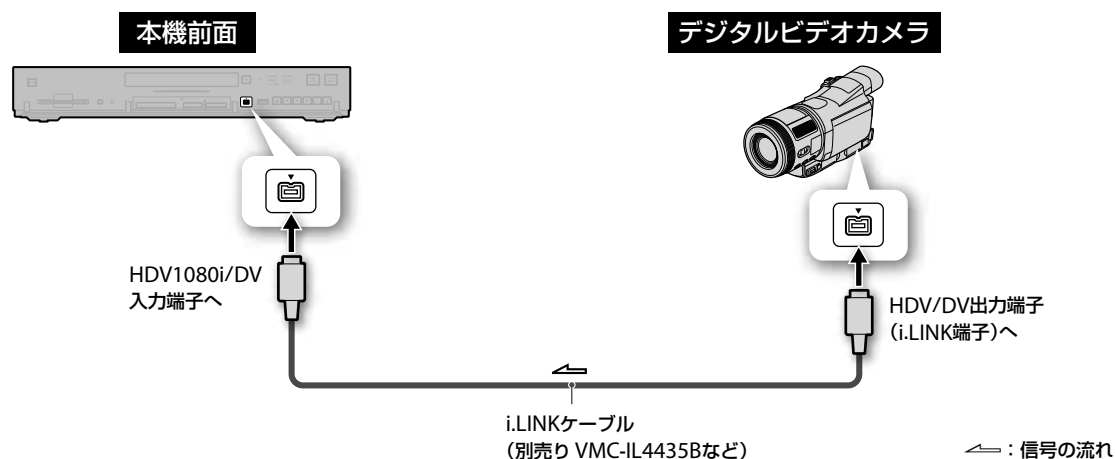
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	×	×	×	×

音声ケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

接続する

ビデオカメラやデジタルスチルカメラをつなぐ

i.LINKケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	×	×	×

デジタルビデオカメラをつなぐと、本機にHDV/DV方式の映像を取り込めます。

HDV1080i/DV入力端子について

本機のHDV1080i/DV入力端子はi.LINK標準に準拠していますので、他のi.LINK(DV)端子のある機器とつなぐとデジタル信号を記録できます。
i.LINKについて詳しくは、「i.LINK(アイリンク)について」(320ページ)をご覧ください。
本機は次の方式の信号に対応しています。

- DV規格
- HDV規格(1080i方式)

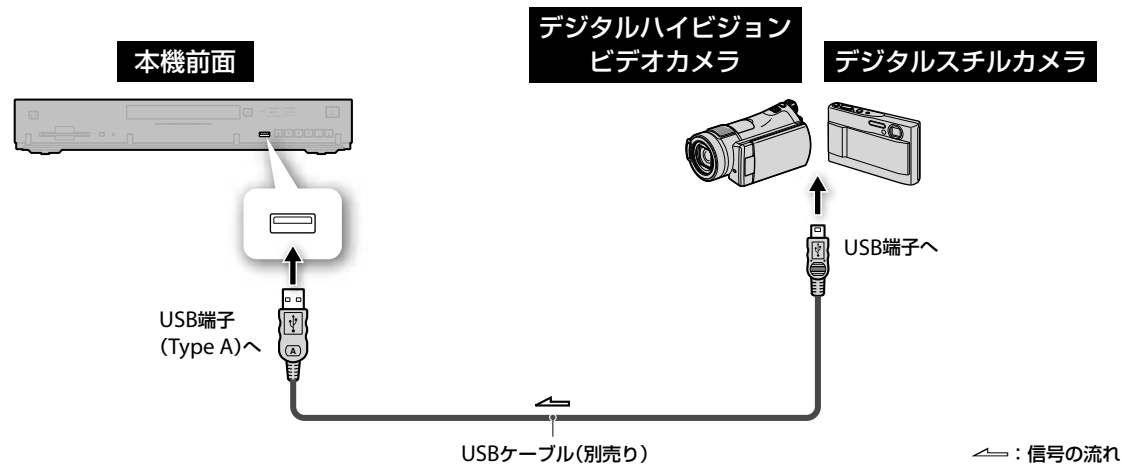
ご注意

- 本機のHDV1080i/DV入力端子は入力専用です。信号は出力されません。

接続する

USBケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

デジタルハイビジョンビデオカメラをつなぐと、本機のハードディスクやBDにAVCHD方式の映像をダビングできます。デジタルスチルカメラをつなぐと、写真を再生したり、本機に写真を取り込んだりできます。

USB機器のモード切換について

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 本機後面のUSB端子も使用できます（BDZ-RX100のみ）。

ご注意

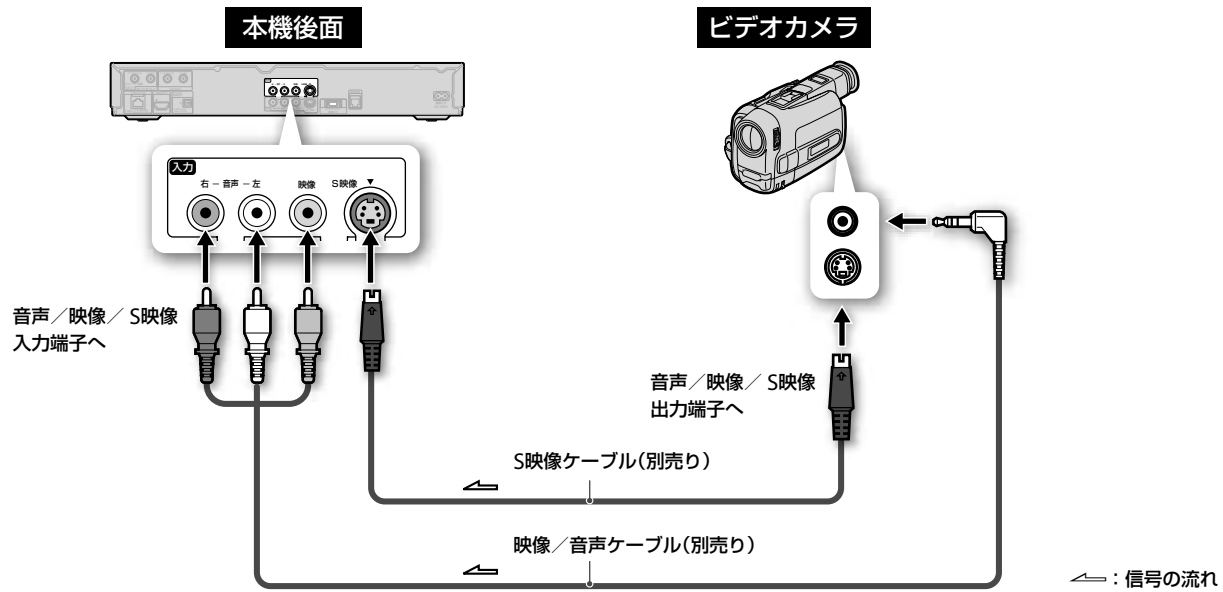
- つなぐ機器によってUSBケーブルの端子の形状は異なります。

以下のことはできません

- 電源供給のみ行うUSBケーブルを使用すること。

S映像ケーブルや映像ケーブルでつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ビデオカメラをつなぐと、撮影した映像を本機に取り込めます。

S映像ケーブルでつなぐときは

1 映像ケーブル（黄）をはずす。

2 ［映像入力］を［S映像］に設定する（220ページ）。

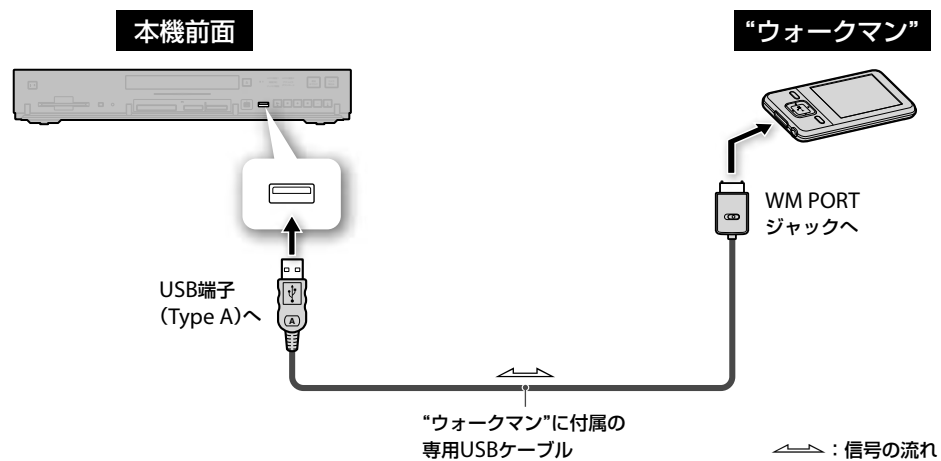
BDZ-EX200をお使いの場合、本機前面の入力2 S映像端子につないだときは、S映像入力を自動的に判別するため、映像入力を設定する必要はありません。入力1/3 S映像端子につないだときのみ、［映像入力1］または［映像入力3］を［S映像］に設定してください（220ページ）。

ちょっと一言

- 本機前面の入力2音声／映像／ S映像端子も使用できます（BDZ-EX200のみ）。

“ウォークマン”をつなぐ

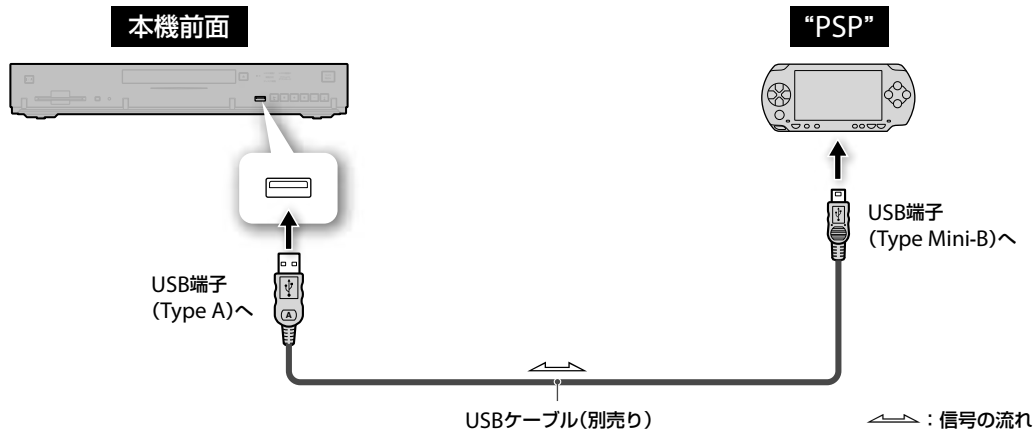
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

“ウォークマン”をつなぐと、本機で録画した映像などを“ウォークマン”に転送できます。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機後面のUSB端子も使用できます（BDZ-RX100のみ）。前面と後面の両方のUSB端子につないだ場合は、前面端子につないだ機器に転送します。
- ［本体設定］の［スタンバイモード］（225ページ）を［高速起動］に設定すると、本機の電源が切れている場合でもUSB端子から一部の“ウォークマン”の充電ができます。

“PSP”をつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

“PSP”をつなぐと、写真を再生できます。本機で録画した映像などを“PSP”に転送することもできます（BDZ-EX200/BDZ-RX100/ BDZ-RX50のみ）。

“PSP”のモード切換について

一部の“PSP”ではデータを送受信できるよう、“PSP”側でモードを切り換える必要があります。ソフトウェアバージョンが5.00以降の“PSP”は、USB自動接続が「入」に設定されているときは、USBケーブルをつなぐと自動でUSBモードに切り換わります。詳しくは、“PSP”の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、“PSP”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機後面のUSB端子も使用できます（BDZ-RX100のみ）。前面と後面の両方のUSB端子につないだ場合は、前面端子につないだ機器に転送します。
- ［本体設定］の［スタンバイモード］（225ページ）を［高速起動］に設定すると、本機の電源が切れている場合でもUSB端子から一部の“PSP”の充電ができます。

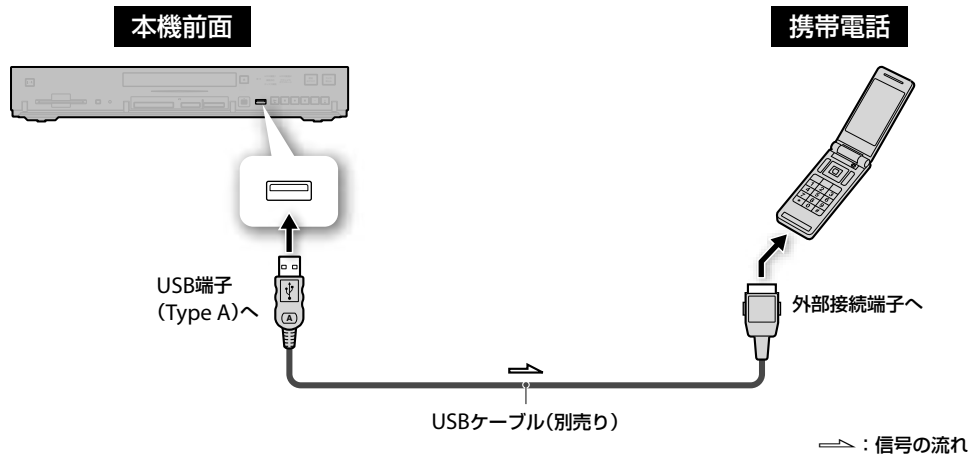
以下のことはできません

- 電源供給のみ行うUSBケーブルを使用すること。

接続する

携帯電話をつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

携帯電話をつなぐと、本機で録画した映像などを携帯電話に転送できます。

携帯電話のモード切換について

一部の携帯電話ではデータを送信できるよう、携帯電話側でモードを切り換える必要があります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

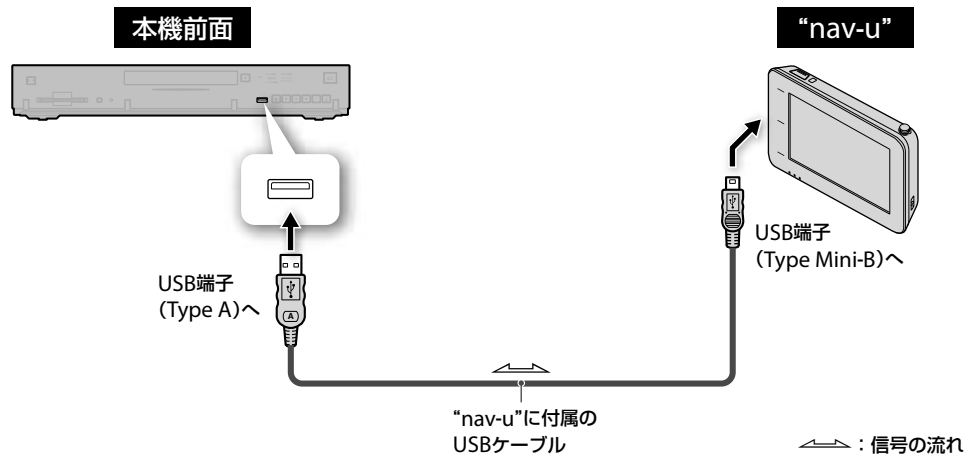
- USBケーブルについて詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機後面のUSB端子も使用できます(BDZ-RX100のみ)。前面と後面の両方のUSB端子につないだ場合は、前面端子につないだ機器に転送します。

以下のことはできません

- 電源供給のみ行うUSBケーブルを使用すること。

“nav-u”をつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	×	×

“nav-u”をつなぐと、本機で録画した映像などを“nav-u”に転送できます。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、“nav-u”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機後面のUSB端子も使用できます（BDZ-RX100のみ）。前面と後面の両方のUSB端子につないだ場合は、前面端子につないだ機器に転送します。
- ［本体設定］の［スタンバイモード］（225ページ）を［高速起動］に設定すると、本機の電源が切れている場合でもUSB端子から一部の“nav-u”の充電ができます。

以下のことはできません

- 電源供給のみ行うUSBケーブルを使用すること。

電話回線をつなぐ

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

データ放送の一部サービス（アンケートなどの双方向通信）を本機で利用するには、電話回線への接続が必要です。

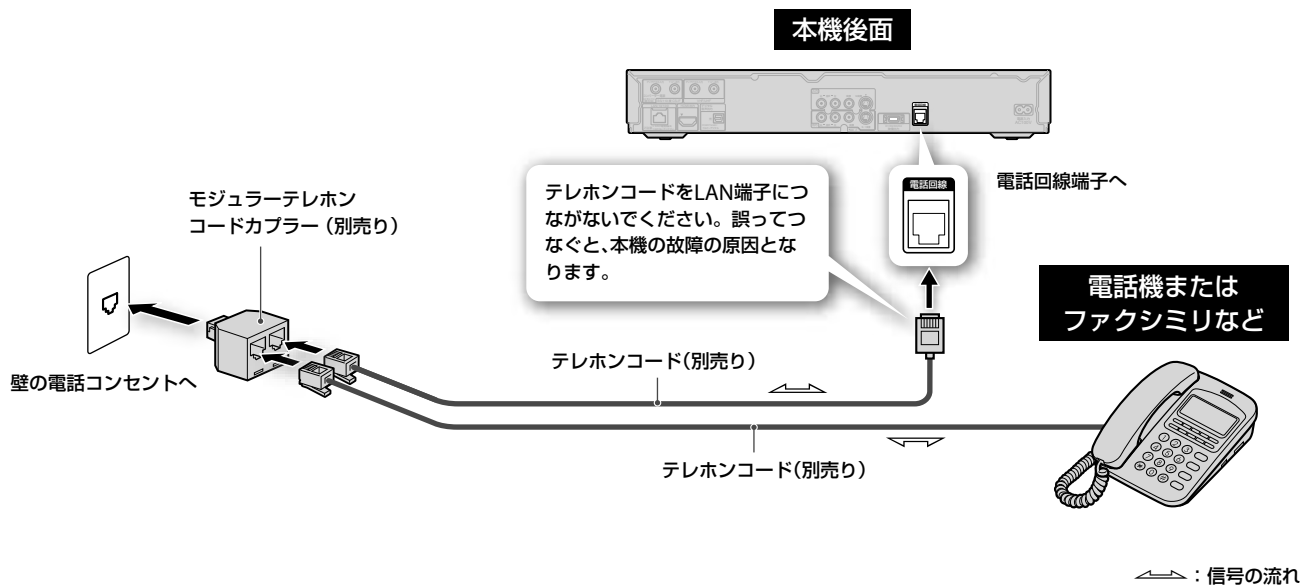
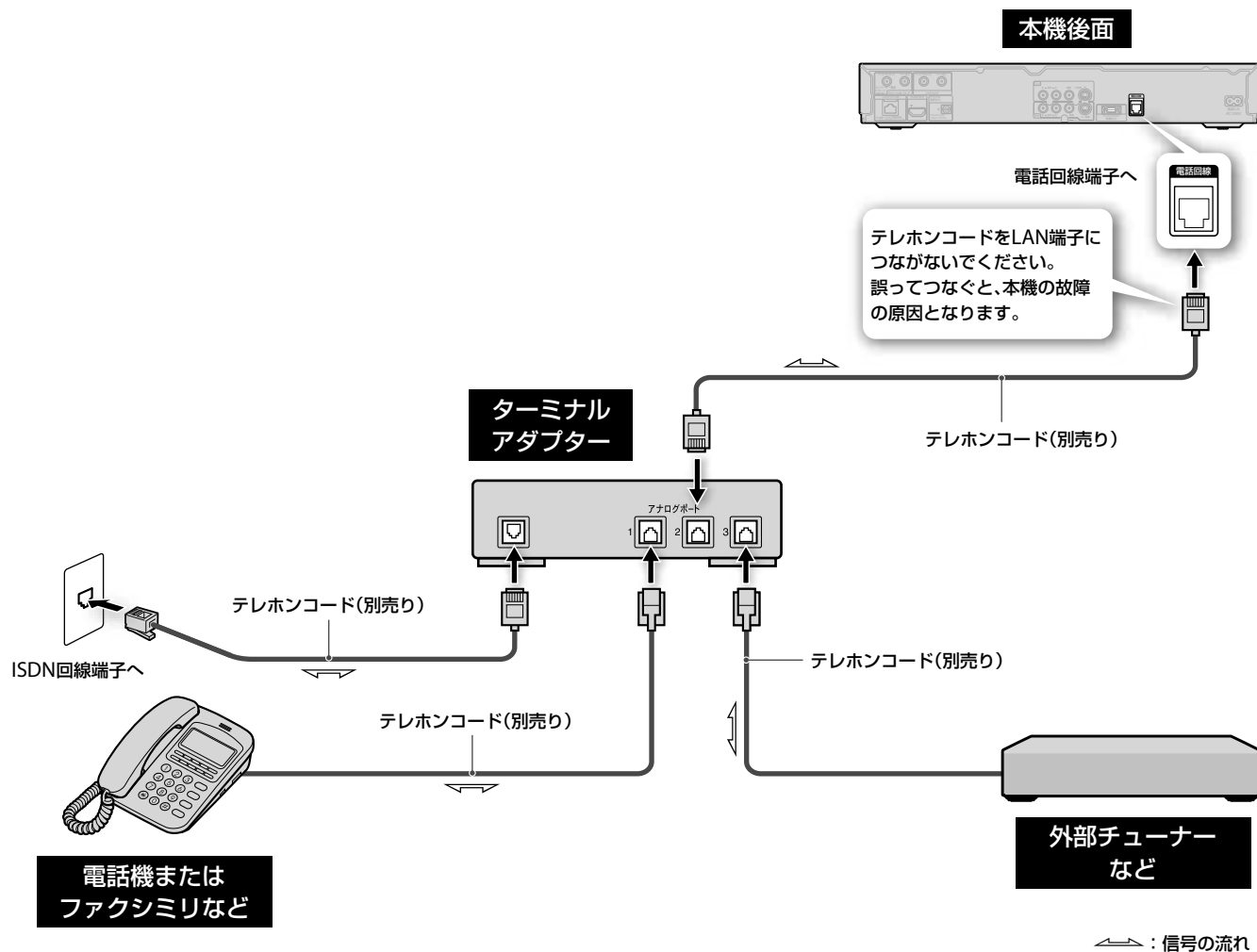
つないでできること

- データ放送を見ているときに、放送局と通信できる*。

* 通信中は、本体表示窓の通信表示が点滅します（24ページ）。

①電話回線をつなぐ

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

接続する

ISDN回線を使ってつないでいるとき(アナログ接続)

②電話回線の設定をする

設定について詳しくは、[設定] – [通信設定] – [電話回線設定](229ページ)をご覧ください。
ターミナルアダプターにつないだ場合は、[回線]を[トーン]に設定してください。

ちょっと一言

- 本機が放送局と購入情報などを送受信しているときは、本体表示窓の通信表示(24ページ)が点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。この場合は、モジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換器をお使いください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器をお使いください。
- BS/110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

ご注意

- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。電話回線の使用料、回線接続料がかかります。
- ISDN回線端子にモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。

以下のことはできません

- 次の電話回線につなぐこと。
  – 公衆電話および共同電話、地域集合電話
  – 携帯電話およびPHS、自動車電話
  – 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき
  – IP電話

ネットワークにつなぐ

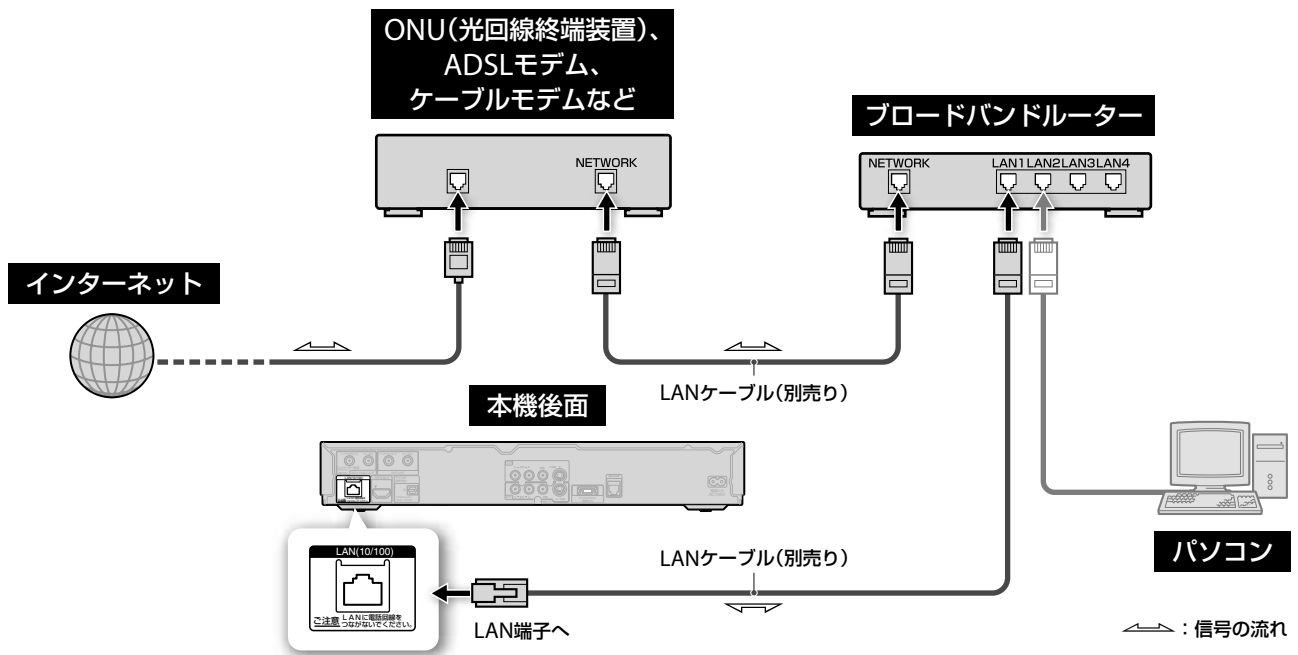
EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	○	○	○

ネットワークにつなぐと、以下の機能が利用できるようになります。

つないでできること

- アクトビラが楽しめる*[1]。
- インターネット経由で、放送局から配信されるデータ放送のコンテンツが楽しめる*[2]。
- 放送局との双方向によるサービスが利用できる。
- 携帯電話やパソコンでリモート録画予約できる。
- ＜ブラビア＞の番組表を使ってネットワーク録画予約できる*[3]。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーの番組をネットワーク録画予約できる*[3]。
- ホームネットワークを利用して、本機の映像（タイトル）を他機器で再生できる*[3]。
- BD-LIVE（BDライブ）を楽しめる。

*[1] 「アクトビラ」のご利用には、FTTH（光）等のブロードバンド接続環境が必要です。
*[2] 地上デジタル／ BSデジタル／ 110度CSデジタルで運用されています。
*[3] BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ。

①ネットワークにつなぐ

- ネットワーク（LAN）ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- カテゴリー 5以上のネットワーク（LAN）ケーブルをお使いください。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- LAN端子に電話回線をつながないでください。誤ってつなぐと、本機の故障の原因となります。

②ネットワークの設定をする

[設定]－[通信設定]－[ネットワーク設定]の[ネットワーク接続診断]を行う(230ページ)。

接続に失敗した場合は、画面の指示に従ってください。

③各機能を利用するための設定をする

データ放送のコンテンツを楽しむとき

[データ放送通信設定]の設定をする(229ページ)。

携帯電話／パソコンでリモート録画予約するとき

1 [リモート録画予約設定]を行い、本機に携帯電話／パソコンを登録する(231ページ)。

2 本機の[スタンバイモード]を[高速起動]に設定する(225ページ)。

<ブラビア>／「スカパー！ HD」対応チューナーでネットワーク録画予約するとき(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)

1 <ブラビア>／「スカパー！ HD」対応チューナーをネットワークにつなぐ。

2 本機のホームサーバー機能を[入]に設定する(232ページ)。

[スタンバイモード]が[標準]に設定されている場合、スタンバイモード切換画面が表示されます。「スカパー！ HD」対応チューナーでネットワーク録画予約するときは、[スタンバイモード]を[高速起動]に設定してください。

3 <ブラビア>／「スカパー！ HD」対応チューナーのネットワークの設定をする。

本機が<ブラビア>のネットワーク録画予約や「スカパー！ HD」対応チューナーの録画先となるように、<ブラビア>／「スカパー！ HD」対応チューナーの取扱説明書をご覧になり設定をしてください。

ホームネットワークを利用して、本機の映像を他機器で再生するとき(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)

1 再生に使う機器をネットワークにつなぐ。

2 本機のホームサーバー機能を[入]に設定する(232ページ)。

3 再生に使う機器のホームネットワークの設定をする。

再生に使う機器の取扱説明書をご覧になり設定してください。

BD-LIVE(BDライブ)を楽しむとき

[BDインターネット接続]を[許可する]に設定する(226ページ)。

ご注意

- LAN端子に電話回線をつながないでください。誤ってつなぐと、本機の故障の原因となります。
- ネットワークにつなぎ、放送局などのサーバーからインターネット経由でデータ放送のコンテンツやアクトビラなどを楽しむためには、別途プロバイダー*との契約が必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)会社によっては、ルーターの接続を許可していない場合があります。あらかじめCATV(ケーブルテレビ)会社にご確認ください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。
- ご契約のプロバイダーによっては、PPPoE方式を採用している場合があります。この場合、PPPoE方式に対応したルーターが必要になります。詳しくは、プロバイダーにご確認ください。
- 本機にはウェブブラウザ機能が搭載されていないため、モデムやルーターなどを本機から設定することはできません。モデムやルーターなどの設定にはパソコンなどが必要になりますのでご注意ください。
- リモート録画予約を利用するときは、常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のプロバイダーにお問い合わせください。
- モデムなどに装備されているLAN端子の数がつなぐ端末数より少ない場合は、ハブが必要となります。

* インターネットサービスプロバイダー(ISP)とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

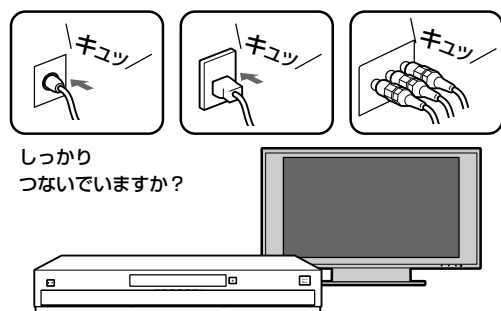
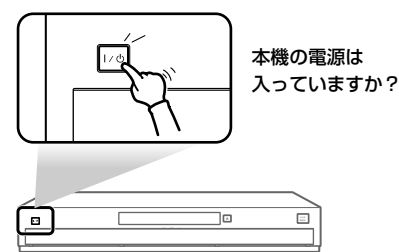
困ったときは

故障かな？と思ったら

まず確認してください

各種コード・ケーブル

テレビの入力切換

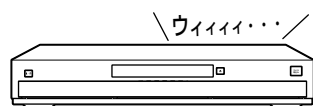
本機の映像が映るよう、テレビの入力は「本機をつないだ入力」に切り換わっていますか？

本機の電源

こんな場合は故障ではありません

電源を切っているのにファンなどの動作音がする

電源が「切」でも、以下のような場合、本機が動作をすることがあります。

- 番組表データの取得時
- 録画中
- ダビング中
- 予約した番組の録画実行時
- リモート録画予約時
- HDMI機器制御機能（ブラビアリンク）の利用時
- 高速起動の待機時
- ホームサーバー機能使用時（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）
- スカパー！の無料視聴期間サービスの利用時

など

このような場合、本機のファンが動作します。

「PLEASE WAIT」と点滅表示され、なかなか起動しない

本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅表示されます。
本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。
起動時間を短くできる機能（高速起動モード）もあります（225ページ）。

動作を受け付けない／動いていない

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面の《リセット》ボタンを押してください。本機が再起動します。

➡ 症状に当てはまらない場合は、次ページ以降をご覧になり、当てはまる症状を探してください。

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(314ページ)。

電源

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が**入らない。**	• 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	らくらくガイド

映像

症状	対処のしかた	参照ページ
映像が**出ない、乱れる。**	• 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	らくらくガイド
	• 接続ケーブルのプラグが正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	266
	• 接続ケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• テレビの入力を、本機をつないだ入力(「ビデオ」や「HDMI2」など)に切り換えてください。	—
	• 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビにつないだり、ビデオ一体型テレビにつないでいると、一部のDVDプログラムやデジタル放送に使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性があります。 本機をテレビに直接つないでいても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子に接続してください。	245
	• ハードディスクの特性上、ごくまれに映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	• 2層BD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるときに映像/音声が一瞬途切れることがあります。	—
	• DVD再生時などでプログレッシブ映像に切り換わるときに一瞬映像が乱れることがあります。	—
	• 24p True Cinemaに対応したBD-ROMや、x-Pict Story HDやx-ScrapBookの再生をすると、再生前後で映像が乱れることがあります。	—
	• 本機前面の《リセット》ボタンを押してください。本機が再起動します。	—
D映像出力端子またはコンポーネント映像出力端子* につないだとき、映像が出ない、乱れる。 * コンポーネント映像出力端子はBDZ-EX200のみ。	• プログレッシブ方式に対応していないテレビとD映像ケーブルまたはコンポーネント映像ケーブル(BDZ-EX200のみ)でつないでいるときは、本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンを押して、設定を「D1」に切り換えてください。	243、244
	• プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像ケーブルまたはコンポーネント映像ケーブル(BDZ-EX200のみ)でつないでいても、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがあります。本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンを押して、設定を「D1」に切り換えてください。	243、244
	• [HDMI解像度]がD端子解像度より高解像度に設定されている場合や、BD-ROMの24p映像を出力中は、D映像出力端子から出力されないことがあります。テレビの入力を本機をつないだD映像入力に切り換えて、映像が出るまで本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンをくり返し押してください。また、[出力映像解像度設定]を変更すると、出力できることがあります。テレビと本機を映像出力端子やS映像出力端子でつなぎ、テレビの入力を本機をつないだ映像入力に切り換えます。[設定]－[映像設定]の[出力映像解像度設定]を[D1/2/3/4設定優先]に設定してください。	221

症状	対処のしかた	参照ページ
HDMI出力端子につないだとき、映像が出ない、乱れる。	• 本機はDVI機器への接続に対応していません。	—
	• 本体表示窓のHDMI表示が点滅しているときは、HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。HDMIケーブルを差し直してください。	24
	• [設定]－[映像設定]－[HDMI映像出力フォーマット]の設定を変更すると、映像が表示されることがあります。	221
	• [設定]－[映像設定]－[HDMI解像度]の設定を変更すると解消される場合があります。テレビと本機をHDMI出力端子以外の映像出力端子でつなぎ、テレビの入力を本機をつないだ映像入力に切り換えて、設定画面をテレビ画面に表示させてください。 [設定]－[映像設定]－[出力映像解像度設定]を[HDMI解像度優先]に設定してください。次に[設定]－[映像設定]－[HDMI解像度]の設定を変更し、テレビ側の入力をHDMIに戻してください。それでも映像が出ない場合は、この手順をくり返して他の解像度を試してください。	221
	• [設定]－[映像設定]－[出力映像解像度設定]を[HDMI解像度優先]に設定しているときに、[設定]－[映像設定]－[HDMI解像度]の設定項目が[自動]しか選べない場合は、正しく接続されていない可能性があります。その場合はケーブルを差し直すか、本機の電源を入れ直してください。	221
	• 本機前面の《D1/D2/D3/D4》ボタンを押して、「D2」以上にしてみてください。	19
	• [画質設定]で[クリアブラック(HDMI)]の明るさを部分的に調整したあと、映像が乱れて表示されるように感じた場合は、[画質設定]を一度[標準に戻す]に戻してください。	98
	• BDZ-EX200にはHDMI出力端子が2系統あります。本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、映像を出力するHDMI出力端子に切り換えてください。	246
	• BDZ-EX200でHDMI AV独立ピュア出力機能を使用するときは、HDMI出力1端子にプロジェクターやテレビをつないでください。	247
本機の**入力端子**につないだ機器の映像が映らない。	• 《入力切換》ボタンを押して、つないでいる入力端子を本体表示窓に表示させてください。 例)音声/映像/ S映像入力端子のときは「LINE」(BDZ-EX200をお使いの場合は「LINE1」、「LINE2」、または「LINE3」)	—
	• 本機のS映像入力端子につないだ場合は、[設定]－[映像設定]－[映像入力]を[S映像]に設定してください。 BDZ-EX200をお使いの場合、本機前面の入力2 S映像端子につないだときは、S映像入力を自動的に判別するため、映像入力の設定は不要です。入力1/3 S映像端子につないだときのみ、[設定]－[映像設定]－[映像入力1]または[映像入力3]を[S映像]に設定してください。	220
[映像設定]の[DVDワイド映像表示]で設定した**映像の形で再生できない。**	• 映像の形が固定されているタイトルを再生しているためで、故障ではありません。	220
画面の**横縦比**がおかしい。	• テレビの横縦比に映像を合わせてください。	289
	• 録画する映像にあった映像サイズを設定してから録画してください。	45
	• 放送や映像によっては、設定に関わらず画面の左右に黒帯が入ることがあります。	—
	• 映画などの場合、設定に関わらず画面の上下に黒帯が入ることがあります。	—
サムネイルが表示されない。	• 動作モード、または録画内容によってはサムネイルを作成できない場合があります。	—

症状	対処のしかた	参照ページ
BDZ-EX200/BDZ-RX100の**HDV1080i/DV入力端子**にデジタルビデオカメラをつないでも映像が表示されない。	• デジタルビデオカメラとの接続に使用しているi.LINKケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。	—
	• つないだデジタルビデオカメラの電源を切り、もう一度入れ直してください。	—
	• 本機の電源を切り、もう一度入れ直してください。	—

テレビの受信

症状	対処のしかた	参照ページ
チャンネル設定連動が働かない。	• テレビで郵便番号設定をしているか確認してください。	—
	• テレビで地上デジタル放送のスキャンをしているか確認してください。	—
	• BDZ-EX200をお使いの場合、本機前面の《HDMI出力切換》ボタンの設定が連動したいテレビ側に設定されているか確認してください。	204、246
本機で受信しているテレビ放送が**映らない。**	• アンテナケーブルをアンテナ入力端子につないでください。	236
	• ［設定］－［放送受信設定］－［地上アナログチャンネル登録］を選び、手動でチャンネルを合わせてください。	216
	• テレビの入力切換ボタンで正しい外部入力を選んでください。または、本機の《チャンネル+ ／－》ボタンで他のテレビ局を選んでください。	—
	• 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られません。変更後のチャンネルに手動で合わせてください。	216
	• 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、［地上デジタル自動チャンネル設定］で［再スキャン］を選んで受信設定してください。	213
	• 地上デジタル放送のチャンネルが増減した場合、チャンネルの再設定が必要になります。電源を入れたときに表示される指示に従って操作してください。	—
本機で受信しているテレビ放送の映像が**汚い。**	• アンテナの向きを調節してください。	—
	• アンテナケーブルをアンテナ入力端子につないでください。	236
	• 映像を手動で微調整してください。	216
	• 本機とテレビを離して設置してください。	—
	• 本機から離してアンテナ線をたばねてください。	—
	• 電波が弱くありませんか？デジタル放送の映像が汚い場合、アンテナレベルを確認してください。アンテナレベルが低いときは、別売りのアンテナブースターで電波信号を増幅してください。	213、215

症状	対処のしかた	参照ページ
テレビチャンネルを**切り換えることができない。**	●「録画1」で録画中(BDZ-RS10では録画中)は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。テレビ側でチャンネルが切り換えられない場合には、テレビの取扱説明書をご覧ください。	—
	● 本機の《入力切換》ボタンを押して映像が映るように入力を地上放送またはBS/110度CSデジタル放送に合わせてください。	—
	● チャンネルをとばすように設定している場合は、《チャンネル+ ／−》ボタンでは選局できません。	213、214、216
	●［地上デジタル自動再スキャン］を［切］に設定している場合、チャンネルが変更された放送は選局できなくなることがあります。［設定］−［放送受信設定］−［地上デジタル自動チャンネル設定］で［初期スキャン］を選び、手動でチャンネルを再設定してください。	213
チャンネルを切り換えたとき映像が出るまで**時間がかかる。**	● 番組表データの受信後、映像が出るまでに時間がかかることがあります。	—
本機につないだ他機で再生・受信している映像が**ゆがむ。**	● 他機で再生や受信している映像に、著作権保護のための信号が含まれています。この場合は、プレーヤーやチューナーなどの機器をテレビに直接つないでください。	—
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が**映らない。**	● BS/110度CS対応アンテナを本機に正しくつないでください。	237
	● BS/110度CS対応アンテナの向きを調整してください。	215
	● BS/110度CS対応アンテナからゴミや雪を取り除いてください。	—
	●［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］に設定していても番組が映らない場合は、BS/110度CS対応アンテナがショートしている可能性があります。本機の電源を入れ直してください。	215
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組が**映らない。**	● B-CASカードを正しく入れてください。	らくらくガイド
WOWOWが映らない。	● 受信契約をしたB-CASカードを入れてください。	らくらくガイド
スター・チャンネルが映らない。	● 受信契約をしたB-CASカードを入れてください。	らくらくガイド
110度CSデジタルの**有料放送**が映らない。	● 受信契約をしたB-CASカードを入れてください。	らくらくガイド
放送局のロゴが表示されない。	● お買い上げ時、本機には地上デジタル放送の各放送局のロゴデータは入っていないため表示されませんが、ロゴを表示したい放送局をしばらく受信していると、自動的にロゴデータが受信され、表示されるようになります。ロゴが表示されるまでの時間は、放送局により異なります。	—

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表が表示されない。	● チャンネルを切り換えて各放送局をひととおり選局してから、番組表を表示してください。	—
	● ケーブルテレビの送信チャンネルが元のチャンネルと異なるときは、手動でチャンネルを設定してください。	215
	● 地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送のアンテナケーブルが正しく接続されているか確認してください。	236
	● ［設定］の［放送受信設定］から［地上デジタル自動チャンネル設定］を選び、チャンネル設定をやり直してください。	213
	● アナログ放送の番組表はありません。	—
番組表に表示されない放送局がある。	● ［地上デジタルチャンネル登録］や［BSデジタルチャンネル登録］、［CSデジタルチャンネル登録］の［＋/－選局］を［選局する］に設定してください。	213、214
	● 番組表データに含まれない放送局は表示されません。	—
番組表が更新されない。	● 更新時の受信状態が悪いと、最新の番組表データを受信できない場合があります。	—
番組表に表示されない番組がある。	● 受信状態が悪いと、一部の番組表データを受信できない場合があります。	—
	● 1時間に複数の番組があると、番組名が表示されず、番組の開始時刻のみ表示されます。《黄》ボタンを押して番組表を拡大表示すると番組名が表示される場合があります。また、開始時刻のみ表示されている欄を選び、⬆⬇を押すと、番組名を見ることができます。	—
間違った放送局名が表示される。	● 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがあります。［設定］－［設定初期化］から［お買い上げ時の状態に設定］を行うと、消すことができます。	233

録画・予約・ダビング

症状	対処のしかた	参照ページ
録画中、テレビのチャンネルを変えられない。	● 「録画1」で録画中（BDZ-RS10では録画中）は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。テレビ側でチャンネルが切り換えられない場合には、テレビの取扱説明書をご覧ください。	—
録画中に■《録画停止》ボタンを押してもすぐに録画が止まらない。	● 録画が止まる前にハードディスクやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。	—
予約したのに録画されていない。	● 自己メールを確認してください。	211、212
	● テレビの番組表からの録画予約は、ネットワーク録画予約のみ可能です（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ）。ネットワーク録画予約しない場合は、必ず本機の番組表から番組を選んで録画予約をしてください。	72
	● 録画中に停電がおきたときは、録画されません。	—
	● 1時間以上の停電があり、時計が止まっているときは時計を合わせ直してください。	224
	● 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれていると、録画されません。	148
	● 後から設定した予約や優先設定、延長設定されている予約がある場合、それらの予約が優先されます。	65

症状	対処のしかた	参照ページ
予約したのに録画されていない。	• デジタル放送の場合、番組が中止になった可能性があります。	—
	• 地上デジタル放送のチャンネルを再設定した後は、録画予約が正しく行われないことがあります。予約を設定し直してください。	—
	• ダビングをしているときは、録画されない場合があります。	—
	• BDに直接録画する場合、BDが入っているか確認してください。	—
	• ハードディスクやBDの残量を確認してください。	193
	• 録画した映像(タイトル)数が上限に達していると録画できません。各メディアの最大タイトル数は以下のとおりです。 – ハードディスク オリジナル+プレイリスト：500タイトル(BDZ-EX200は999タイトル) – BD-R/BD-RE オリジナル+プレイリスト：200タイトル	—
	• 番組を毎回録画するように録画予約しても、番組表に表示される番組名と類似していないと思いどおりの番組が録画されない場合があります。番組表で検索されやすいように番組名を変更してください。確実に録画したいときは、番組表からの録画予約をおすすめします。	63
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100でHDV/DVダビングをしているときは、録画されない場合があります。	—
	• まるごとDVDコピーをしているときは、録画されません。	—
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などに転送中は、「録画1」で録画できません。	—
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で"ウォークマン"や"PSP"、携帯電話などに転送するときに、おでかけ転送用動画ファイルを作成する必要がある場合、「録画2」でも録画できません。	—
	• x-Pict Story HD作成中は、録画されません。	—
	• 思い出ディスクダビング中は、録画されません。	—
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で「録画2」を使って録画中のときは、「スカパー！ HD」対応チューナーを使ったネットワーク録画ができません。	—
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワーク録画予約が正しく設定されたか確認したいときは、チューナーを操作して確認します。詳しくはお使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。	—
	• 視聴年齢制限を超えた番組は録画されません。	227
	• 録画できるディスクか確認してください。	294
	• 契約していない有料チャンネルではなかったか確認してください。	—
	• B-CASカードが入っているか確認してください。	らくらくガイド
予約した内容の先頭が切れている。	• 「スカパー！ HD」対応チューナーで予約した番組をネットワーク経由で録画する場合、[本体設定]の[スタンバイモード]を[高速起動]に設定してください(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)。	225
予約した内容が途中で切れている。	• 後から設定した予約や優先設定、延長設定されている予約がある場合、それらの予約が優先されます。	65
	• デジタル放送の場合、番組が中断された可能性があります。	—
	• 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像が途中から始まったときは、録画されません。	148

症状	対処のしかた	参照ページ
予約した内容が**途中で切れている。**	• ハードディスクやBDの残量を確認してください。	193
	• 録画中に停電がおきたときは、録画されません。	—
	• 録画終了時刻から開始する別の録画予約がある場合、録画内容が途中で切れる場合があります。この場合、前後の録画を「録画1」と「録画2」に分けて予約すると、途切れずに録画できます（BDZ-RS10を除く）。	—
	• 受信状態が悪かった場合も途切れます。	—
本機前面の**録画予約ランプ**が点滅している。	• ハードディスクやBDの残量が足りない場合、本機前面の録画予約ランプが点滅し、録画できません。ハードディスクやBD内の不要なタイトルを消去し、残量を増やしてください。	25、186
以前録画した内容が**なくなっている。**	• 更新録画されているときは、録画予約設定画面の［更新］を［切］に設定してください。	62
	• ハードディスクの容量がなくなると、x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルが自動的に消去されます。	55
録画／ダビングした字幕放送の番組の**字幕を消したい。**	• デジタル放送の字幕放送をDR以外の録画モードで録画やダビングするときに、［設定］－［ビデオ設定］－［字幕焼きこみ］を［切］に設定すると字幕は焼きこまれません。	219
映像や写真の**取り込みができない。**	• ビデオデッキから映像が取り込めない場合、ビデオデッキをつないだ端子に応じて、映像入力を設定してください。	220
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100でHDV/DVダビングする場合、本機の電源を入れてからデジタルビデオカメラをつないでください。	118、125
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100でHDV/DVダビングする場合、デジタルビデオカメラにテープが入っているか確認してください。	—
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100でHDV/DVダビングする場合、デジタルビデオカメラがビデオ再生モードになっているか確認してください。	118、125
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100のHDV1080i/DV入力端子は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）とは信号が異なるため、接続できません。S映像端子または映像・音声端子を使って接続してください。	255
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100でHDV/DVダビングする場合、デジタルビデオカメラのテープに5分以上の無記録部分があると、取り込みは自動的に終了します。HDV機器から取り込む場合、無記録部分は本機に記録されません。DV機器から取り込む場合は記録されます。取り込みをやめるには、リモコンのふたの中の■《録画停止》ボタンを押してください。	118、125
	• BDZ-EX200/BDZ-RX100でHDV/DVダビングが途中で失敗してしまう場合、ホームメニューから［外部入力］の［HDV］または［DV］を選んでビデオカメラの映像を録画してください。	42
	• AVCHDダビングする場合、デジタルハイビジョンビデオカメラがUSBモードになっているか確認してください（ワンタッチディスクダビングの場合を除く）。	117、125
	• デジタルハイビジョンビデオカメラからUSB接続で取り込む場合、記録されたAVCHD方式以外の映像は、本機のハードディスクに取り込めません。	117、125
	• ハードディスクの残量が足りない場合や、ハードディスク内のタイトルがいっぱいの場合は、ハードディスクに取り込めません。ハードディスク内の不要なタイトルを消去し、残量を増やしてください。	186、193
	• 各メディア直下（ルート）を第1階層とした場合、4階層目までに保存したファイルでなければ、取り込むことができません。	124
	• BDやDVDに入っているコピー制御信号が付いた場面は取り込めません。	148

症状	対処のしかた	参照ページ
勝手に録画されている。	• 本機には、お客様の好みを学習し、おすすめの番組を自動で録画する機能があります（自動で録画したタイトルには、☆が付きます）。この機能を解除するには、「おすすめ自動録画の設定を解除するには」をご覧になり、[自動録画]を[切]に設定してください。	57
	• あらかじめ設定したキーワードをもとに自動録画する機能（x-おまかせ・まる録）があります。自動で録画したタイトルには、☆が付きます。この機能を解除するには、「おまかせ条件を変更・取り消すには」をご覧になり、x-おまかせ・まる録の録画条件を削除してください。	57
ディスクを**コピーできない。**	• 「1回だけ録画可能」な映像（デジタル放送）が録画されているディスクは、コピーできません。	148
携帯電話やパソコンで**リモート録画予約**できない。	• リモート録画予約の設定をしてください。	231
	• 本機の電源が「切」のときにリモート録画予約するには、[設定]－[本体設定]－[スタンバイモード]を[高速起動]にします。	225
	• x-Pict Story HD作成中やx-Pict Story HDの映像作成中は、リモート録画予約できません。	—
	• ネットワークに接続されているか確認してください。	230
USB機器を**認識しない。**	• ソニー製デジタルスチルカメラをつなぐ場合、USB接続設定が標準（Mass Storageモード）になっているか確認してください。詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。	—
	• デジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルスチルカメラ、"PSP"、携帯電話をUSBモードに設定してください（ワンタッチディスクダビングの場合を除く）。	254、257、258
	• USBケーブルを正しくつないでいるか確認してください。	254、256 ～ 259
	• 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。 http://www.sony.jp/support/bd/	—
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で**おでかけ転送**ができない。	• "PSP"や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。	—
	• 携帯電話にmicroSDカードが正しく挿入されているか確認してください。	—
	• USBケーブルを正しくつないでください。	256 ～ 259
	• USBケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• "PSP"や携帯電話がUSBモードになっているか確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。	257、258
	• "PSP"のシステムソフトウェアバージョンを4.00以降にしてください。	176
	• BDZ-RX100のメモリーカードスロットに挿入したメモリーカードにはおでかけ転送できません。	—
	• おでかけ転送に対応しているか、お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	• 「録画1」で録画中は、おでかけ転送できません。	—
	• 「録画2」で録画中は、高速転送でのみおでかけ転送できます。	—
	• ダビング中は、おでかけ転送できません。	—
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送する場合は、本機をインターネットにつないでください。	—

症状	対処のしかた	参照ページ
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で**おでかけ転送**ができない。	• アクトビラからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があります。	—
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で**デジタル放送**の映像（タイトル）をおでかけ転送できない。	• デジタル放送のタイトルは、コピー制御信号に対応していない機器には転送できません。おでかけ転送対応機器と転送できる映像の種類が正しいか確認してください。	172
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50でおでかけ転送時に**高速転送**ができない。	• ［おでかけ転送機器］の設定を、実際に転送する機器と合わせた状態で録画してください。	218
	• ［おでかけ転送 高速転送録画］が［切］になっている場合は、［入］に変更してから録画してください。	218
	• 「録画2」で録画されたタイトルは高速転送できません。高速転送する場合は、「録画1」で録画してください。	—
	• 本機のハードディスク内に録画されているタイトルを編集したり、録画モード、映像や音声の信号、おでかけ転送機器の設定を変更したりすると、高速転送できません。	183、218、219
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50で**おかえり転送**ができない。	• "PSP"や"ウォークマン"などデジタル放送の録画タイトルをおでかけ転送できる機種のみ、おかえり転送できます。ただし、携帯電話のタイトルはおかえり転送できません。	172
	• "PSP"や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。	—
	• USBケーブルを正しくつないでください。	256、257、259
	• USBケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• "PSP"がUSBモードになっているか確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。	257
	• 「録画1」で録画中は、おかえり転送ができません。	—
	• おでかけ転送中は、おかえり転送ができません。	—
	• ダビング中は、おかえり転送ができません。	—
	• デジタル放送の映像（タイトル）以外はおかえり転送できません。つないでいる機器にデジタル放送のタイトルが保存されているか確認してください。	177
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルはおかえり転送できません。	—
ダビングできない。	• 映画などの市販ソフトはコピーできません。	155
	• 「録画2」で録画中は、ダビングを開始できません（BDZ-RS10を除く）。	—
	• 録画中は、思い出ディスクダビングができません。	—
	• ダビングするタイトルの合計が12時間を越える場合はダビングできません。ダビングするタイトルを減らしてもう一度ダビングを行ってください。	—
	• 8時間を超えるタイトルはBDやDVDにダビングできません。	—
	• 録画時間の短いタイトルはBDやDVDにダビングできないことがあります。	—
	• 本機で録画したタイトルであっても、BDやDVDにダビングできないことがあります。	—
	• 本機でダビングできるBDやDVDを入れているか確認してください。	294
	• BDやDVDに汚れや傷が付いていないか確認してください。	—

症状	対処のしかた	参照ページ
ダビングできない。	• BDがプロテクト設定されている場合は、解除してください。	194
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルをダビングする場合は、本機をインターネットにつないでください。	—
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があります。	—
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルは、DVDにダビングできません。	—
	• DVD-R DL(2層)やDVD-RAMにはダビングできません。	—
正しくダビングされていない。	• 「1回だけ録画可能」の番組をダビングすると、コピーではなく移動(ムーブ)となり、ハードディスクからは消去されます。	148
	• 再生時間が短いタイトルを録画モード変換ダビングすると、正しくダビングされないことがあります。	153
	• デジタルハイビジョンビデオカメラの映像をBDに正しくダビングできなかった場合は、いったんUSBケーブルを抜いて、もう一度差し込んでからダビングしてください。	156
ダビングしたディスクを他機で再生できない。	• DVD-R/-RW、DVD+R/+RWにダビングした場合、他機で再生するためにはファイナライズが必要です。	151
	• DVD-R/-RWにVRモードでダビングした場合、他機がVRモードでの再生に対応しているか確認してください。	—
「管理情報がいっぱいです」「残量が足りないためダビングできません。」と画面に表示された。	• ダビング先のタイトルを消去してください。	186
	• ダビングするタイトルを減らしてください(ディスクの残量より少なくなるように減らしてください)。	149
	• 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください。	111

再生

症状	対処のしかた	参照ページ
再生が始まらない。	• BDやDVD、CDが入っているか確認してください。	—
	• 録画されているBDやDVDが入っているか確認してください。	—
	• BDやDVD、CDが裏返しに入っていないか確認してください。	—
	• BDやDVD、CDが斜めにずれて入っていないか確認してください。	—
	• CD-ROMなどの再生できないディスクが入っていないか確認してください。	294
	• BDやDVDの地域番号(リージョンコード)が本機で再生できる番号になっているか確認してください。	295
	• 結露が起きているときは、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。	29
	• 他機で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生できません。	295
	• アクトビラからダウンロードしたタイトルを再生する場合は、本機をインターネットにつないでください。	—
再生時の映像が汚い。	• テレビ放送の電波が弱くありませんか?デジタル放送の映像が汚い場合、アンテナレベルを確認してください。アンテナレベルが低いときは、別売りのアンテナブースターで電波信号を増幅してください。	213、215

症状	対処のしかた	参照ページ
再生がハードディスクやBD、DVDの**最初から**始まらない。	• つづき再生になっているときは、タイトル選択時に《オプション》ボタンを押して[始めから再生]を選んでください。	86
	• 自動的にタイトルメニュー、BDまたはDVDメニューの画面が表示されるBDやDVDを入れています。	—
再生が**自動的に**始まる／止まる。	• 自動的に再生が始まるBDやDVDを入れています。	—
	• BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。	—
停止、早送り／早戻し、スロー再生などの**操作が**できない。	• 操作を禁止しているBDやDVDを再生しています。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。	—
音声言語を変更できない。	• 再生しているBDやDVDに複数の言語が記録されているか確認してください。	—
	• そのBDやDVDでは音声言語の切り換えを禁止しています。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
字幕を変更できない。	• 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されているか確認してください。	—
	• そのBDやDVDでは字幕の切り換えを禁止しています。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
	• DRモード以外で録画したタイトルでは変更できません。	—
アングルを変更して見ることができない。	• 再生しているBDやDVDに複数のアングルが記録されているか確認してください。	—
	• 本体表示窓に 🎥（ANGLE）と表示されている場面で、アングルを切り換えてください。	91
	• そのBDやDVDではアングルの切り換えを禁止しています。	—
	• BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。	—
	• DRモード以外で録画したタイトルでは変更できません。	—
タイトルが**表示されない。**	• 「スカパー！ HD」対応チューナーからBDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50に録画したり、アクトビラからダウンロードしたタイトルのうち、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルリストなどに表示されません。視聴年齢制限を解除してください。	167、228
タイトルの**サムネイル**が表示されない。	• 一度再生して停止してください。	—
追いかけ再生できない。	• アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。	—
	• 録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。	—
BD-ROMに含まれる特典映像などが再生できない。	• BD-ROMを取り出して本機の電源を切り、しばらく経ってからもう一度電源を入れてBD-ROMを挿入し直してください。	—
ハードディスクの「残量が足りません」と画面に表示された。	• 「ダウンロードしたBD-LIVEなどのデータを削除する」をご覧になり、データを消去してください。	84

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
音が**出ない。**	• 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。	266
	• 接続ケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、ケーブルを交換してください。	—
	• AVアンプの入力端子を確認してください。	—
	• AVアンプの入力切換で本機の音声が出るようになっているか確認してください。	—
	• 一時停止、スロー再生になっていないか確認してください。	—
	• 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。	—
	• [設定]の[音声設定]で[ドルビーデジタル]、[AAC]または[DTS]を[ダウンミックスPCM]に変更すると音声が出ることがあります。	222、223
HDMI接続したとき、音声が出ない。	• DVI機器の場合、音声は出力されません。	—
	• HDMI出力端子につないだ機器は、音声信号のフォーマットに対応してください。[設定]－[音声設定]－[HDMI音声出力]を[PCM]に設定してください。	222
	• BDZ-EX200にはHDMI出力端子が2系統あります。本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、音声を出力するHDMI出力端子に切り換えてください。	246
	• BDZ-EX200でHDMI AV独立ピュア出力機能を使用するときは、HDMI出力2端子にAVアンプをつないでください。	247
音が**ひずむ。**	• [設定]－[音声設定]－[音声出力ATT]を[入]に設定してください。	222
音が**小さい。**	• DVDによっては、再生時の音量が小さい場合があります。[設定]－[音声設定]－[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがあります。	223
	• [設定]－[音声設定]－[音声出力ATT]を[切]に設定してください。	222
二か国語放送の音声が切り換えられない。	• 二か国語放送(主音声および副音声)の音声をハードディスク(DRモード)、BD(DRモード)以外に記録できません。録画やダビングする前に、[設定]－[ビデオ設定]－[二重音声記録]を[主音声]または[副音声]に設定してください。	218
	• 主音声と副音声の両方を記録するには、ハードディスク(DRモード)やBD(DRモード)に録画／ダビングしてください。	41
	• 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されている場合、アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅してください。	—
	• デジタル音声出力端子にAVアンプをつないでいる場合、ハードディスク、BD、DVD-RW/-R(VRモード)、またはDVD-RAMの音声を切り換えるには、[設定]－[音声設定]－[ドルビーデジタル]または[AAC]を[ダウンミックスPCM]に設定してください。	222、223
	• HDMI出力端子に他機器をつないでいる場合、ハードディスク、BD、DVD-RW/-R(VRモード)、またはDVD-RAMの主音声または副音声を本機のリモコンを使って切り換えるには、[設定]－[音声設定]－[HDMI音声出力]を[PCM]に設定してください。	222
	• 外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声または副音声に切り換えてください。外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声＋副音声に設定したい場合、本機で視聴中に《オプション》ボタンを押して[画音設定]－[音声設定]を選んでから、[外部入力音声]で[二重音声]を選びます。視聴中の主音声または副音声は本機のリモコンの《音声切換》ボタンを押して切り換えることができます。記録する音声は、[設定]－[ビデオ設定]－[二重音声記録]で設定した音声になります。	44、218

編集

症状	対処のしかた	参照ページ
「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。	• 不要なタイトルを消去してください。	186

アクトビラ

症状	対処のしかた	参照ページ
アクトビラを起動できない。	• ネットワークが正しく接続されているか確認してください。	262
アクトビラの映像が乱れる、映らない。	• 利用するネットワークの回線速度を確認してください。「アクトビラ ビデオ・フル」のご利用には、実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。	164
	• 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットのご利用を停止してください。	—
画面上に、ダウンロードに失敗したというエラーが表示される。	• ダウンロード予定のタイトル数が50個を超えている場合は、いくつかダウンロードが完了してから再度行ってください。	167
ダウンロード管理画面にエラーが表示され、本機前面のアクトビラダウンロードランプが点滅している。	• 画面に従って対処してください。	—
ダウンロードが遅い。	• 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットのご利用を停止してください。	—
	• 次のようなネットワークを利用する機能を停止してください。 － BD-LIVEの再生 － ホームサーバー機能（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ） － アクトビラでページを表示、またはアクトビラで映像を再生	—
	• 次のような本機に負担がかかる機能を停止してください。 － x-Pict Story HDの作成 － ダビング － おでかけ転送（BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ） － 録画など	—
ダウンロードしたタイトルが見つからない。	• 視聴年齢制限の設定を確認してください。	167、228
	• 視聴期限が過ぎているため、自動消去された可能性があります。自己メールを確認してください。	211、212

表示

症状	対処のしかた	参照ページ
本機前面の録画予約ランプが点滅している。	• ハードディスクやBDの残量を確認してください。ハードディスクやBDの残量が足りない場合、録画予約ランプが点滅し、録画できません。ハードディスクやBD内の不要なタイトルを消去し、残量を増やしてください。	186、193
	• 本機に録画可能なBDが入っているか確認してください。	294
	• BDが保護（プロテクト）されていないか確認してください。	194

症状	対処のしかた	参照ページ
録画モードが**正しく表示されない。**	• 10分未満の録画やダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがあります。設定した録画モードで録画やダビングはされますが、表示が変わることがあります。	—
本体表示窓に**時計**が表示されない。	• 電源を切っているときは時計は表示されません。[設定] − [本体設定] − [本体表示の明るさ]を[明]または[暗]に設定している場合は、電源を切っているときに↑↓←→または《決定》ボタンを押すと、5秒間時計が表示されます。	224
本体表示窓に**エラーメッセージ『E5001』**が表示されている。	• 本機の内部温度が上昇していることをお知らせするメッセージです。本機を涼しいところに設置し内部温度が上昇しないようにしてください。	—

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンが**働かない。**	• 乾電池を交換してください。	らくらくガイド
	• 乾電池を交換すると、メーカー番号がお買い上げ時の設定に戻る場合があります。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直してください。	208
	• 本体側のリモコンモードのみ変更すると、リモコンで本機を操作できなくなります。リモコン側のリモコンモードを本体側のリモコンモードに合わせてください。	210
	• リモコンを本体に向けて操作してください。	—
	• リモコンを本体に近づけて操作してください。	—
	• リモコンの操作機器切換用ボタンのうち、登録されている機器のボタンを押してください。登録されているテレビを操作する場合は、《TV》ボタンを押します。	206
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のBD対応機器が**同時に動いて**しまった。	• 本機のリモコンモードを変更してください。お買い上げ時は「BD3」になっています。	210
リモコンの数字ボタンでチャンネルを**選ぶことができない**(ソニー製、アイワ製の対応機種を除く)。	• 《チャンネル＋／－》ボタンで選んでください。	—
ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビの一部機種に付属している**マルチリモコン**が働かない。	• [HDMI機器制御]が[入]になっているか確認してください。	225
	• マルチリモコンに本機が正しく登録されているか確認してください。登録できている場合、リモコンのボタンを押すと登録済みの機能ボタン(リモコン上にある)が光ります。ただし、リモコン上のすべてのボタンが効くわけではありませんので、ホームボタンを押すなどして動作するか確認してください(お使いのリモコンの取扱説明書もご覧ください)。	200
	• BDZ-EX200をお使いの場合、HDMI AVピュアに切り換えていると、マルチリモコンが働きません。本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、HDMI出力1/2に切り換えてください。	246
	• マルチリモコンの電池を取り出したり、マルチリモコンを本機に近づけないで登録した場合、正しく登録されない場合があります。	—

その他

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が「切」のときに本機の**ファンなどの動作音**がする。	• 電源「切」時に番組表の番組データを取得する際、本機のファンが動作することがあります。	—
	• [スタンバイモード]が[高速起動]に設定されている場合、電源が「切」のときでもファンが動作し続けることがあります。	225
	• ホームサーバー機能*や「スカパー！ HD」対応チューナーからのネットワーク録画*、リモート録画予約、HDMI機器制御機能(ブラビアリンク)を利用しているときは、電源が「切」でもファンが動作し続けます。 * BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ。	—
	• 本機に挿入したB-CASカードが契約切れや無料視聴期間中の場合、本機が確認のための通信動作を行うため、ファンが動作し続けます。	—
	• ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、ファンが回り続けます。	305
	• 録画中またはダビング中はファンが動作し続けます。	—
	• スカパー！の無料視聴期間サービスを利用している場合、本機のファンが動作することがあります。	—
HDMI機器制御機能が**働かない。**	• [HDMI機器制御]が[入]になっているか確認してください。	225
	• つないだ機器がHDMI機器制御機能に対応していることを確認してください(つないだ機器の取扱説明書をご覧ください)。	—
	• つないだ機器の電源コードやHDMIケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。	—
	• つないだ機器の、HDMI機器制御機能の設定を確認してください(つないだ機器の取扱説明書をご覧ください)。	—
	• AVアンプを通してテレビにつないだ場合に、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電があった場合は、本機の再生映像がテレビに映るようにAVアンプの入力を切り換えてください。次に、本機の[HDMI機器制御]の設定を一度[切]にし、その後[入]に再設定してください(お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください)。	225
	• HDMI機器制御機能について詳しくは、「HDMI機器制御について」をご覧ください。	321
	• HDMI機器制御に対応していないAVアンプを通してテレビにつなぐと、HDMI機器制御機能が正しく働きません。	—
	• BDZ-EX200をお使いの場合、本機前面の《HDMI出力切換》ボタンの設定と、HDMI出力1/2端子の接続が正しいか確認してください。	246
	• BDZ-EX200をお使いの場合、HDMI AVピュアに切り換えていると、HDMI機器制御機能が働きません。本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、HDMI出力1/2に切り換えてください。	246
	• 1台のテレビでHDMI機器制御できる録画機器は3台までです。	—

症状	対処のしかた	参照ページ
ホームサーバー対応の他機器から本機の映像を再生できない。または、他機器から**本機が見つからない**。(BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ)	• [未登録機器一覧]で機器登録をすると、本機の映像を再生できるようになります。	232
	• ホームサーバー機能対応の他機器側で正しく再生されていない場合、機器の取扱説明書をご覧ください。	—
	• 以下の場合は他機器から本機の映像を再生できません。 – 本機の設定を変更しているとき – BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生しているとき – 再生を伴うタイトル編集をしているとき*1 – タイトルダビングをしているとき*2 – まるごとDVDコピーをしているとき – x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中 – x-Pict Story HDを作成しているとき – おでかけ／おかえり転送しているとき – 写真の取り込み中 –「アクトビラ ビデオ」や「アクトビラ ビデオ・フル」を視聴しているとき *1 再生を伴うタイトル編集とは、以下の編集内容のことです。 サムネイル設定、チャプター編集、チャプター消去、A-B消去、タイトル分割、プレイリスト作成 *2 BDZ-EX200/BDZ-RX100でHDV/DVダビングを利用しているときは、他機器で再生できます。	—
	• 本機がホームネットワークに接続されているか確認してください。	230、232
	• DRモード以外で録画したタイトルは、他機器で再生できない場合があります。詳しくはお使いの他機器の取扱説明書をご覧ください。対応機器についてはソニー製品情報のホームページ(http://www.sony.jp/event/DLNA/)をご覧ください。	—
正常に**動作しない**。	• 本機前面の《リセット》ボタンを押してください。本機が再起動します。	—
	• 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って本体表示窓が消灯してから電源コードを抜いてください。しばらく経ってから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。	—
自動的に**再起動**する。	• 本機に不具合が生じたときに、本機が自動的に再起動することがあります。	—
アルファベットと数字で**5桁の番号が**本体表示窓に出ている。	• 自己診断機能が働いています。	283
《開／閉》ボタンを押しても**ディスクトレイ**が開かない。	• BDやDVDに録画やダビング、編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。	—
	• 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数十秒かかることがあります。	—
	• どうしてもディスクトレイが開かないときは、電源を切って電源コードを抜きます。本機前面の《開／閉》ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら《開／閉》ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、本機前面の《リセット》ボタンを押してください。本機が再起動します。	—
電話回線に接続できない。	• 本機は電話回線用無線通信ユニットに対応していません。	—
	• BS/110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。	—

表示窓にアルファベットで始まる表示が出たら（自己診断機能）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号5桁	原因と対策
EXXXX（XXXXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。 ➡ ソニーの相談窓口へお問い合わせください（314ページ）。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E 61 10

本機を再起動するには

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面の《リセット》ボタンを押してください。本機が再起動します。

その他

文字入力のしかた

文字入力画面は、文字を入力する項目を選ぶと表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画した番組（タイトル）の名前を変えるときに使います。

本機は携帯電話のように《1》～《12》の数字ボタンで文字を入力できます。

カラーボタンは次のように使います。

《青》ボタン：押すごとに入力モードを「かな／漢字」➡「カタカナ」➡「英字」➡「数字」➡「かな／漢字」の順で切り換えます。

《赤》ボタン：漢字やカタカナに変換したり、英字や数字を全角または半角に変換します。

《緑》ボタン：かな／漢字入力モードのときに、予測候補を表示します。英字入力モードでは、大文字、小文字を切り換えます。

《黄》ボタン：入力されている文字を確定して、文字入力画面を終了します。

《クリア》ボタン：カーソルの後の1文字を削除します。後に文字がないときは、前の1文字を削除します。ボタンを押し続けると、文字をすべて削除します。

例として、「お父さんのDisc」と入力してみます。

1 《1》ボタンを5回押して、[お]を選ぶ。

入力文字表示エリアに「お」が表示されます。

2 《4》ボタンを5回押して、[と]を選ぶ。

同様にして「う」、「さ」、「ん」、「の」と入力します。

3 《赤》ボタンを押して、変換候補を表示する。

4 変換候補から入力したい文字を選び、《決定》ボタンを押す。

漢字変換された文節が確定します。

5 《青》ボタンを押して、入力モードを英字に切り換える。

英字入力モードに切り換わります。

6 《赤》ボタンを押して、半角モードに切り換える。

全角から半角モードに切り換わります。

7 《3》ボタンを1回押して、[D]を選ぶ。

「D」が表示されます。

8 《緑》ボタンを押して、小文字入力モードに切り換える。

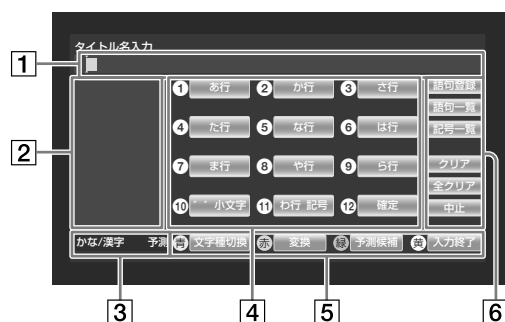
大文字入力から小文字入力モードに切り換わります。

9 《4》ボタンを3回押して、[i]を選ぶ。

同様に[s]、[c]を選んで、入力します。

10 《黄》ボタンを押して、文字入力を終了する。

元の画面に戻ります。

手順1 ～ 10 文字入力画面

1 入力文字表示エリア
入力できる最大文字数は次のとおりです。
ハードディスク、BDに録画したタイトルのタイトル名：全角40文字（半角80文字）
DVDにダビングしたタイトルのタイトル名：全角32文字（半角64文字）
BDディスク名：全角69文字（半角138文字）
DVDディスク名：全角32文字（半角64文字）
キーワード入力：全角10文字（半角20文字）
タイトルのマークの名前：全角20文字（半角40文字）
写真のアルバム名やファイル名：全角16文字（半角32文字）

2 候補パネルエリア
予測変換候補を表示します。変換時は、変換文字を表示します。

3 入力文字／変換モード
入力文字種を表示し、候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

4 文字選択／変換／確定操作欄
リモコンの数字ボタン（《1》～《12》）に対応していて、携帯電話のように数字ボタンで入力できます。

5 機能ボタン（286ページ）

6 画面内操作ボタン
語句登録：入力文字表示エリアに表示されている語句を登録します。
語句一覧：登録してある語句の一覧を表示します。
記号一覧：記号の一覧を表示します。
クリア：カーソルの後の1文字を削除します。後に文字がないときは、前の1文字を削除します。
全クリア：入力した文字をすべて削除します。
中止：文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに入力した文字は記録されません。

ちょっと一言
- 文字入力画面の［記号一覧］から選べる、二（二ヶ国語放送）や字（字幕放送）は、キーワード検索で使用できます。

↑↓←→で文字を入力する

例：［お］を入力する場合

1 ［あ行］を選び、《決定》ボタンを押す。

2 →で［お］を選び、《決定》ボタンを押す。

予測変換機能を使うには

文字入力中、変換された語句が画面左の候補パネルエリアに表示されます。その中から正しい語句を選んで、入力できます。
《緑》［予測候補］ボタンを押し、語句を選んで《決定》ボタンを押します。

連文節の漢字変換について

連文節の文章を漢字変換すると、まず最初の1文節だけ漢字変換されます。文節の区切りを変更するときは、次のように操作します。

1 連文節の文章を入力する。
文字の入力方法について詳しくは、「文字入力のしかた」（286ページ）をご覧ください。

2 ［変換］を選び、《決定》ボタンを押す（または《赤》ボタンを押す）。

3 ←→で文節の長さを調節する。

4 **変換候補から入力したい文字を選び、《決定》ボタンを押す。**

選んだ文節の変換が確定し、次の文節が自動的に漢字変換されます。

文字を挿入するには

入力文字表示エリアにカーソルを動かした後、挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。
数字ボタンまたは⬆⬇⬅➡を使って文字を入力します。
入力時に文字が挿入されます。

文字入力を中止するには

[中止]を選んで《決定》ボタンを押し、確認画面で[はい]を選びます。
入力文字表示エリア内の文字は入力されずに、元の画面に戻ります。

よく利用する語句を登録する

よく利用する語句を登録し、毎回入力する手間を省くことができます。

1 **「文字入力のしかた」(286ページ)の手順1 ～ 4に従って登録したい語句を入力する。**

2 **[語句登録]を選び、《決定》ボタンを押す。**

ちょっと一言

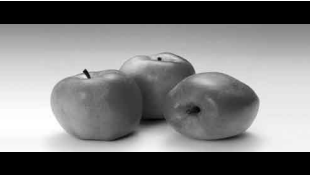
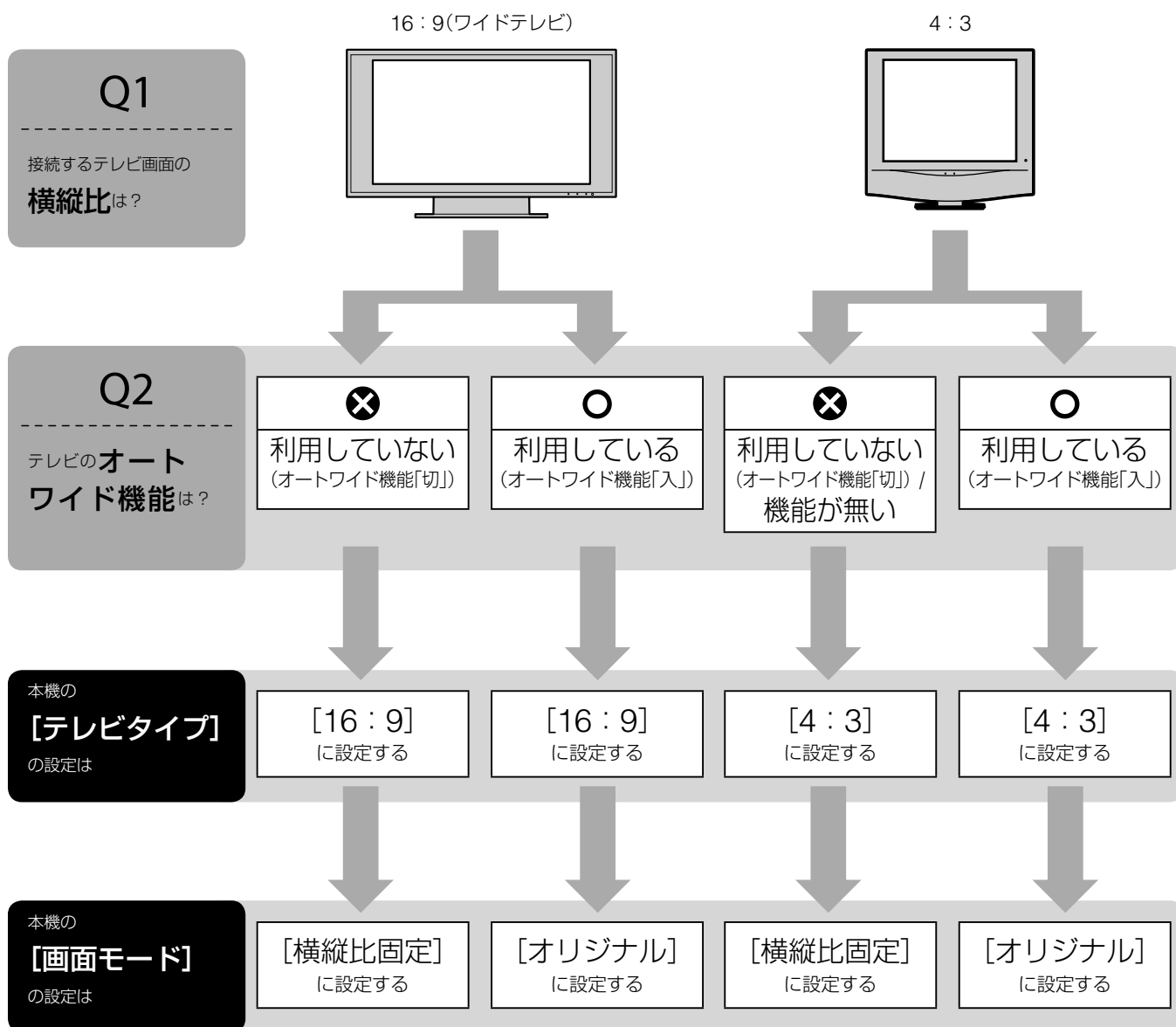
- 登録した語句を削除するには[語句一覧]で[語句削除]を選び、削除したい語句を選んで《決定》ボタンを押し、確認画面で[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 電源コードを抜き差ししたり、再起動(リセット)させたりすると、変換に関する学習データが消去されます。

以下のことはできません

- 21語以上の語句を登録すること。

テレビに表示される画面の横縦比

ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定によって表示のされかたが異なります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧になり、ワイドモードの設定もご覧ください。

本機の設定方法

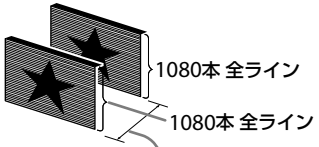
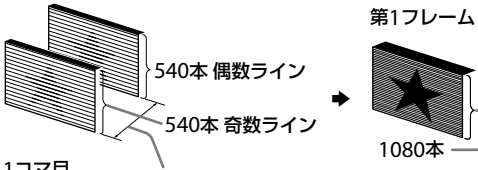
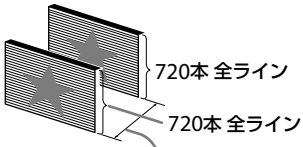
［設定］－［映像設定］－［テレビタイプ］および［画面モード］で設定できます（220ページ）。

その他

16：9のテレビで画面の映像が正しく表示されないときは

映像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）
	映像が上下に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で　[テレビタイプ]を[16：9]に設定します。 テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）
	映像の上下左右に黒帯が付いている	テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）

4：3のテレビで画面の映像が正しく表示されないときは

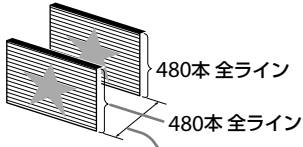
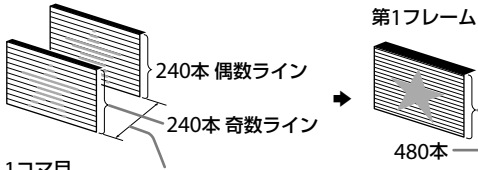
映像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で　[テレビタイプ]を[4：3]に設定します。
	映像が縦長で画面いっぱいに表示されている	本機で　[テレビタイプ]を[4：3]、[画面モード]を[横縦比固定]に設定します。

16：9のテレビで4：3の映像を画面いっぱいに引き伸ばして見たいときは

本機で　[テレビタイプ]を[16：9]、[画面モード]を[オリジナル]に設定します。

テレビで　ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。（放送や映像によってはできない場合があります。）

映像の解像度について

本機から出力できる映像解像度には全部で5種類あります。

ハイビジョン画質HD

映像解像度	説明
1080p (1125p)	2コマ目(第2フレーム) 1080本 全ライン 1080本 全ライン 1コマ目 (第1フレーム) 約1/60秒*、約1/24秒
1080i (1125i)	2コマ目(第2フィールド) 540本 偶数ライン 540本 奇数ライン 1コマ目 (第1フィールド) 約1/60秒 第1フレーム 1080本
720p (750p)	2コマ目(第2フレーム) 720本 全ライン 720本 全ライン 1コマ目 (第1フレーム) 約1/60秒

「i」はインターレース(飛び越し走査)、「p」はプログレッシブ(順次走査)の略。
映像解像度の数字は有効走査線数を示し、( )内は総走査線数で数えたときの別称です。
* BDZ-EX200のみ。

標準画質SD

映像解像度	説明
480p (525p)	2コマ目(第2フレーム) 480本 全ライン 480本 全ライン 1コマ目 (第1フレーム) 約1/60秒
480i (525i)	2コマ目(第2フィールド) 240本 偶数ライン 240本 奇数ライン 1コマ目 (第1フィールド) 約1/60秒 第1フレーム 480本

音声設定と有効な出力端子について

設定項目ごとに、設定が有効になる出力端子が異なります。お使いになる出力端子の種類を確認してください。

設定項目名	ページ	有効な出力端子		
		HDMI出力端子	デジタル音声出力 光／同軸*[1]端子	音声出力端子
画音同期調整	100	○	○	○
アナログ音声フィルター	100	−	−	○
HDMI音声出力	222	○	−	−
BD-ROM HD音声出力	222	○	−	−
音声出力ATT	222	−	−	○
ドルビーデジタル	222	−	○	−
AAC	223	−	○	−
DTS	223	−	○	−
48kHz/96kHz PCM	223	−	○	−
オーディオDRC	223	○*[2]	○*[2]	○
ダウンミックス	223	○*[2]	○*[2]	○
BD音声デジタル出力	223	○	○	−

*[1] BDZ-EX200のみ。
*[2] PCM出力時のみ有効。

ご注意

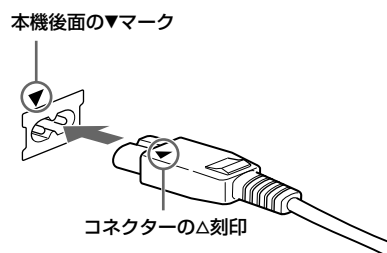
- HDMI出力端子から出力される音声は、接続先機器の仕様により異なります。

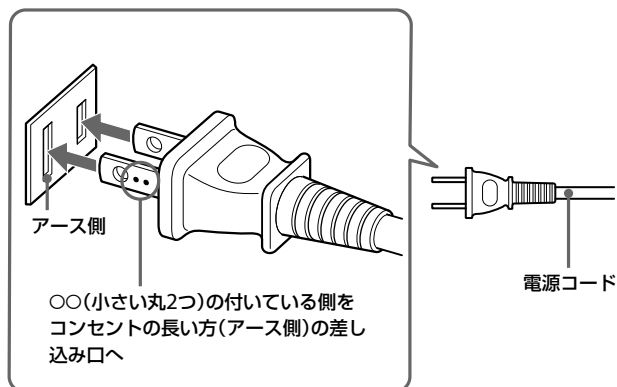
よりよい音質で音声を楽しむには

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	×	×	×	×

本機の電源コードの極性を次のように合わせて接続することで、よりよい音質で音声を楽しめます。

電源入力端子への接続

電源コードのコネクターに∆マークの刻印があります。この刻印が本機後面の電源入力端子に印刷された▼マークと合う向きで電源コードをつないでください。

コンセントへの接続

電源プラグの一方に○○マークの刻印があります。○○が付いている側がコンセントの差し込み口の長い方（アース側）にくるように差し込みます。

ご家庭の電源コンセントによっては、差し込み口の一方が長くなっていないものがありますが、その場合はどちらの向きに差し込んでも問題はありません。

利用できるディスク一覧

本機で録画・再生できるディスク

	ハードディスク（本機内蔵）	12cmにのみ対応							
		BD-RE	BD-R	DVD-RW（VR）	DVD-RW（ビデオ）	DVD-R（VR）	DVD-R（ビデオ）	DVD+RW	DVD+R DVD+R DL（2層）
本機で利用できるバージョン	–	Ver.2.1（1層および2層）に対応した2倍速メディア、Ver.3.0まで	Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.3（1層および2層）に対応した6倍速メディアまで（LTH*[11]は1層のみ対応）	Ver.1.1、Ver.1.1 CPRM、Ver.1.2、Ver.1.2 CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0、Ver.2.0 CPRM、Ver.2.1、Ver.2.1 CPRMに対応した16倍速メディアまで		8倍速メディアまで	16倍速メディアまで（DVD+R DL（2層）は8倍速まで）
最大録画時間	2,022時間（BDZ-EX200）、1,001時間（BDZ-RX100）、490時間（BDZ-RX50）、306時間（BDZ-RX30/BDZ-RS10）	24時間25分（1層）48時間50分（2層）		約6時間*[9]	約6時間*[9]	約6時間*[9]	約6時間*[9]	約6時間*[9]	約6時間*[9]（DVD+R DL（2層）は約10時間51分）
番組の直接録画	○	○	○	×*[9]	×*[9]	×*[9]	×*[9]	×*[9]	×*[9]
デジタル放送の番組の録画またはダビング	○	○	○	○*[9]（要CPRM対応）	×	○*[9]（要CPRM対応）	×	×	×
書き換え	○	○	×	○	○	×	×	○	×
チャプター設定	自動／手動	自動／手動	自動／手動	×	×	×	×	×	×
静止画の保存（取り込み）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二か国語放送の両音声を記録	○*[2]	○*[2]	○*[2]	×	×	×	×	×	×
文字放送の字幕を記録*[1]	○	○	○	○*[9]	○*[9]	○*[9]	○*[9]	○*[9]	○*[9]
16：9の番組・映像を記録	○	○	○	○*[9]	○*[9] *[10]	○*[9]	○*[9] *[10]	×	×
16：9/4：3の番組・映像を混在して記録	○*[3]	○*[3]	○*[3]	○*[9]	×	○*[9]	×	○*[12]	○*[12]
タイトル名入力	○	○*[13]	○*[13]	×	×	×	×	×	×
タイトル消去	○	○*[13]	○*[4] *[13]	×	×	×	×	×	×
A-B消去	○	○*[13]	○*[4] *[13]	×	×	×	×	×	×
タイトル分割	○	○*[13]	○*[13]	×	×	×	×	×	×
タイトル結合	○	○*[13]	○*[13]	×	×	×	×	×	×
プレイリスト作成	○	○*[13]	○*[13]	×	×	×	×	×	×
ディスクの初期化	不要	自動的に初期化	自動的に初期化	ダビング時に初期化*[5]	ダビング時に初期化*[5]	ダビング時に初期化*[5]	ダビング時に初期化*[5]	ダビング時に初期化*[5]	ダビング時に初期化*[5]
録画番組・映像の再生	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静止画（JPEG）の再生	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画・静止画が混在しているとき	記録・再生	記録・再生	記録・再生	再生のみ	再生のみ*[6]	再生のみ	再生のみ*[6]	再生のみ	再生のみ*[6]
静止画のハードディスク→ディスク書き出し	–	○	○	○*[7]	○*[7]	○*[14]	○*[14]	○*[7]	○*[14]
互換性（再生互換）	–	多くのBD機器で再生可能*[8]	多くのBD機器で再生可能*[8]	VRモード対応の機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	-R VRモード対応の機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

*[1] 録画モードがDRモード以外で字幕を記録するときは、[字幕焼きこみ]（219ページ）の設定が必要です。
*[2] 録画モードがDRモードのときのみ。
*[3] 1つのタイトルに16：9/4：3の番組・映像を混在して記録できるのはDRモードのみです。
*[4] タイトルを消去してもディスクに空き容量は発生しません。
*[5] 未使用のDVD-RW/-Rは、ダビング時のモードを選択して初期化します。DVD+RW/+Rは、ダビング時に+VRモードで自動的に初期化します。
*[6] ファイナライズ済みのディスク。
*[7] 静止画をコピーすると、今までに入っていたデータが消去されます。
*[8] DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG4-AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
*[9] ダビングのみできます。録画はできません。
*[10] ダビングモードがLP、EPでは4：3のみ。
*[11] Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式。
*[12] すべてを4：3でダビング。
*[13] BDMVの場合は編集できません。
*[14] 新品ディスクのみ（DVD+R DL（2層）は不可）。

市販品および他機器録画ディスクの再生

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

	市販のBD-ROM	他機による録画 BD-RE BD-R*[1] (1層／2層)	市販のDVDビデオ	他機による録画 DVD-RW (VR／ビデオ)	他機による録画 DVD-R/ DVD-R DL (2層) (VR／ビデオ)	他機による録画 DVD+RW DVD+R/+R DL(2層)	他機による録画 DVD-RAM*[2]	市販のCD*[3]	他機による録画 CD-R/ CD-RW	Super Audio CD
本機への動画保存(取り込み)	×	○*[4]	×	○*[4] *[5]	○*[4] *[5]	○*[4] *[5]	○*[4]	×	×	×
本機への静止画保存(取り込み)	×	○	○	○*[5]	○*[5]	○*[5]	○	○	○*[5]	×
動画の再生	○	○	○	○*[5]	○*[5]	○*[5]	○	×	×	×
音楽の再生(CD-DAのみ)	×	×	×	×	×	×	×	○	○*[5]	CDレイヤーのみ
静止画の再生	○	○	○	○*[5]	○*[5]	○*[5]	○	○	○*[5]	×

*[1] BD-REはVer.2.1、BD-RはVer.1.3、Ver.1.2、またはVer.1.1に対応。ただし、LTH(Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式)は1層のみ対応。
*[2] DVD-RAMは、Ver.2.0、Ver.2.1、Ver.2.2に対応。カートリッジ方式(Type1除く)のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出して使用してください。
*[3] 音楽用のCDのロゴ が付いているもののみ対応。
*[4] 「1回だけ録画可能」の番組は本機へ取り込めません。
*[5] ファイナライズ済みのディスク。

AVCHD方式で録画したディスクの再生について

本機で再生できるAVCHD方式で記録したディスクは次のとおりです。ただし、下表のすべてのディスクを動作保証するものではありません。

DVD-RW	DVD-R/ DVD-R DL (2層)	DVD+RW	DVD+R/ DVD+R DL (2層)	DVD-RAM
○*	○*	○*	○*	×

* ファイナライズ済みのディスク。

ちょっと一言

- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどのくり返し録画可能なディスクやハードディスクで必ず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- Ver.2.1のBD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.3のBD-R(LTH*は1層のみ対応)は、録画・再生・編集・ダビングが可能です。

* Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式。

ご注意

- 本機でダビングしたDVD-RW(VRモード)またはDVD-R(VRモード)は、DVD-RW(VRモード)またはDVD-R(VRモード)対応プレーヤーでのみ再生可能です。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。
- 2層BD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるときに映像・音声が一瞬途切れることがあります。
- 他機で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-R、DVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、DVD-RAM、またはCD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、DVD-RW(VRモード)以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVDは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されない場合があります。
- 本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG4-AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
- パソコンで記録したデータのうち、本機で読み込めないデータは、消去されることがあります。

以下のことはできません

- オリジナルタイトル同士またはプレイリストタイトル同士を結合すること。
- 地域番号(リージョンコード)が「A」を含まないBD-ROMを再生すること。
- 地域番号(リージョンコード)が「2」または「ALL」以外のDVDを再生すること。

- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクを再生すること。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDを再生すること。
- 1枚のDVD-RWまたはDVD-RにVRモードとビデオモードを同時に設定すること。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度初期化してください（149ページ）。ただし、それまでにダビングした内容は消去されます。
  またDVD-R（VRモード／ビデオモード）は再度初期化できません。
- DVD-RW/DVD-R/DVD+RW/DVD+Rを単独で初期化すること。
  ダビング時にのみ初期化が可能です。BD-REは、オプションメニューから単独で初期化が可能です。
- DVDビデオカメラで作成したフォトムービーなどを本機で編集すること。
- DVD-RW/DVD-R/DVD+RW/DVD+R に録画や編集をすること。
  ダビングのみ可能です。
- BDMVのディスクを編集すること。
- 本機で記録していないBDMVのディスクにダビングすること。

利用できるメモリーカード一覧

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
×	○	×	×	×

本機のメモリーカードスロット（挿入口）では、下記のメモリーカードがご使用になれます*1。

メモリカードの種類	動作確認した最大サイズ
"メモリースティック"（マジックゲート非対応）	128 MB
"マジックゲート メモリースティック" *2	128 MB
"メモリースティック"（マジックゲート対応） *2 *3	128 MB
"メモリースティック デュオ"（マジックゲート非対応）	32 MB
"マジックゲート メモリースティック デュオ" *2	128 MB
"メモリースティック デュオ"（マジックゲート対応） *2 *3	128 MB
"メモリースティック PRO" *2 *3	4 GB
"メモリースティック PRO デュオ" *2 *3	8 GB
"メモリースティック PRO-HG デュオ" *6	4 GB
"メモリースティック マイクロ"（"M2"） *2 *3 *4	1 GB
SDメモリーカード *5	2 GB
SDHCメモリーカード *5	32 GB
miniSDカード *4 *5	2 GB
microSDカード *4 *5	2 GB
microSDHCカード *5	8 GB
コンパクトフラッシュ®	8 GB

*1 すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。本機が対応していないメモリーカードを使用した場合の動作は保証いたしません。
*2 マジックゲートを使用したデータの記録や再生はできません。
*3 パラレルデータ転送（高速データ転送）に対応しています。転送速度はご使用のメモリーカードによって異なります。
*4 別売りのアダプターが必要です。
*5 著作権保護機能には対応しておりません。
*6 転送速度は"メモリースティック PRO"と同等です。

動作確認をしたメモリーカードの種類について詳しくは、http://www.sony.jp/support/bd/をご覧ください。

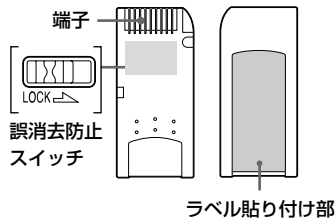
マジックゲートとは

マジックゲートは、ソニーが開発した著作権保護技術です。

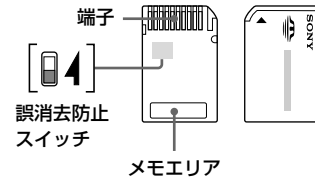
ご注意

- 上記以外のメディアやデバイスを、本機に挿入しないでください。

“メモリースティック”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック” を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- データの記録されている“メモリースティック”をフォーマットすると、記録されていたデータやソフトウェアはすべて消去されます。誤って重要なデータを消去しないようご注意ください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり削除しないようご注意ください。
- 誤消去防止スイッチが付いている“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”の持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

録画モード一覧

ハードディスク／ BDの録画モードと録画可能時間

録画モード		HDDへの録画可能時間*[1](目安)							BDへの録画可能時間*[1](目安)	
		[おでかけ転送 高速転送録画]の設定*[3]						−	BDの種類	
		[切]			[入]			−		
		BDZ-EX200	BDZ-RX100	BDZ-RX50	BDZ-EX200	BDZ-RX100	BDZ-RX50	BDZ-RX30/BDZ-RS10	1層(25GB)	2層(50GB)
DR(デジタル放送画質*[2])										
	地上デジタル(HD)放送録画時	約253時間	約125時間	約61時間	約239時間	約117時間	約56時間	約38時間	約3時間	約6時間
	BS/110度CSデジタル(HD)放送録画時	約179時間	約88時間	約43時間	約172時間	約84時間	約40時間	約27時間	約2時間10分	約4時間20分
	BS/110度CSデジタル(SD)放送録画時	約391時間	約193時間	約94時間	約360時間	約177時間	約85時間	約59時間	約4時間44分	約9時間28分
	HDVの映像取り込み時	約159時間	約78時間	−	約153時間	約75時間	−	−	約1時間55分	約3時間50分
XR(AVC15M)	(高画質)	約264時間	約130時間	約64時間	約249時間	約122時間	約59時間	約40時間	約3時間10分	約6時間20分
XSR(AVC12M)	↑	約337時間	約166時間	約81時間	約313時間	約154時間	約74時間	約51時間	約4時間	約8時間
SR(AVC8M)	(標準)	約505時間	約250時間	約122時間	約455時間	約223時間	約108時間	約76時間	約6時間5分	約12時間10分
LSR(AVC4M)		約1,011時間	約500時間	約245時間	約833時間	約409時間	約197時間	約153時間	約12時間14分	約24時間36分
LR(AVC3M)	↓	約1,435時間	約710時間	約348時間	約1,222時間	約600時間	約290時間	約217時間	約17時間22分	約34時間56分
ER(AVC2M)	(長時間録画)	約2,022時間	約1,001時間	約490時間	約1,626時間	約799時間	約386時間	約306時間	約24時間25分	約48時間50分

*[1] 次のようなときに録画時間が異なることがあります。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
- 編集されたBDに追加して録画する場合
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合
- 動きの激しい動画を録画した場合

*[2] デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。また、「録画2」へは、DRモードでのみ録画できます（BDZ-RS10を除く）。

*[3] [おでかけ転送 録画モード]が[自動]に設定されているときの録画可能時間（BDZ-RX30/BDZ-RS10を除く）。

ハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード		DVDへの記録可能時間*(目安)	
		DVDの種類	
		DVD+R DL(2層)以外	DVD+R DL(2層)
XP	(高画質)	約1時間	約1時間48分
XSP	↑	約1時間30分	約2時間42分
SP	(標準)	約2時間	約3時間37分
LSP		約2時間30分	約4時間31分
LP	↓	約4時間	約7時間14分
EP	(長時間録画)	約6時間	約10時間51分

* 次のようなときに記録時間が異なることがあります（XSP ～ EPのみ対象）。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合
- 編集されたDVDに追加してダビングする場合
- 静止画像や音声のみのタイトルをダビングした場合

299ページの表の数値は目安です。記録する内容によって変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（長時間録画のモードでは、特にその差が著しくなります。）残量に余裕がある状態で記録してください。

- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なるため、残量表示は、地上デジタル放送（17Mbps時）またはBS/110度CSデジタル（HD）放送（24Mbps時）として計算されます。そのため、実際の残量と異なる場合があります。

ハードディスクからBDへの高速ダビング所要時間一覧（60分番組の場合）*[1]

録画モード		BD-RE（2倍速メディア使用時）		BD-R（6倍速メディア使用時）*[3]	
		ダビング倍速	ダビング所要時間	ダビング倍速	ダビング所要時間
DR	地上デジタル（HD）放送	約4.1倍速	約14分30秒	約11倍速	約5分05秒
	BS/110度CSデジタル（HD）放送	約2.9倍速	約20分25秒	約8.3倍速	約7分10秒
	標準テレビ信号（SD）放送	約6.3倍速	約9分25秒	約18倍速	約3分20秒
	HDV*[2]	約2.6倍速	約22分55秒	約7.5倍速	約8分00秒
XR	（高画質）	約4.2倍速	約14分05秒	約12倍速	約4分55秒
XSR	↑	約5.4倍速	約11分00秒	約15倍速	約3分50秒
SR	（標準）	約8倍速	約7分25秒	約23倍速	約2分35秒
LSR		約15倍速	約3分50秒	約45倍速	約1分20秒
LR	↓	約21倍速	約2分45秒	約60倍速	約1分00秒
ER	（長時間録画）	約31倍速	約1分55秒	約80倍速	約45秒

*[1] 表中の速度・所要時間は目安です。実際には、ディスク管理情報の作成時間も加わります。

*[2] BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ。

*[3] ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間や速度が変わります。

ハードディスク／ BDの録画モードと記録されるデータ

録画モード		放送番組の情報				
		映像	映像横縦比	音声	二重音声	字幕データ
DR	地上デジタル（HD）放送 BS/110度CSデジタル（HD）放送 標準テレビ信号（SD）放送 HDV*[1]	HD/SD ／混在	16：9/4：3 ／混在	5.1ch/2ch ／混在	二重音声	字幕データ
XR	（高画質）	HD/SD	16：9/4：3 *[2]	5.1ch/2ch	主または副 *[3]	字幕焼きこみ可能 *[4]
XSR	↑	HD/SD	16：9/4：3 *[2]	5.1ch/2ch	主または副 *[3]	字幕焼きこみ可能 *[4]
SR	（標準）	HD/SD	16：9/4：3 *[2]	5.1ch/2ch	主または副 *[3]	字幕焼きこみ可能 *[4]
LSR		HD/SD	16：9/4：3 *[2]	5.1ch/2ch	主または副 *[3]	字幕焼きこみ可能 *[4]
LR	↓	HD/SD	16：9/4：3 *[2]	5.1ch/2ch	主または副 *[3]	字幕焼きこみ可能 *[4]
ER	（長時間録画）	SD	16：9/4：3 *[2]	2ch	主または副 *[3]	字幕焼きこみ可能 *[4]

*[1] BDZ-EX200/BDZ-RX100のみ。

*[2] HDの場合には、16：9のみ。

*[3] ［設定］－［ビデオ設定］－［二重音声記録］にて設定した音声（主音声または副音声）のみが記録されます（218ページ）。

*[4] ［設定］－［ビデオ設定］－［字幕焼きこみ］の設定を［入］にすると、字幕を映像の一部として焼きこむことができます（219ページ）。

言語コード一覧

詳しくは、226ページをご覧ください。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Belarusian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese

コード	言語
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese

コード	言語
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi

コード	言語
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua

コード	言語
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance

コード	言語
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

言語名表記はISO639：1988(E/F)に準拠

地域・放送局一覧

地上アナログ放送の放送局とチャンネルの一覧です。
放送局名は、本機の画面に表示される名称と異なる場合があります。

都道府県	地域名	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル
北海道	札幌	HBC	1	1
		NHK総合	3	3
		STV	5	5
		NHK教育	12	12
		TVh	17	17
		UHB	27	27
		HTB	35	35
	小樽	NHK教育	2	2
		HTB	4	4
		STV	7	7
		HBC	9	9
		NHK総合	11	11
		TVh	24	24
		UHB	26	26
	旭川	NHK教育	2	2
		STV	7	7
		NHK総合	9	9
		HBC	11	11
		TVh	33	33
		UHB	37	37
		HTB	39	39
	名寄	NHK総合	4	4
		STV	6	6
		HBC	10	10
		NHK教育	12	12
		HTB	24	24
		UHB	26	26
		TVh	33	33
	稚内	HBC	10	10
		STV	22	22
		HTB	24	24
		UHB	26	26
		NHK総合	28	28
		NHK教育	30	30
	室蘭	NHK教育	2	2
		STV	7	7
		NHK総合	9	9
		HBC	11	11
		TVh	29	29
		UHB	37	37
		HTB	39	39
	苫小牧	TVh	47	47
		NHK教育	49	49
		NHK総合	51	51
		UHB	53	53
		HBC	55	55
		STV	57	57
		HTB	61	61
	函館	NHK総合	4	4
		HBC	6	6
		NHK教育	10	10
		STV	12	12
		TVh	21	21
		UHB	27	27
		HTB	35	35
	帯広	NHK総合	4	4
		HBC	6	6
		STV	10	10
		NHK教育	12	12
		UHB	32	32
		HTB	34	34
	釧路	NHK教育	2	2
		STV	7	7
		NHK総合	9	9
		HBC	11	11
		HTB	39	39
		UHB	41	41
	網走	HBC	1	1
		NHK総合	3	3
		STV	5	5
		NHK教育	12	12
		UHB	27	27
		HTB	35	35
	北見	NHK教育	2	2
		STV	7	7
		NHK総合	9	9
		HBC	53	53
		UHB	59	59
		HTB	61	61
青森	青森	青森放送	1	1
		NHK総合	3	3
		NHK教育	5	5
		青森朝日	34	34
		青森テレビ	38	38
	八戸	NHK教育	7	7
		NHK総合	9	9
		青森放送	11	11
		青森朝日	31	31
		青森テレビ	33	33
	むつ	NHK総合	4	4
		青森放送	10	10
		NHK教育	12	12
		青森朝日	56	56
		青森テレビ	58	58
岩手	盛岡	NHK総合	4	4
		IBC	6	6
		NHK教育	8	8
		IAT	31	31
		めんこい	33	33
		テレビ岩手	35	35
	釜石	NHK総合	2	2
		IBC	10	10
		NHK教育	12	12
		テレビ岩手	58	58
		めんこい	60	60
		IAT	62	62
	二戸	IBC	2	2
		NHK総合	5	5
		NHK教育	12	12
		IAT	27	27
		めんこい	29	29
		テレビ岩手	37	37
宮城	仙台	TBC	1	1
		NHK総合	3	3
		NHK教育	5	5
		仙台放送	12	12
		東日本放送	32	32
		宮城テレビ	34	34
	石巻	TBC	1	59
		NHK総合	3	51
		NHK教育	5	49
		仙台放送	12	57
		東日本放送	32	61
		宮城テレビ	34	55
	気仙沼	NHK総合	2	2
		TBC	4	4
		仙台放送	6	6
		NHK教育	10	10
		宮城テレビ	37	37
		東日本放送	43	43
秋田	秋田	NHK教育	2	2
		NHK総合	9	9
		秋田放送	11	11
		秋田朝日	31	31
		秋田テレビ	37	37
	大館	NHK総合	4	4
		秋田放送	6	6
		NHK教育	8	8
		秋田テレビ	57	57
		秋田朝日	59	59
	大曲	秋田朝日	41	41
		NHK教育	43	43
		NHK総合	45	45
		秋田放送	47	47
		秋田テレビ	51	51
山形	山形	NHK教育	4	4
		NHK総合	8	8
		山形放送	10	10
		SAY	30	30
		TUY	36	36
		山形テレビ	38	38
	鶴岡	山形放送	1	1
		NHK総合	3	3
		NHK教育	6	6
		TUY	22	22
		SAY	24	24
		山形テレビ	39	39
山形	米沢	NHK教育	50	50
		NHK総合	52	52
		山形放送	54	54
		TUY	56	56
		山形テレビ	58	58
		SAY	60	60
福島	福島	NHK教育	2	2
		NHK総合	9	9
		福島テレビ	11	11
		TUF	31	31
		福島中央TV	33	33
		福島放送	35	35
	いわき	NHK総合	4	4
		福島テレビ	8	8
		NHK教育	10	10
		TUF	32	62
		福島中央TV	34	58
		福島放送	36	60
	いわき勿来	NHK総合	4	4
		福島テレビ	8	8
		NHK教育	10	10
		TUF	32	32
		福島中央TV	34	34
		福島放送	36	36
	会津若松	NHK総合	1	1
		NHK教育	3	3
		福島テレビ	6	6
		福島中央TV	37	37
		福島放送	41	41
		TUF	47	47
茨城	水戸	NHK総合	1	44
		NHK教育	3	46
		日本テレビ	4	42
		TBS	6	40
		フジテレビ	8	38
		テレビ朝日	10	36
		テレビ東京	12	32
	日立	NHK総合	1	52
		NHK教育	3	50
		日本テレビ	4	54
		TBS	6	56
		フジテレビ	8	58
		テレビ朝日	10	60
		テレビ東京	12	62
		MXTV	14	14
		チバテレビ	39	39
栃木	宇都宮	NHK総合	1	51
		NHK教育	3	49
		日本テレビ	4	53
		TBS	6	55
		フジテレビ	8	57
		テレビ朝日	10	41
		テレビ東京	12	44
		とちぎTV	31	31
	矢板	NHK総合	1	40
		NHK教育	3	30
		日本テレビ	4	36
		TBS	6	42
		フジテレビ	8	45
		テレビ朝日	10	59
		テレビ東京	12	61
		MXTV	14	14
		とちぎTV	33	33
群馬	前橋	NHK総合	1	52
		NHK教育	3	50
		日本テレビ	4	54
		TBS	6	56
		フジテレビ	8	58
		テレビ朝日	10	60
		テレビ東京	12	62
		群馬テレビ	48	48
	桐生	NHK総合	1	51
		NHK教育	3	57
		日本テレビ	4	53
		TBS	6	55
		フジテレビ	8	35
		テレビ朝日	10	59
		テレビ東京	12	61
		群馬テレビ	48	41
埼玉	さいたま	NHK総合	1	1
		NHK教育	3	3
		日本テレビ	4	4
		TBS	6	6
		フジテレビ	8	8
		テレビ朝日	10	10
		テレビ東京	12	12
		MXTV	14	14
		テレ玉	38	38
		チバテレビ	46	46
		群馬テレビ	48	48
	熊谷	NHK総合	1	51
		NHK教育	3	35
		日本テレビ	4	53
		TBS	6	55
		フジテレビ	8	57
		テレビ朝日	10	59
		テレビ東京	12	61
		テレ玉	38	30
		群馬テレビ	48	48
	秩父	NHK総合	14	14
		日本テレビ	16	16
		TBS	18	18
		フジテレビ	29	29
		テレビ朝日	38	38
		テレビ東京	44	44
		テレ玉	47	47
		NHK教育	49	49
千葉	千葉	NHK総合	1	1
		NHK教育	3	3
		日本テレビ	4	4
		TBS	6	6
		フジテレビ	8	8
		テレビ朝日	10	10
		テレビ東京	12	12
		MXTV	14	14
		テレ玉	38	38
		tvk	42	42
		チバテレビ	46	46
	東金	NHK総合	1	35
		NHK教育	3	38
		日本テレビ	4	4
		TBS	6	6
		フジテレビ	8	8
		テレビ朝日	10	10
		テレビ東京	12	12
		チバテレビ	46	31
	銚子	NHK総合	1	51
		NHK教育	3	49
		日本テレビ	4	53
		TBS	6	55
		フジテレビ	8	57
		テレビ朝日	10	59
		テレビ東京	12	61
		tvk	42	42
		チバテレビ	46	39
東京	東京23区	NHK総合	1	1
		NHK教育	3	3
		日本テレビ	4	4
		TBS	6	6
		フジテレビ	8	8
		テレビ朝日	10	10
		テレビ東京	12	12
		MXTV	14	14
		テレ玉	38	38
		tvk	42	42
		チバテレビ	46	46
	八王子	NHK総合	1	33
		NHK教育	3	29
		日本テレビ	4	35
		TBS	6	37
		フジテレビ	8	31
		テレビ朝日	10	45
		テレビ東京	12	62
		MXTV	14	40
		テレ玉	38	38
		tvk	42	42
		チバテレビ	46	46

都道府県	地域名	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル
東京	多摩	NHK総合	1	49
		NHK教育	3	47
		日本テレビ	4	51
		TBS	6	53
		フジテレビ	8	55
		テレビ朝日	10	57
		テレビ東京	12	59
		MXTV	14	61
		テレ玉	38	38
		tvk	42	42
		チバテレビ	46	46
神奈川	横浜1	NHK総合	1	52
		NHK教育	3	50
		日本テレビ	4	54
		TBS	6	56
		フジテレビ	8	58
		テレビ朝日	10	60
		テレビ東京	12	62
		MXTV	14	14
		tvk	42	48
	横浜2	NHK総合	1	1
		NHK教育	3	3
		日本テレビ	4	4
		TBS	6	6
		フジテレビ	8	8
		テレビ朝日	10	10
		テレビ東京	12	12
		MXテレビ	14	14
		tvk	42	42

「横浜1」、「横浜2」について
NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。
わからない場合は「横浜2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「横浜1」を選び直してください。

都道府県	地域名	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル
神奈川	平塚	NHK総合	1	33
		NHK教育	3	29
		日本テレビ	4	35
		TBS	6	37
		フジテレビ	8	39
		テレビ朝日	10	41
		テレビ東京	12	43
		MXTV	14	14
		tvk	42	31
	秦野	NHK総合	1	47
		NHK教育	3	49
		日本テレビ	4	51
		TBS	6	53
		フジテレビ	8	55
		テレビ朝日	10	57
		テレビ東京	12	59
		MXTV	14	14
		tvk	42	61
	小田原	NHK総合	1	52
		NHK教育	3	50
		日本テレビ	4	54
		TBS	6	56
		フジテレビ	8	58
		テレビ朝日	10	60
		テレビ東京	12	62
		MXTV	14	14
		tvk	42	46
山梨	甲府	NHK総合	1	1
		NHK教育	3	3
		山梨放送	5	5
		UTY	37	37
長野	長野1	NHK総合	2	44
		NHK教育	9	46
		テレビ信州	40	40
		長野放送	42	42
		SBC	48	48
		長野朝日	50	50
	長野2	NHK総合	2	2
		NHK教育	9	9
		SBC	11	11
		長野朝日	20	20
		テレビ信州	30	30
		長野放送	38	38

「長野1」、「長野2」について
NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」、それ以外の方は「長野2」を選んでください。
わからない場合は「長野2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域名	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル
長野	松本	SBC	40	40
		長野放送	42	42
		NHK総合	44	44
		NHK教育	46	46
		テレビ信州	48	48
		長野朝日	50	50
	飯田	NHK教育	3	3
		NHK総合	4	4
		SBC	6	6
		長野放送	40	40
		テレビ信州	42	42
		長野朝日	44	44
	岡谷・諏訪	NHK総合	4	4
		SBC	6	6
		NHK教育	8	8
		長野放送	47	47
		テレビ信州	59	59
		長野朝日	61	61
新潟	新潟	BSN	5	5
		NHK総合	8	8
		NHK教育	12	12
		テレビ21	21	21
		テレビ新潟	29	29
		新潟総合TV	35	35
	上越	NHK教育	1	1
		NHK総合	3	3
		BSN	10	10
		テレビ新潟	27	27
		新潟総合TV	33	33
		テレビ21	37	37
富山	富山	北日本放送	1	1
		NHK総合	3	3
		NHK教育	10	10
		チューリップ	32	32
		富山テレビ	34	34
	高岡	チューリップ	42	42
		富山テレビ	44	44
		NHK教育	46	46
		NHK総合	48	48
		北日本放送	50	50
石川	金沢	NHK総合	4	4
		北陸放送	6	6
		NHK教育	8	8
		北陸朝日	25	25
		テレビ金沢	33	33
		石川テレビ	37	37
	七尾	NHK教育	5	5
		NHK総合	9	9
		北陸放送	11	11
		石川テレビ	55	55
		テレビ金沢	57	57
		北陸朝日	59	59
福井	福井	NHK教育	3	3
		NHK総合	9	9
		福井放送	11	11
		福井テレビ	39	39
	敦賀	NHK総合	6	6
		福井放送	8	8
		NHK教育	12	12
		福井テレビ	38	38
岐阜	岐阜	東海テレビ	1	1
		NHK総合	3	39
		CBC	5	5
		NHK教育	9	9
		メ～テレ	11	11
		テレビ愛知	25	25
		三重テレビ	33	33
		中京テレビ	35	35
		岐阜放送	37	37

都道府県	地域名	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル
岐阜	各務原	東海テレビ	1	1
		NHK総合	3	3
		CBC	5	5
		NHK教育	9	9
		メ～テレ	11	11
		テレビ愛知	25	25
		中京テレビ	35	35
		岐阜放送	41	41
	高山	NHK教育	2	2
		NHK総合	4	4
		CBC	6	6
		東海テレビ	8	8
		メ～テレ	12	12
		中京テレビ	26	26
		岐阜放送	38	38
	中津川	NHK総合	4	4
		メ～テレ	6	6
		CBC	8	8
		東海テレビ	10	10
		NHK教育	12	12
		中京テレビ	26	26
		岐阜放送	28	28
静岡	静岡	NHK教育	2	2
		NHK総合	9	9
		静岡放送	11	11
		静岡第一	31	31
		朝日テレビ	33	33
		テレビ静岡	35	35
	浜松	NHK総合	4	4
		静岡放送	6	6
		NHK教育	8	8
		朝日テレビ	28	28
		静岡第一	30	30
		テレビ静岡	34	34
	富士	静岡第一	27	27
		朝日テレビ	29	29
		テレビ静岡	39	39
		静岡放送	41	41
		NHK総合	52	52
		NHK教育	54	54
	三島・沼津	NHK教育	51	51
		NHK総合	53	53
		静岡放送	55	55
		朝日テレビ	57	57
		テレビ静岡	59	59
		静岡第一	61	61
	島田	静岡第一	48	48
		朝日テレビ	50	50
		NHK教育	54	54
		NHK総合	56	56
		テレビ静岡	58	58
		静岡放送	62	62
	藤枝	静岡第一	24	24
		朝日テレビ	26	26
		テレビ静岡	38	38
		静岡放送	40	40
		NHK総合	42	42
		NHK教育	44	44
愛知	名古屋	東海テレビ	1	1
		NHK総合	3	3
		CBC	5	5
		NHK教育	9	9
		メ～テレ	11	11
		テレビ愛知	25	25
		三重テレビ	33	33
		中京テレビ	35	35
		岐阜放送	37	37
	豊橋	三重テレビ	33	33
		岐阜放送	37	37
		NHK教育	50	50
		テレビ愛知	52	52
		NHK総合	54	54
		東海テレビ	56	56
		中京テレビ	58	58
		メ～テレ	60	60
		CBC	62	62
	豊田	三重テレビ	33	33
		岐阜放送	37	37
		テレビ愛知	49	49
		NHK教育	51	51
		NHK総合	53	53
		CBC	55	55
		東海テレビ	57	57
		中京テレビ	59	59
		メ～テレ	61	61

都道府県	地域名	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル
三重	津	東海テレビ	1	1
		CBC	5	5
		NHK教育	9	9
		メ～テレ	11	11
		テレビ愛知	25	25
		NHK総合	31	31
		三重テレビ	33	33
		中京テレビ	35	35
	伊勢	東海テレビ	1	57
		CBC	5	55
		NHK教育	9	49
		メ～テレ	11	61
		テレビ愛知	25	25
		NHK総合	31	53
		三重テレビ	33	59
		中京テレビ	35	47
	名張	テレビ愛知	25	25
		NHK教育	50	50
		NHK総合	52	52
		中京テレビ	54	54
		メ～テレ	56	56
		三重テレビ	58	58
		CBC	60	60
		東海テレビ	62	62
滋賀	大津	NHK総合	2	28
		毎日放送	4	36
		朝日放送	6	38
		関西テレビ	8	40
		読売テレビ	10	42
		NHK教育	12	46
		びわ湖放送	30	30
		京都テレビ	34	34
	彦根	NHK総合	2	52
		毎日放送	4	54
		朝日放送	6	58
		関西テレビ	8	60
		読売テレビ	10	62
		NHK教育	12	50
		京都テレビ	34	34
		びわ湖放送	56	56
京都	京都	NHK総合	2	32
		毎日放送	4	4
		朝日放送	6	6
		関西テレビ	8	8
		読売テレビ	10	10
		NHK教育	12	12
		テレビ大阪	19	19
		京都テレビ	34	34
	山科	NHK総合	2	38
		毎日放送	4	54
		朝日放送	6	56
		関西テレビ	8	58
		読売テレビ	10	60
		NHK教育	12	50
		テレビ大阪	19	19
		京都テレビ	34	40
	舞鶴	NHK教育	49	49
		NHK総合	51	51
		毎日放送	53	53
		朝日放送	55	55
		京都テレビ	57	57
		関西テレビ	59	59
		読売テレビ	61	61
	福知山	NHK総合	50	50
		NHK教育	52	52
		毎日放送	54	54
		京都テレビ	56	56
		朝日放送	58	58
		関西テレビ	60	60
		読売テレビ	62	62
大阪	大阪	NHK総合	2	2
		毎日放送	4	4
		朝日放送	6	6
		関西テレビ	8	8
		読売テレビ	10	10
		NHK教育	12	12
		テレビ大阪	19	19
		京都テレビ	34	34
		サンテレビ	36	36

都道府県	地域名	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル
兵庫	神戸	NHK総合	2	2
		毎日放送	4	4
		朝日放送	6	6
		関西テレビ	8	8
		読売テレビ	10	10
		NHK教育	12	12
		テレビ大阪	19	19
		サンテレビ	36	36
	神戸灘	テレビ大阪	19	19
		NHK教育	50	50
		NHK総合	52	52
		毎日放送	54	54
		朝日放送	56	56
		関西テレビ	58	58
		読売テレビ	60	60
		サンテレビ	62	62
	川西	NHK総合	2	29
		サンテレビ	3	33
		毎日放送	4	35
		朝日放送	6	37
		関西テレビ	8	39
		読売テレビ	10	41
		NHK教育	12	31
		テレビ大阪	19	19
	三木	NHK総合	2	44
		サンテレビ	3	55
		毎日放送	4	34
		朝日放送	6	38
		関西テレビ	8	40
		読売テレビ	10	42
		NHK教育	12	46
		テレビ大阪	19	19
	姫路	NHK総合	2	50
		サンテレビ	3	56
		毎日放送	4	54
		朝日放送	6	58
		関西テレビ	8	60
		読売テレビ	10	62
		NHK教育	12	52
		テレビ大阪	19	19
	明石	NHK総合	2	51
		サンテレビ	3	55
		毎日放送	4	53
		朝日放送	6	57
		関西テレビ	8	59
		読売テレビ	10	61
		NHK教育	12	49
	長田	NHK総合	2	44
		サンテレビ	3	34
		毎日放送	4	38
		朝日放送	6	40
		関西テレビ	8	42
		読売テレビ	10	48
		NHK教育	12	46
奈良	奈良	NHK総合	2	2
		毎日放送	4	4
		朝日放送	6	6
		関西テレビ	8	8
		読売テレビ	10	10
		NHK教育	12	12
		京都テレビ	34	34
		奈良テレビ	55	55
	五條	毎日放送	33	33
		朝日放送	35	35
		関西テレビ	37	37
		読売テレビ	39	39
		奈良テレビ	41	41
		NHK総合	43	43
		NHK教育	45	45
和歌山	和歌山	NHK総合	2	32
		毎日放送	4	42
		朝日放送	6	44
		関西テレビ	8	46
		読売テレビ	10	48
		NHK教育	12	25
		TV和歌山	30	30
	海南・田辺	NHK総合	2	50
		毎日放送	4	54
		朝日放送	6	58
		関西テレビ	8	60
		読売テレビ	10	62
		NHK教育	12	52
		TV和歌山	56	56
鳥取	鳥取	日本海TV	1	1
		NHK総合	3	3
		NHK教育	4	4
		BSS	22	22
		山陰中央	24	24
	米子	NHK総合(島根)	6	6
		BSS	10	10
		NHK教育	12	12
		日本海TV	30	30
		NHK総合(鳥取)	32	32
		山陰中央	34	34
島根	松江	NHK総合	6	6
		BSS	10	10
		NHK教育	12	12
		日本海TV	30	30
		山陰中央	34	34
	浜田	NHK総合	2	2
		BSS	5	5
		NHK教育	9	9
		日本海TV	54	54
		山陰中央	58	58
岡山	岡山	NHK教育	3	3
		NHK総合	5	5
		西日本放送	9	9
		RSK	11	11
		TVせとうち	23	23
		KSB	25	25
		OHK	35	35
	津山	NHK総合	2	2
		RSK	7	7
		NHK教育	12	12
		TVせとうち	56	56
		西日本放送	58	58
		OHK	60	60
		KSB	62	62
	笠岡	NHK総合	2	2
		NHK教育	4	4
		RSK	6	6
		TVせとうち	22	22
		西日本放送	34	34
		KSB	55	55
		OHK	60	60
広島	広島	NHK総合	3	3
		RCC	4	4
		NHK教育	7	7
		広島テレビ	12	12
		TSS	31	31
		広島ホーム	35	35
	福山	NHK教育	3	3
		NHK総合	5	5
		RCC	7	7
		広島テレビ	11	11
		TSS	54	54
		広島ホーム	57	57
	尾道	NHK総合	1	1
		NHK教育	7	7
		RCC	10	10
		広島テレビ	12	12
		広島ホーム	24	24
		TSS	26	26
	呉	NHK教育	1	1
		広島テレビ	5	5
		RCC	9	9
		NHK総合	11	11
		広島ホーム	24	24
		TSS	26	26
山口	山口	NHK教育	1	1
		NHK総合	9	9
		山口放送	11	11
		山口朝日	28	28
		テレビ山口	38	38
	下関	山口放送	4	4
		山口朝日	21	21
		テレビ山口	33	33
		NHK総合	39	39
		NHK教育	41	41
	宇部	山口放送	4	61
		NHK総合	6	58
		NHK教育	12	55
		山口朝日	21	24
		テレビ山口	33	44
	岩国	NHK教育	1	1
		NHK総合	9	9
		山口放送	11	11
		テレビ山口	22	62
		山口朝日	28	28
徳島	徳島	四国放送	1	1
		NHK総合	3	3
		毎日放送	4	4
		朝日放送	6	6
		関西テレビ	8	8
		読売テレビ	10	10
		NHK教育	12	12
		テレビ大阪	19	19
		サンテレビ	36	36
		TV和歌山	55	55
香川	高松	西日本放送	9	41
		TVせとうち	19	19
		RSK	29	29
		OHK	31	31
		KSB	33	33
		NHK総合	37	37
		NHK教育	39	39
	丸亀	NHK教育	40	40
		KSB	42	42
		NHK総合	44	44
		TVせとうち	46	46
		RSK	48	48
		西日本放送	50	50
		OHK	52	52
愛媛	松山	NHK教育	2	2
		NHK総合	6	6
		南海放送	10	10
		愛媛朝日	25	25
		あいテレビ	29	29
		テレビ愛媛	37	37
	新居浜	NHK総合	2	2
		NHK教育	4	4
		南海放送	6	6
		愛媛朝日	14	14
		あいテレビ	27	27
		テレビ愛媛	36	36
	今治	愛媛朝日	17	17
		あいテレビ	27	27
		NHK教育	30	30
		NHK総合	32	32
		南海放送	34	34
		テレビ愛媛	36	36
	宇和島	NHK教育	1	1
		NHK総合	6	6
		南海放送	10	10
		愛媛朝日	16	16
		あいテレビ	25	25
		テレビ愛媛	27	27
高知	高知	NHK総合	4	4
		NHK教育	6	6
		高知放送	8	8
		KUTV	38	38
		KSS	40	40
福岡	福岡	KBC	1	1
		NHK総合	3	3
		RKB毎日	4	4
		NHK教育	6	6
		TNC	9	9
		TVQ	19	19
		FBS	37	37
	久留米	TVQ	14	14
		STS	36	36
		NHK総合	46	46
		RKB毎日	48	48
		FBS	52	52
		NHK教育	54	54
		KBC	57	57
		TNC	60	60
	大牟田	TVQ	19	19
		STS	36	36
		FBS	43	43
		NHK教育	50	50
		NHK総合	53	53
		TNC	55	55
		KBC	58	58
		RKB毎日	61	61
	北九州	KBC	2	2
		NHK総合	6	6
		RKB毎日	8	8
		TNC	10	10
		NHK教育	12	12
		TVQ	23	23
		FBS	35	35
福岡	行橋	TVQ	19	19
		FBS	43	43
		NHK教育	46	46
		NHK総合	49	49
		TNC	54	54
		KBC	57	57
		RKB毎日	60	60
佐賀	佐賀	TVQ	14	14
		STS	36	36
		NHK総合	38	38
		NHK教育	40	40
		RKB毎日	48	48
		FBS	52	52
		KBC	57	57
		TNC	60	60
長崎	長崎	NHK教育	1	1
		NHK総合	3	3
		NBC	5	5
		長崎国際	25	25
		長崎文化	27	27
		テレビ長崎	37	37
	佐世保	NHK教育	2	2
		NHK総合	8	8
		NBC	10	10
		長崎国際	17	17
		長崎文化	31	31
		テレビ長崎	35	35
	諫早	長崎国際	32	32
		テレビ長崎	39	39
		NHK教育	51	51
		長崎文化	56	56
		NHK総合	59	59
		NBC	62	62
熊本	熊本	KBC	1	1
		NHK教育	2	2
		NHK総合	9	9
		熊本放送	11	11
		熊本朝日	16	16
		TVQ	19	19
		KKT	22	22
		TKU	34	34
		STS	36	36
大分	大分	NHK総合	3	3
		OBS	5	5
		NHK教育	12	12
		OAB	24	24
		TOS	36	36
	中津	OAB	17	17
		TOS	37	37
		NHK教育	45	45
		NHK総合	48	48
		OBS	51	51
宮崎	宮崎	NHK総合	8	8
		宮崎放送	10	10
		NHK教育	12	12
		テレビ宮崎	35	35
	延岡	NHK教育	2	2
		NHK総合	4	4
		宮崎放送	6	6
		テレビ宮崎	39	39
鹿児島	鹿児島	MBC	1	1
		NHK総合	3	3
		NHK教育	5	5
		鹿児島読売	30	30
		鹿児島放送	32	32
		KTS	38	38
	阿久根	NHK総合	8	8
		MBC	10	10
		NHK教育	12	12
		鹿児島読売	17	17
		鹿児島放送	23	23
		KTS	35	35
	鹿屋	NHK教育	2	2
		NHK総合	4	4
		MBC	6	6
		鹿児島読売	25	25
		鹿児島放送	31	31
		KTS	33	33
沖縄	沖縄	NHK総合	2	2
		OTV	8	8
		RBC	10	10
		NHK教育	12	12
		QAB	28	28

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます

条件1：BSデジタル放送のアンテナレベルの受信レベル（215ページ）が「20以上」になっている。または地上デジタル放送を安定して受信できている（213ページ）。

条件2：［ソフトウェアアップデート］が［自動］（お買い上げ時の設定）になっている（226ページ）。

データのダウンロードの実行

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデート（ソフトウェア更新）の実行

本機がソフトウェア更新用のデータを正常に取得すると、電源が入っていないときソフトウェアの更新を自動的に開始します。電源が入っているときは電源を切ったあとで開始します。
ソフトウェア更新中は本機中央の白いランプが点滅し、表示窓に進行状況が表示されます。完了して表示窓が消灯するまで電源コードを抜かないでください。

ちょっと一言

- お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

アップデートが正常に終了すると

「アップデート終了のお知らせ」のメールが届きます（211ページ）。

ご注意

- お客様のお使いになる環境によりアップデートが完了するまで、時間がかかる場合があります。
- 電源コードが抜かれていた場合は、アップデートは行われません。
- アップデート中は、電源コードを抜かないでください。アップデートの中断により、ソフトウェアの更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。
- ソフトウェア更新用データをダウンロードするときは、本機が待機状態に入るため、本機の電源が「切」でもファンが回り続けることがあります。待機中に録画予約などが重なると、録画予約が優先されるため、次のダウンロード時刻までファンが回り続けます。
- ソフトウェア更新用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。1回目の信号で正しくダウンロードできなくても次回以降でダウンロードできます。

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品(以下「本製品」)をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
なお、本製品にはGNU General Public LicenseまたはGNU Lesser General Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれていますが、かかるソフトウェアは「許諾ソフトウェア」には含まれず、下記ソフトウェア使用許諾契約書の対象とはなりませんのでご注意ください。GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアの使用許諾条件については、「GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。
また、同様に、本製品には「OpenSSL(「Original SSLeay」ライブラリを含む)」および「NetBSD」、「JPEG」、「fdlibm」、「Root Certificate」が含まれていますが、下記ソフトウェア使用許諾契約書と、各ソフトウェアに関する「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬がある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先いたします。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間での許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条(総則)
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対しての使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条(使用権)
1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条(許諾条件)
1. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます)を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)
許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者(以下原権利者とします)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(ソニーおよび原権利者の免責)
ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条(第三者に対する責任)
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条(自動アップデート)
1. 許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
2. 使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条(秘密保持)
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条(契約の解除)
ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
(1) 本契約に定める条項に違反したとき
(2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条(許諾ソフトウェアの廃棄)
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第11条(許諾ソフトウェアの更新)
1. 使用者が、ネットワークからのダウンロード(第7条に定める自動アップデートを含む)あるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以外の目的で使用しないものとします。
2. 前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(314ページ)。

第12条(その他)
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel.tar.gz
pump
lrzsz
busybox
gcc
glibc
dosfstools
lzo
mkcramfs
hostname
scfs
libptp
libusb
procps
e2fsprogs
coreutils
NOE_driver

これらのソースコードは、Webでご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The Licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If

the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the

term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and assessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations

under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

OpenSSLソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
パッケージ名 sony-target-grel-openssl-0.9.7l-020202.src.rpm

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Original SSLeay

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of

this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

FreeType

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

NetBSDソフトウェアに関するお知らせ

BSD License

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Bill Paul.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner..

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
パッケージファイル名 sony-target-grel-libjpeg-6b-020201.src.rpm

以上

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (c) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

PuTTYソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、PuTTYソフトウェアの一部のコードが搭載されております。
ソースパッケージ：putty-0.58.tar.gz
ライセンス条文：http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html

PuTTY is copyright 1997-2006 Simon Tatham.

Portions copyright Robert de Bath, Joris van Rantwijk, Delian Delchev, Andreas Schultz, Jeroen Massar, Wez Furlong, Nicolas Barry, Justin Bradford, Ben Harris, Malcolm Smith, Ahmad Khalifa, Markus Kuhn, and CORE SDI S.A.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SIMON TATHAM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

fdlibmソフトウェアに関するお知らせ

@(#)fdlibm.h 1.5 95/01/18
Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted,provided that this notice is preserved.

Root Certificatesに関するお知らせ

In addition, the Runtimes and Runtime Components may contain one or more root certificates (herein referred to as "Root Certificates"). You may not modify the Root Certificates.

Nano-XMLに関するお知らせ

Copyright (C) 2000-2002 Marc De Scheemaecker, All Rights Reserved.
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

MPEG-2 Videoに関するお知らせ

ANY USE OF THIS PRODUCT OTHER THAN CONSUMER PERSONAL USE IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206.

MPEG-4 AVCおよびVC-1に関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE AND THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO

(i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO")
AND/OR
(ii)DECODE AVC VIDEO AND VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD THAT WERE ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND

NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://MPEGLA.COM <HTTP://MPEGLA.COM>

SEEに関するお知らせ

Copyright (c) 2003, 2004
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Mr Leonard nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID LEONARD AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID LEONARD OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

Anti-Grain Geometryに関するお知らせ

The Anti-Grain Geometry Project
A high quality rendering engine for C++
http://antigrain.com

Anti-Grain Geometry - Version 2.3
Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.
This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

libpixmanに関するお知らせ

libpixregion

Copyright 1987, 1998 The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

Copyright 1987 by Digital Equipment Corporation, Maynard, Massachusetts.

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Digital not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

DIGITAL DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL DIGITAL BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----
libic

Copyright © 2001 Keith Packard

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

KEITH PACKARD DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL KEITH PACKARD BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----
slim

slim is Copyright © 2003 Richard Henderson

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Richard Henderson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Richard Henderson makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

RICHARD HENDERSON DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL RICHARD HENDERSON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

expatに関するお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

CURLに関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2009, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ･････････････0120-333-020	フリーダイヤル ･････････････0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･････････････0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･････････････0466-31-2531
	※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「１００」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

ソニーの相談窓口へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：BDZ-EX200、BDZ-RX100、BDZ-RX50、BDZ-RX30、BDZ-RS10
- ディスクの種類：BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-Rなど
- 接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS/110度CS混合アンテナ、CATV
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

ソニー以外が提供するサービスについて

リモート録画予約について

リモート録画予約についてはリモート録画予約サービス事業者にお問い合わせください（73ページ）。なお、お客様からのお問い合わせに対応するために、事業者側のサーバーにアクセスし、お客様の情報（サービス登録番号や携帯電話のニックネーム、本機に関する情報*）を確認することがあります。

* ・本機に付与されるサーバー側システム上の管理ID
・機種名
・MACアドレスの下4桁
・ネットワーク接続状況
・契約しているサービス情報

放送・サービスお問い合わせ先一覧

2009年8月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS/110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
WOWOW*[1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル*[2]	スター・チャンネル総合案内窓口 0570-013-111 または 045-339-0399 受付10:00 ～ 18:00（年中無休） http://www.star-ch.jp/

*[1] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。

*[2] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
スカパー！ｅ２ （CS1・CS2）	■ カスタマーセンター 「スカパー！ｅ２カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「スカパー！ｅ２ホームページ」 http://www.e2sptv.jp

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

機関	ホームページアドレス
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	http://www.dpa.or.jp

地上デジタル放送の受信相談について

機関	お問い合わせ電話番号
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話：0570-07-0101 （平日 9:00 ～ 21:00、 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

B-CASカードについて

機関	お問い合わせ電話番号
B-CASカスタマーセンター	電話：0570-000-250 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休）

アクトビラについて

機関	お問い合わせ電話番号／メールアドレス
アクトビラ・カスタマーセンター	0570-091017（10時-19時年末年始除く） IP電話の場合：03-3513-6740 info@desk.actvila.jp

主な仕様

<table>
<tr><th colspan="2">型名</th><th>BDZ-EX200</th><th>BDZ-RX100</th></tr>
<tr><td rowspan="8">システム</td><td>形式</td><td colspan="2">BD/DVD ／ハードディスクレコーダー</td></tr>
<tr><td>受信チャンネル</td><td colspan="2">地上デジタルチューナー：UHF、CATV
地上アナログチューナー（CATVチューナー一体型）：VHF：1 ～ 12ch、UHF：13 ～ 62ch、CATV：13 ～ 63ch
BS/110度CSデジタルチューナー：1032 ～ 2071MHz</td></tr>
<tr><td>映像受信方式</td><td colspan="2">周波数シンセサイザー方式</td></tr>
<tr><td>音声受信方式</td><td colspan="2">スプリットキャリア方式</td></tr>
<tr><td>アンテナ入出力</td><td colspan="2">VHF/UHF：75ΩF型コネクター
BS/110度CS IF：75Ω F 型コネクター
（コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え）</td></tr>
<tr><td>タイマー</td><td colspan="2">時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間：約1時間</td></tr>
<tr><td>映像記録方式</td><td colspan="2">MPEG4-AVC（ハードディスク／ BD）、MPEG2（ハードディスク／ BD）（DRモード時）、MPEG1.2（DVD）</td></tr>
<tr><td>音声記録方式／ビットレート</td><td colspan="2">Dolby Digital （2ch 256kbps / 5.1ch 448kbps）
MPEG-2 AAC（DRモード時）
MPEG-1 Layer2（DRモードでHDVダビング時）</td></tr>
<tr><td rowspan="15">入・出力端子</td><td>映像入力</td><td>入力1、入力2（前面）、入力3の3系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω</td><td>入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>映像出力</td><td colspan="2">出力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>S映像入力</td><td>入力1、入力2（前面）、入力3の3系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω</td><td>入力1系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>S1映像出力</td><td colspan="2">出力1系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>音声入力</td><td>入力1、入力2（前面）、入力3の3系統、ピンジャック入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）</td><td>入力1系統、ピンジャック入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td>出力2系統、ピンジャック出力レベル：2 Vrms
（負荷インピーダンス：10 kΩ）</td><td>出力1系統、ピンジャック出力レベル：2 Vrms
（負荷インピーダンス：10 kΩ）</td></tr>
<tr><td>デジタル音声出力</td><td>光：角型光ジャック1系統／ -18 dBm（発光波長660 nm）
同軸：ピンジャック1系統／ 0.5Vp-p/75Ω</td><td>光：角型光ジャック1系統／ -18 dBm（発光波長660 nm）</td></tr>
<tr><td>コンポーネント映像出力</td><td>出力1系統、ピンジャック
Y：1.0 Vp-p/75 Ω、PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、
PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω</td><td>–</td></tr>
<tr><td>D1/D2/D3/D4映像出力</td><td colspan="2">D映像出力1系統
Y：1.0 Vp-p/75 Ω、PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>HDMI出力</td><td>19ピン標準コネクタ2系統</td><td>19ピン標準コネクタ1系統</td></tr>
<tr><td>HDV/DV入力</td><td colspan="2">i.LINK 4ピン HDV1080i/DV入力 1系統</td></tr>
<tr><td>USB端子</td><td>Hi-Speed USB （USB 2.0準拠） 1系統
（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、“メモリースティック” USBリーダー／ライター、“ウォークマン”、“PSP”（発売元：株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント）、携帯電話、“nav-u”、“mylo”接続用）</td><td>Hi-Speed USB （USB 2.0準拠） 2系統
（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、“メモリースティック” USBリーダー／ライター、“ウォークマン”、“PSP”（発売元：株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント）、携帯電話、“nav-u”、“mylo”接続用）</td></tr>
<tr><td>メディアスロット</td><td>–</td><td>“メモリースティック”スロット×1
SDメモリーカードスロット×1
コンパクトフラッシュ®スロット×1</td></tr>
<tr><td>電話回線端子</td><td colspan="2">モジュラージャック</td></tr>
<tr><td>LAN端子</td><td colspan="2">10BASE-T/100BASE-TX（ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。
本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">電源・その他</td><td>電源</td><td colspan="2">AC100 V、50/60 Hz</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>動作時：71W（BS/CSコンバータおよびUSB機器への電源供給時）
待機時：0.22W（スタンバイモード[標準]、本体表示の明るさ[消灯]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）</td><td>動作時：59W（BS/CSコンバータおよびUSB機器への電源供給時）
待機時：0.20W（スタンバイモード[標準]、本体表示の明るさ[消灯]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）</td></tr>
<tr><td>許容動作温度／許容動作湿度</td><td colspan="2">5 ℃～ 35 ℃／ 25 %～ 80 %</td></tr>
<tr><td>最大外形寸法</td><td>430×95×334 mm （幅×高さ×奥行き）最大突起含む</td><td>430×69.8×327 mm （幅×高さ×奥行き）最大突起含む</td></tr>
<tr><td>ハードディスク容量</td><td>2テラバイト</td><td>1テラバイト</td></tr>
<tr><td>本体質量</td><td>約7.9kg</td><td>約4.6kg</td></tr>
<tr><td>付属品</td><td colspan="2">「らくらくガイド」の「付属品を確かめる」をご覧ください。</td></tr>
</table>

BDZ-EX200は「JIS C 61000-3-2適合品」です。
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

<table>
<tr><th colspan="2">型名</th><th>BDZ-RX50</th><th>BDZ-RX30</th></tr>
<tr><td rowspan="8">システム</td><td>形式</td><td colspan="2">BD/DVD ／ハードディスクレコーダー</td></tr>
<tr><td>受信チャンネル</td><td colspan="2">地上デジタルチューナー：UHF、CATV
地上アナログチューナー（CATVチューナー一体型）：VHF：1 ～ 12ch、UHF：13 ～ 62ch、CATV：13 ～ 63ch
BS/110度CSデジタルチューナー：1032 ～ 2071MHz</td></tr>
<tr><td>映像受信方式</td><td colspan="2">周波数シンセサイザー方式</td></tr>
<tr><td>音声受信方式</td><td colspan="2">スプリットキャリア方式</td></tr>
<tr><td>アンテナ入出力</td><td colspan="2">VHF/UHF：75ΩF型コネクター
BS/110度CS IF：75Ω F 型コネクター
（コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え）</td></tr>
<tr><td>タイマー</td><td colspan="2">時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間：約1時間</td></tr>
<tr><td>映像記録方式</td><td colspan="2">MPEG4-AVC（ハードディスク／ BD）、MPEG2（ハードディスク／ BD）（DRモード時）、MPEG1.2（DVD）</td></tr>
<tr><td>音声記録方式／ビットレート</td><td colspan="2">Dolby Digital（2ch 256kbps / 5.1ch 448kbps）
MPEG-2 AAC（DRモード時）</td></tr>
<tr><td rowspan="12">入・出力端子</td><td>映像入力</td><td colspan="2">入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>映像出力</td><td colspan="2">出力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>S映像入力</td><td colspan="2">入力1系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>S1映像出力</td><td colspan="2">出力1系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>音声入力</td><td colspan="2">入力1系統、ピンジャック入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td colspan="2">出力1系統、ピンジャック出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）</td></tr>
<tr><td>デジタル音声出力</td><td colspan="2">光：角型光ジャック1系統／ -18 dBm（発光波長660 nm）</td></tr>
<tr><td>D1/D2/D3/D4映像出力</td><td colspan="2">D映像出力1系統
Y：1.0 Vp-p/75 Ω、P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω</td></tr>
<tr><td>HDMI出力</td><td colspan="2">19ピン標準コネクタ1系統</td></tr>
<tr><td>USB端子</td><td>Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）1系統
（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、“メモリースティック” USBリーダー／ライター、“ウォークマン”、“PSP”（発売元：株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント）、携帯電話、“nav-u”、“mylo”接続用）</td><td>Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）1系統
（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、“メモリースティック” USBリーダー／ライター、“PSP”（発売元：株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント）接続用）</td></tr>
<tr><td>電話回線端子</td><td colspan="2">モジュラージャック</td></tr>
<tr><td>LAN端子</td><td colspan="2">10BASE-T/100BASE-TX（ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">電源・その他</td><td>電源</td><td colspan="2">AC100 V、50/60 Hz</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>動作時：54W（BS/CSコンバータおよびUSB機器への電源供給時）
待機時：0.20W（スタンバイモード[標準]、本体表示の明るさ[消灯]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）</td><td>動作時：49W（BS/CSコンバータおよびUSB機器への電源供給時）
待機時：0.18W（スタンバイモード[標準]、本体表示の明るさ[消灯]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）</td></tr>
<tr><td>許容動作温度／許容動作湿度</td><td colspan="2">5 ℃～ 35 ℃／ 25 %～ 80 %</td></tr>
<tr><td>最大外形寸法</td><td>430×69.8×327 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む</td><td>430×69.8×327 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む</td></tr>
<tr><td>ハードディスク容量</td><td>500ギガバイト</td><td>320ギガバイト</td></tr>
<tr><td>本体質量</td><td>約4.5kg</td><td>約4.3kg</td></tr>
<tr><td>付属品</td><td colspan="2">「らくらくガイド」の「付属品を確かめる」をご覧ください。</td></tr>
</table>

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

型名		BDZ-RS10
システム	形式	BD/DVD ／ハードディスクレコーダー
	受信チャンネル	地上デジタルチューナー：UHF、CATV 地上アナログチューナー（CATVチューナー一体型）：VHF：1 ～ 12ch、UHF：13 ～ 62ch、CATV：13 ～ 63ch BS/110度CSデジタルチューナー：1032 ～ 2071MHz
	映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
	音声受信方式	スプリットキャリア方式
	アンテナ入出力	VHF/UHF：75ΩF型コネクター BS/110度CS IF：75Ω F 型コネクター （コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え）
	タイマー	時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示 停電補償時間：約1時間
	映像記録方式	MPEG4-AVC（ハードディスク／ BD）、MPEG2（ハードディスク／ BD）（DRモード時）、MPEG1.2（DVD）
	音声記録方式／ビットレート	Dolby Digital （2ch 256kbps / 5.1ch 448kbps） MPEG-2 AAC（DRモード時）
入・出力端子	映像入力	入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
	映像出力	出力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
	S映像入力	入力1系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
	S1映像出力	出力1系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
	音声入力	入力1系統、ピンジャック入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）
	音声出力	出力1系統、ピンジャック出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）
	デジタル音声出力	光：角型光ジャック1系統／ -18 dBm（発光波長660 nm）
	D1/D2/D3/D4映像出力	D映像出力1系統 Y：1.0 Vp-p/75 Ω、P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω
	HDMI出力	19ピン標準コネクタ1系統
	USB端子	Hi-Speed USB （USB 2.0準拠） 1系統 （デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、“メモリースティック”USBリーダー／ライター、“PSP”（発売元：株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント）接続用）
	電話回線端子	モジュラージャック
	LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX（ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
電源・その他	電源	AC100 V、50/60 Hz
	消費電力	動作時：49W（BS/CSコンバータおよびUSB機器への電源供給時） 待機時：0.18W（スタンバイモード[標準]、本体表示の明るさ[消灯]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時）
	許容動作温度／許容動作湿度	5 ℃～ 35 ℃／ 25 %～ 80 %
	最大外形寸法	430×69.8×327 mm （幅×高さ×奥行き）最大突起含む
	ハードディスク容量	320ギガバイト
	本体質量	約4.3kg
	付属品	「らくらくガイド」の「付属品を確かめる」をご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機の省エネ対応について

本体表示の明るさ設定（224ページ）と、かんたん設定でBSデジタル放送やCSデジタル放送を受信しない設定にすると、消費電力を軽減できます。

商標について

- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- “ブラビア プレミアムフォト”および“**ブラビアプレミアムフォト**”は、ソニー株式会社の商標です。
- BD-LIVE（BDライブ）とBD-LIVEロゴ、BONUSVIEW（ボーナスビュー）は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、ダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS, Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Master Audio | EssentialはDTS, Inc.の商標です。
Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio | Essential are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.
- コンパクトフラッシュ®（CompactFlash®）は、米国サンディスク社の商標です。ソニー株式会社は、コンパクトフラッシュ®（CompactFlash®）と CF の公認ライセンシーです。
- i.LINKは、IEEE1394を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ “i” はソニーの商標です。
- “XMB ロゴ”、“XMB”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- PSP®「プレイステーション・ポータブル」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「PSP」および「プレイステーション」は同社の登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHDロゴ”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “ロゴ”はソニー株式会社の商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- “x.v.Color”および“**x.v.Color**”は、ソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“メモリースティック マイクロ”（“M2”）および “MEMORY STICK” は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。“MagicGate Type-R for Secure Video Recording”（以下 MG-R(SVR) ）は “MG-R(SVR) for Memory Stick PRO”および“MG-R(SVR) for EMPR”は Dpa（地上波 デジタル推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。
- “Embedded Memory with Playback and Recording Function System” (以下 “EMPR”)は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名です。
- この製品はメモリースティックセキュアビデオ規格および“EMPR”規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for Memory Stick PRO”および“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR”を利用しています。
- HDVおよびHDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “nav-u”および **nav-u** はソニー株式会社の商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- Javaおよびすべての Java関連のマークは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- マーク、acTVila および「acTVila」、「アクトビラ」は、㈱アクトビラの商標または登録商標です。
- DCS－人名辞書データ (著作権者・提供者：日外アソシエーツ株式会社)
- DCS－ニュース・シソーラス 第四版
一 新聞・放送ニュース検索のための主題14000語：著編者・廣木守雄，服部信司〔編〕／提供：日外アソシエーツ株式会社

録画防止機能について

本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な映像で録画できなかったり、録画したものを正常な映像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機のデジタル音声出力 光端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
また、本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社とその他の著作権利者が保有する米国特許、およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビ

ジョン社の許可が必要です。また、その使用にはマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の視聴サービスでの使用に制限されています。本機を分解したり改造することは禁じられています。

i.LINK(アイリンク)について

EX200	RX100	RX50	RX30	RS10
○	○	×	×	×

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用HDV1080i/DV入力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは?

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器をつないだ場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100(最大転送速度　約100Mbps*)
S200(最大転送速度　約200Mbps)
S400(最大転送速度　約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器とつないだ場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは?
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子(HDV1080i/DV入力端子)は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子(MICROMV信号)、および地上デジタルハイビジョンテレビ、地上デジタルチューナー、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子(MPEG-TS信号)とは信号が異なるため、接続できません。使用方法については118、125ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ← → 4ピン(HDV/DVダビング時)

本機器はIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000規格に準拠しています。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル(DVケーブル)でBDZ-EX200/BDZ-RX100と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器とつなぐときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
  接続・動作を確認している機種については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/products/i-link/index.html
  MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子(MICROMV信号)とは信号が異なるため、接続できません。S映像端子または映像・音声端子を使って接続してください。

以下のことはできません

- ソニー製以外のHDV/DVビデオカメラレコーダーをBDZ-EX200/BDZ-RX100のi.LINK端子（HDV1080i/DV入力端子）につなぐこと。

HDMI機器制御について

HDMI機器制御とは

HDMI機器制御は、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。
ソニーのHDMI機器制御対応のテレビやAVアンプなどをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI機器制御機能を使うには

つなぐテレビやAVアンプもHDMI機器制御対応である必要があります。対応していないAVアンプを使用するとHDMI機器制御機能が誤動作することがあります。それぞれの対象機器で、正しい接続・設定をおこなってください。

対応機器をつなぐ

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはHDMIロゴが付いているものをお使いください。

ブラビアリンク対応機器についての情報は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

ご注意

- 1台のテレビでHDMI機器制御できる録画機器は3台までです。

用語集

五十音順

インターレース（飛び越し走査）（291）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド映像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示します。

オリジナルタイトル
ハードディスクやBD-RE、BD-Rに実際に録画したそのままのタイトル。オリジナルのタイトルを消去するとハードディスクやBD-RE、DVD-RWの空きが増えます。

解像度（221）
ディスプレイの表示能力やプリンタの印刷能力、スキャナの分解能力など、出力される映像の情報量。単位幅をいくつの点の集合として表現するかを表わし、この値が高いほど、より自然に近い画質が得られます。

ケーブルテレビ（CATV）
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送。地上アナログ放送のテレビ番組や地上デジタル放送、BSアナログ放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送
激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るもの。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

コピー制御信号
複製を制限する信号が記録されているソフトや放送番組は、録画やダビングできないことがあります。

サムネイル（107）
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像。

視聴年齢制限（227）
国・地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限するBD-ROM/DVDの機能。
制限のしかたはBD-ROM/DVDによって異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがあります。

字幕放送（33）
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入／切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

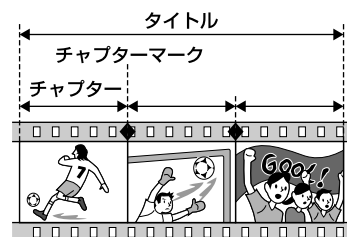
受信チャンネル（216）
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

ソニールームリンク（94）
DLNAなどのホームネットワークを介してさまざまな機器をつなぎ、動画・音楽・写真などの楽しみかたを広げるソニー商品の機能名称です。
BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50には「ソニールームリンク」対応の「ホームサーバー機能」が搭載されています。「ソニールームリンク」に対応しているテレビやパソコンとホームネットワーク経由で接続すると、ハードディスクに記録した映像や写真を他の部屋からでも楽しめます。

タイトル（82）
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。
通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたります。本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいます。

ダウンミックス（223）
サラウンド音声を、オリジナルのチャンネル数以下に変換して再生することです。

地上デジタル放送
放送塔からデジタル信号で映像や音声を流す放送。多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号（HD）によるテレビ放送や、文字や画像のデータ放送などがあります。地上デジタル放送を楽しむには、地上デジタル放送対応のUHFアンテナが必要です。

チャプター（92）
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。チャプターが記録されていないタイトルもあります。

データCD/DVD（135）
データディスク（CD、DVD）とは、パソコンでのみ読み取ることができるファイルを格納するフォーマット。本機の場合、写真ファイルが格納されたディスクを指す。

デジタルハイビジョン信号（HD）
デジタル放送の映像方式。1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

トラック（83）
CDに記録されている曲の区切り（1曲分）。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

ドルビーデジタルプラス(86)
ドルビーラボラトリーズの開発した音声圧縮符号化技術。7.1チャンネルのマルチチャンネルサラウンドに対応しています。

ドルビー TrueHD(86)
次世代光ディスクメディアのために開発されたロスレス(可逆型)音声技術です。高品質なオリジナルの音声データをビット単位の精度まで完全に再現します。

ハードディスク(HDD)
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤(ディスク)を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータを記憶します。
大量のデータの保存に適し、高速で読み書きできます。

番組連動データ(34)
番組と連動しているデータ放送です。スポーツ中継を見ているときに選手の成績を確認したり、天気予報などお住まいの地域の情報を見ることができます。

ビデオモード(294)
録画した映像を、より多くの機器で再生できる記録フォーマットのことです。

表示チャンネル(215)
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更もできます。

標準テレビ信号(SD)
デジタル放送の映像方式。525pと525iがあり、525iは地上アナログ放送と同等の画質です。

フォーマット(149)
記録前のDVD-R/DVD-RWなどを録画機器で記録できるように処理すること。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。初期化されたディスクの記録型式もフォーマットと呼びます(ビデオ、VR、+VR、データなど)。

ブラビア プレミアムフォト(136)
写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製機器同士の組み合わせで、写真をフルハイビジョン高画質でお楽しみいただけます。人肌や花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面でお楽しみいただけます。

ブラビアリンク(198)
ハイビジョンテレビ＜ブラビア＞に付属のリモコンで、本機を簡単に操作できます。また、2.4GHzの無線通信による「マルチリモコン」からの操作にも対応しているので、リモコンをブルーレイディスクレコーダー本体に向けずに操作できます。

フレーム
映像を構成する1コマ1コマのこと。映像は1秒間に30枚の静止画で構成されています。

プレイリストタイトル(104)
ハードディスクやBD-RE、BD-Rに録画したタイトルをもとに作る仮想映像。
オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報のみを持ちます。プレイリストを消去してもオリジナルに影響はなく、ハードディスクやBD、DVDの残量が少ないときでも新しくタイトルを作って、編集を楽しむことができます。

ブロードバンド
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドといわれるものにはFTTH(光)、CATV、ADSLなどの回線があります。

プログレッシブ(順次走査)(291)
映像の1フレーム(コマ)を2つのフィールド映像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの映像で表示する方法。
従来のインターレース方式が1秒を30フレーム(60フィールド)で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できます。

分配器(249)
入力の信号を複数に分ける機器。ただし信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器(236)
VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力する機器。

ポップアップメニュー(82)
BD-ROMを再生中に、再生を継続させながらメニューを表示させる機能のことです。再生画面を見ながら、チャプターや音声、字幕の変更や設定などが行えます。

リニアPCM(222)
音声信号の符号化方式のひとつで、圧縮と伸張による音声劣化が発生しない方式です。

臨時放送
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号のマルチチャンネル放送を利用した放送。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

ルートCA証明書(212)
ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。セキュリティ情報をやりとりするときに、接続先のセキュリティサイトの証明書が確認され、信頼するかどうかを決定できます。

録画モード（299）
ビデオカセットレコーダーの録画モード（標準録画や3倍録画）などと同じように、本機には複数の録画モードがあります。
高画質になればなるほど、録画に使用するデータ量が多くなるため、記録時間が短くなります。ERやLRなどのモードを選ぶと、録画に使用するデータ量が少ないため長時間録画できます。

数字順／アルファベット順

24p True Cinema（85）
映画フィルムは毎秒24コマで撮影されていますが、テレビ画面では毎秒60コマに変換されて表示されるため、映画本来の表現とは異なるものになります。24p True Cinemaに対応するテレビとプレーヤーを接続すると、映画フィルムと同じ毎秒24コマで表示され、映画の質感そのままでお楽しみいただけます。

AAC
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式。「アドバンスド・オーディオ・コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

ADSL
非対称デジタル加入者回線（Asymmetric Digital Subscriver Line）の略。
ブロードバンド回線のひとつ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用しますが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ転送が可能です。

AVCHD（117）
高度な圧縮技術により、1080i*[1]または720 p *[2]のHD（ハイビジョン）映像を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格。映像の圧縮にはMPEG4-AVC/H.264方式、音声の圧縮にはドルビーデジタルまたはリニアPCMが用いられます。MPEG4-AVC/H.264方式は、従来の圧縮方式に比べて高い圧縮符号化効率を持ちます。

*[1] 有効走査線数が1080本で、表示方式はインターレース方式。

*[2] 有効走査線数が720本で、表示方式はプログレッシブ方式。

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）（らくらくガイド）
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだもの。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶される。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BD（Blu-ray Disc）
大容量データの保存やハイビジョン映像の記録・再生を目的として開発されたディスクフォーマット。BDは片面1層のディスクで25GBまで、2層のディスクで50GBまでのデータを記録できます。

BD-J（157）
双方向操作を可能とするためにBD-ROMフォーマットではJavaをサポートしています。
“BD-J”と呼ばれるJavaアプリケーションは、コンテンツ制作者がBD-ROMタイトル用に双方向コンテンツを作る上で自由度の高い機能を提供しています。

BD-R（Blu-ray Disc Recordable）
一度だけ記録可能なBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切なデータの保存や映像素材の保管・配布に使用できます。

BD-RE（Blu-ray Disc Rewritable）
何度も書き換えが可能なBD。上書き可能なため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM（Blu-ray Disc Read-Only Memory）
映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。映像の記録はMPEG2に加えて、新世代コーデックMPEG4-AVCやSMPTE VC-1に対応。また音声では最大8chのサラウンド音声を収録可能で、今までにない迫力の映像と音声をお楽しみいただけます。

BDAV（Blu-ray Disc Audio/Visual）
BD-R、BD-REなどの書き込み式ブルーレイディスクで利用されているアプリケーションフォーマットの一種です。デジタル放送の番組などを記録できます。

BDMV（Blu-ray Disc Movie）（157）
ブルーレイディスク規格の一つである「BD-ROM」で利用されているアプリケーションフォーマットの一種です。DVDとの親和性がある「HDMV」（high definition movie mode）と、高度なインタラクティブ機能をプログラム可能な「BD-J」（Blu-ray Disc Java）の2つの機能があります。「BD-J」を使うと、従来のDVDではできなかった動きのあるメニューや、インタラクティブなグラフィック表示、ダイナミックなシーン検索など、完成度の高いオリジナルディスクを作れます。

BS/110度CSデジタル放送
放送衛星（BS）や通信衛星（CS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送。多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号（HD）によるテレビ放送や、文字や画像のデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を楽しむには、BS/110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。

D映像信号
D映像入力端子付きテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な映像となる。D映像出力端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子があります。

- D1端子：525i(480i)の信号
- D2端子：525i(480i)と525p(480p)の信号
- D3端子：525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)の信号
- D4端子：525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)の信号

* 「i」はインターレース(飛び越し走査)、「p」はプログレッシブ(順次走査)の略。
映像解像度の数字は有効走査線数を示し、( )内は総走査線数で数えたときの別称です。

DLNA(94)
デジタルリビングネットワークアライアンス(Digital Living Network Alliance)の略。DLNAに対応したパソコンやデジタル家電どうしをネットワークで接続すると、メーカーを問わず、動画・音楽・写真を家中のどの部屋からも楽しめるようになります。DLNAとは、こうした互換性の高い家庭内ネットワークを実現するためのガイドラインです。詳しくは、http://www.dlna.org/jp/homeをご覧ください。

DRC(Digital Reality Creation)(99)
標準テレビ信号(SD)からハイビジョン放送などのHD信号までも、より高精細な映像にする、ソニー独自のアルゴリズムを持つ解像度創造技術です。映像のノイズ部分を抑えつつ全体的な解像感を高めるだけでなく、映像の境界部分に対して、輪郭の強調処理を行うことなく精細感を向上させ、自然な立体感のある、クリアな映像を再現できます。

DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection - Internet Protocol)
デジタル伝送時に使用する著作権保護技術のこと。これに対応した機器同士でないと著作権者などによって複製を制限されているタイトルをネットワーク上に流すことができない。

DTS(223)
DTS社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

DTS-HD High Resolution Audio(86)
DTS社の開発したデジタルサラウンドフォーマット。最大96 kHzのサンプリング周波数、7.1チャンネルのマルチチャンネルサラウンドに対応します。非可逆圧縮で記録された音声を、最大6Mbpsのビットレートで転送します。

DTS-HD Master Audio(86)
可逆圧縮で記録された音声を最大24.5Mbpsのビットレートで転送します。また、最大192 kHzのサンプリング周波数、7.1チャンネルのマルチチャンネルサラウンドに対応します。

DVDビデオ
CDと同じ直径でCDの7倍の情報が記録できるディスクフォーマット。データや映像の記録などに利用されています。DVDは片面1層で4.7GBまで、片面2層で8.5GBまでのデータを記録できます。

DVD-RW
DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク。DVD-RWには、ビデオモード、VRモードという2つの記録モードがあります。ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換性があるモード。VR(ビデオレコーディング)モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能です。

DVD+RW
DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク。DVD+RWは、DVDビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用しています。

EPG(50)
「エレクトロニック・プログラム・ガイド(Electronic Program Guide)」の略で、放送局から送信される番組表(タイトルや番組説明、放送時間など)のこと。

GB
ギガバイトと読みます。ハードディスクやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDリアリティーエンハンサー(HDMI)(99)
再生中の映像信号をリアルタイムに画素ごとに解析し、最適な処理を施して、映像の質感や解像感を高める、ソニー独自の技術です。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)
パソコン用ディスプレイなどで使用されているDVI(Digital Visual Interface)規格を拡張した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格。
映像と音声を1つのケーブルで、信号がデジタルのまま、劣化することなく伝送できます。デジタル映像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCP*にも対応しています。

* HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)：デジタル映像信号の暗号化方式で、HDMIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムです。

HDV(HDV規格)(118)
DVテープにハイビジョン映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式。BDZ-EX200/BDZ-RX100は、有効走査線数1080本のインターレース方式(1080i方式)の信号に対応しています。
HDV規格の記録機能を搭載したデジタルビデオカメラとi.LINKでつなげば、撮影したハイビジョン映像を、そのままの画質でハードディスクに取り込めます。

IPアドレス(アイピーアドレス)(230)
TCP/IP(伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル)ネットワークで使用される識別情報。通常は、3桁の数字4組を点で区切って表示されます。
例:「192.168.139.105」など

JPEG
静止画のファイル形式のひとつ。他のファイル形式よりも画質の劣化を抑えて、ファイル容量を少なくできます。

LAN(262)
ケーブルや光ファイバーや無線などを使って、周辺機器や他の機器を接続し、データをやり取りする同じ建物やフロア内のみのネットワーク。社内や学校内、家庭内など、一定範囲内のネットワークのことです。

LTH(Low to High)(294)
有機色素系BD-Rに対応した記録方式。

MACアドレス(マックアドレス)(226)
LAN上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号。ケーブルテレビ会社によっては、本機のMACアドレスの届出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは、[本体設定]の[本体情報]で確認できます。

PCM(222)
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式。「パルス・コード・モジュレーション(Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

SBM(Super Bit Mapping)(221)
人間の視覚特性を考慮して、8ビットの映像信号に14ビット相当の情報量を伝達して通常よりもより滑らかな諧調表現を可能にするソニー独自の技術です。

TB
テラバイトと読みます。ハードディスクなどの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。1テラバイトは1,024ギガバイトです。

VRモード(294)
DVDフォーラムが映像のリアルタイム記録用として策定したもの。DVD-RW、DVD-R、DVD-RAMで用いられており、記録したデータを任意の位置で分割できるという特長があります。
著作権保護がかけられたデジタル放送をダビングするにはVRモードを選んでください。

x.v.Color(222)
動画色空間規格の国際規格のひとつ「xvYCC」に対応した機器に付す名称としてソニーが提案している商標です。従来より広い色域を再現でき、赤、青、緑はもちろん、赤紫の花の色や、複雑に変化する美しい海の青色など、自然界の色を鮮やかに、リアルに再現します。

索引

アイコン別索引

ホームメニュー（16ページ）

アイコン	説明	ページ
BD	本機のホームメニューが表示されている状態を示します	16

番組表（50、54ページ）

アイコン	説明	ページ
I	これ以上録画予約ができない時間帯に表示	50、55
●（赤）	録画中の番組	50、55
◴（赤）	録画予約されている番組	50、55
◴（灰）	予約の一部が録画できない番組	50、55
¥	有料番組	50

番組説明（51ページ）

アイコン	説明	ページ
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組	148
録画不可	コピー制御信号により、録画できない番組	148
¥	有料番組	－
	視聴年齢制限付き番組	33、227
	字幕放送	33
d	テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送	34
HD	デジタルハイビジョン信号の番組	322
SD	標準テレビ信号の番組	323
ラジオ	ラジオ放送	34

お気に入り番組表一覧（54ページ）

アイコン	説明	ページ
	本機がおすすめする番組が登録されたもの	54
（灰）	お気に入りの条件が設定されていないもの	54
（白）	自分で設定した条件で登録されたもの	54
（青）	あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って登録されたもの	54

x-おまかせ・まる録設定一覧（56ページ）

アイコン	説明	ページ
★（緑）	デジタル放送のおすすめ	56
★	スカパー！ｅ２おすすめ	56
☆（白）	自分で設定した録画条件	56
★（青）	プリセットキーワードの録画条件	56
★（灰）	条件が設定されていないもの	56

予約リスト（64ページ）

アイコン	説明	ページ
HDD	ハードディスクへの録画予約	64
BD	BDへの録画予約	64
HDD	ハードディスクへのリモート／ネットワーク*1録画予約。「見て録」を利用して番組を録画しているときも表示	71
BD	BDへのリモート／ネットワーク*1録画予約	71
録画1 録画2	「録画1」、「録画2」のどちらで録画するか表示*2	38、62
DRなど	録画時の録画モード	40、299
毎週	毎週、録画を行う	62
月-金	平日の5日間連続で録画を行う	62
月-土	土曜日を含めた6日間連続で録画を行う	62
毎日	毎日録画を行う	62

アイコン	説明	ページ
番組名	同じ番組名の録画を行う	62
	複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組	65
●(赤)	録画予約した番組を録画しているときに表示	64
●(青)	同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画可能	64
●(灰)	録画不可 録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。録画可能にするには、タイトルを消去するなどして容量を空けてください。 録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。また、番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合にも表示されます	65
	対象番組なし 予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示	65
	有料番組	65
	(更新) 更新録画予約に設定されている場合に表示	62、65

*[1] BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ。
*[2] BDZ-RS10を除く。

予約情報

予約情報は、予約リスト(64ページ)を表示中に《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選ぶと表示できます。

アイコン	説明	ページ
	録画先がハードディスクに設定されている場合に表示	64
	録画先がBDに設定されている場合に表示	64
	リモート/ネットワーク*録画予約、または「見て録」を利用して番組を録画している場合に表示	71
スポーツ	スポーツ延長自動対応機能によって、延長対象になった場合に表示	67
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組	148
	視聴年齢制限付きの番組で、設定されている制限レベルに該当するため年齢制限を解除して予約したとき表示	33、227
	字幕がある番組のとき表示	33
d	連動データがある番組のとき表示	34
HD	デジタルハイビジョン信号の番組	322
SD	標準テレビ信号の番組	323

* BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ。

タイトルリスト、タイトル情報、タイトルダビング、おでかけ転送*[1](82、98、150、175ページ)

タイトル情報は、タイトルリストを表示中に《オプション》ボタンを押して[情報表示]を選ぶと表示できます。

アイコン	説明	ページ
	他機器で再生できるタイトル*[1]	94
	"ウォークマン"などに高速でおでかけ転送できるタイトル*[1]	175
	"PSP"などに高速でおでかけ転送できるタイトル*[1]	175
	携帯電話に高速でおでかけ転送できるタイトル*[1]	175
録画1 録画2	「録画1」、「録画2」のどちらで録画されたのか表示*[2]	38、62
●(赤)	録画中	41
	再生中	82
	追いかけ再生中	87
(ピンク)	ハードディスクに取り込み中のタイトル	128
(ピンク)	ディスクにダビング中のタイトル	149

索引

アイコン	説明	ページ
(灰)	ディスクにダビング予定のタイトル	149
(ピンク)	おでかけ転送中のタイトル*[1]	175
(灰)	おでかけ転送予定のタイトル*[1]	175
	アクトビラからダウンロードしたタイトル	167
(ピンク)	アクトビラからダウンロード中のタイトル	167
(灰)	アクトビラからのダウンロード一時停止、または中断エラーのタイトル	167
	アクトビラからダウンロード中に追いかけ再生をしているタイトル	167
NEW	アクトビラからダウンロードされ、再生されていないタイトル	167
1	移動(ムーブ)可能なタイトル(コピー制御信号により、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクに1回だけダビングできるタイトル。携帯電話へのおでかけ転送*[1]も1回だけです。ダビング、または携帯電話におでかけ転送するとハードディスクからは消去されます)	148
1 10 各種	ダビング可能回数2～10回のタイトル、ダビング可能回数1～9回のプレイリスト、またはアクトビラからダウンロードしたタイトル。数字の回数だけ、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクにダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりハードディスクから消去されます。 なお、アクトビラからダウンロードしたタイトルは、ダビング可能回数1回の場合にダビング(BDにのみ)やおでかけ転送*[1]をしてもハードディスクにタイトルが残ります。ただし、おかえり転送はできません*[1]	148
	ダビングできないタイトル	–
NEW	再生されていないタイトル	82

アイコン	説明	ページ
PL	プレイリスト(オリジナルタイトルや他のプレイリストタイトルから作られた仮想映像)	104
★	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトル。★の付いたタイトルで が付いているタイトルは、ハードディスクがいっぱいになったときに自動的に消去されます	55
NEW (金)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない番組の中でおすすめ度が高いもの	55
NEW (青)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない番組	55
e2	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルで、「スカパー！ｅ２おすすめ」のもの	55
NEW (金)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない「スカパー！ｅ２おすすめ」番組の中でおすすめ度が高いもの	55
NEW (青)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない「スカパー！ｅ２おすすめ」番組	55
DR など	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)	40、299
	(更新) 更新録画したタイトル	62
	(プロテクト) 保護されたタイトル	111
	x-おまかせ・まる録で録画され、自動消去対象となっているタイトル。プロテクトを設定したり、編集をすると、自動消去対象からはずれます	55
パック	アクトビラからパック購入したタイトル	167
x-Pict Story	x-Pict Story HDで作成したタイトル	136
	視聴年齢制限付きタイトル	93、227

*[1] BDZ-EX200/BDZ-RX100/BDZ-RX50のみ。
*[2] BDZ-RS10を除く。

タイトルリスト-マーク(96ページ)

アイコン	説明	ページ
	マーク1	96
	マーク2	96
	マーク3	96
	マーク4	96
	マーク5	96
	マーク6	96
	マーク7	96
	マーク8	96
	マーク9	96
	マーク10	96
	マーク11	96
	マーク12	96
	マーク13	96
	マーク14	96
	マーク15	96
	マーク16	96
	マーク17	96
	マーク18	96
	マーク19	96
	マーク20	96
	マーク21	96
	マーク22	96
	マーク23	96
	マーク24	96
	マーク25	96
	マーク26	96
	マーク27	96
	マーク28	96
	マーク29	96
マークなし	マークを表示したくないときに選択します	96

写真の一覧(134、135ページ)

アイコン	説明	ページ
JPG	JPEGの写真データ	134、135

ダウンロード管理画面、ダウンロード詳細情報(167ページ)

ダウンロード詳細情報は、ダウンロード管理画面表示中にタイトルを選んで《決定》ボタンを押すと表示できます。

アイコン	説明	ページ
(ピンク)	アクトビラからダウンロード中のタイトル	167
	ダウンロードを一時停止しているタイトル	167
	ダウンロードエラーのタイトル 本機のハードディスクの容量が不足している、または保存できるタイトル数が上限に達している場合、ダウンロードできません。またネットワークの中断や、ダウンロード期限が過ぎている場合にもエラーとなります	167
パック	アクトビラからパック購入したタイトル	167

アイコン	説明	ページ
	視聴年齢制限付きタイトル	167、228

メール（211ページ）

アイコン	説明	ページ
	すでに読んだメール	211
	まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません	211

索引

五十音順

た行

な行

は行

数字順／記号順／アルファベット順

索引

Q&A

製品について困ったときは

●よくあるお問い合わせのQ＆Aを知りたい
●アンテナやテレビとの接続を確認したい
●使いかたの詳しい情報を知りたい

インターネットで下記アドレスを入力してください。

http://www.sony.jp/support/bd/

ブルーレイディスクレコーダーに関するURLを携帯電話から
パソコンへ転送できます。右記2次元コードからアクセスして、
「PC用サイトのご案内」を選んでください。

4-160-142-**02** (1)

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

Printed in Malaysia